

平成 24 年度

歳入歳出決算にかかる
主要な施策の成果説明書

宇 治 市

目 次

はじめに	1
平成 24 年度の決算概要	1
(1) 各会計決算額	2
(2) 普通会計決算状況	3
(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	6
(4) 都市計画税の用途	8
(5) 全会計市債等現在高	8
(6) 平成 24 年度 普通会計決算状況調書	9
(7) 普通会計における財務書類 4 表	11
部門別決算成果概要	
1 市長公室	16
2 政策経営部.....	29
3 総務部	35
4 市民環境部.....	42
5 健康福祉部.....	79
6 建設部	161
7 都市整備部.....	176
8 上下水道部.....	192
9 消防本部	197
10 教育部	201
11 その他	242
議会事務局	242
選挙管理委員会事務局	243
監査委員事務局	246
公平委員会事務局	246
固定資産評価審査委員会事務局	247
農業委員会事務局	248
12 用品調達基金運用状況表	249

はじめに

本説明書（歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、市長が決算を議会の認定に付すにあたり、同条第5項の規定により施策の成果を説明するものである。各会計の決算規模並びに総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計と墓地公園事業、飲料水供給施設事業の各特別会計の合計額から各会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要と、平成24年度の主要な施策の成果について部門毎に取りまとめたものである。

平成24年度の決算概要

平成24年度各会計歳入歳出決算の状況は、（1）各会計決算額のとおりとなっている。

また、平成24年度普通会計決算状況は、歳入の主な状況を分析すると、基幹歳入である地方税が、前年度に比べて12億3,074万2千円（△5.0%）の減額となった。また、繰入金は、財政調整基金を7億4,000万円繰り入れたことなどにより、今年度は9億6,599万4千円（715.3%）の増額となった。

歳出を目的別に分析すると、民生費が、前年度より8億2,360万4千円（3.4%）の増額となり、教育費が宇治黄檗学園整備事業の影響などにより、20億1,673万4千円（△23.1%）の減額となった。

また、歳出を性質別に分析すると、義務的経費のうち、人件費は、退職手当等の影響により、前年度より4億6,085万9千円（△3.9%）の減額となり、公債費は、前年度より1億1,194万7千円（2.2%）の増額となった。災害復旧事業費は、豪雨災害の影響により、前年度より10億5,627万6千円（29,838.3%）の増額となった。

(1) 各会計決算額

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成24年度	59,945,736	58,926,639	1,019,097	677,489	341,608	△ 22,952
	平成23年度	60,915,143	60,341,376	573,767	209,207	364,560	△21,479
	差引	△ 969,407	△1,414,737	445,330	468,282	△ 22,952	△ 1,473
国民健康保険 事業特別会計	平成24年度	20,019,651	19,295,877	723,774	0	723,774	292,180
	平成23年度	19,048,650	18,617,056	431,594	0	431,594	△41,357
	差引	971,001	678,821	292,180	0	292,180	333,537
後期高齢者医療 事業特別会計	平成24年度	2,177,146	2,099,887	77,259	0	77,259	9,913
	平成23年度	1,916,622	1,849,276	67,346	0	67,346	58,923
	差引	260,524	250,611	9,913	0	9,913	△ 49,010
介護保険事業 特別会計	平成24年度	11,643,848	11,365,550	278,298	0	278,298	137,406
	平成23年度	10,669,055	10,528,163	140,892	0	140,892	121,741
	差引	974,793	837,387	137,406	0	137,406	15,665
墓地公園事業 特別会計	平成24年度	59,435	59,435	0	0	0	0
	平成23年度	83,579	83,579	0	0	0	0
	差引	△ 24,144	△ 24,144	0	0	0	0
簡易水道事業 特別会計	平成24年度	337,620	337,507	113	113	0	0
	平成23年度	161,227	159,787	1,440	1,440	0	0
	差引	176,393	177,720	△ 1,327	△ 1,327	0	0
飲料水供給施設 事業特別会計	平成24年度	6,567	6,567	0	0	0	0
	平成23年度	6,974	6,974	0	0	0	0
	差引	△ 407	△ 407	0	0	0	0
公共下水道 事業特別会計	平成24年度	7,210,204	7,139,103	71,101	71,101	0	0
	平成23年度	7,497,461	7,401,411	96,050	96,050	0	0
	差引	△ 287,257	△ 262,308	△ 24,949	△ 24,949	0	0
水道事業会計 (収益的収支)	平成24年度	3,751,416	3,754,498	△ 3,082	/		
	平成23年度	3,346,702	3,333,442	13,260			
	差引	404,714	421,056	△ 16,342			
水道事業会計 (資本的収支)	平成24年度	151,442	752,159	△ 600,717			
	平成23年度	198,288	742,538	△544,250			
	差引	△ 46,846	9,621	△ 56,467			

(2) 普通会計決算状況

総務省地方財政状況調査における普通会計の決算状況については、次のとおりである。

ア 歳入決算状況

	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
地方税	23,318,921	39.0	24,549,663	40.3	△ 1,230,742	△ 5.0
うち個人市民税	9,936,094	16.6	9,517,536	15.6	418,558	4.4
うち法人市民税	1,277,874	2.1	2,573,874	4.2	△ 1,296,000	△ 50.4
うち固定資産税	9,201,084	15.4	9,502,640	15.6	△ 301,556	△ 3.2
地方譲与税	366,311	0.6	390,985	0.6	△ 24,674	△ 6.3
利子割交付金	92,324	0.2	101,525	0.2	△ 9,201	△ 9.1
配当割交付金	71,904	0.1	68,515	0.1	3,389	4.9
株式等譲渡所得割交付金	17,667	0.0	15,738	0.0	1,929	12.3
地方消費税交付金	1,643,501	2.7	1,647,700	2.7	△ 4,199	△ 0.3
ゴルフ場利用税交付金	33,531	0.1	49,325	0.1	△ 15,794	△ 32.0
自動車取得税交付金	151,283	0.2	128,529	0.2	22,754	17.7
地方特例交付金等	177,468	0.3	333,245	0.6	△ 155,777	△ 46.7
地方交付税	6,652,874	11.1	6,255,540	10.3	397,334	6.4
普通交付税	6,004,046	10.0	5,863,302	9.6	140,744	2.4
特別交付税	648,828	1.1	392,238	0.7	256,590	65.4
交通安全対策特別交付金	35,932	0.1	35,806	0.1	126	0.4
分担金及び負担金	854,644	1.4	808,723	1.3	45,921	5.7
使用料	1,362,431	2.3	1,390,452	2.3	△ 28,021	△ 2.0
手数料	138,992	0.2	132,710	0.2	6,282	4.7
国庫支出金	9,438,815	15.8	10,646,904	17.5	△ 1,208,089	△ 11.3
国有提供施設等所在市町村 助成交付金	69,517	0.1	69,339	0.1	178	0.3
府支出金	4,709,714	7.9	4,106,400	6.8	603,314	14.7
財産収入	84,345	0.1	68,420	0.1	15,925	23.3
寄付金	98,990	0.2	91,421	0.2	7,569	8.3
繰入金	1,101,034	1.8	135,040	0.2	965,994	715.3
繰越金	573,767	1.0	853,191	1.4	△ 279,424	△ 32.8
諸収入	2,798,790	4.7	2,762,125	4.5	36,665	1.3
地方債	6,045,300	10.1	6,215,700	10.2	△ 170,400	△ 2.7
うち臨時財政対策債	2,909,400	4.9	3,566,700	5.9	△ 657,300	△ 18.4
歳入合計	59,838,055	100.0	60,856,996	100.0	△ 1,018,941	△ 1.7
うち一般財源等	38,658,935	64.6	38,657,770	63.5	1,165	0.0
うち経常一般財源	30,709,298	51.3	31,912,408	52.4	△ 1,203,110	△ 3.8

イ 歳出決算状況

目的別決算状況

	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
議会費	465,085	0.8	508,360	0.8	△ 43,275	△ 8.5
総務費	4,946,268	8.4	5,273,222	8.8	△ 326,954	△ 6.2
民生費	25,300,190	43.0	24,476,586	40.6	823,604	3.4
衛生費	4,033,972	6.9	4,300,363	7.1	△ 266,391	△ 6.2
労働費	107,873	0.2	180,685	0.3	△ 72,812	△ 40.3
農林水産業費	294,449	0.5	298,420	0.5	△ 3,971	△ 1.3
商工費	1,853,558	3.2	1,791,560	3.0	61,998	3.5
土木費	6,832,490	11.6	7,556,558	12.5	△ 724,068	△ 9.6
消防費	2,030,706	3.4	2,094,597	3.5	△ 63,891	△ 3.1
教育費	6,725,508	11.4	8,742,242	14.5	△ 2,016,734	△ 23.1
災害復旧費	1,059,816	1.8	3,540	0.0	1,056,276	29,838.3
公債費	5,169,043	8.8	5,057,096	8.4	111,947	2.2
歳出合計	58,818,958	100.0	60,283,229	100.0	△ 1,464,271	△ 2.4

性質別決算状況

	24年度決算額 (千円)	構成比 (%)	23年度決算額 (千円)	構成比 (%)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
人件費	11,296,805	19.2	11,757,664	19.5	△ 460,859	△ 3.9
物件費	5,586,015	9.5	5,450,159	9.0	135,856	2.5
維持補修費	663,820	1.1	782,866	1.3	△ 119,046	△ 15.2
扶助費	15,799,347	26.9	15,655,363	26.0	143,984	0.9
補助費等	4,796,945	8.2	4,361,175	7.2	435,770	10.0
公債費	5,169,043	8.8	5,057,096	8.4	111,947	2.2
積立金	116,591	0.2	669,789	1.1	△ 553,198	△ 82.6
投資及び出資金	4,900	0.0	0	0.0	4,900	皆増
貸付金	2,417,215	4.1	2,410,547	4.0	6,668	0.3
繰出金	6,511,750	11.0	6,452,604	10.7	59,146	0.9
普通建設事業費	5,396,711	9.2	7,682,426	12.8	△ 2,285,715	△ 29.8
災害復旧事業費	1,059,816	1.8	3,540	0.0	1,056,276	29,838.3
歳出合計	58,818,958	100.0	60,283,229	100.0	△ 1,464,271	△ 2.4
うち義務的経費	32,265,195	54.9	32,470,123	53.9	△ 204,928	△ 0.6
経常的経費	45,781,924	77.8	45,997,946	76.3	△ 216,022	△ 0.5

ウ 財政構造

平成 24 年度普通会計決算における各種財政指標は次のとおりである。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去 3 カ年平均）は 0.789（23 年度 0.824）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は 1.0%（23 年度 1.1%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は 91.4%（23 年度 90.1%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源比率は 90.6%（23 年度 94.7%）

エ 基金現在高

各種基金全体の平成 24 年度末現在高（普通会計）は、77 億 6,736 万 1 千円で、前年度対比 9 億 4,830 万 9 千円の減額となった。繰入については、豪雨災害等への対応の為、財政調整基金を 7 億 4,000 万円繰り入れた。一方、積立については、財政調整基金に 2,068 万 5 千円、減債基金に 3,374 万 9 千円、将来のまちづくりのために宅地開発等協力寄付金等を原資とする公共施設等整備基金に 8,366 万 3 千円を積み立てた。なお、定額運用基金である土地開発基金の現在高は 14 億 1,407 万 8 千円となった。

基金繰入の状況

(単位：千円)

基金名	基金繰入額	充当事業	充当額
財政調整基金	740,000	財源対策	740,000
公共施設等整備基金	268,100	排水路改良事業	122,700
		街区公園整備事業	12,000
		宇治黄檗学園整備事業	100,000
		中学校雨水流出抑制対策事業	33,400
国際交流基金	205	カムループス市交流促進事業	205
文化事業基金	1,906	文化センター文化事業補助金	1,906
ふるさと創生基金	1,976	源氏物語ミュージアム企画展示	1,976
地域福祉振興基金	63,813	一人暮らし高齢者給配食サービス補助金	4,170
		保育所施設整備事業	59,643
社会福祉事業基金	692	在宅要援護老人対策事業	692
母子福祉基金	90	母子家庭児童中学校卒業祝品支給補助金	90
玉井高齢者福祉事業基金	172	在宅要援護老人対策事業	172
高齢者活動基金	834	高齢者活動事業	491
		生涯学習センター高齢者活動事業	343
篤志者奨学基金	79	奨学資金貸与	79
国際ソロプチミスト宇治 交通遺児奨学基金	30	交通遺児激励事業	30
スポーツ振興基金	5,806	スポーツ振興基金活用事業	5,428
		全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	378
中小企業振興基金	546	中小企業振興対策事業	546
大気質測定基金	4,643	自動車排出ガス監視測定局運営事業	4,643
市有製茶機械購入基金	11,183	市有製茶機械貸与	11,183
交通安全事業基金	298	交通安全対策事業	298
火災予防等事業基金	155	火災予防等事業基金活用事業	155
ふるさと応援基金	500	源氏ろまん事業	500
合計	1,101,028		

オ 地方債現在高

平成 24 年度末における地方債の現在高は 443 億 5,091 万 5 千円となり、前年度対比 15 億 923 万 2 千円の増加となった。発行額は、一般債が 17 億 180 万円、臨時財政対策債及び減収補てん債の特例債が 43 億 4,350 万円で、総額 60 億 4,530 万円となり、前年度より 1 億 7,040 万円の減額となった。

(3) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律について

平成 19 年 6 月に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成 19 年度決算より、一般会計等の赤字額の標準財政規模に対する比率である「実質赤字比率」と、一般会計等だけでなく、水道事業や下水道事業など全会計を連結した実質赤字額（資金不足額）の標準財政規模に対する比率である「連結実質赤字比率」、さらに、一般会計等が負担する地方債の元利償還金やそれに準ずる元利償還金の標準財政規模に対する比率である「実質公債費比率」、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率である「将来負担比率」の 4 つの健全化判断比率と、水道事業や下水道事業、簡易水道事業の公営企業の経営健全化を判断する指標として、公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する比率である「資金不足比率」を算定している。

4 つの健全化判断比率の数値が、早期健全化基準を超えた場合は、自主的な改善努力による財政健全化に取り組む「財政健全化団体」となり、さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えた場合は、国などの関与により確実な財政再生を図る「財政再生団体」となる。

「財政健全化団体」は、議会の議決を経て「財政健全化計画」を定め、市民への公表と、総務大臣、知事への報告が必要となり、毎年度、その実施状況を議会に報告し、公表することが必要となる。

「財政再生団体」は、議会の議決を経て「財政再生計画」を定め、市民への公表を行わなければならない。また、災害復旧事業等を除いた起債が必要な場合は、「財政再生計画」を総務大臣に協議し、その同意を求める必要がある。「財政再生計画」に総務大臣の同意を得た「財政再生団体」は、収支不足額を振り替えるため、地方財政法第 5 条の特例として、総務大臣の許可を受けて、再生振替特例債を起すことができることとなった。

公営企業については、その資金不足比率が、経営健全化基準以上になった場合は、経営健全化計画を定める必要がある。

※ 標準財政規模：地方公共団体の一般財源の標準規模、標準的な財政規模

ア 健全化判断比率

健全化判断比率	24年度 決算	23年度 決算	早期健全 化基準	財政再生 基準	説明
実質赤字比率	—	—	11.65%	20.00%	一般会計等が黒字か赤字を判断する指標（一般会計等の赤字の標準財政規模に対する比率）
連結実質赤字 比率	—	—	16.65%	30.00%	一般会計だけでなく、国民健康保険や下水道、水道事業などすべての特別会計を対象として、赤字を判断する指標（全会計の赤字の標準財政規模に対する比率）
実質公債費比率	3.5%	4.5%	25.0%	35.0%	市債の元利償還金等の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が、負担しなければならない元利償還金等の標準財政規模に対する比率）
将来負担比率	—	—	350.0%		一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の一般会計等に対する負担を判断する指標（一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

※ 実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため「—」で表示している。

※ 将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されなかったため「—」で表示している。

イ 資金不足比率

特別会計の名称	24年度決算	23年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20.0%
簡易水道事業特別会計	—	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	—	20.0%

※ 資金不足比率は、各会計で不足額が生じていないため「—」で表示している。

(4) 都市計画税の使途

平成24年度に実施した都市計画税充当対象事業費33億2,867万5千円(下水道事業含む)に対して、都市計画税16億5,315万7千円を次のとおり充当した。

対 象 事 業		都市計画税充当額(千円)
街路事業	近鉄大久保駅前交通広場整備	82,237
	府営事業負担金	2,546
公園事業	黄檗公園再整備	324
下水道事業	下水道事業	228,845
その他事業	名木川改修 他	18,327
公債費(下水道事業分含む)		1,320,878
合 計		1,653,157

(5) 全会計市債等現在高

	24年度末 (千円)	23年度末 (千円)	増減額 (千円)	伸び率 (%)
全会計市債等現在高	91,205,156	89,990,369	1,214,787	1.3
一般会計	45,128,824	43,650,325	1,478,499	3.4
墓地公園事業特別会計	72,781	85,413	△12,632	△14.8
簡易水道事業特別会計	625,000	432,071	192,929	44.7
飲料水供給施設事業特別会計	44,771	46,994	△2,223	△4.7
公共下水道事業特別会計	40,544,442	40,725,825	△181,383	△0.4
水道事業会計	4,789,338	5,049,741	△260,403	△5.2

(6) 平成24年度 普通会計決算状況調査

262048	宇治市			
市町村類型	IV - 1			
交付税種地	I - 5			
産業構造	区分	第1次	第2次	第3次
	22国調	496人	20,332人	55,538人
		0.6%	26.6%	72.7%
	17国調	533人	24,219人	59,560人
0.6%		27.9%	68.6%	

(単位:千円)

人口	国調	22年	189,609人	0.0%	面積		67.55km ²
		17年	189,591人	0.3%	人口密度	22国調	2,807人/km ²
		12年	189,112人	2.3%		17国調	2,807人/km ²
	住基	H25.3.31	192,188人	1.1%	人口集中地区人口	22国調	185,499人
		H24.3.31	190,158人	△0.2%		17国調	185,370人
		H23.3.31	190,539人	0.2%	世帯数	H25.3.31	80,959世帯

区分		平成24年度	平成23年度	増減率	区分	平成24年度		平成23年度	
歳入総額	A	59,838,055	60,856,996	△1.7%	財政力指数(単年/3力年)	0.757	0.789	0.769	0.824
歳出総額	B	58,818,958	60,283,229	△2.4%	歳出決算倍率	1.735		1.788	
歳入歳出差引(A-B)	C	1,019,097	573,767	77.6%	実質収支比率	1.0 %		1.1%	
翌年度に繰り越すべき財源	D	677,489	209,207	223.8%	経常一財等比率	90.6 %		94.7%	
実質収支(C-D)	E	341,608	364,560	△6.3%	公債費負担比率	13.1 %		12.8%	
単年度収支	F	△ 22,952	△ 21,479	△6.9%	公債費比率(単年/3力年)	8.2%	8.0%	7.4%	8.4%
積立金	G	6,815	509,041	△98.7%	起債制限比率(単年/3力年)	5.9%	5.8%	5.3%	6.1%
繰上償還金	H	0	0	-	地方債残高比率	130.9 %		127.1%	
積立金取崩し額	I	740,000	0	皆減	実質債務残高比率	144.0 %		142.0%	
実質単年度収支(F+G+H-I)	J	△ 756,137	487,562	△255.1%	経常収支比率	91.4 %		90.1%	
基準財政収入額		18,709,599	18,851,318	△0.8%	経常収支比率(臨財・減税除)	103.5 %		100.2%	
基準財政需要額		24,713,645	24,514,887	0.8%	健全化判断比率	平成24年度		平成23年度	
標準税収入額等		24,177,298	24,280,121	△0.4%	実質赤字比率	-		-	
標準財政規模		33,893,796	33,710,203	0.5%	連結実質赤字比率	-		-	
地方債現在高		44,350,915	42,841,683	3.5%	実質公債費比率(単年/3力年)	3.1%	3.5%	4.1%	4.5%
債務負担行為翌年度以降支出予定額		4,469,664	5,030,192	△11.1%	将来負担比率	-		-	

一般職の状況(H25.4.1)				特別職等の給料月額			収益事業収入:なし	
区分	平均年齢	職員数	平均給料月額	区分	1人あたり平均給料(報酬)	改定実施年月日	一部事務組合加入状況	城南衛生管理組合 淀川木津川水防事務組合 京都府自治会館管理組合 京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合 京都府後期高齢者医療広域連合 京都地方税機構
一般職員	38.39 歳	825 人	300,976 円	市長	1,065,000 円	H21.12.1より		
教育公務員	43.53 歳	32 人	346,334 円	副市長	885,000 円	〃		
消防関係職員	38.39 歳	213 人	315,178 円	教育長	775,000 円	〃		
技能労務職員	41.47 歳	190 人	310,809 円	議長	635,000 円	H15.12.1より		
臨時職員	-	-	-	副議長	585,000 円	〃		
合計	38.98 歳	1,260 人	306,011 円	議員	535,000 円	〃		
ラスパイレス指数(H24.4.1)			109.4					

地方債現在高			基金現在高		会計別決算状況(決算統計数値)				
政府資金(旧郵政公社)	機構(旧公庫)	市中銀行	財政調整	2,230,012	会計名	歳入総額	歳出総額	他会計繰入金	
20,268,109	6,499,970	11,219,280	減債	1,972,946	国保特会	20,019,651	19,295,877	1,274,388	
保険会社等	その他	合計	土地開発	1,414,078	後期高齢特会	2,177,146	2,099,887	366,592	
50,900	6,312,656	44,350,915	退職手当	11,280	介護特会	11,643,848	11,365,550	1,606,849	
減収補てん債		臨時財政対策債	その他	3,553,123	簡水特会	336,180	337,507	65,753	
発行額	1,434,100	発行額	2,909,400	合計	9,181,439	下水特会	7,172,471	7,197,420	1,859,947

(単位:千円・%)

歳入						歳出(性質別)						
区分	決算額	構成比	経常一財等	構成比		区分	決算額	構成比	充当一財等	経常一財等	経常収支比率	
地方税	23,318,921	39.0	21,665,764	70.5		人件費	11,296,805	19.2	10,325,993	10,000,094	28.7	
地方譲与税	366,311	0.6	366,311	1.2		うち職員給	7,790,601	13.2	7,013,017	6,847,984	19.7	
利子割交付金	92,324	0.2	92,324	0.3		扶助費	15,799,347	26.9	4,790,586	4,752,328	13.7	
配当割交付金	71,904	0.1	71,904	0.2		公債費	5,169,043	8.8	5,059,170	5,059,170	14.5	
株式等譲渡所得割交付金	17,667	0.0	17,667	0.1		元利償還金	5,128,914	8.7	5,019,041	5,019,041	14.4	
地方消費税交付金	1,643,501	2.7	1,643,501	5.3		一借利子	40,129	0.1	40,129	40,129	0.1	
ゴルフ場利用税交付金	33,531	0.1	33,531	0.1		(義務的経費計)	32,265,195	54.9	20,175,749	19,811,592	56.9	
特別地方消費税交付金	0	0.0	0	0.0		物件費	5,586,015	9.5	4,238,446	3,501,078	10.1	
自動車取得税交付金	151,283	0.2	151,283	0.5		維持補修費	663,820	1.1	636,183	636,183	1.8	
地方特例交付金等	177,468	0.3	177,468	0.6		補助費等	4,796,945	8.1	4,438,762	3,188,991	9.2	
地方交付税	6,652,874	11.1	6,004,046	19.6		うち一組負担金	1,661,499	2.8	1,661,499	1,333,370	3.8	
普通交付税	6,004,046	10.0	6,004,046	19.6		積立金	116,591	0.2	94,642	-	-	
特別交付税	648,828	1.1	-	-		投・出・貸付金	2,422,115	4.1	4,447	4,447	0.0	
小計	32,525,784	54.3	30,223,799	98.4		繰入金	6,511,750	11.1	5,705,339	4,654,361	13.4	
交通安全対策特別交付金	35,932	0.1	35,932	0.1		前年度繰上充用金	0	0.0	0	歳入一財等総額		
分担金及び負担金	854,644	1.4	0	0.0		投資的経費	6,456,527	11.0	2,346,270	38,658,935		
使用料	1,362,431	2.3	350,618	1.2		うち人件費	124,894	0.2	118,424	経常一般財源等		
手数料	138,992	0.2	0	0.0		普通建設	5,396,711	9.2	1,735,365	30,709,298		
国庫支出金	9,438,815	15.8	-	-		補助	2,515,431	4.3	111,919	臨時一般財源等		
国有提供施設等交付金	69,517	0.1	69,517	0.2		単独	2,796,667	4.8	1,617,633	7,949,637		
府支出金	4,709,714	7.9	-	-		府営事業負担金	84,613	0.1	5,813	経常経費充当一財等		
財産収入	84,345	0.1	29,100	0.1		災害復旧	1,059,816	1.8	610,905	31,796,652		
寄付金	98,990	0.2	-	-		歳出合計	58,818,958	100.0	37,639,838			
繰入金	1,101,034	1.8	-	-		歳出(目的別)						
繰越金	573,767	1.0	-	-		区分	決算額 A	構成比	うち普通建設	Aの充当一財等		
諸収入	2,798,790	4.7	332	0.0		議会費	465,085	0.8	0	465,085		
地方債	6,045,300	10.1	-	-		総務費	4,946,268	8.4	133,482	4,378,312		
歳入合計	59,838,055	100.0	30,709,298	100.0		民生費	25,300,190	43.0	803,406	12,009,797		
市町村税の状況						衛生費	4,033,972	6.9	15,042	3,579,201		
						労働費	107,873	0.2	0	16,957		
法定普通税	区分	徴収済額	構成比	前年比	基準税額/0.75	超過課税分	農林水産業費	294,449	0.5	44,803	199,511	
	市民税	個人均等割	253,081	1.1	0.1	251,949	-	商工費	1,853,558	3.1	31,045	423,506
		所得割	9,683,013	41.5	4.5	10,165,359	-	土木費	6,832,490	11.6	1,513,369	4,526,857
		法人均等割	376,557	1.6	△ 2.0	343,472	61,851	消防費	2,030,706	3.5	41,036	2,016,321
		法人税割	901,317	3.9	△ 58.8	1,304,205	146,833	教育費	6,725,508	11.4	2,814,528	4,354,216
	固定資産税	9,201,084	39.4	△ 3.2	8,879,119	-	災害復旧費	1,059,816	1.8	-	610,905	
	うち純固定資産税	9,100,816	39.0	△ 3.2	-	-	公債費	5,169,043	8.8	-	5,059,170	
	軽自動車税	210,564	0.9	1.1	214,689	-	諸支出金	0	0.0	0	0	
	市町村たばこ税	1,040,148	4.5	1.1	921,105	-	前年度繰上充用金	0	0.0	-	0	
	特別土地保有税	-	-	皆減	-	-	合計	58,818,958	100.0	5,396,711	37,639,838	
	計	21,665,764	92.9	△ 5.1	22,079,898	208,684	市税徴収率					
目的税	都市計画税	1,653,157	7.1	△ 3.8	-	-	うち市民税	うち資産税		合計		
	計	1,653,157	7.1	△ 3.8	-	-	現年	98.24%	98.17%	98.27%		
合計	23,318,921	100.0	△ 5.0	22,079,898	208,684	合計	93.86%	92.90%	93.59%			

(7) 普通会計における財務書類4表

財務書類4表は、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4つの書類により構成されている。本市では、平成20年度決算から「総務省方式改訂モデル」により財務書類の作成を行っている。

ア 貸借対照表

会計年度末における、本市の財政状態を表す。「資産の部」に計上している財産をどのような財源で調達したかについて、将来世代の負担部分を「負債の部」に、過去・現役世代の負担部分を「純資産の部」に計上している。

イ 行政コスト計算書

一会計期間における、資産形成を伴わない経常的な行政活動に伴う費用の状況を表す。「経常行政コスト」には、経常的な行政サービスを提供するために発生したコストを計上し、「経常収益」には、行政サービスの対価としての収入、すなわち受益者負担相当分を計上している。

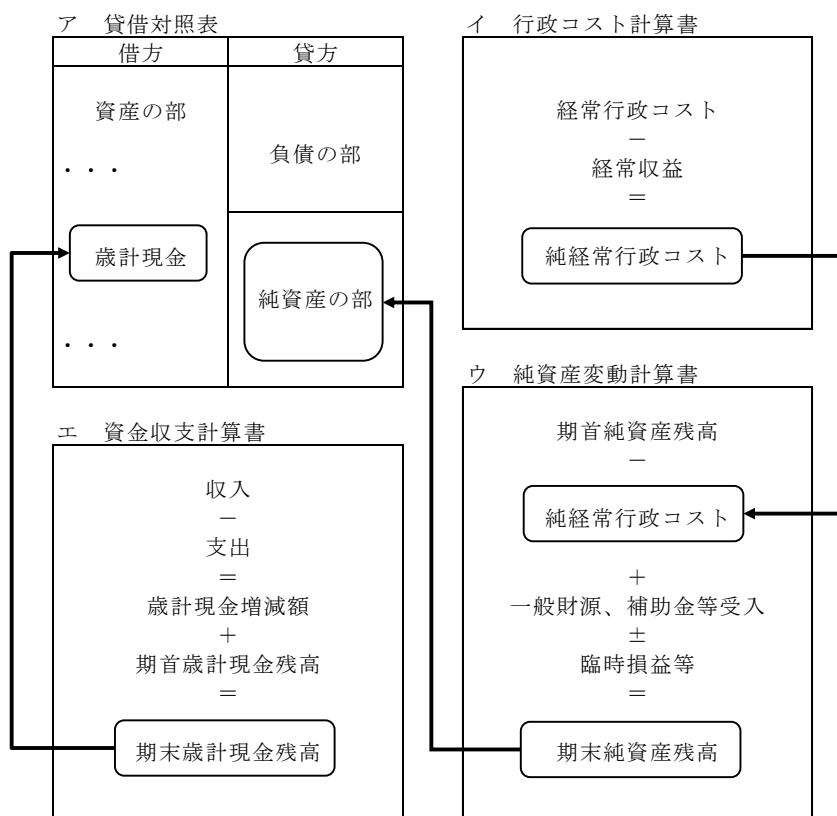
ウ 純資産変動計算書

一会計期間において、「貸借対照表」の「純資産の部」に計上されている各項目がどのように変動したかを表す。主な純資産の減少要因としては、「行政コスト計算書」で算出した「純経常行政コスト」、増加要因としては、市税・地方交付税等の「一般財源」、国・京都府からの「補助金等受入」等が挙げられる。

エ 資金収支計算書

一会計期間における、本市の行政活動に伴う現金等の資金の流れを、性質の異なる3つの活動に分けて表す。「期首歳計現金残高」は前年度普通会計の形式収支であり、「期末歳計現金残高」は当該年度普通会計の形式収支と一致する。

<財務書類4表の相関図>



貸借対照表

(平成25年 3月31日現在)

(単位：千円)

借	方	貸	方
[資産の部]		[負債の部]	
1 公共資産		1 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 地方債	39,520,446
①生活インフラ・国土保全	100,561,583	(2) 長期未払金	
②教育	61,106,398	①物件の購入等	0
③福祉	6,586,150	②債務保証又は損失補償	0
④環境衛生	3,266,815	③その他	0
⑤産業振興	3,218,167	長期未払金計	0
⑥消防	2,572,074	(3) 退職手当引当金	8,321,907
⑦総務	12,243,701	(4) 損失補償等引当金	612,506
有形固定資産合計	189,554,888	固定負債合計	48,454,859
(2) 売却可能資産	46,518		
公共資産合計	189,601,406	2 流動負債	
2 投資等		(1) 翌年度償還予定地方債	4,830,469
(1) 投資及び出資金		(2) 短期借入金（翌年度繰上充用金）	
①投資及び出資金	503,999	(3) 未払金	
②投資損失引当金		(4) 翌年度支払予定退職手当	1,018,705
投資及び出資金計	503,999	(5) 賞与引当金	629,303
(2) 貸付金	116,240	流動負債合計	6,478,477
(3) 基金等		負債合計	54,933,336
①退職手当目的基金	11,280		
②その他特定目的基金	3,553,123	[純資産の部]	
③土地開発基金	1,414,078	1 公共資産等整備国県補助金等	30,407,291
④その他定額運用基金	6,000	2 公共資産等整備一般財源等	144,841,257
⑤退職手当組合積立金		3 その他一般財源等	△ 28,424,730
基金等計	4,984,481	4 資産評価差額	△ 26,270
(4) 長期延滞債権	1,324,766	純資産合計	146,797,548
(5) 回収不能見込額	△ 361,515		
投資等合計	6,567,971	負債・純資産合計	201,730,884
3 流動資産			
(1) 現金預金			
①財政調整基金	2,230,012		
②減債基金	1,972,946		
③歳計現金	1,019,097		
現金預金計	5,222,055		
(2) 未収金			
①地方税	400,494		
②その他	75,575		
③回収不能見込額	△ 136,617		
未収金計	339,452		
流動資産合計	5,561,507		
資産合計	201,730,884		

※1 他団体及び民間への支出金により形成された資産

①生活インフラ・国土保全	2,271,572 千円
②教育	12,789 千円
③福祉	3,828,123 千円
④環境衛生	347,641 千円
⑤産業振興	1,190,816 千円
⑥消防	3,924 千円
⑦総務	2,097,030 千円
計	9,751,895 千円

※2 債務負担行為に関する情報

①物件の購入等	3,253,218 千円
②債務保証又は損失補償	7,535,000 千円
（うち共同発行地方債に係るもの）	0 千円
③その他	1,216,446 千円

※3 地方債残高（翌年度償還予定額を含む）のうち 37,085,451千円については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。

※4 普通会計の将来負担に関する情報

項目	金額	[内訳]	
		負債計上 【（翌年度償還予定） 地方債・（長期） 未払金・引当金】	注記 【契約債務・偶発債務】
普通会計の将来負担額	78,948,895 千円		
[内訳] 普通会計地方債残高	44,350,915 千円	44,350,915 千円	
債務負担行為支出予定額	1,859,377 千円	0 千円	1,859,377 千円
公営事業地方債負担見込額	21,918,263 千円		21,918,263 千円
一部事務組合等地方債負担見込額	1,648,285 千円		千円
退職手当負担見込額	8,559,549 千円	9,340,612 千円	
第三セクター等債務負担見込額	612,506 千円	612,506 千円	千円
連結実質赤字額	0 千円		千円
一部事務組合等実質赤字負担額	0 千円		千円
基金等将来負担軽減資産	84,124,218 千円		
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	9,425,367 千円		
地方債償還額等充当歳入見込額	15,921,050 千円		
地方債償還額等充当交付税見込額	58,777,801 千円		
(差引) 普通会計が将来負担すべき実質的な負債	△ 5,175,323 千円		

※5 有形固定資産のうち、土地は78,311,936千円です。また、有形固定資産の減価償却累計額は 80,705,916千円です。

行政コスト計算書

〔 自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月31日 〕

(単位：千円)

【経常行政コスト】

	総額	(構成比率)	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	議会	支払利息	回収不能 見込計上額	その他
1													
(1) 人件費	9,894,041	19.6%	1,232,861	1,417,031	2,093,421	912,095	215,149	1,717,258	1,908,810	397,416			0
(2) 退職手当引当金繰入等	739,019	1.5%	95,406	25,285	159,816	69,631	16,425	131,099	211,017	30,340			0
(3) 賞与引当金繰入額	629,303	1.2%	65,333	86,376	123,442	53,783	12,686	101,261	162,988	23,434			0
小計	11,262,363	22.3%	1,393,600	1,528,692	2,376,679	1,035,509	244,260	1,949,618	2,282,815	451,190			0
(1) 物件費	5,586,015	11.1%	493,816	1,595,522	726,566	1,363,624	194,048	143,640	1,038,900	29,899			0
(2) 維持補修費	663,820	1.3%	577,184	66,584	5,417	202	704	1,387	12,342	0			
(3) 減価償却費	4,268,181	8.5%	1,810,864	1,203,383	208,960	232,426	153,467	222,386	436,695	0			
小計	10,518,016	20.9%	2,881,864	2,865,489	940,943	1,596,252	348,219	367,413	1,487,937	29,899	0		0
(1) 社会保障給付	15,799,347	31.3%		162,757	15,636,590	0							
(2) 補助金等	4,790,354	9.5%	186,680	527,195	1,361,698	1,618,790	334,825	20,230	726,424	14,512			0
(3) 他会計等への支出額	6,516,405	12.9%	1,908,596	0	4,535,465	72,344	0	0	0	0			0
(4) 他団体への 公共資産整備補助金等	830,187	1.6%	133,710	0	608,094	4,464	56,980	0	26,939	0			0
小計	27,936,293	55.4%	2,228,986	689,952	22,141,847	1,695,598	391,805	20,230	753,363	14,512			0
(1) 支払利息	632,975	1.3%									632,975		
(2) 回収不能見込計上額	51,309	0.1%										51,309	
(3) その他行政コスト	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0			0
小計	684,284	1.4%	0	0	0	0	0	0	0	0	632,975	51,309	0
経常行政コスト a	50,400,956		6,504,450	5,084,133	25,459,469	4,327,359	984,284	2,337,261	4,524,115	495,601	632,975	51,309	0
(構成比率)			12.9%	10.1%	50.5%	8.6%	2.0%	4.6%	9.0%	1.0%	1.3%	0.1%	0.0%

【経常収益】

1 使用料・手数料 b	1,501,158		263,844	222,884	203,839	244,132	30,824	1,059	86,578	0	97,360		0	350,618
2 分担金・負担金・寄附金 c	960,311		0	8,796	782,978	6,139	0	0	93,137	0	0		0	69,261
経常収益合計 d	2,461,469		263,844	231,680	986,817	250,271	30,824	1,059	179,715	0	97,360		0	419,879
d/a	4.9%		4.1%	4.6%	3.9%	5.8%	3.1%	0.0%	4.0%	0.0%	15.4%		0.0%	
(差引) 純経常行政コスト e	47,939,487		6,240,606	4,852,453	24,472,652	4,077,088	953,460	2,336,202	4,344,400	495,601	535,595	51,309	0	△ 419,879

純資産変動計算書

〔 自 平成24年04月01日
至 平成25年03月31日 〕

(単位：千円)

	純資産合計	公共資産等整備 国県補助金等	公共資産等整備 一般財源等	その他 一般財源等	資産評価差額
期首純資産残高	148,652,264	30,018,093	144,162,791	△ 25,532,541	3,921
純経常行政コスト	△ 47,939,487			△ 47,939,487	
一般財源					
地方税	23,211,671			23,211,671	
地方交付税	6,652,874			6,652,874	
その他行政コスト充当財源	3,196,289			3,196,289	
補助金等受入	14,148,529	1,115,354		13,033,175	
臨時損益	△ 1,094,401			△ 1,094,401	
災害復旧事業費	△ 1,059,816			△ 1,059,816	
公共資産除売却損益	0			0	
投資損失	0			0	
損失補償等引当金繰入等	△ 34,585			△ 34,585	
科目振替					
公共資産整備への財源投入			1,838,676	△ 1,838,676	
公共資産処分による財源増		0	△ 33,451	33,451	0
貸付金・出資金等への財源投入			2,529,651	△ 2,529,651	
貸付金・出資金等の回収等による財源増		0	△ 2,769,586	2,769,586	0
減価償却による財源増		△ 726,156	△ 3,542,025	4,268,181	0
地方債償還に伴う財源振替			2,637,442	△ 2,637,442	
資産評価替えによる変動額	△ 30,191				△ 30,191
無償受贈資産受入	0				0
その他	0		17,759	△ 17,759	
期末純資産残高	146,797,548	30,407,291	144,841,257	△ 28,424,730	△ 26,270

資金収支計算書

〔 自 平成24年 4月 1日
至 平成25年 3月31日 〕

(単位：千円)

1 経常的収支の部	
人件費	11,421,699
物件費	5,586,015
社会保障給付	15,799,347
補助金等	4,789,312
支払利息	632,975
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	4,634,180
その他支出	1,723,636
支 出 合 計	44,587,164
地方税	23,318,921
地方交付税	6,652,874
国県補助金等	12,550,671
使用料・手数料	1,501,423
分担金・負担金・寄附金	944,868
諸収入	2,796,290
地方債発行額	4,478,900
基金取崩額	769,864
その他収入	301,780
収 入 合 計	53,315,591
経常的収支額	8,728,427

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	4,441,630
公共資産整備補助金等支出	830,187
他会計等への建設費充当財源繰出支出	226,902
支 出 合 計	5,498,719
国県補助金等	1,596,667
地方債発行額	1,566,400
基金取崩額	331,164
その他収入	11,266
収 入 合 計	3,505,497
公共資産整備収支額	△ 1,993,222

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	0
貸付金	2,417,215
基金積立額	116,591
定額運用基金への繰出支出	1,936
他会計等への公債費充当財源繰出支出	1,661,265
地方債償還額	4,536,068
長期未払金支払支出	0
支 出 合 計	8,733,075
国県補助金等	1,191
貸付金回収額	2,408,558
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	33,451
その他収入	0
収 入 合 計	2,443,200
投資・財務的収支額	△ 6,289,875

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	445,330
期首歳計現金残高	573,767
期末歳計現金残高	1,019,097

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
 ② 平成24年度における一時借入金の借入限度額は10,000,000千円です。
 ③ 支払利息のうち、一時借入金利子は40,129千円です。

※2 基礎的財政収支（プライマリーバランス）に関する情報

収入総額	59,264,288
地方債発行額	△ 6,045,300
財政調整基金等取崩額	△ 740,000
支出総額	△ 58,818,958
地方債償還額	5,128,914
財政調整基金等積立額	33,023
基礎的財政収支	<u>△ 1,178,033</u>

部門別決算成果概要

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	01 国際化・広域交流活動の推進

所管部局
市長公室


事務事業名	国際交流促進事業	所管課	秘書課
		決算額	6,201千円
事業内容	友好都市盟約の趣旨に則り、両市の友好交流を促進する。		
成果・実績	<p>カムループス市への公式訪問団、中学生訪問団、及びトンプソン・リバーズ大学への市民留学生の派遣などにより、友好都市との交流を深めた。</p> <p>カムループス市交流促進費 6,201千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治市公式訪問団の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 行政訪問団員4人 6月29日～7月5日 市民訪問団員に随行の行政訪問団員1人 6月29日～7月7日 ・ 中学生訪問団の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 中学生11人及び引率者2人 7月30日～8月6日 ・ トンプソン・リバーズ大学市民留学生の派遣 2人 		
事業評価	<p>公式訪問団や中学生の派遣などによって、市民間の国際交流を促進し、友好を深めることができた。今後は、より多くの分野での市民間交流が発展していくよう、交流手法とその支援のあり方について検討する。</p>		



平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実



所管部局
市長公室

事務事業名	市長を囲んで「宇治茶でミーティング」事業費	所管課	秘書課								
		決算額	6千円								
事業内容	<p>将来を担う若い世代の政治への関心度が低いといわれる中、市政への関心や参加意識の向上を図るために、若い世代が積極的に市政に参加する風土を創造する。また、市長が直接若い世代の意見を聞き、それを市政に反映することが可能となる。</p>										
成果・実績	<p>市長を囲んで「宇治茶でミーティング」（第17回）を開催した。「中学生の主張」大会に参加した中学生が集まり、日ごろの学校生活や家庭・地域の中で感じたことや学んだことを中心に、市長と意見交換をした。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">テーマ</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">第17回</td> <td style="text-align: center;">平成25年3月26日</td> <td style="text-align: center;">中学生の私たちが今伝えたいこと</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </tbody> </table>				開催日	テーマ	参加人数	第17回	平成25年3月26日	中学生の私たちが今伝えたいこと	10
	開催日	テーマ	参加人数								
第17回	平成25年3月26日	中学生の私たちが今伝えたいこと	10								
事業評価	<p>意見交換会の開催によって、若い世代の市政参加意識を高めることができた。今後は「市民と市長の対話ミーティング」により、地域力の向上やさらなる市民参画・協働を進めるため、地域活動、市民参画・協働を積極的に行っている団体等との意見交換へと事業展開を図る。</p>										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	05 効果的な組織機構の確立と職員の人材育成

所管部局
市長公室

事務事業名	職員研修費	所管課	人事課
		決算額	7,878千円
事業内容	<p>宇治市職員の研修に関する規程に基づき、職務の遂行に必要な知識、技能の向上を図るとともに、職員としての資質と教養を高めるため、職員研修を実施する。</p> <p>団塊の世代から受け継いだノウハウを発展的に活用するため、「第2次宇治市人材育成実施計画」に基づく研修を実施し、職員の育成に努めた。</p> <p>主な研修</p> <p>監督者研修...係長級職員を対象に監督者に求められるマネジメント能力の向上を目指し、その役割を認識させるとともに意識改革を図った。</p> <p>新任監督者研修...監督者の役割を把握し、マネジメントの要素とリーダーシップの要素の両面を実践で活用できる資質の向上を図った。</p> <p>新任管理職研修...職場の労務管理や服務、また地方公務員に必要な労働基準法について研修を行い、管理職としての資質の向上を図った。</p> <p>宇治市の目指す職員像</p> <p>(1)市政の基本理念をよく理解し、市民の立場に立って考え、親切・公正かつ迅速に行動できる倫理観の強い職員</p> <p>(2)高い見識と専門能力を持ち、総合的に考えることのできる職員</p> <p>(3)常に問題意識を持って、創意工夫と改善に努める職員</p> <p>(4)行政環境の変化に的確に対応し、時代を先取りできる創造力豊かな職員</p> <p>(5)自分自身の成長目標を持ち、自己啓発に努める向上心の強い職員</p> <p>「第2次宇治市人材育成実施計画」</p> <p>人材育成の重点目標 ~ ノウハウの継承・実践から、発展的活用に向けて ~</p> <p>(1)ベテラン職員から引き継いでいる知恵や知識を、実践し、活用・発展させる</p> <p>(2)新規採用・初級・中級といった各階層職員の実務能力向上を図る</p> <p>(3)管理監督者の管理能力向上を速やかに図る</p> <p>基本研修</p> <p>新規採用職員研修、初級職員研修、中級職員研修、監督者研修、管理職研修など</p> <p>特別研修</p> <p>人権研修、個人情報保護研修、安全運転研修、OA研修、法務研修、選択研修など</p> <p>派遣研修</p> <p>京都府市町村振興協会、市町村職員中央研修所、自治大学校など</p>		
成果・実績	<p> 監督者研修 (11月26・27日)</p> <p> 中級職員研修 (平成25年2月12・13日)</p>		
事業評価	<p>各種研修の実施によって、職務の遂行に必要な知識、技能の向上等を図った。今後も、階層別職員の実務能力の向上や管理監督者の管理能力の向上のための研修などにより計画的な人材育成に取り組むとともに、研修効果について検証していく。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	職員健康管理費	所管課	職員厚生課
		決算額	19,387千円
事業内容	職員の健康管理、疾病予防のための各種健診業務及びメンタルヘルス対策を講じるための相談業務等を実施する。		
成果・実績	<p>定期健康診断等（文書報告含む）の受診率は99.6%であり、生活習慣改善教室や産業医による個別指導等の事業を実施し、職員の意識向上に努めた。</p> <p>メンタルヘルス対策については、平成18年に策定した「宇治市職員のメンタルヘルスケアプラン」に基づき予防から再発防止までのメンタルヘルス対策の推進を図った。</p> <p>安全衛生法の改正に伴い、月45時間以上の超過勤務者（延べ699人）に対し健康調査を実施し、健康状態の把握に努めるとともに、特に月80時間超（延べ58人）及び月100時間超（延べ65人）の超過勤務者を含む143人に対して産業医による面接指導を実施し、メンタルヘルス不調や疾病予防に努めた。</p> <p>職員健康管理医師報酬 1,440千円 安全衛生委員会の運営等（産業医・安全・衛生管理業務、安全衛生小委員会の開催）、長時間超過勤務者の面談</p> <p>心の相談等医師謝礼（メンタルヘルス対策） 505千円 相談事業の実施、メンタルヘルス研修会、メンタルヘルス対策の推進</p> <p>職員（嘱託含む）健診手数料 11,125千円 定期健康診断、B型肝炎血液検査・ワクチン接種、深夜業務健康診断等</p> <p>委託料 5,817千円 二次健診、生活習慣改善教室・個別指導、頸腕・腰痛健康診断、VDT作業従事者健康診断、各種健診の有所見者事業、卒煙セミナー等禁煙指導</p>		
事業評価	労働安全衛生法に基づき、事業者として本市職員の定期健康診断をはじめ、各種健診等を実施し、健康状態の把握と増進を図ることができた。今後も心身の両面にわたり、職員の健康保持増進に努める必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	02 情報公開の充実	

事務事業名	情報公開審査会委員報酬 5人分	所管課	広報課
		決算額	228千円
事業内容	情報公開制度の適正かつ公平な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市情報公開審査会（学識経験者5人）を設置し、審査にあたる。		
成果・実績	公文書非公開決定に係る不服申立てが1件あり、不服申立て事案の審議等のため、情報公開審査会を3回開催した。		
事業評価	審査会を開催し、情報公開制度の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な委員会運営に努める。		

事務事業名	情報公開事務費	所管課	広報課												
		決算額	52千円												
事業内容	市政への積極的な参加と公正な市政を推進するため、宇治市情報公開条例に沿って、市が保有する公文書の閲覧または写しの交付を請求することができる市民の知る権利を具体的に保障する。														
成果・実績	<p>市が保有する情報を公開することにより、市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正な市政を推進した。</p> <p style="text-align: right;">公文書公開請求 192件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(件)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">全部公開</td> <td style="text-align: center;">57</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">部分公開</td> <td style="text-align: center;">129</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">非公開 (うち不存在)</td> <td style="text-align: center;">3 (0)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取下</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不服申立て</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table> <p>市出資法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対する文書公開申出 0件</p>			(件)		全部公開	57	部分公開	129	非公開 (うち不存在)	3 (0)	取下	3	不服申立て	1
(件)															
全部公開	57														
部分公開	129														
非公開 (うち不存在)	3 (0)														
取下	3														
不服申立て	1														
事業評価	情報公開請求に応じ公開等の決定を行い、公文書の閲覧、写しの交付など、適正な事務執行によって公正な市政を推進することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。														

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	個人情報保護審議会委員報酬 8人分	所管課	広報課
		決算額	186千円
事業内容	個人情報を保護しその公正な運用を図るため、市長の附属機関として宇治市個人情報保護審議会（学識経験者5人、市民代表3人）を設置し、審議を行う。		
成果・実績	個人情報開示請求等に係る不服申立てはなかった。平成23年度の運用状況報告等のために宇治市個人情報保護審議会を2回開催した。		
事業評価	審議会を開催し、個人情報保護の公正な運用を図るとともに、委員報酬の支払い等適正に実施した。今後も円滑な委員会運営に努める。		

事務事業名	個人情報事務費	所管課	広報課								
		決算額	38千円								
事業内容	宇治市個人情報保護条例は、行政の保有する個人情報に対するアクセス権及びコントロール権を具体的に保障し、個人の権利利益の保護を図るものである。情報公開制度とあわせ、制度の円滑な運用を行うことにより、より充実した豊かな市民生活を実現する。										
成果・実績	<p>個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利・利益の保護を図った。</p> <p>これまでの個人情報流出事案については、人事異動や担当業務再編などに伴い、特に新年度当初の4月及び5月に発生する傾向がみられることから、年度当初に職員が個人情報保護についての正しい認識と、緊張感を持って個人情報の取扱いを行うよう徹底を図った。平成24年度においては、個人情報の厳正な取扱いについて、4回にわたり徹底を図るとともに、職員向けの個人情報保護研修を11回開催するなど、個人情報保護に向けた取組を行った。</p> <p>自己情報の開示請求 19件</p> <p style="text-align: center;">(件)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">全部開示</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">部分開示</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不開示 (うち不存在)</td> <td style="text-align: center;">6 (6)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">不服申立て</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>市が出資する法人（宇治市土地開発公社など8法人）に対しての 自己情報の開示申出等 0件</p> <p>口頭での簡易な手続による開示請求(職員採用試験の結果のみが対象) 67件</p>			全部開示	7	部分開示	6	不開示 (うち不存在)	6 (6)	不服申立て	0
全部開示	7										
部分開示	6										
不開示 (うち不存在)	6 (6)										
不服申立て	0										
事業評価	個人情報の取扱い事務登録簿の整備、個人情報開示請求の受付、開示の決定・通知など、適切に実施し、市が管理する個人情報の保護施策について、適正に運用することができた。今後も制度の円滑な運用に努める。										

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市政だより発行費	所管課	広報課												
		決算額	25,380千円												
事業内容	市の行政に関することを市民に知らせるため、広報紙「市政だより」を月2回（1日・15日）発行する。														
成果・実績	<p>写真やイラストを活かし、見やすくわかりやすい市政情報の提供に取り組んだ。また有料広告の掲載を実施した。さらに、配布方法を、年間を通じてポスティング配布としたことにより、市政だよりの全戸配布体制が充実した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">年間発行部数</td> <td style="width: 30%;">1,956,000部</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>ポスティング配布部数</td> <td>1,905,301部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>郵送部数</td> <td>301部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の配布等</td> <td>50,398部</td> <td></td> </tr> </table>			年間発行部数	1,956,000部		ポスティング配布部数	1,905,301部		郵送部数	301部		その他の配布等	50,398部	
年間発行部数	1,956,000部														
ポスティング配布部数	1,905,301部														
郵送部数	301部														
その他の配布等	50,398部														
事業評価	紙面の充実と配布体制の見直しにより、市民への市政情報の提供の充実を図ることができた。今後も見やすくわかりやすい市政情報の発信に努めるとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。														

事務事業名	コミュニティ放送広報活動費	所管課	広報課
		決算額	23,525千円
事業内容	災害時において、有効な情報伝達媒体として活用することができるコミュニティ放送は市民に身近で手軽なメディアである。コミュニティ放送は常時の市政情報の発信と災害時に有効な情報伝達媒体であり、特質を十分活かして、地域の生活文化の発信基地として地域に密着した番組をきめ細かく提供する。		
成果・実績	エフエム宇治放送に月曜日から金曜日まで毎日30分間、市政情報を伝える番組を提供したほか、環境問題や男女共同参画などの啓発スポットを流した。京都府南部地域豪雨災害時には、災害時の情報伝達媒体としてその役割を果たした。		
事業評価	市内唯一のコミュニティ放送であるエフエム宇治放送によって、市民に広く市政情報の発信ができた。また、京都府南部地域豪雨災害時においてその役割を果たしたものの、災害発生時の初動段階における情報伝達に課題があったため、改めてこの点についてエフエム宇治放送と確認を行い、また今後も協議を行うこととした。引き続き、市民にとって有用な情報発信を行うとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	映像広報活動費	所管課	広報課
		決算額	3,179千円
事業内容	15分テレビ番組を制作（委託）して、行政の施策をはじめ市民生活、イベント、文化、体育などの行政情報を、映像でわかりやすく放映する。また、手話通訳を画面に取り入れ、聴覚障害者にとってもわかりやすい番組づくりとしている。		
成果・実績	テレビによる広報活動として、15分番組「さわやか宇治」を年2回、新春特別番組を1回、京都テレビで放送して市の情報発信に努めた。史跡宇治川太閤堤跡へのクローズアップと、定期演奏会に向け練習を重ねる宇治市少年少女合唱団の様子を放映し、本市ならではの情報発信を行うことや記録としての映像を残すことに努めた。		
事業評価	テレビを活用した広報活動により、市内外の多くの人に宣伝を図ることができた。今後も時宜に応じた番組づくりを行い、市の広報に努めるとともに、より効果的な情報発信手法の検討が必要である。		

事務事業名	広報活動費	所管課	広報課
		決算額	2,548千円
事業内容	広報活動の充実のために、報道機関に対する報道連絡、記者発表の開催、市ホームページの運用などを行う。		
成果・実績	宇治日刊記者クラブ（8社）と宇治日刊地方記者クラブ（2社）に対し、報道資料の提供や記者発表を行った。 また、ゆるキャラ制作の取組を開始し、デザイン画を募集した。		
事業評価	市ホームページ、報道機関への報道連絡などによる情報提供により市内外の多くの人に市政情報を発信し、市の宣伝を図ることができた。今後も、ゆるキャラの活用を行うなど広報活動の充実に努める。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	03 広報・広聴活動の充実

所管部局
市長公室

事務事業名	市民カレンダー等発行費	所管課	広報課
		決算額	4,500千円
事業内容	市民生活に関わりの深い情報や市政情報を提供するため、市民カレンダーを毎年発行する。		
成果・実績	市民カレンダーを86,000部発行し、ポスティングによる全戸配布を行った。市の行事予定のほか、災害時避難場所・給水場所マップ・福祉避難所、市内公共施設等マップ、資源ごみの分別収集方法、各種相談あんない、保健予防年間日程、主な市の施設・市内の官公署一覧を掲載し、情報発信に努めた。		
事業評価	市民への市政情報を提供することができた。今後も創意工夫をし、より市民の利便性を向上させる。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	市長公室
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	03 広報・広聴活動の充実	

事務事業名	広聴事務費	所管課	広報課
		決算額	434千円
事業内容	市民の行政に対する苦情や要望及び困り事などについての相談機関として、関係各課及び他の行政機関に事案の解決を図るべく依頼要請を行うなどして市民の生活環境の向上を図る。		
成果・実績	<p>市民相談</p> <p>行政に対する市民の理解と協力を求めるとともに、充実した市政を実現することを目指し、市民相談・行政懇談会等の内容を関係部課へ伝えて適切な措置を求め、市政に反映するよう努めた。あわせて、総務省主催の行政相談会への協力を行った。</p> <p>さらに、市役所、公民館、コミュニティセンターなどの公共施設29カ所に設置している「市民の声」投書箱により、より広い範囲から市政に対する意見、提言などを求めた。</p> <p>なお、市民相談では、近隣関係、相続、夫婦・親子、金銭貸借など市民の個々の悩みごと、心配ごとなど日常生活上での諸問題についても、専門的な相談機関を紹介する等の対応を行い、市政への親しみと信頼感の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民相談 1,572件 (市政相談1,178件、他の行政機関等39件、民事相談ほか355件) ・行政懇談会 9回 ・行政相談会 12回 (毎月第3木曜日) <p>市政モニター</p> <p>広く全市的視野に立った調査広聴として市政モニター制度を実施した。</p> <p>市政モニター149人(平成25年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政モニターアンケート(2回3テーマ実施) <ul style="list-style-type: none"> 第1回アンケート(回収率83.9%) <ul style="list-style-type: none"> 宇治市の広報に関するアンケート 第2回アンケート(回収率73.8%) <ul style="list-style-type: none"> 防災に関するアンケート 宇治市植物公園の利用に関するアンケート ・市政モニター公共施設見学会(2回実施) <ul style="list-style-type: none"> 市政について理解を深め、市政モニター活動の参考となるよう実施した。 第1回 7月13日 エコ・ポート長谷山、クリーン21長谷山 第2回 12月12日 宇治市浄水管理センター、宇治市東宇治浄化センター ・市政モニター随時通信 30テーマ ・市政モニターのつどい(5月30日) <ul style="list-style-type: none"> 「市政モニター制度について」、「宇治市第5次総合計画について」 		
事業評価	市民相談や市政モニターへのアンケート調査などを行い、市民ニーズの把握をするとともに市民の要望を市政に反映できた。今後も幅広く市民ニーズを把握できるよう広聴手法を充実させる。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室

事務事業名	防災対策推進事業費	所管課	危機管理課												
		決算額	23,966千円												
事業内容	<p>地域の防災力向上を図り、本市の防災対策を進めるため、市民参加の防災訓練を実施するとともに、町内会や自治会を中心とした自主防災組織の育成に向けて、自主防災組織が防災資機材を購入する場合の購入費を補助する。また、本市の備蓄品等の計画的な更新整備や医療品等の点検、交換を行う。</p>														
成果・実績	<p>防災や災害発生時の対応に関する知識を身につけ、いざという時には自治会等地域防災において中心的に活動できる人材を増やすことを目的として、平成25年3月16日、17日に防災リーダー養成講習会を実施した。（参加者47人） また、発電機・毛布・マンホールトイレ等の備蓄用資機材や、おむつ・生理用品等の要配慮者生活用品を新たに購入した。</p> <p> 防災リーダー養成講習会開催費 22千円 備蓄用食糧更新費 852千円 備蓄用資機材購入費 20,586千円 要配慮者生活用品購入費 980千円 自主防災活動事業補助金 1,018千円 </p> <p style="text-align: center;">活動補助金実績（過去3力年）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>補助金交付額 (千円)</th> <th>交付団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">581</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">1,645</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">1,018</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> </tbody> </table>			年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数	22	581	6	23	1,645	18	24	1,018	11
年度	補助金交付額 (千円)	交付団体数													
22	581	6													
23	1,645	18													
24	1,018	11													
事業評価	<p>地域の防災力向上を図ることができた。今後は京都府南部地域豪雨災害を踏まえ、災害発生時に重要となる関係機関との連携強化や地域の防災組織の育成を推進し、さらなる地域の防災力向上を目指すとともに、「宇治市地域防災計画」の見直しを行い、災害に強いまちづくりを目指す。</p>														



平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室他

事務事業名	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害関連経費	所管課	危機管理課他	
		決算額	1,522,209千円	
事業内容	平成24年8月13日・14日に発生した京都府南部地域豪雨災害において大きな被害が発生したため、被災者の生活再建等に取り組む。			
成果・実績	被災者の生活の早期回復を図るため、各種施策を実施した。			
	(千円)			
	事業	課名	事業概要	
	住宅応急修理	危機管理課	災害救助法で定めるもので、被災住宅の応急修理や障害物の撤去、炊出し等食品の給与など	
	その他、災害対応経費			28,379
	生活必需品の給付 他	地域福祉課		10,545
	住宅土砂の除去 他	住宅課		8,950
	被災者の救出	消防総務課		23,626
	学用品の給与	学校教育課		3,454
	災害見舞金支給費	危機管理課		195
	地域再建被災者住宅等支援			28,073
	集団食中毒事案損害賠償金等			199,725
	その他、災害対応経費			6,922
	災害援護資金貸付金 他	地域福祉課		8,046
	住宅土砂の除去費助成	住宅課		9,932
住家への崩土除去等	建設総務課	77,795		
排水設備清掃	下水道計画課	14,374		
浄化槽清掃及び機器修理	環境企画課	1,540		
災害ごみ収集処分等	ごみ減量推進課	1,623		
	維持課	54,577		
		22,946		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
市長公室他

事務事業名	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪雨災害関連経費	所管課	危機管理課他
		決算額	1,522,209千円

成果・実績	事業	課名	事業概要	事業費
		被災高齢者支援事業費	介護保険課	
	宇治市中小企業低利融資事業費	商工観光課	高齢者対策事業費等、被災されたことによる通常予算の追加分	1,696
	文化的景観保護推進事業費	歴史まちづくり推進課		8,169
	文化財指定推進費			1,800
	農業用施設災害復旧事業費	農林茶業課		24,995
	林業施設災害復旧事業費		196,762	
	鳥獣捕獲飼養対策費		512	
	河川等災害復旧事業費	道路建設課		181,819
		維持課		245,955
		雨水対策課		267,314
		管財課		1,995
	都市計画施設災害復旧事業費	公園緑地課	農業用施設や林道、道路、河川、都市公園、山林や小学校など、公共施設等における災害復旧への対応に要した費用	24,436
	文教施設災害復旧事業費	学校教育課		9,026
		生涯学習課		399
	公共施設等災害復旧事業費	文化自治振興課		10,634
		環境企画課		22,933
		消防総務課		1,157
	下水道施設災害復旧事業費他	下水道計画課		51,349
	市有墓地敷地保全費	環境企画課		8,061
	市有財産保全費	管財課		596
	旧炭山キャンプ場管理及び維持	生涯学習課		823
	総合野外活動センター運営費			499
	自転車等駐車場管理費他	交通政策課		101
	保育所維持修繕費他	保育課		358
	集会所維持管理費	文化自治振興課		2,105
	小学校施設整備費	学校教育課		集会所や学校施設の復旧のほか、学用品等の支給に要した費用
	中学校施設整備費		545	
	小学校就学援助費		145	
	中学校就学援助費		60	
	豪雨災害復旧関連事務経費	人事課	災害復旧への対応に要した費用	1,000
		IT推進課		404
	消防団出場費用弁償	消防総務課	888	

「 」は特別会計分。(決算額の合計に、特別会計分は含まない)
 なお、一般職給等人件費は含まない。

事業評価	各種災害復旧事業に取り組み、被災者生活の早期回復及び被災箇所の応急復旧等に努めた。応急復旧は完了したものの、本格復旧に至っていない箇所もあり、市民の利便回復のため、引き続き災害復旧計画に基づき事業実施する必要がある。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
政策経営部

事務事業名	各種統計調査費	所管課	政策推進課
		決算額	4,975千円
事業内容	統計法の規定に基づき、市が国の法定受託事務を行い、人口・経済・社会情勢等について実態を把握する。		
成果・実績	法定受託事務として下記の基幹統計を実施した。		
	名称 (所管)	調査期日 (周期・方法)	調査対象・目的等
	学校基本調査 (文部科学省)	5月1日 (毎年・ 全数調査)	幼稚園、小・中学校、専修学校などの生徒、教員などの人数及び施設など、学校に関する基礎資料を得る。
	工業統計調査 (経済産業省)	12月31日 (毎年)	製造業を営む事業所を対象として、生産活動の実態に関する基礎資料を得る。
	就業構造 基本調査 (総務省)	10月1日 (5年毎)	就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る。
	平成25年 住宅・土地 統計調査 単位区設定 (総務省)	2月1日 (5年毎)	平成25年住宅・土地統計調査の実施に先立ち、調査員が担当する調査区域を明確にし、結果精度の向上を目的とする。
	経済センサス - 活動調査 (総務省・ 経済産業省)	2月1日 (5年毎・ 全数調査)	全産業分野における事業所及び企業を対象として、経済活動の実態を明らかにするとともに、各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。
	経済センサス 調査区管理 (総務省)		必要に応じて調査区を修正することにより、調査実施上の支障が生じないようにし、また、最新の名簿を整備するため、追加された事業所などについて、調査区同定を行う。
	調査員確保対策事業(所管：総務省) 42千円 統計調査員の資質向上のため研修会を開催した。		
事業評価	各種統計調査を法定受託事務として適正に実施し、本市の人口・経済・社会情勢等の実態把握を各施策に活用することができた。今後も引き続き円滑な業務に取り組む。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	政策研究費	所管課	政策推進課				
		決算額	32千円				
事業内容	先進他都市の優れた制度を取り入れるとともに、本市の組織レベルの課題解決能力及び立案能力を高めるため、調査・研究等を行う。						
成果・実績	庁内で研究課題を募集し、申請のあった中から採択し、担当課において研究を行った。 採択事業一覧 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 80%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">担当課</th> <th>研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商工観光課</td> <td>商店街活性化へ向けた空き店舗活用支援事業の研究</td> </tr> </tbody> </table>			担当課	研究テーマ	商工観光課	商店街活性化へ向けた空き店舗活用支援事業の研究
担当課	研究テーマ						
商工観光課	商店街活性化へ向けた空き店舗活用支援事業の研究						
事業評価	行政課題の改善に取り組むとともに、職員の政策立案能力の向上に資することができた。今後は研究した政策が事業として実施できるよう進行管理に努めるとともに、幅広い行政分野で職員の積極的な研究活動を促進する必要がある。						

事務事業名	有料広告審査会運営費	所管課	政策推進課
		決算額	33千円
事業内容	本市の公共媒体等に掲載する広告内容が、行政の所管する媒体に掲載するにふさわしいか、第三者の視点で意見をもらうため外部有識者等による宇治市有料広告審査会を設置し、より専門的な見地で精査を行う。		
成果・実績	宇治市有料広告審査会を開催し、市が発行する市政だよりに掲載する広告や市ホームページに係るバナー広告の内容などについて精査した。 宇治市有料広告審査会開催数 1回		
事業評価	広報紙等に掲載する民間広告の内容について精査し、適切な広告とするとともに、広告掲載により歳入の増加につなげることができた。今後も本市の公共媒体等への民間広告掲載について適切な内容となるよう努めるとともに、歳入の増加に取り組む。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
政策経営部

事務事業名	第5次総合計画及び中期計画事務費	所管課	政策推進課
		決算額	288千円
事業内容	計画行政の推進を図るため、平成23年度を始期とする宇治市第5次総合計画に基づき各種施策の展開を図る。基本構想の実現のため、具体的施策となる中期計画（3・4・4年間）の見直し、政策評価、各担当部署・部門別計画のフォローアップなどを行う。		
成果・実績	「平成23年度歳入歳出決算にかかる主要な施策の成果説明書」印刷製本費 179千円		
事業評価	宇治市第5次総合計画の実現に向け、事業の進捗管理や各事業担当課との政策調整など、計画行政の推進を図ることができた。平成25年度は第2期中期計画の策定を行うため、全庁での連携を深め施策・事業の遂行に努める。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	行政改革進行管理委員会運営費	所管課	行政改革課
		決算額	112千円
事業内容	行政改革の適切な進行管理を図るため、委員会を設置し意見交換及び助言を行う。		
成果・実績	宇治市第5次行政改革実施計画(計画期間平成20～24年度)の進行管理を行うため、宇治市行政改革進行管理委員会を1回開催し、市民公募を含めた14名の委員から意見を聞き、実施計画の取組予定等に反映させた。		
事業評価	円滑な委員会の運営によって、委員からの様々な意見を本市の行政改革の取組に反映させることができた。		

事務事業名	職員提案制度費	所管課	行政改革課
		決算額	14千円
事業内容	職員の研究意欲及び市政への参加意欲を高めるとともに、行政需要の多様化・高度化に対応した市政の推進と事務事業の効率化を図ることを目的に、政策立案や事務改善に関する職員提案を募り、特に効果が期待できるものは褒賞する。		
成果・実績	<p>応募件数 20件 (うち政策提案17件、事務改善提案3件)</p> <p>努力賞 1件</p>		
事業評価	職員の積極的な政策立案と事務改善への姿勢を促進することができた。今後は、より施策や業務の改善につながる提案がなされるよう、特に若い世代の職員へ提案内容への助言及び支援を行う必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	行政改革審議会運営費	所管課	行政改革課
		決算額	557千円
事業内容	<p>社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現を推進するため、市長の附属機関として設置する宇治市行政改革審議会の運営を行う。市長の諮問に応じ、本市の行政改革大綱策定及び行政改革推進に必要な事項について調査及び審議を行い、市長に答申する。</p>		
成果・実績	<p>5月24日に設置され、市長より「宇治市第6次行政改革（計画期間平成25～29年度）に関する方策について」の諮問を受けた。宇治市行政改革審議会を開催し、市民公募を含めた12人の委員が意見を出し合い、精力的な検討を重ね、平成25年3月29日に答申を市長に提出した。</p> <p style="text-align: center;">審議会開催数 5回</p>		
事業評価	<p>審議会について円滑に運営を行い、平成25年度からの行政改革推進に向けた活発な討議によって答申を出すことができた。今後は計画の進行管理を図っていく。</p>		

事務事業名	指定管理者候補者選定委員会運営費	所管課	行政改革課
		決算額	53千円
事業内容	<p>市が執行する公の施設の指定管理者制度に係る候補者の選定及び適正な管理運営の履行の確保に関し必要な事項について、専門的な立場から意見交換を行う。</p>		
成果・実績	<p>近鉄大久保駅前駐車場の指定管理者の選定に関して、指定管理者候補者選定委員会を開催し、指定施設の管理運営について専門的知識を有する者を含む委員7人が意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">委員会開催数 1回</p>		
事業評価	<p>委員会の円滑な運営によって指定管理者選定のための意見交換を行った。今後も公共施設の適正管理のため、専門的な立場から意見交換を行う。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	02 行政改革の推進

所管部局
政策経営部

事務事業名	ふるさと応援寄付金（歳入）	所管課	行政改革課																					
		決算額	925千円																					
事業内容	居住地以外の自治体に寄付をすると住民税控除となるふるさと納税制度について、本市では「ふるさと宇治のまちづくりの応援のお願い」の取組として、平成20年10月から実施している。																							
成果・実績	<p>寄付者 18人</p> <p>寄付件数・金額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>29</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>金額（千円）</td> <td>2,575</td> <td>1,390</td> <td>920</td> <td>1,387</td> <td>925</td> <td>7,197</td> </tr> </tbody> </table>			年度	20	21	22	23	24	合計	件数	29	18	17	16	18	98	金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	925	7,197
年度	20	21	22	23	24	合計																		
件数	29	18	17	16	18	98																		
金額（千円）	2,575	1,390	920	1,387	925	7,197																		
事業評価	多くの方から寄付をいただき、市政運営に役立てることができた。今後も制度のさらなる広報を行い、多くの方から寄付いただけるよう努める。																							

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	01 安全・安心なまちづくり

所管部局
総務部

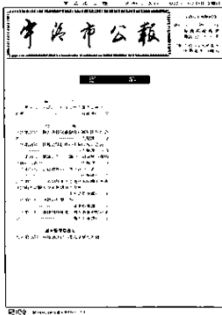
事務事業名	安全・安心まちづくり推進事業費	所管課	総務課
		決算額	1,046千円
事業内容	地域における犯罪の発生を未然に防止するため、宇治市安全・安心まちづくり条例に基づき、安全・安心なまちづくりの取組を展開する。		
成果・実績	<p>市民の防犯意識の啓発 276千円 年2回の「市民安全・安心推進旬間」では、7月に「防犯講演会」を、12月に宇治市教育委員会主催の「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」を開催した。</p> <p>安全・安心まちづくりへの助成 770千円 小学校区単位の防犯推進組織の活動を支援し、全22小学校区に助成金を交付した。</p>		
事業評価	各取組により安全・安心なまちづくりを促進できた。今後は、地域での自主的な安全・安心への取組について、防犯組織と行政の役割分担及び支援のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	犯罪被害者等支援事業費	所管課	総務課
		決算額	100千円
事業内容	犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、相談事業や他機関との連携など、被害者の状況に応じて適切な支援を行う。		
成果・実績	対象職員の研修を通して、適切な対応ができるような体制づくりを行った。また、傷害見舞金1件・100千円を支給した。		
事業評価	制度は一定定着してきており、支援体制を整えることができた。今後も適切な支援が行えるよう、職員研修や制度、他自治体の状況などの研究を行うとともに、市民理解を深める広報・啓発活動や、教育活動を積極的に進める必要がある。		

平成24年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	02 情報公開の充実

所管部局
総務部

事務事業名	公報発行費	所管課	総務課
		決算額	1,778千円
事業内容	市民へ適切に行政情報を公開し、市行政を円滑に運営するため、条例・規則・告示その他の事項を登載する公報の編集・発行・配布を行う。		
成果・実績	市公報を毎週1回（定例号48回・号外2回）発行し、条例・規則等の公布をはじめ、公示、公告等を行った。		
			
事業評価	適正に執行し、市民へ適切に行政情報を公開できた。今後も継続実施する。		

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	02 国際化の推進と平和への貢献
小分類	02 平和への貢献

所管部局
総務部

事務事業名	平和のつどい事業費	所管課	総務課
		決算額	4,811千円
事業内容	本市は核兵器廃絶平和都市宣言の自治体として、世界の恒久平和に向け、宇治市平和都市推進協議会を母体としながら啓発等の事業を行っており、毎年8月を中心に平和事業を実施する。		
成果・実績	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき宇治市平和都市推進協議会が実施する、小・中学生平和訪問団の沖縄への派遣をはじめ、「いつまでも語り継ぐ～戦争の悲惨さ～」と題した市民平和の集いや、市民平和祈念集会などの平和啓発事業に対して、補助金を交付した。 平和の集いでは、新たに原爆被災者によるてい談形式の講話を実施し、参加者が増加した。		
	平和都市推進協議会補助金	4,811千円	
事業評価	各取組によって平和への市民意識の醸成を図ることができた。今後も平和事業への参加者増加を図り、あらゆる機会を通して平和への啓発を行う。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
総務部

事務事業名	廃棄文書リサイクル事業費	所管課	総務課				
		決算額	254千円				
事業内容	個人情報保護及び資源の有効利用の観点から、庁内業務で使用した個人情報を含む廃棄文書をリサイクル施設で溶解し、紙への資源再生処理を行う。						
成果・実績	<p>機密文書をリサイクル施設で溶解し、文書の復元が不可能な状態にしてから、紙への再生処理を行った。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">廃棄文書リサイクル委託料</td> <td style="text-align: right;">254千円</td> </tr> <tr> <td>廃棄文書量</td> <td style="text-align: right;">44.28トン</td> </tr> </table>			廃棄文書リサイクル委託料	254千円	廃棄文書量	44.28トン
廃棄文書リサイクル委託料	254千円						
廃棄文書量	44.28トン						
事業評価	適正に実施し、個人情報保護とともに環境資源の有効活用を行うことができた。今後も用紙の再生利用を行うとともに、リサイクルだけでなく、紙の使用量を最小限にできるよう、庁内での意識啓発を図る。						

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	情報システム開発費	所管課	I T 推進課
		決算額	10,740千円
事業内容	多様化する市民ニーズへの対応や効率的な行政運営を推進するため、住民情報系システム、内部管理系システム、外部公開系システムなど、新規システムの開発や既存システムの再構築を行う。		
成果・実績	平成23年度から戸籍情報システムの開発及び構築を行い、平成25年2月9日より現在戸籍及び現在附票について、戸籍情報システムの稼働を開始した。 戸籍情報システム導入 10,740千円		
事業評価	戸籍情報システムについて予定通り稼働させることができた。平成25年度も個人情報情報を厳格に管理しながら構築・運用を行っていく。また今後も、システム化が必要な事務・事業についてはシステム開発を検討し、効率的、効果的な事業実施のため安定稼働に努める必要がある。		

事務事業名	情報システム運営費	所管課	I T 推進課																		
		決算額	248,366千円																		
事業内容	市民サービスの向上や迅速な事務処理、適切な情報管理のため、住民基本台帳システムや各種税システムをはじめとするサーバ機を利用した様々なシステムを稼働させ、幅広い情報処理を行っている。また、パソコンの利用促進により、システム化になじまない少量・多種・非定形の業務領域でのOA化を進め、より効率的な行政運用を図る。																				
成果・実績	稼働中の情報システムで使用する機器やソフトウェアなどの維持管理や、制度改正に伴う情報システムの変更作業を行った。情報システムの安定稼働を実現し、市民へのサービス提供を行った。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">住民基本台帳法改正対応</td> <td style="text-align: right;">18,564千円</td> </tr> <tr> <td>制度改正に伴うシステム改修</td> <td style="text-align: right;">34,088千円</td> </tr> <tr> <td>市町村基幹業務支援システム改修</td> <td style="text-align: right;">14,342千円</td> </tr> <tr> <td>健康管理システム更新</td> <td style="text-align: right;">6,500千円</td> </tr> <tr> <td>Windows7対応に伴うシステム改修</td> <td style="text-align: right;">22,028千円</td> </tr> <tr> <td>市町村基幹業務支援システムサーバ更新対応</td> <td style="text-align: right;">16,452千円</td> </tr> <tr> <td>住基ネットシステム戸籍電算化対応</td> <td style="text-align: right;">525千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">うち京都府南部地域豪雨災害対応分</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">設計積算システムインストール</td> <td style="text-align: right;">37千円</td> </tr> </table>			住民基本台帳法改正対応	18,564千円	制度改正に伴うシステム改修	34,088千円	市町村基幹業務支援システム改修	14,342千円	健康管理システム更新	6,500千円	Windows7対応に伴うシステム改修	22,028千円	市町村基幹業務支援システムサーバ更新対応	16,452千円	住基ネットシステム戸籍電算化対応	525千円	うち京都府南部地域豪雨災害対応分		設計積算システムインストール	37千円
住民基本台帳法改正対応	18,564千円																				
制度改正に伴うシステム改修	34,088千円																				
市町村基幹業務支援システム改修	14,342千円																				
健康管理システム更新	6,500千円																				
Windows7対応に伴うシステム改修	22,028千円																				
市町村基幹業務支援システムサーバ更新対応	16,452千円																				
住基ネットシステム戸籍電算化対応	525千円																				
うち京都府南部地域豪雨災害対応分																					
設計積算システムインストール	37千円																				
事業評価	法改正に対応したシステム改修等、各事業担当課の業務を円滑に進め、市民サービスを提供するための環境整備ができた。今後も様々な市民サービスを安定的に提供するため、適切に改修や更新を進めるが、管理するシステム数が増加しており、管理手法についても検討が必要である。																				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	04 行政情報化の推進

所管部局
総務部

事務事業名	マップコミュニケーション事業費	所管課	IT推進課
		決算額	8,941千円
事業内容	地図をベースとした業務の効率化・高度化及び地域情報の共有化を図り、多様化する市民ニーズへの対応や効率的な行政運営の推進と、システムデータを活用した地域コミュニティの形成を目指して、統合型地理情報システム（GIS）の保守・運用を行う。		
成果・実績	<p>京都府共同開発システムである地理情報システムの更新に伴い、職員が業務で利用している庁内の統合型GISの更新を行い、システムを継続して稼働できる環境を整えた。</p> <p style="text-align: center;">統合型GIS更新 6,949千円</p>		
事業評価	様々な庁内業務に活用しているシステムの更新を行い、継続して市民サービスにつながる環境整備を行うことができた。今後も適切に維持管理しながら安定した運用に努める。		

事務事業名	公共施設情報ネットワークシステム運営費	所管課	IT推進課
		決算額	67,109千円
事業内容	市公共施設の情報共有による市民サービスの提供と行政運営の効率化のため、公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行う。		
成果・実績	<p>公共施設情報ネットワークの安定的な運用を行った。 また、公共施設で利用しているインターネット電話（VoIP）機器の老朽化に伴い、機器の更新を行った。</p> <p>光ファイバー使用料 16,565千円 イントラネット管理委託 21,420千円 宇治市電話設備機器設定 4,726千円 宇治市電話設備一式使用料 1,001千円 うち京都府南部地域豪雨災害対応分 災害対応LAN配線業務 368千円</p>		
事業評価	庁外施設を含め円滑に業務を推進することができた。今後も、適切に維持管理しながら安定した運用に努める。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	総務部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	庁舎温室効果ガス削減対策事業費	所管課	管財課						
		決算額	41,274千円						
事業内容	宇治市地球温暖化対策実行計画に沿って10%の温室効果ガス削減を目指し、庁舎における排出量の削減を図るため、老朽化設備の改修等、省エネルギーの実現に向けた取組を行う。								
成果・実績	<p>温室効果ガスの削減に向け、老朽化した庁舎設備の改修及び空調効率改善のため、空気攪拌機器等の設置を実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">議会棟空調熱源更新等工事</td> <td style="text-align: right;">26,417千円</td> </tr> <tr> <td>議会棟議場及び庁舎2階空気環境改善工事 改修に伴うCO₂削減量 8.2t-CO₂ (理論値)</td> <td style="text-align: right;">13,662千円</td> </tr> <tr> <td>議会棟空気環境改善設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">999千円</td> </tr> </table>			議会棟空調熱源更新等工事	26,417千円	議会棟議場及び庁舎2階空気環境改善工事 改修に伴うCO ₂ 削減量 8.2t-CO ₂ (理論値)	13,662千円	議会棟空気環境改善設計業務委託	999千円
議会棟空調熱源更新等工事	26,417千円								
議会棟議場及び庁舎2階空気環境改善工事 改修に伴うCO ₂ 削減量 8.2t-CO ₂ (理論値)	13,662千円								
議会棟空気環境改善設計業務委託	999千円								
事業評価	議会棟の設備の改修等を実施し、庁舎からの温室効果ガス削減に取り組んでいる。宇治市地球温暖化対策実行計画の削減目標達成のため、これまでの取組に加え有効な対策の検討が引き続き必要である。								

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	総務部
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進	
小分類	03 行政サービスの充実	

事務事業名	市有林造林事業費	所管課	管財課		
		決算額	2,251千円		
事業内容	国土保全とともに森林の多面的機能や植林の材質を高めるため、池尾仙郷山等の市有林において、森林施業計画に基づき保育施業（下刈り、枝打ち、間伐など）を行うとともに、集約化実施計画に基づき間伐材出材を実施する。				
成果・実績	<p>森林施業計画に基づく保育事業を重点的に施業することとなるが、8月の京都府南部地域豪雨災害による影響があったため、森林施業計画の見直しを行い、宇治市森林組合に枝打ち2.00ha、間伐2.00haを委託実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐）</td> <td style="text-align: right;">1,855千円</td> </tr> </table>			市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐）	1,855千円
市有林造林事業委託料（枝打ち・間伐）	1,855千円				
事業評価	事業実施によって市有林の保全を図ることができた。森林保全は、中断すると再開が困難となるため継続が必要であるが、災害復興、山枯れなどへ対応するとともに、宇治市森林組合の後継者育成が課題であり、ボランティア活動や入山の環境整備などを検討する必要がある。また、森林資源の利用を促進するため、間伐材の搬出及び売却についても実施する。				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	04 計画的・効率的な行財政運営の確立

所管部局
総務部

事務事業名	京都地方税機構負担金	所管課	市民税課・納税課								
		決算額	127,445千円								
事業内容	納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を一層推進するため、京都府及び府内25市町村（京都市を除く）で組織する広域連合の京都地方税機構において、法人市民税課税事務の一部及び移管した滞納案件の整理を行った。										
成果・実績	<p>法人市民税課税事務及び滞納市税の徴収業務を統合的に行うことにより、納税者の利便性向上や業務の効率化を図るとともに、公平・公正な税業務を推進した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">京都地方税機構への移管額</td> <td style="text-align: right;">3,113,702千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">移管額のうち収入額</td> <td style="text-align: right;">1,222,797千円</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（市民税課）</td> <td style="text-align: right;">5,095千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">負担金（納税課）</td> <td style="text-align: right;">122,350千円</td> </tr> </table>			京都地方税機構への移管額	3,113,702千円	移管額のうち収入額	1,222,797千円	負担金（市民税課）	5,095千円	負担金（納税課）	122,350千円
京都地方税機構への移管額	3,113,702千円										
移管額のうち収入額	1,222,797千円										
負担金（市民税課）	5,095千円										
負担金（納税課）	122,350千円										
事業評価	負担金を適正に支出し、京都地方税機構と連携して、法人市民税課税事務及び滞納整理を行うことができた。京都地方税機構の効果として、滞納繰越分の徴収率は上昇傾向にあり、財政基盤を安定的に確保するため、今後も税機構と連携して効率的な徴収に努める。										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	地域社会貢献者表彰費	所管課	文化自治振興課
		決算額	103千円
事業内容	市制施行50周年を記念に創設した制度で、市民の主体的な活動を奨励するとともに、住民自治の精神に基づき、明るく住みよい心豊かな地域社会づくりを推進するため、自発的な善行や優れた活動によって、地域社会に対し特に顕著な貢献を行った者を表彰する。		
成果・実績	地域社会貢献者表彰式 平成25年3月1日 13回目となる平成24年度は、9件表彰した。 受賞者名 大嶋 洪道 氏 小林 晋 氏 小林 義雄 氏 齋藤 哲男 氏 辻 昌美 氏 平岡 己津夫 氏 福井 輝夫 氏 保野 昭雄 氏 松田 三良 氏		
事業評価	自発的な善行及び優れた活動を表彰し、地域活動の活性化や市民の意欲向上を図ることができた。被表彰者の選定については、広く推薦を促せるよう広報手法を検討し、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	町内会・自治会等活動推進検討委員会運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	402千円
事業内容	良好な町内会・自治会の形成と運営の活性化を促進する方策を検討するため、町内会・自治会等活動推進検討委員会を設置する。		
成果・実績	検討委員会におけるこれまでの議論を総括し、今後の課題や取組の方向性について提言を受けた。 開催状況 第3回開催日 5月28日 第4回開催日 12月17日 第5回開催日 平成25年3月11日 委員数 11人		
事業評価	検討委員会において、豊かで魅力ある地域社会の構築のために、町内会・自治会活動の活性化の方策を検討し、提言を受けた。今後は、提言に基づき、より具体的な方策を検討するため、宇治市地域コミュニティ推進検討委員会を新たに組織し、実態調査等を含めより多くの意見を取り入れる中で、地域コミュニティや協働のあり方を引き続き議論する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	ふれあいセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	19,396千円
事業内容	菟道、伊勢田、平盛のふれあいセンターの管理、運営を行う。地域のコミュニティ形成の場として子どもから高齢者まで、地域住民の交流や、趣味、娯楽、各種会合、講習会、スポーツといった活動に利用されており、貸館業務を主とした運営を行う。		
成果・実績	市民が気軽に利用できる施設として、子どもから高齢者まで幅広い層に親しまれている。菟道・伊勢田・平盛の3館で、サークル活動や各種会合等に年間59,326人の利用があった。		
事業評価	適切に管理運営を行い、地域住民のコミュニティ活動を促進することができた。施設の老朽化等の課題もあり、市民ニーズや利用状況を検証し、利用環境整備のあり方を検討する必要がある。		

事務事業名	コミュニティセンター運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	66,759千円
事業内容	平成18年度より地域住民で組織する地区コミュニティ推進協議会を指定管理者とし、住民自治の振興とコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターの管理運営を行う。市民相互の交流と地域活動の振興、市民文化の向上、福祉の増進に寄与するとともに、住民自治意識の高揚と地域活性化に貢献する。		
成果・実績	西小倉・東宇治・南宇治・榎島の4つのコミュニティセンターで合わせて13,946件、158,372人の利用があった。		
	西小倉コミュニティセンター運営費	14,486千円	
	東宇治コミュニティセンター運営費	18,313千円	
	南宇治コミュニティセンター運営費	19,394千円	
	榎島コミュニティセンター運営費	14,566千円	
事業評価	指定管理者によって適切に管理運営を行い、市民の地域活動の活性化を図ることができた。今後も環境整備の検討を行いながら、市民ニーズや利用状況の的確な把握に努めていく。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	01 住民自治の推進
小分類	01 地域コミュニティの育成

所管部局
市民環境部

事務事業名	集会所維持管理費	所管課	文化自治振興課
		決算額	41,707千円
事業内容	住民相互の連帯と福祉・文化の向上を図るため、地域コミュニティづくりの拠点となる集会所の維持管理を行う。		
成果・実績	<p>文化自治振興課が管理する集会所130カ所について、適切な管理運営を行うとともに、必要に応じて改修・修繕を実施し環境整備を行った。</p> <p>集会所再生プランに基づく、公立集会所の管理運営制度の変更について、当初は平成25年度からの実施を目指し、地域説明会などの取組を進めたが、地域の理解を十分に得られず、実施を見送った。</p> <p>うち京都府南部地域豪雨災害対応分 2,105千円</p>		
事業評価	集会所は地域住民の活動の場として有効に活用され、コミュニティの活性化を図ることができた。しかしながら、集会所再生プランについては、地域の理解を得られず、当初計画通り実施できなかったことから、集会所再生プランの実施に向けて、引き続き取り組むとともに、今後は町内会・自治会等活動推進検討委員会の提言等を踏まえ、地域コミュニティのあり方を検討する。		

事務事業名	民間集会所環境整備事業費補助金	所管課	文化自治振興課
		決算額	1,853千円
事業内容	町内会・自治会が自主的に管理運営する民間集会所の新築や修繕について補助を行う。		
成果・実績	民間集会所の環境整備として、5件に補助金を交付した。		
事業評価	地域住民の活動の場として有効に活用され、コミュニティの活性化を図ることができるよう支援を行うことができた。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	文化祭開催費	所管課	文化自治振興課																					
		決算額	1,574千円																					
事業内容	子ども手づくり文化祭は、児童・生徒の地域、学校を越えた交流、情操豊かな青少年の育成及び健全な児童文化活動を推進することを目的に行う。市民文化芸術祭は、市民が日頃の文化活動の成果を発表し、あわせて相互交流を行うことにより、文化意識の高揚と文化活動の推進を図る。																							
成果・実績	<p>子ども手づくり文化祭は、市立小中学校の協力のもと、展示、クラフト、お茶席を開催した。市民文化芸術祭は展示の部、舞台の部、お茶席、フリーマーケットを開催した。また、市民文化芸術祭から独立した参加事業（いけばな・音楽・写真・絵画）を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>子ども手づくり文化祭</td> <td>開催日</td> <td>9月22日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,200人</td> </tr> <tr> <td>市民文化芸術祭</td> <td>開催日</td> <td>11月3、4日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>参加者数</td> <td>約1,400人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約8,400人</td> </tr> <tr> <td>参加事業</td> <td>参加者数</td> <td>約950人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来場者数</td> <td>約2,800人</td> </tr> </table>			子ども手づくり文化祭	開催日	9月22日		来場者数	約2,200人	市民文化芸術祭	開催日	11月3、4日		参加者数	約1,400人		来場者数	約8,400人	参加事業	参加者数	約950人		来場者数	約2,800人
子ども手づくり文化祭	開催日	9月22日																						
	来場者数	約2,200人																						
市民文化芸術祭	開催日	11月3、4日																						
	参加者数	約1,400人																						
	来場者数	約8,400人																						
参加事業	参加者数	約950人																						
	来場者数	約2,800人																						
事業評価	文化祭の開催によって、地域や学校の枠を越え、市民相互の文化交流を促進し、文化活動の活性化を図ることができた。より文化意識を高めるため、効果的な実施手法を検討しながら平成25年度も継続実施する。																							

事務事業名	合唱団活動費	所管課	文化自治振興課
		決算額	3,449千円
事業内容	合唱団活動を通して、自主的で情操豊かな児童・生徒を育成することを目的とし、昭和54年8月に、国際児童年を記念して結成した。毎週土曜日の定期練習や定期演奏会の開催のほか、各種発表会や市の公式行事等に出演する。		
成果・実績	団員は市内在住の小学2年生から中学3年生までの約90人で、毎週土曜日午後の練習、夏季強化合宿、定期演奏会のほかに、市行事やコンサート出演など、年間10回を超える演奏を行った。また、8月5日に兵庫県伊丹市で開催された「こどもコーラス・フェスティバル」に出演し、世界で活躍している合唱関係者から高い評価を受けた。		
事業評価	合唱団活動を通して小・中学生の文化意識や協調性などを育てることができた。市内小・中学校の協力を得ながら団員確保に努め平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	源氏ろまん事業費	所管課	文化自治振興課
		決算額	24,305千円
事業内容	<p>ふるさと創生事業として創設した「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」及び両賞の贈呈式を中心としたイベントである「源氏ろまん」事業を実施し、文化の振興とともに「源氏物語のまち宇治」としての本市のイメージアップを図る。</p>		
成果・実績	<p>第22回紫式部文学賞・紫式部市民文化賞 11月11日に贈呈式と記念イベントを行った。記念イベントでは、女優の中野良子氏による朗読・講演等が行われ、1,000人の観客を魅了した。</p> <p>紫式部文学賞（全国から66作品の推薦） 岩橋 邦枝氏「評伝 野上彌生子 - 迷路を抜けて森へ」</p> <p>紫式部市民文化賞（62作品の応募・推薦） 桑原 秀樹氏「抹茶の研究」 譲原 萌子氏「オーパーツをつなぐ」</p> <p>選考委員特別賞 岩田 行平氏「墓誌で探る旧伊勢田村の戦争」</p> <p>宇治十帖スタンプラリー 宇治十帖の古跡をめぐる基本コースと、宇治上神社や平等院など史跡・寺社を巡る健脚コースの2コースを設定し、スタンプラリーを開催した。</p> <p>開催日数 5日(10月下旬～11月初旬) 踏破者数 17,638人</p> <p>宇治田楽まつり 平安時代に栄えた田楽を、現代風にアレンジし、10月20日に京都府立宇治公園中の島で盛大に開催した。</p> <p>出演者数 130人 観覧者数 約3,000人</p>		
事業評価	<p>各催しの開催によって、市民の文化活動の活性化や「源氏物語のまちづくり」を定着させることができた。平成25年度も継続実施し、幅広い分野において事業の効果が期待できるような実施方法等を検討していく。</p>		



平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	02 市民文化の創造
小分類	01 市民文化の創造・発展

所管部局
市民環境部

事務事業名	市民交流ロビーコンサート開催費	所管課	文化自治振興課
		決算額	440千円
事業内容	<p>昼休憩時間にミニコンサートを開催し、市庁舎を市民の気軽な音楽活動の発表の場にするにより、音楽文化の促進と市民相互の交流を図るとともに、市民にとって親しみやすい市役所にする。</p>		
成果・実績	<p>昼休み中の午後0時15分～45分に市役所1階市民交流ロビーを会場として開催し、毎回200～500人の観客を迎えた。</p> <p style="text-align: center;">開催回数 17回</p>		
事業評価	<p>市庁舎を有効に活用し、市民の文化活動や相互交流を促進することができた。今後も、多くの市民の期待に応え、継続実施していく。</p>		

事務事業名	文化センター管理運営費	所管課	文化自治振興課
		決算額	145,644千円
事業内容	<p>(公財)宇治市文化センターを指定管理者とし、文化センターの健全な管理・運営を行うとともに、自主事業の企画立案や、優れた文化、芸術公演を公開して、市民文化の振興を図る。また、市内団体やサークルなどが文化センターを使用する際の使用料の助成(補助)を行う。</p>		
成果・実績	<p>自主事業として、桂米朝一門会、ゴスペラーズコンサート、キエフバレエ公演、宇治シネマ劇場など、幅広い分野の事業に取り組み、24,212人が鑑賞した。</p> <p>また、市民の文化芸術活動の普及や振興を図るため、文化事業基金による市内文化団体等に対する文化会館使用料の助成を21件行った。</p>		
事業評価	<p>指定管理者によって文化会館を適正に管理運営し、様々な催し物の開催や、市民団体等への活動補助によって、市民の文化芸術活動の普及・振興を図ることができた。今後も多くの市民に親しまれる施設となるよう努めていく。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	行政サービスコーナー運営費	所管課	市民課														
		決算額	53,693千円														
事業内容	小倉・木幡など市内6カ所の行政サービスコーナーにおいて、住民票写し、戸籍全部事項証明書などの市民課の諸証明及び税関係の諸証明の発行業務等を行う。																
成果・実績	<p>諸証明及び税関係証明書の取扱い、他課業務の申請書等の受付を行った。</p> <p>市民課業務の年間取扱件数（公用請求を除く）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">名称</th> <th style="width: 40%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">13,168</td> </tr> <tr> <td>木幡行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">14,793</td> </tr> <tr> <td>南宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">9,539</td> </tr> <tr> <td>槇島行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">6,987</td> </tr> <tr> <td>東宇治行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">7,056</td> </tr> <tr> <td>開行政サービスコーナー</td> <td style="text-align: right;">4,940</td> </tr> </tbody> </table>			名称	件数	小倉行政サービスコーナー	13,168	木幡行政サービスコーナー	14,793	南宇治行政サービスコーナー	9,539	槇島行政サービスコーナー	6,987	東宇治行政サービスコーナー	7,056	開行政サービスコーナー	4,940
名称	件数																
小倉行政サービスコーナー	13,168																
木幡行政サービスコーナー	14,793																
南宇治行政サービスコーナー	9,539																
槇島行政サービスコーナー	6,987																
東宇治行政サービスコーナー	7,056																
開行政サービスコーナー	4,940																
事業評価	市内6カ所に開設しており、地域住民の利便性向上を図ることができた。今後も市民ニーズを踏まえて、サービスの充実に努める。																

事務事業名	受付証明等事務費	所管課	市民課																								
		決算額	4,293千円																								
事業内容	住民票写し・印鑑証明・戸籍全部事項証明書等の諸証明発行業務を行う。																										
成果・実績	<p>住民票等諸証明発行数（行政サービスコーナー取扱分を含む）</p> <p style="text-align: center;">（通）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>印鑑登録証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">69,007</td> </tr> <tr> <td>住民票写し交付数</td> <td style="text-align: right;">77,032</td> </tr> <tr> <td>戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">17,261</td> </tr> <tr> <td>戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">5,839</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍全部事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">3,708</td> </tr> <tr> <td>除かれた戸籍個人事項証明書等交付数</td> <td style="text-align: right;">94</td> </tr> <tr> <td>戸籍附票交付数</td> <td style="text-align: right;">2,233</td> </tr> <tr> <td>閲覧件数</td> <td style="text-align: right;">14件</td> </tr> <tr> <td>諸証明交付数</td> <td style="text-align: right;">7,551</td> </tr> <tr> <td>外国人登録原票記載事項証明書交付数</td> <td style="text-align: right;">703</td> </tr> <tr> <td>印鑑登録証交付数</td> <td style="text-align: right;">6,210</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳カード交付数</td> <td style="text-align: right;">858</td> </tr> </tbody> </table> <p>公的個人認証サービスの申請は429件（うち2件無料）</p>			印鑑登録証明書交付数	69,007	住民票写し交付数	77,032	戸籍全部事項証明書等交付数	17,261	戸籍個人事項証明書等交付数	5,839	除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	3,708	除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	94	戸籍附票交付数	2,233	閲覧件数	14件	諸証明交付数	7,551	外国人登録原票記載事項証明書交付数	703	印鑑登録証交付数	6,210	住民基本台帳カード交付数	858
印鑑登録証明書交付数	69,007																										
住民票写し交付数	77,032																										
戸籍全部事項証明書等交付数	17,261																										
戸籍個人事項証明書等交付数	5,839																										
除かれた戸籍全部事項証明書等交付数	3,708																										
除かれた戸籍個人事項証明書等交付数	94																										
戸籍附票交付数	2,233																										
閲覧件数	14件																										
諸証明交付数	7,551																										
外国人登録原票記載事項証明書交付数	703																										
印鑑登録証交付数	6,210																										
住民基本台帳カード交付数	858																										
事業評価	各種証明書の発行等について適正に事務を執行した。今後は市民ニーズを踏まえて、さらなるサービスの充実に検討する必要がある。																										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	03 農林漁業・茶業の振興	
小分類	01 農業の振興	

事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業費	所管課	農林茶業課																
		決算額	345千円																
事業内容	農村環境の保全と質的向上を図るため、水路の維持管理等、非農家を含む地域全体で取り組む共同活動を支援する。																		
成果・実績	<p>榎島地区環境保全組合の共同活動に対して助成を行い、水路・側溝の泥上げ、路肩・法面の草刈り、破損施設の改修などを通じて、地域における環境意識の向上と農業環境の保全を進めた。</p> <p style="text-align: center;">共同活動参加者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>513</td> <td>841</td> <td>842</td> <td>864</td> <td>816</td> </tr> </tbody> </table>							年度	20	21	22	23	24	人数	513	841	842	864	816
年度	20	21	22	23	24														
人数	513	841	842	864	816														
事業評価	国の制度を活用し、農家だけでなく地域全体で、水路の維持管理や水質改善、植栽などの活動が行われており、農業環境向上への意識を高めることができた。今後の農業のあり方を考える上で一つのモデルケースとして捉えており、平成25年度も継続実施する。																		

事務事業名	宇治のこだわり農業支援事業費	所管課	農林茶業課				
		決算額	1,233千円				
事業内容	農業者戸別所得補償制度の目的を踏まえ、本市独自の地域特産物を振興するため、指定する転作奨励作物について助成を行う。						
成果・実績	<p>国が行う農業者戸別所得補償制度の各事業を補完するとともに、本市独自の転作奨励作物の助成を行い、地域特産物の生産を振興した。</p> <p style="text-align: center;">奨励作物 ブロッコリー、水菜、ナス、ねぎ、キャベツ、ほうれん草、 伏見とうがらし、花き、花壇苗</p> <p style="text-align: center;">生産調整目標面積 73.8 ha 生産調整実施面積 90.8 ha 達成率 123.0 %</p>						
事業評価	本市の実情にあった転作奨励作物を助成することで、水田を活用した地域特産物の振興と円滑な米の生産調整を促進できた。今後も、国制度の動向を見定めながら事業の継続を検討する。						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	農道・ため池・農業用施設維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	7,713千円
事業内容	農業基盤の保全整備を図るため、本市が所有または管理する農道やため池、農業用水路の維持管理等を行う。		
成果・実績	農業用水路の草刈りや浚渫をはじめ、農業用施設の維持管理に努めた。		
事業評価	農業用施設について適切に維持管理を行い、農業生産に供することができた。今後も継続して適切な管理に努める。		

事務事業名	巨椋池地域排水対策協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	7,522千円
事業内容	巨椋池土地改良区管理水路への都市排水流入による維持管理費用の負担について、本市、京都市、久御山町及び巨椋池土地改良区で平成3年6月に設立した巨椋池地域排水対策協議会において、負担割合を定め共同で管理を行う。		
成果・実績	巨椋池地域排水対策協議会への負担を通して、排水路の維持管理を行い、排水機能の保全を図った。 巨椋池地域排水対策協議会管理水路 排水幹線、承水溝3号、主排4号、主排5号、主排8号		
事業評価	巨椋池土地改良区の管理水路のうち、都市排水が多く流入している水路について、関係市町と巨椋池土地改良区で巨椋池地域排水対策協議会を組織し、共同で維持管理を適正に行った。将来的な維持管理のあり方については引き続き検討する必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	巨椋池農地基盤整備事業費	所管課	農林茶業課
		決算額	27,805千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された排水機場の機能を高めるための巨椋池農地基盤整備事業に要する費用を負担する。本市、京都市、久御山町、巨椋池土地改良区で推進協議会を組織し、事業の早期完成を目指す。		
成果・実績	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場に接続する排水関連施設の整備が、府営事業として実施され、防災機能の強化が進んだ。		
事業評価	国営で整備された排水機場の機能を高めるための府営事業に対する負担金であり、適正に執行できた。今後も京都府等と連携して、事業の推進に努める。		

事務事業名	巨椋池排水機場管理協議会負担金	所管課	農林茶業課
		決算額	25,685千円
事業内容	国営総合農地防災事業で整備された巨椋池排水機場を管理するため、本市、京都市、久御山町で管理協議会を組織し、排水機場の管理を行う。		
成果・実績	巨椋池排水機場管理協議会への負担を通して、排水機場の適切な管理及び運転を行い、水害の防止に寄与した。		
事業評価	巨椋池の排水機場を管理するための法定協議会に対する負担金であり、適正に執行できた。災害防止のため、今後も関係者と連携し、排水機場の適切な管理に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	茶・茶園品評会出品奨励費	所管課	農林茶業課																																
		決算額	4,920千円																																
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、生産者の高い意欲と品評会での上位入賞、評価結果に基づく絶え間ない生産技術の改善と品質向上が不可欠であることから、品評会への出品を奨励するとともに、成績優秀者には報奨金等を交付する。																																		
成果・実績	<p>全国茶品評会、関西茶品評会など各種品評会への出品を奨励し、出品奨励金や入賞報奨金などを交付した。平成24年度より新たに宇治市茶品評会の入賞者に対して入賞報奨金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">第66回全国 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第65回関西 茶品評会</th> <th style="text-align: center;">第45回宇治市 茶品評会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">出品数</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">優等数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1等賞</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2等賞</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3等賞</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農林水産大臣賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">産地賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">受賞</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>				第66回全国 茶品評会	第65回関西 茶品評会	第45回宇治市 茶品評会	出品数	36	34	45	優等数	—	—	2	1等賞	3	2	2	2等賞	4	3	5	3等賞	8	6	4	農林水産大臣賞	受賞	受賞	—	産地賞	受賞	受賞	—
	第66回全国 茶品評会	第65回関西 茶品評会	第45回宇治市 茶品評会																																
出品数	36	34	45																																
優等数	—	—	2																																
1等賞	3	2	2																																
2等賞	4	3	5																																
3等賞	8	6	4																																
農林水産大臣賞	受賞	受賞	—																																
産地賞	受賞	受賞	—																																
事業評価	品評会への出品を奨励することで、生産者の生産意欲を高めるとともにブランド力の向上につながった。また、平成24年度より宇治市茶品評会にかかる入賞者報奨金を創設したことにより、年々減少傾向にあった宇治市茶品評会への出品数が増加に転じた。今後も宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成25年度も引き続き支援を行う。																																		

事務事業名	優良茶園振興事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	168千円
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるためには、優良茶園の整備が不可欠であり、新植及び改植事業への支援を通じ、品質及び生産力の向上を図る。		
成果・実績	改植事業20.0aに補助金を交付し、優良茶園の拡大を図った。		
事業評価	改植事業に助成を行い、宇治茶の生産振興を図ることができた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成25年度も引き続き支援を行う。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	02 茶業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	高品質茶推進事業補助金	所管課	農林茶業課																												
		決算額	3,022千円																												
事業内容	市内産宇治茶の名声を維持し、さらに高めるために、品質の改善や生産性の向上につながる農家の幅広い対策を支援する。																														
成果・実績	<p>環境にやさしい茶づくりや寒冷紗等による茶園管理の省力化等の支援を行うとともに、ほんず茶園や手摘みによる高品質茶の生産には欠かせない市内産宇治茶の伝統の継承を図る農家の取組にも支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">事業実施件数</th> <th style="text-align: center;">面積(a)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境にやさしい茶生産対策</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">358.0</td> </tr> <tr> <td>手摘み茶推進対策</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>凍霜害対策</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>伝統技術継承対策</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">352.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">生産省力化対策</td> <td>寒冷紗二重式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">16.0</td> </tr> <tr> <td>永久棚直付式</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">16.5</td> </tr> <tr> <td>点滴灌水</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">36.0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">779.4</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施件数	面積(a)	環境にやさしい茶生産対策	5	358.0	手摘み茶推進対策	34	-	凍霜害対策	0	-	伝統技術継承対策	21	352.9	生産省力化対策	寒冷紗二重式	1	16.0	永久棚直付式	2	16.5	点滴灌水	3	36.0	合計	66	779.4
	事業実施件数	面積(a)																													
環境にやさしい茶生産対策	5	358.0																													
手摘み茶推進対策	34	-																													
凍霜害対策	0	-																													
伝統技術継承対策	21	352.9																													
生産省力化対策	寒冷紗二重式	1	16.0																												
	永久棚直付式	2	16.5																												
	点滴灌水	3	36.0																												
合計	66	779.4																													
事業評価	「ほんず」や手摘み支援などにより、より高品質な宇治茶の生産を促進できた。宇治茶、とりわけ市内産の名声を維持し、さらに高めるためには、質の高い宇治茶の生産に努める必要があり、平成25年度も引き続き支援を行う。																														

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	天ヶ瀬森林公園整備費	所管課	農林茶業課
		決算額	1,393千円
事業内容	天ヶ瀬森林公園が、市民にとって安全で快適な施設となるよう、日常の維持管理や施設整備を行う。		
成果・実績	サクラの道の整備、倒木処理のほか、トイレや園内の清掃等を行い、市民の利用に供した。京都府南部地域豪雨災害において天ヶ瀬森林公園は甚大な被害を受け、現在休園している。		
事業評価	豊かな自然と触れ合うことができる貴重な場所であり、多くの市民に親しまれている。京都府南部地域豪雨災害により利用できない箇所があるため、早期に安全に利用できるよう、復旧に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	森林病虫害防除費	所管課	農林茶業課										
		決算額	1,499千円										
事業内容	従来の松くい虫対策に加え、平成22年度より実施している市有林を対象としたカシノナガキクイムシの対策で薬剤による予防・保護を行うとともに、被害木の伐倒処理を行い被害の蔓延を防止する。森林病虫害及び松くい虫防除交付金の交付を受けて実施している。												
成果・実績	森林組合に委託して事業を実施した。												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">工種</th> <th style="width: 40%;">事業量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫(樹幹注入)</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>松くい虫(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> <tr> <td>カシノナガキクイムシ(コーティング)</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </tbody> </table>			工種	事業量(m ³)	松くい虫(樹幹注入)	14	松くい虫(伐倒駆除)	8	カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	30	カシノナガキクイムシ(コーティング)	25
工種	事業量(m ³)												
松くい虫(樹幹注入)	14												
松くい虫(伐倒駆除)	8												
カシノナガキクイムシ(伐倒駆除)	30												
カシノナガキクイムシ(コーティング)	25												
事業評価	薬剤散布及び伐倒駆除を行い、病虫害被害の蔓延を防止を図ることができた。カシノナガキクイムシについては、被害の状況により迅速な対応が必要となるため、状況を注視しながら平成25年度も継続実施する。												

事務事業名	鳥獣捕獲飼養対策費	所管課	農林茶業課																									
		決算額	36,859千円																									
事業内容	農林業生産物に被害を与える鳥獣の駆除を宇治猟友会に委託するとともに、防護柵の設置を行い鳥獣の侵入を防止する。																											
成果・実績	シカやイノシシなどによる農林業生産物への被害を防止するため、東部山間地を中心に、宇治猟友会に委託して有害鳥獣を捕獲した。また、地元山間集落の協力のもと集落周辺に防護柵を設置した。																											
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">捕獲数</td> <td style="width: 15%;">オスジカ</td> <td style="width: 15%;">17頭</td> <td style="width: 15%;">防護柵(金網)</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>メスジカ</td> <td>31頭</td> <td>H=2.0m</td> <td>L=16,355m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イノシシ</td> <td>9頭</td> <td>H=1.5m</td> <td>L= 910m</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>防護柵(ネット)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H=2.0m</td> <td>L= 440m</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">うち京都府南部地域豪雨災害対応分 防護柵設置費 512千円</p>			捕獲数	オスジカ	17頭	防護柵(金網)			メスジカ	31頭	H=2.0m	L=16,355m		イノシシ	9頭	H=1.5m	L= 910m				防護柵(ネット)					H=2.0m	L= 440m
捕獲数	オスジカ	17頭	防護柵(金網)																									
	メスジカ	31頭	H=2.0m	L=16,355m																								
	イノシシ	9頭	H=1.5m	L= 910m																								
			防護柵(ネット)																									
			H=2.0m	L= 440m																								
事業評価	有害鳥獣の駆除等により農作物への被害防止に努めているが、決定的な対策がないのが実情である。平成25年度も継続して取組を続けるとともに、地域と連携してより効果的な対策を検討する必要がある。																											

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	03 林業・漁業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	林道維持管理費	所管課	農林茶業課
		決算額	7,384千円
事業内容	林道における通行の安全を確保するため、日常の維持管理を行うとともに、災害等にも適切に対応する。		
成果・実績	林道は、山間部における生活道路としての機能を有するため、不法投棄された廃棄物の撤去や路肩草刈り、側溝清掃、法面補修などの日常の維持管理に努めるとともに、落石防止柵設置など、安全対策を実施した。		
事業評価	本市が所有または管理する林道については適切に維持管理を行い、通行の安全の確保に努めた。市民の利用頻度や防災上の観点なども考慮しながら、京都府南部地域豪雨災害による被害の復旧に努める。		

事務事業名	河川種苗放流事業補助金	所管課	農林茶業課
		決算額	1,172千円
事業内容	稚魚の放流による水産資源の増殖を通して、快適な水辺空間及び良好な漁場を地域住民や観光客に提供し、魚の棲めるきれいな川づくりへの気運を高める。		
成果・実績	宇治川・志津川・笠取川等で行われた、あゆ（9万尾）、ふな（5千尾）、あまご（1千尾）、はえ（1万2千尾）の稚魚放流に対して助成を行い、水産資源の増殖に努めた。なお、コイヘルペスの蔓延防止のため、こいの放流は自粛となった。また、種苗の入手が困難なため、うなぎの放流は中止となった。		
事業評価	京都府の補助制度を活用し、種苗放流事業に助成を行うことにより、水産資源の増殖と河川の環境改善などに寄与しており、今後も継続して取組を進める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	産業会館管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	11,210千円																								
事業内容	<p>宇治市産業会館は、商工業の振興の中核施設として、各種情報交換の場、会議・研修の場、地場産品の展示・紹介の場など、幅広く利用されている。地域経済を担う商工業者等が有効に活用することにより、産業の振興と発展につながる。会館の管理運営については宇治商工会議所を指定管理者としている。</p>																										
成果・実績	<p>施設利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業情報コーナー</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">800</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td style="text-align: center;">325</td> <td style="text-align: center;">22,045</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td style="text-align: center;">3,257</td> </tr> <tr> <td>第一研修室</td> <td style="text-align: center;">173</td> <td style="text-align: center;">3,855</td> </tr> <tr> <td>第二研修室</td> <td style="text-align: center;">271</td> <td style="text-align: center;">5,776</td> </tr> <tr> <td>茶室</td> <td style="text-align: center;">265</td> <td style="text-align: center;">4,163</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">1,166</td> <td style="text-align: center;">39,896</td> </tr> </tbody> </table>				件数	人数	産業情報コーナー	2	800	多目的ホール	325	22,045	会議室	130	3,257	第一研修室	173	3,855	第二研修室	271	5,776	茶室	265	4,163	合計	1,166	39,896
	件数	人数																									
産業情報コーナー	2	800																									
多目的ホール	325	22,045																									
会議室	130	3,257																									
第一研修室	173	3,855																									
第二研修室	271	5,776																									
茶室	265	4,163																									
合計	1,166	39,896																									
事業評価	<p>指定管理者によって適正に管理運営した。民間企業の研修、商工会議所の活動などに幅広く利用されており、今後も継続して有効活用を図る。</p>																										

事務事業名	宇治市中小企業低利融資事業費	所管課	商工観光課																					
		決算額	1,541,664千円																					
事業内容	<p>市内の中小企業者に対して、事業資金を低利・無担保で融資し、その経営の安定を図る。市内に引き続き1年以上住所を有し、市税に滞納がなく京都信用保証協会の保証対象業種であること、法人は代表者の連帯保証人が必要であること（個人の場合不要）を条件として融資する。また、当該融資利用者に対し、支払った保証料及び利子の一部に相当する額を補給する。</p>																							
成果・実績	<p>宇治市中小企業低利融資</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保証料補給</td> <td style="text-align: center;">390</td> <td style="text-align: center;">40,243</td> </tr> <tr> <td>保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">1,583</td> </tr> <tr> <td>利子補給</td> <td style="text-align: center;">980</td> <td style="text-align: center;">99,101</td> </tr> <tr> <td>利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">113</td> </tr> <tr> <td>損失補償</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12,624</td> </tr> <tr> <td>預託金</td> <td style="text-align: center;">5金融機関</td> <td style="text-align: center;">1,388,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>宇治市中小企業低利融資実行は401件、融資金額は4,573,350千円</p>				件数	金額（千円）	保証料補給	390	40,243	保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	12	1,583	利子補給	980	99,101	利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	7	113	損失補償	13	12,624	預託金	5金融機関	1,388,000
	件数	金額（千円）																						
保証料補給	390	40,243																						
保証料補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	12	1,583																						
利子補給	980	99,101																						
利子補給（京都府南部地域豪雨災害対応分）	7	113																						
損失補償	13	12,624																						
預託金	5金融機関	1,388,000																						
事業評価	<p>市内の中小企業者に対して、事業資金の低利融資保証料及び利子補給補助を行い、経営の安定化に寄与した。中小企業の経営の安定と健全な事業資金供給のため、平成25年度も継続実施する。</p>																							

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	01 商業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	中小企業振興対策事業費	所管課	商工観光課												
		決算額	7,799千円												
事業内容	商店街・小売市場が行う商店街施設（街路灯・アーチ・統一看板等）を設置する事業並びに商工業団体の行う活性化対策事業、情報化対策事業に対して補助し、商店街等の振興を図る。														
成果・実績	商店街等が実施する活性化、情報化対策事業等に対して、19件13団体に対し補助を行い、中小企業の振興に努めた。														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">金額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">活性化対策事業</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">4,684</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">情報化対策事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1,666</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">商店街等販売促進支援事業</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">1,449</td> </tr> </tbody> </table>				件数	金額（千円）	活性化対策事業	10	4,684	情報化対策事業	3	1,666	商店街等販売促進支援事業	6	1,449
	件数	金額（千円）													
活性化対策事業	10	4,684													
情報化対策事業	3	1,666													
商店街等販売促進支援事業	6	1,449													
事業評価	商店街等が行う活性化対策事業等に補助し、商店街等の振興発展を図ることができた。経済状況の厳しい中、商店街の振興発展のため、継続実施するが、今後は、商店街のニーズを把握するとともに、自立・自主性を高める、より効果的な補助内容の検討が必要である。														

事務事業名	プレミアム商品券発行支援事業	所管課	商工観光課								
		決算額	413千円								
事業内容	介護保険サービスの利用がない90歳以上の高齢者への介護保険返戻金(30,000円)にプレミアム分(3,000円)を付加した商品券発行で地域活性化を支援する京都府の「介護保険返戻地域活性化事業費補助金」を活用して、宇治商工会議所が実施した「介護保険返戻プレミアム商品券発行事業」に対し、一部補助を行う。										
成果・実績	<table style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">参 加 店 舗</td> <td>195店舗</td> </tr> <tr> <td>利 用 者 数</td> <td>496人</td> </tr> <tr> <td>利 用 額</td> <td>16,121千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">返戻金分14,880千円 + プレミアム分1,241千円</td> </tr> </table>			参 加 店 舗	195店舗	利 用 者 数	496人	利 用 額	16,121千円	返戻金分14,880千円 + プレミアム分1,241千円	
参 加 店 舗	195店舗										
利 用 者 数	496人										
利 用 額	16,121千円										
返戻金分14,880千円 + プレミアム分1,241千円											
事業評価	市内消費を促進し、市内商店街の振興に寄与するとともに、市内経済の活性化を図ることができた。										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光センター管理運営費	所管課	商工観光課									
		決算額	25,450千円									
事業内容	観光情報サービスの拠点として、市内の観光案内のほか観光パンフレットの配布を行っている。センターの管理運営については(社)宇治市観光協会を指定管理者としている。											
成果・実績	<p>入館者数 284,200人 観光案内件数 48,207件</p> <p>貸館状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">利用件数</th> <th style="text-align: center;">施設使用料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">展示会場</td> <td style="text-align: center;">95(うち有料件数12)</td> <td style="text-align: center;">60,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和室</td> <td style="text-align: center;">23(うち有料件数1)</td> <td style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </tbody> </table>				利用件数	施設使用料(円)	展示会場	95(うち有料件数12)	60,000	和室	23(うち有料件数1)	3,000
	利用件数	施設使用料(円)										
展示会場	95(うち有料件数12)	60,000										
和室	23(うち有料件数1)	3,000										
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営した。観光宇治の拠点施設として、観光振興の大きな役割を担っているが、施設が老朽化しており、計画的な維持管理を検討する必要がある。											

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち	市民環境部
中分類	04 商工業・観光の振興	
小分類	03 観光の振興	

事務事業名	市営茶室管理運営費	所管課	商工観光課																								
		決算額	11,499千円																								
事業内容	宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図るために、市営茶室「対鳳庵」を設置している。宇治を訪れる観光客が本場の宇治茶を気軽に味わうことができるようになっており、茶室の管理運営については（社）宇治市観光協会を指定管理者としている。																										
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">入席者数</td> <td style="width: 30%;">16,032人</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>うち有料券数</td> <td>14,996人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>うち招待券数</td> <td>1,036人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">専用使用料利用状況</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">件数</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">専用使用料（円）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">3（うち有料件数1）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3,000</td> </tr> </table>			入席者数	16,032人			うち有料券数	14,996人			うち招待券数	1,036人			専用使用料利用状況				件数		専用使用料（円）		3（うち有料件数1）		3,000	
入席者数	16,032人																										
うち有料券数	14,996人																										
うち招待券数	1,036人																										
専用使用料利用状況																											
件数		専用使用料（円）																									
3（うち有料件数1）		3,000																									
事業評価	指定管理者によって適正に管理運営した。「対鳳庵」で気軽に本場の宇治茶を提供することで宇治茶及び茶道の普及並びに観光の振興を図ることができた。今後も国内外に対して宇治茶の普及を目的に施設のPR及び管理運営を行う。																										

事務事業名	観光協会補助金	所管課	商工観光課
		決算額	16,397千円
事業内容	四季を通じた観光イベントを企画・実施することで、市民や観光客に憩いの場を提供し、本市の観光振興に大きく貢献している（社）宇治市観光協会に対して助成を行う。		
成果・実績	宇治川花火大会、観光写真コンクール、宇治川の鶉飼、京都宇治灯り絵巻など、（社）宇治市観光協会が実施する諸事業に対し助成を行い、観光振興を図った。		
事業評価	花火大会をはじめとする諸事業に補助し、観光宇治のイメージアップを図ることができた。今後も協働で事業の内容を充実し、さらなる観光振興に繋げるため平成25年度も継続して助成を行う。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	03 観光の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	観光振興計画策定費	所管課	商工観光課
		決算額	475千円
事業内容	近年の観光客のニーズや社会情勢の変化を的確に把握し、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指すため、「宇治市観光振興計画」を平成34年度までの10年間の計画として策定する。		
成果・実績	「宇治市観光振興計画」の策定に向け、学識経験者、(社)宇治市観光協会、宇治商工会議所、平等院、商店街、茶業関係者、行政などで構成する「宇治市観光振興計画策定委員会」を設置するとともに、(社)宇治市観光協会において、これらの団体に加え、三室戸寺、黄檗山萬福寺、宇治旅館組合、宇治観光土産品組合、交通事業者などで構成する「宇治市観光振興計画策定専門委員会」を設置いただき、それぞれ5回開催し、将来の観光ビジョンについて議論を行った。		
事業評価	「宇治市観光振興計画策定委員会」を開催し、宇治市の観光特性や目標の設定、観光方針などについて議論を行った。今後は、策定される「宇治市観光振興計画」に示されるアクションプランにより、恵まれた観光資源に磨きをかけ、多くの人々が訪れる観光地を目指す。		

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	城南地域職業訓練協会運営補助金	所管課	商工観光課				
		決算額	2,472千円				
事業内容	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。						
成果・実績	<p>求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・医療事務・介護事務・調剤薬局講座等を開催した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>講座数</td> <td>55講座</td> </tr> <tr> <td>受講人数</td> <td>409人</td> </tr> </table>			講座数	55講座	受講人数	409人
講座数	55講座						
受講人数	409人						
事業評価	求職者及び在職者の職業能力開発向上等を図ることができた。職業訓練が今後もより効果的に継続されるよう職業訓練事業の選定等、さらなる改善に向けた検討が必要である。						

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	01 勤労者福祉の向上

所管部局
市民環境部

事務事業名	技能功労者表彰費	所管課	商工観光課																																				
		決算額	340千円																																				
事業内容	<p>永く同一の職業に従事している優れた技能者の功労を称えることによって、技能水準の一層の向上と技能尊重の気運を高めることを目的に実施する。</p>																																						
成果・実績	<p>技能功労者 15人 (内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> <th>職種</th> <th>表彰人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豆腐製造</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>理容</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>自動車整備</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>漆工</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>大工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>左官</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>金型設計加工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>製茶</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電気工事</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>調理</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>建築塗装</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>金属工芸</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電気機器製造</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>タイル張り</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>製本</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			職種	表彰人数	職種	表彰人数	豆腐製造	1	理容	1	自動車整備	1	漆工	1	大工	1	左官	1	金型設計加工	1	製茶	1	電気工事	1	調理	1	建築塗装	1	金属工芸	1	電気機器製造	1	タイル張り	1	製本	1		
職種	表彰人数	職種	表彰人数																																				
豆腐製造	1	理容	1																																				
自動車整備	1	漆工	1																																				
大工	1	左官	1																																				
金型設計加工	1	製茶	1																																				
電気工事	1	調理	1																																				
建築塗装	1	金属工芸	1																																				
電気機器製造	1	タイル張り	1																																				
製本	1																																						
事業評価	<p>表彰により功労を称え、技能水準の一層の向上及び技能尊重の気運の高揚が図ることができた。今後も幅広い職業の技能者を称えるよう継続実施する。</p>																																						

事務事業名	緊急雇用対策事業費	所管課	商工観光課														
		決算額	60,354千円														
事業内容	<p>経済情勢が急速に悪化している状況を踏まえ、国が創設したふるさと雇用再生特別給付金及び緊急雇用創出事業臨時特例交付金を基に、造成された京都府緊急雇用対策基金を活用し、雇用・就業機会の創出を図る。</p>																
成果・実績	<p>本市が緊急に実施する必要性の高い7事業を実施し、延べ46人の失業者を雇用し、就業機会の創出に努めた。</p> <p>緊急雇用創出事業 60,354千円</p> <p>重点分野雇用創出事業 60,354千円</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">大久保青少年センター図書整備事業</td> <td style="text-align: right;">146千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">歴史資料デジタル化事業</td> <td style="text-align: right;">44,940千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受診勧奨者啓発事業</td> <td style="text-align: right;">435千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">障害者通所施設利用者処遇研究事業</td> <td style="text-align: right;">11,160千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">J R 木幡駅前自転車等駐車場施設補修事業</td> <td style="text-align: right;">1,464千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)防除対策事業</td> <td style="text-align: right;">719千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">国民健康保険料収納率向上対策に係る資料整理事業</td> <td style="text-align: right;">1,490千円</td> </tr> </table>			大久保青少年センター図書整備事業	146千円	歴史資料デジタル化事業	44,940千円	受診勧奨者啓発事業	435千円	障害者通所施設利用者処遇研究事業	11,160千円	J R 木幡駅前自転車等駐車場施設補修事業	1,464千円	ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)防除対策事業	719千円	国民健康保険料収納率向上対策に係る資料整理事業	1,490千円
大久保青少年センター図書整備事業	146千円																
歴史資料デジタル化事業	44,940千円																
受診勧奨者啓発事業	435千円																
障害者通所施設利用者処遇研究事業	11,160千円																
J R 木幡駅前自転車等駐車場施設補修事業	1,464千円																
ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)防除対策事業	719千円																
国民健康保険料収納率向上対策に係る資料整理事業	1,490千円																
事業評価	<p>経済状況が厳しい中、国制度に基づき基金を活用し、様々な事業を行うことで、雇用・就職機会の創出を図ることができた。</p>																

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	05 勤労者福祉・消費生活の向上
小分類	02 消費生活の充実

所管部局
市民環境部

事務事業名	消費者支援事業費	所管課	商工観光課
		決算額	873千円
事業内容	事業者と消費者との間の取り引きに関して生じた苦情を専門の消費生活相談員が助言、情報提供、あっせんなどを行うとともに、市民の消費生活の向上を図るための啓発を行う。		
成果・実績	消費生活センターに専門の消費生活相談員を3人配置し、955件の相談に応じた。また、複雑多岐にわたる案件に対処する必要から、消費生活相談員の一層のレベルアップを図るために、各種研修会等へ参加した。さらに、消費生活に関する市民啓発等を行った。		
事業評価	市民の消費生活に関する苦情や問い合わせに対し、専門の消費生活相談員が適切な助言、あっせんなどを行い、消費生活の改善、向上に寄与した。今後も広範な消費生活に関する苦情や相談が想定されることから、専門知識を有する相談員の配置が不可欠であり、そのためにも相談員の一層のレベルアップと市民啓発が必要である。		

事務事業名	消費生活展開催費	所管課	商工観光課
		決算額	1,029千円
事業内容	「宇治市消費者まつり」として隔年で開催しており、消費生活に関する諸問題を楽しみながら考える場として、また、消費者団体等の市民団体と市民のふれあいの場として、広く市民に親しまれる企画、展示、販売を中心に多彩なイベントを実施している。		
成果・実績	消費者団体、環境団体等で構成する宇治市消費者まつり運営委員会と宇治市の共催で開催した。約1,100名が参加し、悪徳商法に関する寸劇や消費生活に関するパネル展示などを行った。		
事業評価	市民の消費生活に関する知識・意識の向上に寄与した。今後も市民啓発の一つの手段として有効な事業であるため、継続を検討する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部

事務事業名	企業立地促進助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	54,902千円
事業内容	宇治市企業立地促進条例に基づき、地域経済の活性化と産業振興の促進を図るため、市内に事業場等の設置、拡張を図る企業に助成金を交付する。		
成果・実績	市内に工場、事業所などを新設または増設した企業に対して操業支援助成金等を交付した。 交付社数 7社		
事業評価	条例に基づき適正に執行し、地域経済の活性化等を行うことができた。企業誘致の刺激策や企業の市外移転防止策、ひいては雇用の創出策として、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	ベンチャー企業育成支援事業費	所管課	産業推進課
		決算額	14,175千円
事業内容	インキュベーションマネージャーを配置し、VIF（宇治ベンチャー企業育成工場）入居企業及び市内のベンチャー企業の育成支援のための諸施策を実施する。		
成果・実績	京都リサーチパーク（株）に業務委託してコーディネーターを配置し、ベンチャー企業育成工場の入居企業に対して経営・販路拡大等の伴走型支援を行うとともに、セミナー等を通じて市内既存企業にも支援を行った。		
事業評価	各種支援を行い、ベンチャー企業育成に努めた。販路拡大、技術開発、資金調達など、入居企業の自立と事業拡大につなげるための支援は必要であり、今後も新たな入居企業を確保し、新産業の創出による雇用の創出を目指して、継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	04 商工業・観光の振興
小分類	02 工業の振興

所管部局
市民環境部


事務事業名	展示会出展支援助成事業費	所管課	産業推進課
		決算額	634千円
事業内容	市内の中小企業者（製造業及び情報系産業等）が開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展することにより、当該製品に関心がある企業との会合を契機として、見積書の提出、新規取引へとマーケティング拡大に向けて取り組む。本市が出展経費の一部を助成することにより、産業振興を図る。		
成果・実績	企業の新規取引の促進を図るため、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会に出展した市内の中小企業に対し、その経費の一部を助成した。 助成社数 8社		
事業評価	市内中小企業の展示会出展費用の一部を助成し、産業振興を図ることができた。マーケティング拡大が企業経営の中心課題であり、展示会への出展は新規取引を開拓する上で有効な手法である。市内中小企業者の展示会への出展を促進し、産業振興を図るため、企業の積極的な事業展開に対する助成制度は必要であり、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	産業振興センター運営費	所管課	産業推進課
		決算額	6,805千円
事業内容	産業に関する情報の収集・提供及び企業の育成・支援を行うため設置された産業振興センターの管理・運営を行う。		
成果・実績	同一敷地内にあるベンチャー企業育成工場のサポートを行うとともに、産業振興を推進する中核施設として、産業振興センターの円滑な管理・運営に努めた。		
事業評価	毎年貸館収入は増加しており、地元企業の利用も定着してきている。今後も、さらなるセンターの活用を図る。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	人権啓発事業費	所管課	人権啓発課																															
		決算額	4,589千円																															
事業内容	人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めるため、「宇治市人権教育・啓発推進計画」に基づき、各種の広報・啓発事業に取り組んでいる。																																	
成果・実績	人権強調月間（8月）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんシネマフェスタ</td> <td>文化センター</td> <td>2,000人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>JR宇治駅</td> <td>啓発物品配布・コンサート</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	2,000人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-	街頭啓発	JR宇治駅	啓発物品配布・コンサート													
	事業名	実施場所	成果等																															
	ひゅうまんシネマフェスタ	文化センター	2,000人参加																															
	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																															
	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																															
	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー	-																															
	街頭啓発	JR宇治駅	啓発物品配布・コンサート																															
	人権週間（12/4～12/10）の取組																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひゅうまんフェスタ</td> <td>生涯学習センター周辺一帯</td> <td>800人参加</td> </tr> <tr> <td>人権啓発スポットCM放送</td> <td>エフエム宇治放送</td> <td>1日3回放送</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発パネル展示</td> <td>市役所市民ギャラリー等</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>街頭啓発</td> <td>アルプラザ宇治東</td> <td>啓発物品配布</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施場所	成果等	ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	800人参加	人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送	人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-	人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー等	-	街頭啓発	アルプラザ宇治東	啓発物品配布													
事業名	実施場所	成果等																																
ひゅうまんフェスタ	生涯学習センター周辺一帯	800人参加																																
人権啓発スポットCM放送	エフエム宇治放送	1日3回放送																																
人権啓発懸垂幕掲示	市役所庁舎	-																																
人権啓発パネル展示	市役所市民ギャラリー等	-																																
街頭啓発	アルプラザ宇治東	啓発物品配布																																
その他の取組																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報紙「jinken」配布</td> <td>8月,1月</td> <td>-</td> <td>各号8万部</td> </tr> <tr> <td>楽しく学ぶ人権講座</td> <td>2月～3月</td> <td>生涯学習センター他</td> <td>184人参加</td> </tr> <tr> <td>人権の花運動</td> <td>10月</td> <td>市内小学校3校</td> <td>球根440個配付</td> </tr> <tr> <td>人権啓発物品配布</td> <td>年間</td> <td>各種催し</td> <td>5,500個配布</td> </tr> <tr> <td>啓発教材（DVD等）貸出</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年32本貸出</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人権啓発懸垂幕掲示</td> <td>5月</td> <td>市役所庁舎</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	実施時期	実施場所	成果等	情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部	楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	184人参加	人権の花運動	10月	市内小学校3校	球根440個配付	人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,500個配布	啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年32本貸出	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-	人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	-
事業名	実施時期	実施場所	成果等																															
情報紙「jinken」配布	8月,1月	-	各号8万部																															
楽しく学ぶ人権講座	2月～3月	生涯学習センター他	184人参加																															
人権の花運動	10月	市内小学校3校	球根440個配付																															
人権啓発物品配布	年間	各種催し	5,500個配布																															
啓発教材（DVD等）貸出	年間	-	年32本貸出																															
市政だよりによる広報・啓発	年間	-	-																															
人権啓発懸垂幕掲示	5月	市役所庁舎	-																															
<p>山城地区広域連携事業</p> <p>山城人権ネットワーク推進協議会（ひゅうまんねっとやましろ）を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。</p>																																		
<p style="text-align: right;">人権の花運動</p> 																																		
事業評価	参加者が年々増加しており、市民の人権に対する関心は着実に高まっているが、市民意識や行動にどのような影響を与えたかについては把握できておらず、今後もアンケート調査の分析などを通じて、市民意識の把握に努め、より効果的な手法による取組を推進する必要がある。																																	

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	06 人権尊重社会の実現
小分類	01 人権教育・啓発の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	所管課	人権啓発課
		決算額	15,341千円
事業内容	福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流を促進するため、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業に取り組んでいる。		
成果・実績	<p>コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業費 10,195千円 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。</p> <p>コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業費 5,146千円 「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベント開催事業を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>映画上映会（うじ館）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健やかからだ講座（こはた館）</p> </div> </div>		
事業評価	館主催事業への市民参加は徐々に増加している。今後もコミュニティワークうじ館・こはた館における事業の積極的な広報に努めるとともに、福祉の向上と人権啓発のための市民交流拠点としての役割を十分発揮できるよう、事業の推進に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画施策推進費	所管課	男女共同参画課
		決算額	2,404千円

事業内容	男女の人権の確立と地域に根ざした男女共同参画社会を実現するため、宇治市男女生き生きまちづくり条例（平成16年10月制定）及び宇治市男女共同参画計画「UJIあさぎりプラン」に基づき、広報・啓発事業や学習機会の提供、市民活動支援を行う。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

成果・実績	広報・啓発																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男女共同参画情報誌「リズム」発行</td> <td>10・2月</td> <td>-</td> <td>各2,000部</td> </tr> <tr> <td>市政だよりによる広報・啓発</td> <td>年間</td> <td>-</td> <td>年21回掲載</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画週間UJIのつどい</td> <td rowspan="3">7月1日</td> <td rowspan="3">男女共同参画支援センター</td> <td>86人参加</td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>(63人参加)</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ</td> <td>(23人参加)</td> </tr> <tr> <td>UJIあさぎりフェスティバル</td> <td>12月15・16日</td> <td>男女共同参画支援センター</td> <td>延べ600人参加</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果	男女共同参画情報誌「リズム」発行	10・2月	-	各2,000部	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年21回掲載	男女共同参画週間UJIのつどい	7月1日	男女共同参画支援センター	86人参加	講演会	(63人参加)	ワークショップ	(23人参加)	UJIあさぎりフェスティバル	12月15・16日	男女共同参画支援センター	延べ600人参加
	事業名	実施時期	実施場所	成果																					
	男女共同参画情報誌「リズム」発行	10・2月	-	各2,000部																					
	市政だよりによる広報・啓発	年間	-	年21回掲載																					
	男女共同参画週間UJIのつどい	7月1日	男女共同参画支援センター	86人参加																					
	講演会			(63人参加)																					
	ワークショップ			(23人参加)																					
	UJIあさぎりフェスティバル	12月15・16日	男女共同参画支援センター	延べ600人参加																					
	学習機会の提供・市民活動支援																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施時期</th> <th>実施場所</th> <th>成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種セミナー（全5セミナー）</td> <td>年間</td> <td rowspan="4">男女共同参画支援センター他</td> <td>延べ259人参加</td> </tr> <tr> <td>ここからチャレンジ相談（全24回のうち4回出前相談）</td> <td>年間</td> <td>延べ92人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画事業奨励事業（2件）</td> <td rowspan="2">年間</td> <td rowspan="2">延べ340人参加</td> </tr> <tr> <td>市民企画サポート事業（4件）</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	実施時期	実施場所	成果	各種セミナー（全5セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ259人参加	ここからチャレンジ相談（全24回のうち4回出前相談）	年間	延べ92人参加	市民企画事業奨励事業（2件）	年間	延べ340人参加	市民企画サポート事業（4件）										
事業名	実施時期	実施場所	成果																						
各種セミナー（全5セミナー）	年間	男女共同参画支援センター他	延べ259人参加																						
ここからチャレンジ相談（全24回のうち4回出前相談）	年間		延べ92人参加																						
市民企画事業奨励事業（2件）	年間		延べ340人参加																						
市民企画サポート事業（4件）																									
DV対策																									
<p>宇治市DV対策ネットワーク会議を年3回開催し、DV被害に関する情報共有を図るとともに、事例の研究等を通じて、DV防止及び被害者の保護・支援に係る関係機関・団体の相互連携に努めた。</p>																									
DV啓発																									
<p>子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」として、こども福祉課と共催で広報・啓発活動を実施した。</p>																									
デートDV啓発しおりの作成																									
<p>デートDV防止に向けた啓発のためしおりを作成し、成人式の資料に同封して新成人に配布した。（作成部数2,000部）</p>																									



事業評価	市民が企画した事業（奨励事業・サポート事業）では、学生から高齢者まで幅広い年代の参加者を得ることができた。今後も、より多様な市民等と連携・協働することで、効果的な男女共同参画施策の推進に努める。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	07 男女共同参画社会の形成
小分類	01 男女共同参画の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	男女共同参画支援センター運営費	所管課	男女共同参画課																			
		決算額	11,984千円																			
事業内容	男女共同参画のための市民活動・市民交流の拠点施設として、市民利用の促進に努めるとともに、女性のための相談事業や女性問題アドバイザー派遣事業を行う。																					
成果・実績	<p>センター年間利用者数 35,413人 女性問題アドバイザー派遣実績 13件</p> <p>女性のための相談事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">相談区分</th> <th style="text-align: center;">件数 (うちDVに関するもの)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">一般相談</td> <td style="text-align: center;">来館相談</td> <td style="text-align: center;">169 (43)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電話相談</td> <td style="text-align: center;">24 (4)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">193 (47)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">専門相談</td> <td style="text-align: center;">フェミニスト・カウンセリング</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">こころとからだの相談</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法律相談</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> </tbody> </table>			相談区分		件数 (うちDVに関するもの)	一般相談	来館相談	169 (43)	電話相談	24 (4)	合計	193 (47)	専門相談	フェミニスト・カウンセリング	36	こころとからだの相談	10	法律相談	39	合計	85
相談区分		件数 (うちDVに関するもの)																				
一般相談	来館相談	169 (43)																				
	電話相談	24 (4)																				
	合計	193 (47)																				
専門相談	フェミニスト・カウンセリング	36																				
	こころとからだの相談	10																				
	法律相談	39																				
	合計	85																				
事業評価	一般相談のうち、相談者がDVであると認識して相談に来られる割合が増加している。DV啓発や学習機会の提供により、DVという言葉だけでなく、内容が浸透してきたと考えられる。今後もDVが発生する背景や被害を受けた場合の対応及び相談窓口などについて、さまざまな媒体や機会を通じて市民啓発の推進に努める。																					

事務事業名	JR宇治駅前市民交流プラザ運営費	所管課	男女共同参画課
		決算額	11,049千円
事業内容	男女共同参画支援センター、地域子育て支援基幹センター、ファミリー・サポート・センター、観光案内所、民間保育園及び宇治駅前交番の複合施設であるJR宇治駅前市民交流プラザ(ゆめりあ うじ)の施設管理を行う。		
成果・実績	男女共同参画、子育て支援、観光など市民交流のための複合施設として多くの利用を図るため、機械設備総合管理業務、清掃業務、駐車場料金精算システム保守業務を委託し施設の適正管理に努めた。		
事業評価	施設の修繕が増加傾向にあるが、計画的に修繕を実施した。今後も適正な施設管理に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	01 地球環境対策の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	地球温暖化対策関連事業	所管課	環境企画課
		決算額	3,013千円
事業内容	本市域から発生する温室効果ガスを平成24年度までに平成2年度比で10%削減するため、「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」等に基づいて、市民・事業者に対して効果的な取組の普及啓発、温室効果ガス削減運動の推進などを実施する。		
成果・実績	<p>エコファミリー推進事業費 97千円 家庭における省エネ・省資源を推進し、温室効果ガス排出量の削減を目的としたエコファミリー夏版、冬版を実施した。参加者は144世帯、エコファミリー認定者は101世帯となった。取組に参加した世帯の平均CO₂排出量は京都府南部の平均世帯の排出量と比べ年間で21.2t-CO₂少ない結果となった。また参加者を対象に、夏版ではエコファミリー交流会、冬版ではエコキャンドル作りの体験講座を実施し、参加者間での省エネに関する情報交換や、取組意識の向上を図った。</p> <p>地球温暖化対策推進事業費 2,916千円 宇治環境フェスタを開催し、地球温暖化対策等の普及啓発を図った。来場者は約900人であった。また、本市における夏の節電対策として、公共施設の白熱電球のLED化（518個）、冬の節電対策として、公共施設の蛍光灯のLED化（42台）を実施した。年間のCO₂削減量はそれぞれ31.0t-CO₂、3.6t-CO₂となる。</p>		
事業評価	各種の事業を実施することによって、市民や事業者の地球温暖化に対する意識を高めることができた。今後は、国や京都府における温室効果ガスの削減目標やエネルギー政策を見据えながら、きっかけづくりとなる取組から直接的で効果の高い取組に重点を移し温室効果ガスの削減を図る。		

事務事業名	太陽光発電システム設置事業費補助金	所管課	環境企画課								
		決算額	25,086千円								
事業内容	再生可能エネルギーを導入して民生家庭部門から排出される温室効果ガスの削減を図るため、住宅用太陽光発電システムの設置費用の一部を補助する。										
成果・実績	<p>補助対象となる太陽光発電システム設置工事に対して、費用の一部を補助した。 対象...宇治市内で個人が住む専用住宅に設置したか、もしくは設置した新築住宅を購入した場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">補助件数</th> <th style="width: 15%;">補助単価 (千円/kw)</th> <th style="width: 15%;">交付金額 (千円)</th> <th style="width: 15%;">年間CO₂削減量 (t-CO₂)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">333</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">25,086</td> <td style="text-align: center;">411</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、本市の制度は、国の補助制度を受けた人への上乗せ補助となっており、本市の補助単価は国の7分の3としている。</p>			補助件数	補助単価 (千円/kw)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)	333	20	25,086	411
補助件数	補助単価 (千円/kw)	交付金額 (千円)	年間CO ₂ 削減量 (t-CO ₂)								
333	20	25,086	411								
事業評価	市域内における温室効果ガスの削減に寄与した。地球温暖化対策に直接的な効果が見られる事業であるため、平成25年度も継続実施するが、その後は国の補助制度の動向等を見据えながら、事業の存続等について検討する。										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	市民環境部
中分類	01 環境保全対策の推進	
小分類	01 地球環境対策の推進	

事務事業名	地球温暖化対策推進パートナーシップ会議運営費	所管課	環境企画課																								
		決算額	214千円																								
事業内容	「宇治市地球温暖化対策地域推進計画」を進めるため、市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止活動の全市的な普及・啓発を行う「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議」を運営する。																										
成果・実績	<p>環境学習・教育推進グループ、エコライフ推進グループ、3R推進グループ、みどりのまちづくり推進グループ、森林保全・里山復権推進グループ、広報推進グループの6グループで、市民に対し身近で楽しみながら実践できる地球温暖化防止活動の普及・啓発を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">エコッキング教室</td> <td style="width: 16.5%;">2回開催</td> <td style="width: 33%;">宇治環境フェスタ</td> <td style="width: 16.5%;">1回出展</td> </tr> <tr> <td>家庭の省エネ相談所</td> <td>12回開設</td> <td>子ども環境学習会</td> <td>1回講師派遣</td> </tr> <tr> <td>緑のカーテン講習会</td> <td>4回開催</td> <td>環境講演会</td> <td>4回講師派遣</td> </tr> <tr> <td>どんぐりプロジェクトと木工教室</td> <td>1回開催</td> <td>フードマイレージ講習会</td> <td>2回講師派遣</td> </tr> <tr> <td>イベント参加者</td> <td>総計2,043人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>広報紙</td> <td>年4回発行</td> <td>総計2,000部</td> <td></td> </tr> </table>			エコッキング教室	2回開催	宇治環境フェスタ	1回出展	家庭の省エネ相談所	12回開設	子ども環境学習会	1回講師派遣	緑のカーテン講習会	4回開催	環境講演会	4回講師派遣	どんぐりプロジェクトと木工教室	1回開催	フードマイレージ講習会	2回講師派遣	イベント参加者	総計2,043人			広報紙	年4回発行	総計2,000部	
エコッキング教室	2回開催	宇治環境フェスタ	1回出展																								
家庭の省エネ相談所	12回開設	子ども環境学習会	1回講師派遣																								
緑のカーテン講習会	4回開催	環境講演会	4回講師派遣																								
どんぐりプロジェクトと木工教室	1回開催	フードマイレージ講習会	2回講師派遣																								
イベント参加者	総計2,043人																										
広報紙	年4回発行	総計2,000部																									
事業評価	設立から5年目を迎えたパートナーシップ会議は、会員の積極的な活動により、年度内のイベント参加者数総計が2,000人を超えるなど、市民への普及啓発を着実に進めている。今後は温室効果ガス削減に、より効果の高い新たな事業を展開する必要がある。																										

事務事業名	緑のカーテン推進事業費	所管課	環境企画課
		決算額	2,294千円
事業内容	本事業は、地球温暖化対策としての「緑のカーテン」を普及させるため、市役所自ら緑のカーテンを実践することで市民に啓発するとともに、市民・事業者向けに講習会やモニター制度、コンテスト等を実施し緑のカーテンを推進する。		
成果・実績	<p>市庁舎北側及び議会棟南側において、緑のカーテンを設置し、普及啓発及び庁舎の温室効果ガスの削減を図った。また、小学校（7校）、幼稚園（3園）、保育所（6所）、中学校（1校）、その他公共施設（15施設）及び3つの商店街が、緑のカーテンに取り組んだ。</p> <p>緑のカーテン市民モニター制度では、個人25人と6事業所の参加があった。緑のカーテンの生育状況や涼しさの効果について報告を受けるとともに、その内容をホームページで公開した。また、市民への普及啓発のため、モニター体験談集を作成、配布した。</p> <p>緑のカーテンを設置した世帯においては、冷房の使用頻度が減ることで、市域の温室効果ガスの排出抑制に寄与した。</p> <p>コンテストでは25件の応募があり、市長賞など5件が受賞した。</p>		
事業評価	緑のカーテンは、身近で楽しみながら実施できる取組であることから、講習会や市民モニターへの応募が多く、関心の高さがうかがえる。これらの取組を通じ、市域におけるカーテンの普及を効果的に進めることができた。今後も地球温暖化対策の普及啓発のため、庁舎や公共施設での設置や講習会を継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	02 環境保全対策の強化

所管部局
市民環境部

事務事業名	IS014001推進費	所管課	環境企画課
		決算額	1,167千円
事業内容	「宇治市環境保全計画」の望ましい環境像である歴史・文化と自然を大切に、生活者の視点で創る環境都市宇治の実現のため、IS014001環境マネジメントシステムを運用して環境改善を継続的に実施する。		
成果・実績	平成25年2月に定期審査を受け、本市の環境マネジメントシステムは適正に管理維持されていると判断された。 本市のIS014001の取組は11年目となり、各所属において、紙使用量やごみの削減などといった環境目標から、本来業務に即した環境目標を持つことに重点を置くようになってきた。これらの取組は各職場・各職員において着実に浸透してきている。		
事業評価	本市の環境マネジメントシステムは適正に運用されていると判断された。今後は、これまで蓄積してきたISO運用の経験とノウハウを活かすことで、IS014001自己適合宣言を行い、今後も引き続き省エネルギーにつながるような事業展開を図る。		


事務事業名	環境保全関連事業	所管課	環境企画課						
		決算額	7,908千円						
事業内容	市内における生活環境の状況把握を行うため、大気、水質、騒音などの監視測定を実施する。また、京滋バイパスを走行する車両の排気ガスによる大気汚染の状況把握を行うため、自動車排出ガス測定局を設置するとともに大気汚染物質の常時監視を実施する。								
成果・実績	<p>市内において自動車排出ガス等の大気測定、市内河川・事業場の水質測定、道路・鉄道等の騒音測定を行い、監視結果はいずれも良好であった。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 50%;">環境監視費</td> <td style="text-align: right;">2,273千円</td> </tr> <tr> <td>発生源監視費</td> <td style="text-align: right;">993千円</td> </tr> <tr> <td>自動車排出ガス監視測定局運営費</td> <td style="text-align: right;">4,642千円</td> </tr> </table>			環境監視費	2,273千円	発生源監視費	993千円	自動車排出ガス監視測定局運営費	4,642千円
環境監視費	2,273千円								
発生源監視費	993千円								
自動車排出ガス監視測定局運営費	4,642千円								
事業評価	市内における大気、水質、騒音などの監視測定を適正に実施し、生活環境保全に努めた。今後も継続した環境及び発生源監視測定を行う必要がある。								




平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部


事務事業名	狂犬病予防費	所管課	環境企画課
		決算額	1,825千円
事業内容	<p>狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のため、狂犬病予防注射接種を推進するとともに、犬の登録及び鑑札の交付、狂犬病事業の予防注射済票の交付等事務を行う。また、府保健所との連携のもと、犬・猫等動物の適正飼養についての啓発活動を実施する。</p>		
成果・実績	<p>市内公共施設を中心に計27カ所で集合注射接種会場を設け、939頭に対し狂犬病予防注射を実施した。また、犬の登録業務では、新たに660頭の登録を行い、総登録数は10,647頭となった。さらには、犬の鳴き声や糞尿などに対する苦情対応や適正な動物の飼養に関する啓発を実施した。</p>		
			
事業評価	<p>狂犬病予防注射の集合注射及び犬の登録事務などを適正に実施することにより、狂犬病の発生予防に寄与するとともに、適正な動物の飼養に関する意識向上を図ることができた。公衆衛生の更なる向上を図るため、平成25年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	環境衛生対策関連事業	所管課	環境企画課												
		決算額	1,826千円												
事業内容	<p>良好な生活環境を保全するため、「宇治市環境保全基本条例」「宇治市あき地の雑草等の除去に関する条例」などに基づき、各種の環境衛生対策を行う。</p>														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">そ族及び衛生害虫対策費</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,594千円</td> </tr> <tr> <td> 野蜂駆除</td> <td style="text-align: right;">440件</td> </tr> <tr> <td> トビケラ駆除薬剤散布</td> <td style="text-align: right;">年2回（宇治川兩岸）</td> </tr> <tr> <td>あき地雑草等除去費</td> <td style="text-align: right;">232千円</td> </tr> <tr> <td> 指導件数</td> <td style="text-align: right;">70件（19,093㎡）</td> </tr> <tr> <td> 処理件数</td> <td style="text-align: right;">65件（17,202㎡）</td> </tr> </table>			そ族及び衛生害虫対策費	1,594千円	野蜂駆除	440件	トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）	あき地雑草等除去費	232千円	指導件数	70件（19,093㎡）	処理件数	65件（17,202㎡）
そ族及び衛生害虫対策費	1,594千円														
野蜂駆除	440件														
トビケラ駆除薬剤散布	年2回（宇治川兩岸）														
あき地雑草等除去費	232千円														
指導件数	70件（19,093㎡）														
処理件数	65件（17,202㎡）														
															
事業評価	<p>あき地の適正管理に関する指導等を実施することにより、生活環境の保全を図ることができた。 また、衛生害虫対策については、市民等への危険性が高い野蜂駆除やトビケラ駆除のための薬剤散布を行ったが、衛生面だけでなく観光面へも影響をおよぼしているトビケラについては、今後も効果的な対策を検討する。</p>														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	03 環境美化及び住宅周辺の環境整備の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	齋場施設運営費	所管課	環境企画課								
		決算額	65,636千円								
事業内容	利用者の宗教的感情を意識した火葬や葬祭などの利便を供するため、厳粛な環境の整備に努めるとともに、公共の福祉に資する事業を行い、効率的で安全性が高く衛生的な施設運営を図る。										
成果・実績	(財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な齋場事業を実施した。										
	齋場利用実績 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>火葬場</td> <td style="text-align: right;">3,066 件</td> </tr> <tr> <td>待合室</td> <td style="text-align: right;">781 件</td> </tr> <tr> <td>安置室</td> <td style="text-align: right;">108 件</td> </tr> <tr> <td>葬祭場</td> <td style="text-align: right;">123 件</td> </tr> </table>			火葬場	3,066 件	待合室	781 件	安置室	108 件	葬祭場	123 件
火葬場	3,066 件										
待合室	781 件										
安置室	108 件										
葬祭場	123 件										
											
事業評価	京都府南部地域において火葬場を有する齋場として果たす役割は大きく、公共の福祉に調和した事業を厳粛に実施することができた。今後も市民の宗教的感情に沿った事業の実施に努めるとともに、市民ニーズを的確に把握し、ニーズに対応した施設運営を図る。										

事務事業名	墓地公園管理費	所管課	環境企画課								
		決算額	24,864千円								
事業内容	市民福祉の向上に寄与するため、公園と一体となった墓地として宇治市墓地公園を設置し、豊かな自然環境を保護・保全するとともに、緑化事業を行うなど自然の環境と人のつくる緑の環境を調和させることにより、墓地使用者の利便だけでなく墓地公園を利用する全ての人に癒えるくつろぎの場を提供する。 また、公営の墓地として公平性・持続性を踏まえた墓地運営を行い、使用者が永代にわたって安心して墓参できる墓園環境を保持する。										
成果・実績	(財)宇治市霊園公社を指定管理者として指定し、適切かつ円滑な墓地公園事業を実施した。また、墓所使用者を年2回募集し、新たに使用を許可した。これにより総使用許可数は、2,800区画となった。										
	新規使用許可数 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>2m²</td> <td style="text-align: right;">68 件</td> </tr> <tr> <td>3m²</td> <td style="text-align: right;">13 件</td> </tr> <tr> <td>4m²</td> <td style="text-align: right;">2 件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">83 件</td> </tr> </table>			2m ²	68 件	3m ²	13 件	4m ²	2 件	合計	83 件
2m ²	68 件										
3m ²	13 件										
4m ²	2 件										
合計	83 件										
事業評価	市営墓地として公平性、中立性、継続性が求められる中、公共の福祉に調和した事業を適切に実施することができた。今後は市民のニーズを把握しながら、墓所のあり方を検討する必要がある。										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	浄化槽設置整備事業費補助金	所管課	環境企画課																
		決算額	4,482千円																
事業内容	生活排水による河川の水質汚濁を防止するため、浄化槽設置費用の一部を助成することにより、浄化槽の設置を促進する。																		
成果・実績	下水道事業認可区域外等の地域において補助対象の住宅に、浄化槽設置費用の一部を補助した。																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>設置数</th> <th>補助単価 (千円)</th> <th>交付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>332</td> <td>1,992</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2</td> <td>414</td> <td>828</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>3</td> <td>548</td> <td>1,644</td> </tr> </tbody> </table>			人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)	5	6	332	1,992	7	2	414	828	10	3	548	1,644
人槽	設置数	補助単価 (千円)	交付金額 (千円)																
5	6	332	1,992																
7	2	414	828																
10	3	548	1,644																
事業評価	浄化槽設置費用の一部を補助することにより、浄化槽設置を促進し、河川・水路等の水質改善に寄与した。平成25年度も継続実施する。																		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	一般廃棄物収集運搬事業	所管課	ごみ減量推進課		
		決算額	280,789千円		
事業内容	一般家庭から排出される可燃性・不燃性一般廃棄物の収集運搬業務及び資源ごみの収集運搬業務、また町内会等が側溝を清掃する際に必要な容器の貸出、回収業務を委託により実施する。				
成果・実績	可燃物等収集運搬委託費	65,940千円			
	不燃物収集運搬委託費	139,774千円			
	びん・ペットボトル・発泡トレイ類収集運搬委託費	69,375千円			
	溝土収集運搬委託費	5,700千円			
	家庭系ごみ等収集実績				
		各年度の収集量 (t)			収集方法等
		22	23	24	
	可燃ごみ	26,888	26,865	25,957	22,23年度 3台委託 24年度 4台委託
	不燃ごみ	9,579	9,736	9,412	委託 (一部地域除く)
	缶	296	334	368	22,23年度 3台委託 24年度 4台委託
	びん	1,149	1,151	1,139	委託 (一部地域除く)
	ペットボトル	431	392	434	委託 (一部地域除く)
	発泡トレイ類	88	86	87	委託 (一部地域除く)
	紙パック	27	29	26	直営
溝土	77	68	76	委託	
家電リサイクル法 対象家電製品	62台	76台	54台	直営	
死獣	6	7	6	直営 (24年度より一部委託)	
ごみ出しが困難な高齢者世帯などに対して、ふれあい収集(戸別収集)を実施した。 ふれあい収集 総世帯数283世帯(平成25年3月31日現在)					
事業評価	直営及び委託により収集運搬業務を適正に実施した。平成25年度も継続実施する。				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	04 ごみ・し尿の適正処理の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	廃家電運搬委託費	所管課	ごみ減量推進課																												
		決算額	812千円																												
事業内容	不法投棄された廃家電及びパソコンを、「特定家庭用機器再商品化法施行令」及び「資源有効利用促進法」に定められた再資源化率が達成可能な再資源化施設に運搬し、同法に準じた適切な処理を図る。																														
成果・実績	廃家電運搬処理委託費 806千円 不法投棄分処理台数 (台) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品目 \ 年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">テレビ</td> <td style="text-align: center;">146</td> <td style="text-align: center;">227</td> <td style="text-align: center;">173</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">冷蔵庫(冷凍庫含む)</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">洗濯機・衣類乾燥機</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">エアコン</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">パソコン</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">203</td> <td style="text-align: center;">281</td> <td style="text-align: center;">240</td> </tr> </tbody> </table>			品目 \ 年度	22	23	24	テレビ	146	227	173	冷蔵庫(冷凍庫含む)	32	30	37	洗濯機・衣類乾燥機	20	8	18	エアコン	0	4	9	パソコン	5	12	3	合 計	203	281	240
品目 \ 年度	22	23	24																												
テレビ	146	227	173																												
冷蔵庫(冷凍庫含む)	32	30	37																												
洗濯機・衣類乾燥機	20	8	18																												
エアコン	0	4	9																												
パソコン	5	12	3																												
合 計	203	281	240																												
事業評価	委託により適正に事業実施した。今後は、不法投棄についての監視体制や啓発活動などのさらなる対策を講じる必要がある。																														

事務事業名	不法投棄防止対策事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	1,852千円
事業内容	ごみ等の不法投棄を未然に防止するため、市内山間地において地元地域に委託し、不法投棄監視パトロールを実施する。		
成果・実績	不法投棄監視業務委託費 1,852千円 延べ529人、285日		
事業評価	不法投棄の防止に効果を挙げている。平成25年度も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみの減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	古紙回収事業費	所管課	ごみ減量推進課																				
		決算額	48,747千円																				
事業内容	ごみの減量と資源の有効利用（再資源化）を図るため、古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布等）の回収を、本市と協定締結した町内会・自治会等により実施する。																						
成果・実績	<p>古紙類（新聞・チラシ・雑誌等、段ボール、古布）の集団回収に取り組む町内会・自治会等510団体に対し、1kgあたり5円の報償金を交付し、ごみの減量化と古紙類の再利用を図った。</p> <p>古紙回収報償金 48,476千円</p> <p style="text-align: center;">各年度の古紙類回収量(t)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">種別</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集団回収</td> <td style="text-align: center;">9,731</td> <td style="text-align: center;">9,662</td> <td style="text-align: center;">9,695</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直営回収</td> <td style="text-align: center;">247</td> <td style="text-align: center;">261</td> <td style="text-align: center;">252</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">9,978</td> <td style="text-align: center;">9,923</td> <td style="text-align: center;">9,947</td> </tr> </tbody> </table>			年度	22	23	24	種別				集団回収	9,731	9,662	9,695	直営回収	247	261	252	合 計	9,978	9,923	9,947
年度	22	23	24																				
種別																							
集団回収	9,731	9,662	9,695																				
直営回収	247	261	252																				
合 計	9,978	9,923	9,947																				
事業評価	町内会等と協定を締結し、古紙回収を行い、ごみの減量と資源の有効利用を図ることができた。可燃ごみの減量に大きく寄与しているため、平成25年度も継続実施する。																						

事務事業名	ごみ減量化促進対策費	所管課	ごみ減量推進課																								
		決算額	442千円																								
事業内容	市民のごみ再利用意識の高揚及びごみの減量を促進するために、一般家庭から排出される生ごみを堆肥化または減量化するための生ごみ堆肥化容器、機器を設置する者に対して、購入費補助金を交付する。																										
成果・実績	<p>生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 442千円</p> <p style="text-align: center;">生ごみ堆肥化容器等購入費補助実績 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">品目</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電気式機器補助基数</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンポスト補助基数</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ぼかし容器補助基数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> </tbody> </table>			年度	22	23	24	品目				電気式機器補助基数	32	20	21	コンポスト補助基数	13	8	15	ぼかし容器補助基数	0	0	1	合 計	45	28	37
年度	22	23	24																								
品目																											
電気式機器補助基数	32	20	21																								
コンポスト補助基数	13	8	15																								
ぼかし容器補助基数	0	0	1																								
合 計	45	28	37																								
事業評価	生ごみ堆肥化容器等購入費の補助金交付を行い、ごみの減量化を図ることができた。平成25年度も継続実施する。																										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安心・安全のまち
中分類	01 環境保全対策の推進
小分類	05 ごみ減量化の推進

所管部局
市民環境部

事務事業名	指定ごみ袋制度導入事業	所管課	ごみ減量推進課
		決算額	799千円
事業内容	<p>指定ごみ袋制度とは、市民が「市が指定するごみ袋」で家庭ごみ（もえるごみ、もえないごみ、資源ごみ）を排出する制度で、平成24年10月から完全導入した。なお、市が指定するごみ袋とは、透明・白色の半透明で「中身の見える」一般に流通する市販品のごみ袋や、その基準を満たしているレジ袋などの非売品も含む。</p>		
成果・実績	<p>指定ごみ袋制度を導入するにあたり、市政だよりやホームページを通じた広報・啓発の他に、市民説明会も開催した。市が日時と場所を指定して6会場で開催した説明会には421名の参加が、また98団体からの依頼により職員を派遣して開催した説明会には3,053名の参加があり、市民の理解を求めた。</p> <p>その結果、家庭系ごみの1人1日あたりの排出量は、完全導入後の平成24年度下半期では、対前年度同期と比較して減少しており、一定の成果を上げている。</p> <div data-bbox="459 853 1158 1178" data-label="Image"> </div>		
事業評価	<p>市政だより・市民説明会などにより広報・啓発を行うことで、指定ごみ袋制度をスムーズに導入できたとともに、実施により、ごみの排出量の減少に寄与した。今後も、さらなる広報・啓発に努めるとともに、ごみ排出量の減少を目指し継続・実施する。</p>		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域福祉推進事業費	所管課	地域福祉課						
		決算額	247千円						
事業内容	「宇治市地域福祉計画」に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。								
成果・実績	<p>平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」に掲げた事業の進行管理を行い、地域福祉の推進を図った。また、地域福祉の担い手である住民の参加・参画が得られる取組として、地域づくり事業「いきいき福祉ふれあいのつどい」（地域懇談会）を開催した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">いきいき福祉ふれあいのつどい</td> <td style="width: 40%;">2小学校区 2回</td> </tr> <tr> <td>地域福祉推進委員会開催数</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>出前講座開催数</td> <td>2回</td> </tr> </table>			いきいき福祉ふれあいのつどい	2小学校区 2回	地域福祉推進委員会開催数	1回	出前講座開催数	2回
いきいき福祉ふれあいのつどい	2小学校区 2回								
地域福祉推進委員会開催数	1回								
出前講座開催数	2回								
事業評価	平成22年度に策定した「第2期宇治市地域福祉計画」の目的達成に向け、各事業の進行管理の手法について、地域福祉推進委員会での議論を踏まえて検討を行い、地域福祉を推進することができた。今後も、計画に基づいて各事業の進行管理を行うとともに、社会福祉協議会が策定する「宇治市地域福祉活動計画」との連携を図り、住民が主体となる地域福祉を推進する必要がある。								

事務事業名	宇治市社会福祉協議会補助金	所管課	地域福祉課														
		決算額	60,607千円														
事業内容	地域福祉推進の中核的役割を担っている（福）宇治市社会福祉協議会の独自事業及び人件費に対して財政援助を行うことにより、地域福祉の充実強化を図る。																
成果・実績	<p>（福）宇治市社会福祉協議会に対し、次に掲げる補助を行い、財政的援助と事業の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金</td> <td style="width: 40%;">48,103千円</td> </tr> <tr> <td>福祉活動専門員設置事業補助金</td> <td>2,535千円</td> </tr> <tr> <td>福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金</td> <td>980千円</td> </tr> <tr> <td>ボランティアコーディネーター設置事業補助金</td> <td>1,959千円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい福祉センター事業補助金</td> <td>3,600千円</td> </tr> <tr> <td>学区福祉委員会活動事業補助金</td> <td>3,280千円</td> </tr> <tr> <td>災害ボランティアセンター体制整備事業補助金</td> <td>150千円</td> </tr> </table>			宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	48,103千円	福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円	福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円	ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円	ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円	学区福祉委員会活動事業補助金	3,280千円	災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円
宇治市社会福祉協議会事務所運営事業補助金	48,103千円																
福祉活動専門員設置事業補助金	2,535千円																
福祉サービス利用援助事業専門員設置事業補助金	980千円																
ボランティアコーディネーター設置事業補助金	1,959千円																
ふれあい福祉センター事業補助金	3,600千円																
学区福祉委員会活動事業補助金	3,280千円																
災害ボランティアセンター体制整備事業補助金	150千円																
事業評価	社会福祉協議会の活動は民間組織の自主性と法に基づく公共性を併せ持ち、地域住民が主体となった地域福祉の推進に果たす役割は大きく、少子高齢化の進行に伴い福祉ニーズが複雑化・多様化する中、継続して助成する必要があると考える。今後はより一層、地域福祉を推進するため、福祉施策を実施する際の連携・協働のあり方を検討する必要がある。																

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	01 地域福祉の推進
小分類	01 地域福祉活動の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民生児童委員活動助成費	所管課	地域福祉課						
		決算額	37,546千円						
事業内容	<p>民生委員法・児童福祉法に定められた民生児童委員の職務を遂行するために必要な活動費を助成し、地域における福祉活動を推進するとともにその向上を図る。民生児童委員は、高齢者等世帯、ひとり親世帯、児童・子育て支援世帯、障害児・者世帯、生活困難者世帯などの福祉向上及び公的社会福祉施策への協力など、地域福祉の担い手として広範な社会福祉活動を担っている。</p>								
成果・実績	<p>民生児童委員に対して次に掲げる補助を行い、委員活動の一層の充実を図った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">民生児童委員活動費補助金</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">35,502千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員協議会会長活動費補助金</td> <td style="text-align: right;">360千円</td> </tr> <tr> <td>民生児童委員地域福祉活動促進費補助金</td> <td style="text-align: right;">1,684千円</td> </tr> </table>			民生児童委員活動費補助金	35,502千円	民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円	民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,684千円
民生児童委員活動費補助金	35,502千円								
民生児童委員協議会会長活動費補助金	360千円								
民生児童委員地域福祉活動促進費補助金	1,684千円								
事業評価	<p>民生児童委員の活動は、地域福祉の推進を図る上で重要であり、少子高齢化の進行など社会状況の変化に伴い、その活動は多様化している。複雑化・多様化する住民からの相談等に対処するため研修活動や委員相互の連携強化が必要であり、今後も京都府とあわせて助成の継続が必要である。</p>								

事務事業名	総合福祉会館管理運営費	所管課	地域福祉課				
		決算額	25,328千円				
事業内容	<p>(福) 宇治市社会福祉協議会を指定管理者(平成22年度から26年度)として、地域福祉推進の拠点施設である宇治市総合福祉会館(昭和58年1月開館)を管理・運営する。</p>						
成果・実績	<p>宇治市総合福祉会館を指定管理者によって管理・運営し、必要な修繕を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">総合福祉会館指定管理料</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">24,960千円</td> </tr> <tr> <td>総合福祉会館修繕費</td> <td style="text-align: right;">368千円</td> </tr> </table>			総合福祉会館指定管理料	24,960千円	総合福祉会館修繕費	368千円
総合福祉会館指定管理料	24,960千円						
総合福祉会館修繕費	368千円						
事業評価	<p>指定管理者により適正に管理運営した。本市の福祉事業推進の拠点施設として利用されているが、施設の老朽化や利用者ニーズの多様化による設備改修の要望もあり、引き続き指定管理者と連携し検討する必要がある。</p>						

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	01 地域福祉の推進	
小分類	01 地域福祉活動の推進	

事務事業名	総合福社会館整備事業費	所管課	地域福祉課												
		決算額	7,838千円												
事業内容	地域福祉活動の拠点施設である宇治市総合福社会館の再整備事業に係る経費。														
成果・実績	<p>総合福社会館の維持・管理のため、必要な改修を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">ロビー改修工事請負費</td> <td style="text-align: right;">6,143千円</td> </tr> <tr> <td>ロビー改修設計委託料</td> <td style="text-align: right;">498千円</td> </tr> <tr> <td>ロビー床敷工事請負費</td> <td style="text-align: right;">195千円</td> </tr> <tr> <td>受水槽改修工事請負費</td> <td style="text-align: right;">492千円</td> </tr> <tr> <td>娯楽室拡張工事請負費</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> </tr> <tr> <td>娯楽室内装工事請負費</td> <td style="text-align: right;">170千円</td> </tr> </table>			ロビー改修工事請負費	6,143千円	ロビー改修設計委託料	498千円	ロビー床敷工事請負費	195千円	受水槽改修工事請負費	492千円	娯楽室拡張工事請負費	340千円	娯楽室内装工事請負費	170千円
ロビー改修工事請負費	6,143千円														
ロビー改修設計委託料	498千円														
ロビー床敷工事請負費	195千円														
受水槽改修工事請負費	492千円														
娯楽室拡張工事請負費	340千円														
娯楽室内装工事請負費	170千円														
事業評価	2階フロアの改修等、必要な改修を実施し、利用者の利便の向上を図った。今後も、現在の施設利用状況を分析し、地域福祉活動の拠点として、利用者の利便の向上のために必要な設備改修を検討する必要がある。														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	住宅手当緊急特別措置事業費	所管課	地域福祉課								
		決算額	13,554千円								
事業内容	離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者または、喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けて支援する。（（福）宇治市社会福祉協議会へ一部事務委託）										
成果・実績	支給状況等（平成24年4月1日～平成25年3月31日） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">支給対象者数</td> <td style="text-align: right;">42人</td> </tr> <tr> <td>支給額合計</td> <td style="text-align: right;">7,064千円</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">26人</td> </tr> <tr> <td>不支給決定者数</td> <td style="text-align: right;">0人</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">支給申請と支給決定が年度を跨るケースがあるため、申請者数と決定者数および不支給者数の合計は必ずしも一致しない。</p> <p>就労状況（平成24年4月1日～平成25年3月31日） 平成24年度に支給した42人中25人（59.5%）が常用就職できた。</p>			支給対象者数	42人	支給額合計	7,064千円	支給決定者数	26人	不支給決定者数	0人
支給対象者数	42人										
支給額合計	7,064千円										
支給決定者数	26人										
不支給決定者数	0人										
事業評価	現在の厳しい経済情勢のもと、失業者に対するセーフティネットとしての役割を果たしている。雇用対策としての取組であり、今後もハローワークや京都府との連携が重要である。										

事務事業名	くらしの資金貸付事業費	所管課	地域福祉課																																		
		決算額	6,130千円																																		
事業内容	生活保護（生活扶助）基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上を図るため、生活維持に必要な資金を年2回（夏期、年末）、貸付限度額10万円（夏期・年末の合計）、償還期間最長20カ月返済で貸し付ける。（（福）宇治市社会福祉協議会へ事務委託）																																				
成果・実績	平成24年度は件数、金額ともに平成23年度と比べ若干減少したものの、厳しい経済状況の中、本事業により生活安定を図った。 <p style="margin-top: 10px;">くらしの資金貸付実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成22年度</th> <th colspan="2">平成23年度</th> <th colspan="2">平成24年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>貸付金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: right;">1,800</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: right;">2,100</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: right;">1,700</td> </tr> <tr> <td>年末</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: right;">3,200</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: right;">4,360</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: right;">3,880</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td style="text-align: center;">65</td> <td style="text-align: right;">6,460</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: right;">5,580</td> </tr> </tbody> </table>				平成22年度		平成23年度		平成24年度		件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	夏期	18	1,800	21	2,100	17	1,700	年末	32	3,200	44	4,360	39	3,880	合計	50	5,000	65	6,460	56	5,580
	平成22年度		平成23年度		平成24年度																																
	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)	件数	貸付金額 (千円)																															
夏期	18	1,800	21	2,100	17	1,700																															
年末	32	3,200	44	4,360	39	3,880																															
合計	50	5,000	65	6,460	56	5,580																															
事業評価	低所得者等の生活意欲の向上と自立助成を図り、一定の効果は上がっていると考えますが、経済状況の変化や他の福祉制度を踏まえると対象者の要件など制度の見直しが必要であり、今後は国や京都府制度の動向を注視しつつ、見直しを検討する必要があります。また、償還率向上のため、業務を委託している（福）宇治市社会福祉協議会と連携した対応が引き続き必要である。																																				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	06 低所得者福祉の充実	
小分類	01 低所得者福祉の充実	

事務事業名	生活保護申請者つなぎ立替金貸付事業費	所管課	生活支援課				
		決算額	2,877千円				
事業内容	平成15年度に発足した制度であり、生活保護の申請から決定までの期間、生活困窮者のつなぎ資金として、3万円を限度として生活費の貸付を行う。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">貸付件数</td> <td style="text-align: right;">275件</td> </tr> <tr> <td>貸付額合計</td> <td style="text-align: right;">2,877千円</td> </tr> </table>			貸付件数	275件	貸付額合計	2,877千円
貸付件数	275件						
貸付額合計	2,877千円						
事業評価	適切に貸付を行い、対象者の生活安定を図ることができた。近年の厳しい経済状況の中で、今後も新規申請者は減少しないと考えられるため、的確な状況把握に努めながら平成25年度も継続実施する。						

事務事業名	中国残留邦人生活支援事業費	所管課	生活支援課																					
		決算額	66,747千円																					
事業内容	「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の一部が改正されたことにより平成20年4月1日より国からの法定受託事務として支援給付事業を行うこととされたもの。支援給付の内容は今までの生活保護費に代わるものである。																							
成果・実績	<p>中国残留邦人等帰国者に対し、支援給付費の支給や日本語教室の開催などの支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">中国残留邦人等支援給付費</td> <td style="text-align: right;">61,877千円</td> <td style="width: 40%;">（対象：21世帯、30人）</td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人等支援事務費</td> <td style="text-align: right;">2,442千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中国残留邦人生活支援日本語教室委託料</td> <td style="text-align: right;">2,428千円</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">支援給付費決算額 （千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">支援の種類</th> <th style="width: 15%;">生活</th> <th style="width: 15%;">住宅</th> <th style="width: 15%;">介護</th> <th style="width: 15%;">医療</th> <th style="width: 15%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>扶助費</td> <td style="text-align: right;">21,821</td> <td style="text-align: right;">3,650</td> <td style="text-align: right;">431</td> <td style="text-align: right;">35,975</td> <td style="text-align: right;">61,877</td> </tr> </tbody> </table>			中国残留邦人等支援給付費	61,877千円	（対象：21世帯、30人）	中国残留邦人等支援事務費	2,442千円		中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円		支援の種類	生活	住宅	介護	医療	合計	扶助費	21,821	3,650	431	35,975	61,877
中国残留邦人等支援給付費	61,877千円	（対象：21世帯、30人）																						
中国残留邦人等支援事務費	2,442千円																							
中国残留邦人生活支援日本語教室委託料	2,428千円																							
支援の種類	生活	住宅	介護	医療	合計																			
扶助費	21,821	3,650	431	35,975	61,877																			
事業評価	国制度に基づき適正に執行し、対象者の経済的等の生活支援を図ることができた。今後の対象者数は減少が見込まれるが、安定した生活を支援するため平成25年度も継続実施する。																							

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	06 低所得者福祉の充実
小分類	01 低所得者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活保護	所管課	生活支援課																						
		決算額	4,296,649千円																						
事業内容	<p>日本国憲法第25条に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。国が示す生活保護基準により扶助費を支給する。</p>																								
成果・実績	<p>生活困窮者の困窮の程度に応じて必要な保護を行い、生活、住宅、教育、介護、医療、出産、生業及び葬祭扶助を実施した。被保護世帯は平成24年度中の月平均で1,883世帯、被保護人員は、2,910人であった。</p> <p style="text-align: center;">平成24年度生活保護扶助費決算額 (千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">扶助の種類</th> <th style="width: 70%;">扶助費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>生活</td><td style="text-align: right;">1,611,863</td></tr> <tr><td>住宅</td><td style="text-align: right;">697,536</td></tr> <tr><td>教育</td><td style="text-align: right;">40,426</td></tr> <tr><td>介護</td><td style="text-align: right;">65,910</td></tr> <tr><td>医療</td><td style="text-align: right;">1,826,822</td></tr> <tr><td>出産</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>生業</td><td style="text-align: right;">26,118</td></tr> <tr><td>葬祭</td><td style="text-align: right;">9,170</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">18,804</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">4,296,649</td></tr> </tbody> </table>			扶助の種類	扶助費	生活	1,611,863	住宅	697,536	教育	40,426	介護	65,910	医療	1,826,822	出産	0	生業	26,118	葬祭	9,170	その他	18,804	合計	4,296,649
扶助の種類	扶助費																								
生活	1,611,863																								
住宅	697,536																								
教育	40,426																								
介護	65,910																								
医療	1,826,822																								
出産	0																								
生業	26,118																								
葬祭	9,170																								
その他	18,804																								
合計	4,296,649																								
事業評価	<p>国制度に基づき執行し、対象世帯の経済的な生活支援と自立助長を図ることができた。今後も市民の生活保障のため継続実施するが、近年の厳しい経済状況の中で、受給者数の増加は続くと見込まれており、より多くの経済的自立を目指すとともに的確に状況把握し、濫給防止、漏給防止に配慮しながら法令遵守を徹底し、生活保護運営に努める必要がある。</p>																								

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者福祉基本計画施策推進協議会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	184千円
事業内容	宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会は、年2回程度開催し、障害者福祉基本計画に沿った障害者に関わる事業を報告しその意見を聞く。		
成果・実績	平成25年4月1日施行の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の概要説明と宇治市地域自立支援協議会の取り組みについて報告するとともに、障害福祉施策について宇治市障害者福祉基本計画施策推進協議会からの意見を聴いた。		
事業評価	各計画の内容や制度改正などについて報告すると共に、委員の意見を聴き施策に反映することができた。平成25年度以降に予定されている制度変更を踏まえ、国、京都府の動向を注視しつつ、対応していく必要がある。		

事務事業名	障害者介護給付費等支給認定審査会運営費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,940千円
事業内容	障害者の介護給付費等の支給申請に対し、障害者の障害程度区分に関する審査及び判定を行う。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づき、障害者の障害程度区分を審査判定する審査会を開催し、審査判定を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">審査会開催数</div> <div style="width: 50%;">31回</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">審査判定件数</div> <div style="width: 50%;">497件（宇治田原町分23件を含む）</div> </div>		
事業評価	国制度に基づいて適切に運営できた。平成25年度以降に予定されている制度変更を踏まえ、国、京都府の動向を注視しつつ、今後も対応していく必要がある。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者自立支援医療費	所管課	障害福祉課
		決算額	241,368千円
事業内容	身体障害者手帳の交付を受けた18歳以上の人に対し、身体の機能障害を除去、または軽減する医療を指定の医療機関で受ける場合にその医療費の一部を支給する。		
成果・実績	自立支援医療費（更生医療）事業 身体の機能障害を除去、または軽減し日常生活や職業生活に適応するように改善するため、医療費の一部を762人に支給した。（入院・通院重複者は除く） 自立支援医療特別対策事業 自立支援医療費（更生医療）の対象にならない、在宅酸素療法やストマ周辺の感染防止等のための治療及びぼうこうまたは直腸の機能障害となった原因疾患の治療を行っている該当障害3級の手帳所持者42人に対し、医療費の一部を支給した。		
事業評価	国と京都府制度に基づいて適正に医療費を支給し、障害者の治療を促進することができた。平成25年度からは、自立支援医療（育成医療）が市へ権限移譲されることから、今後も京都府、医療機関と連携しながら、的確かつ円滑な事務の遂行に努める必要がある。		

事務事業名	特別障害者手当等給付費	所管課	障害福祉課						
		決算額	115,019千円						
事業内容	在宅の重度障害児・者の福祉の向上を図るため、特別障害者手当、障害児福祉手当、経過的福祉手当を支給する。								
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対して、その重度の障害によって生じる特別の負担に対し各手当を支給した。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">特別障害者手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">3,283人</td> </tr> <tr> <td>障害児福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">1,895人</td> </tr> <tr> <td>経過的福祉手当延べ支給人数</td> <td style="text-align: right;">103人</td> </tr> </table>			特別障害者手当延べ支給人数	3,283人	障害児福祉手当延べ支給人数	1,895人	経過的福祉手当延べ支給人数	103人
特別障害者手当延べ支給人数	3,283人								
障害児福祉手当延べ支給人数	1,895人								
経過的福祉手当延べ支給人数	103人								
事業評価	嘱託医の審査を取り入れ、適切に事務処理を行うことで、在宅の重度障害児・者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度も国の基準に基づき、継続して実施する。								

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者介護給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	1,636,208千円
事業内容	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行う。自立支援給付申請により支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な居宅介護等の福祉サービスを利用することにより、障害者の自立と社会参加の実現を目的とする。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、介護給付費等の給付を行った。 居宅介護等給付利用延べ人数 15,836人		
事業評価	国、京都府制度と本市単独施策を併せて適正に給付を行い、障害者と障害児の福祉の推進を図ることができた。今後も国の制度変更に際し、障害福祉サービスを円滑に利用できるような的確に対応するとともに、給付状況を分析し、動向を見極めていく必要がある。		

事務事業名	障害者訓練等給付費	所管課	障害福祉課
		決算額	472,959千円
事業内容	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行う。自立支援給付申請により支給決定を受けた障害者が、都道府県の指定を受けた事業所と契約し、自立生活に必要な自立訓練等の福祉サービスを利用することにより、障害者の自立と社会参加の実現を目的とする。		
成果・実績	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスの利用に対し、訓練等給付費等の給付を行った。 訓練等給付利用延べ人数 4,820人		
事業評価	国、京都府制度と本市単独施策を併せて適正に給付を行い、障害者と障害児の福祉の推進を図ることができた。今後も国の制度変更に際し、障害福祉サービスを円滑に利用できるような的確に対応するとともに、給付状況を分析し、動向を見極めていく必要がある。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者日常生活用具費	所管課	障害福祉課
		決算額	53,412千円
事業内容	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活の便宜を図るため、介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排泄管理支援用具などの日常生活用具を給付または貸与する。		
成果・実績	在宅の重度障害児・者に対し、日常生活用具を給付・貸与した。 給付件数 4,427件		
事業評価	障害児・者の日常生活の便宜と生活の向上を図ることができた。今後も用具の価格等に注意を払いながら的確に事務を遂行する必要がある。		

事務事業名	障害者補装具費	所管課	障害福祉課
		決算額	41,304千円
事業内容	障害児・者の失われた身体機能を補完・代替するために用いられる用具である補装具の購入または修理に要する費用の一部または全部を支給する。		
成果・実績	義肢・装具・車いす等の補装具の購入及び修理に要する費用を支給した。 延べ支給件数 550件		
事業評価	制度に基づいて適正な事務執行に努め、障害者の身体機能の向上や自立を促進することができた。今後も適切な事務の遂行に努める。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者コミュニケーション支援事業費	所管課	障害福祉課				
		決算額	7,441千円				
事業内容	聴覚、言語機能等の障害者に対し、障害者とその他の者の意思疎通の円滑化を図るため、手話通訳者、要約筆記奉仕員の派遣を行う。						
成果・実績	<p>聴覚障害者のコミュニケーションを支援するため、手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣した。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>手話通訳者派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">732件</td> </tr> <tr> <td>要約筆記奉仕員派遣延べ件数</td> <td style="text-align: right;">513件</td> </tr> </table>			手話通訳者派遣延べ件数	732件	要約筆記奉仕員派遣延べ件数	513件
手話通訳者派遣延べ件数	732件						
要約筆記奉仕員派遣延べ件数	513件						
事業評価	手話通訳者・要約筆記奉仕員を派遣することで、聴覚障害者のコミュニケーション支援を行い、意思疎通の円滑化や社会参加を促進することができた。今後も利用ニーズや利用状況を的確に把握し実施する。						

事務事業名	手話奉仕員養成講座開設事業費	所管課	障害福祉課		
		決算額	793千円		
事業内容	聴覚障害者のコミュニケーション支援を行う手話奉仕員を養成する養成講座を開催する。				
成果・実績	<p>市内在住・在勤・在学の方を対象に、手話奉仕員養成講座（入門課程）を実施した。</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>受講者数</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> </table>			受講者数	50人
受講者数	50人				
事業評価	2カ年単位で奉仕員を養成している。聴覚障害者のコミュニケーション支援につながるものであり、人材を育てるためには継続的な実施が必要と考える。				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	障害者移動支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	79,543千円
事業内容	屋外での移動が困難な障害者等に対し、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に外出のための支援を行う。		
成果・実績	屋外での移動が困難な障害者等に対して、外出を支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 29,913.5時間 </div>		
事業評価	障害者の自立生活の向上や社会参加を促進することができた。平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	障害者日中一時支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	71,736千円
事業内容	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的に、障害者等に活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。		
成果・実績	日中に障害者等の活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援や一時的な休息を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 利用時間 66,971時間 </div>		
事業評価	障害者の活動の場を確保するとともに家族の就労支援や一時的な休息を促進できた。利用ニーズの高いサービスであり、平成25年度も継続実施するが、今後も利用者・利用時間の増加が見込まれるため、状況を的確に把握する必要がある。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉タクシー扶助費	所管課	障害福祉課
		決算額	36,851千円
事業内容	外出困難な重度心身障害者の日常生活の利便を図り、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図るため、タクシー料金の一部を助成する。		
成果・実績	1カ月あたり1,200円の利用券を交付した。タクシー料金の一部助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 交付件数 3,619件 </div>		
事業評価	対象者に対して適正に福祉タクシー券の交付を行った。平成25年度も継続実施するが、毎年度利用者の増加が見込まれる中、状況の的確な把握に努め、より効果的な交付方法について検討する。		

事務事業名	各種自己負担助成金	所管課	障害福祉課
		決算額	3,475千円
事業内容	身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳を交付（新規、再交付）申請する際に要する医師の診断書料や、特別障害者手当認定請求（新規）時に要する診断書料の全部または一部を助成することで、障害者の経済的負担を軽減する。		
成果・実績	手帳の交付申請等に要する診断書料の自己負担に対して助成を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>診断書料の自己負担に対する延べ助成件数</p> <p>身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付申請時</p> <p>特別障害者手当等の認定請求時</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>1,143件</p> <p>26件</p> </div> </div>		
事業評価	各種制度の申請に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	重度身体障害者訪問入浴サービス事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	4,650千円
事業内容	在宅において家族等の介助による入浴が困難な重度身体障害者に対し、移動入浴車により家庭に訪問し、入浴サービスを実施することによって、在宅における家族等の介護の軽減と重度身体障害者の福祉の向上を図る。		
成果・実績	<p>入浴が困難な重度身体障害者に対して、訪問入浴サービスを提供した。</p> <p style="text-align: center;">サービス利用者延べ人数 465人</p>		
事業評価	対象者を10歳以上へ拡大したことで、障害者の家族の介護負担を軽減し、在宅での福祉向上を一層図ることができた。今後も状況を的確に把握する必要がある。		

事務事業名	障害者施設等通所交通費助成	所管課	障害福祉課
		決算額	5,544千円
事業内容	公共交通機関を利用して障害者施設等に通所する障害者に対し、通所に要した交通費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>公共交通機関を利用して障害者施設等に通所している障害者に対し、交通費の一部の助成を行った。</p> <p style="text-align: center;">延べ助成者数 310人</p>		
事業評価	施設に通所する障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。今後も状況を的確に把握する必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	05 障害者福祉の推進
小分類	01 障害者福祉の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	心身障害者介護支援（レスパイトサービス）事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	3,640千円
事業内容	心身障害者が日常生活を支障なく営むために必要な設備を有している宿泊ホームにおいて、心身障害者を一時的に介護することによって、在宅において心身障害者を介護している介護者の負担軽減を図る。		
成果・実績	介護者の負担軽減を図るため、心身障害者の一時的な介護を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 利用回数 1,911回 </div>		
事業評価	在宅障害者の介護者の一時的休息を図ることによって福祉向上につながったと考える。介護者の休息を主眼においたサービスであり、介護者の負担軽減に効果的な事業であるため、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	障害者相談支援事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	16,706千円
事業内容	障害者が地域において自立した日常生活と社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等利用に関する相談や情報提供、その他社会資源を活用するための支援を行う障害者生活支援センターを運営するとともに、成年後見制度の利用支援等を行う。		
成果・実績	障害者やその家族等の各種の相談に応じて、地域における生活を支援し、福祉の向上を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 相談件数 4,382件 </div> 成年後見制度の利用支援として、親族による審判の申立がないケースについて市長申立を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> 申立件数 2件 </div>		
事業評価	障害者生活支援センターにおいては順調に相談件数を伸ばしており、障害福祉サービス及びその他社会資源の有効利用を促進できた。また成年後見制度の利用支援においては、平成24年度からは、身寄りのあるなしに関わらず費用助成が出来るよう成年後見制度利用支援事業の拡大をし、障害者の自立に資することができた。今後も、障害者の自立支援のため継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	05 障害者福祉の推進	
小分類	01 障害者福祉の充実	

事務事業名	障害者生活支援事業費	所管課	障害福祉課						
		決算額	2,959千円						
事業内容	障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援等を行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。								
成果・実績	<p>宇治市視覚障害者協会に委託し、中途失明者を対象に点字講習会を行った。また、精神障害者を対象に、創作やゲーム等のプログラムを通して、作業能力や生活能力を高め、社会生活への適応が図れるよう、うじ安心館等において精神障害者社会復帰集団指導事業を開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中途失明者点字講習会開催数</td> <td style="text-align: right;">96回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">精神障害者社会復帰集団指導事業開催数</td> <td style="text-align: right;">40回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数</td> <td style="text-align: right;">425人</td> </tr> </table>			中途失明者点字講習会開催数	96回	精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回	精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	425人
中途失明者点字講習会開催数	96回								
精神障害者社会復帰集団指導事業開催数	40回								
精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数	425人								
事業評価	障害者の社会参加や社会復帰、生活能力の向上を図ることができた。本事業が唯一の社会参加の場、他者との交流の場となっている障害者もあり、今後も実施方法を検討しながら継続実施する。								

事務事業名	地域活動支援センター等事業費	所管課	障害福祉課
		決算額	28,368千円
事業内容	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進など、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。		
成果・実績	5カ所の地域活動支援センターに通う延べ1,087人の障害者に対し支援を行った。		
事業評価	障害者の活発な活動や社会交流の機会を促進できた。平成24年度に共同作業所から2つの事業所が移行したため、利用者は大幅に増加した。今後も状況を的確に把握し、事業の安定的運営を図るための検討が必要である。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	児童手当費（子ども手当費）	所管課	こども福祉課								
		決算額	3,353,164千円								
事業内容	平成22年度に創設された子ども手当制度が、平成24年度より児童手当制度へ変更された。支給額、支給要件に変更はないが、平成24年6月分から所得制限が設けられた。										
成果・実績	<p>中学校修了前の児童を養育している人に支給する。手当額は、児童1人につき月額10,000円もしくは15,000円（児童数、児童の年齢によって異なる）。但し、平成24年6月分からは所得制限限度額を超過している場合には、特例給付として児童1人につき月額5,000円（一律）を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">受給者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">14,662人</td> </tr> <tr> <td>支給対象となる児童数</td> <td style="text-align: right;">24,274人</td> </tr> <tr> <td>児童手当扶助費（24年4月以降分）</td> <td style="text-align: right;">2,747,820千円</td> </tr> <tr> <td>子ども手当扶助費（24年3月以前分）</td> <td style="text-align: right;">601,226千円</td> </tr> </table>			受給者数	14,662人	支給対象となる児童数	24,274人	児童手当扶助費（24年4月以降分）	2,747,820千円	子ども手当扶助費（24年3月以前分）	601,226千円
受給者数	14,662人										
支給対象となる児童数	24,274人										
児童手当扶助費（24年4月以降分）	2,747,820千円										
子ども手当扶助費（24年3月以前分）	601,226千円										
事業評価	国の制度改正に対応しながら、適正に支給を行った。今後も市民への制度の周知に努め、的確な事務の遂行に努める。										

事務事業名	こどもショートステイ事業費	所管課	こども福祉課				
		決算額	45千円				
事業内容	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合などに、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。						
成果・実績	<p>一時的に家庭で子育てが困難となった場合に、児童養護施設等で一定期間養育する事業を実施した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">実施施設</td> <td style="width: 70%;"> 桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町） </td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td style="text-align: center;">5日</td> </tr> </table>			実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）	利用日数	5日
実施施設	桃山学園（京都市伏見区） 京都大和の家（精華町）						
利用日数	5日						
事業評価	臨時的に児童等の保護を行い、保護者・児童の支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての要素があり、平成25年度も制度の周知に努め、利用しやすいよう改善を検討しながら、継続実施していく。						

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	ファミリー・サポート・センター運営費	所管課	こども福祉課								
		決算額	5,781千円								
事業内容	<p>児童の保護者の就労と育児の両立を支援し、安心して働くことのできる環境をつくるため、育児の援助を行いたい者と受けたい者からなる会員組織であるファミリー・サポート・センターにおいて、地域での会員相互間の活動を支援する。JR宇治駅前市民交流プラザ「ゆめりあうじ」に事務局を設置している。</p>										
成果・実績	<p>ファミリー・サポート・センターを運営し、地域における相互援助活動を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>援助会員数</td> <td style="text-align: right;">131人</td> </tr> <tr> <td>依頼会員数</td> <td style="text-align: right;">1,324人</td> </tr> <tr> <td>両方会員数</td> <td style="text-align: right;">42人</td> </tr> <tr> <td>利用件数</td> <td style="text-align: right;">1,838件</td> </tr> </table>			援助会員数	131人	依頼会員数	1,324人	両方会員数	42人	利用件数	1,838件
援助会員数	131人										
依頼会員数	1,324人										
両方会員数	42人										
利用件数	1,838件										
事業評価	<p>市民からなる会員組織を運営し、地域住民による子育ての相互援助を図ることができた。近年、利用件数が減少しており、待機児童対策による保育所定数の増加等の影響が考えられるが、今後も多様化する依頼ニーズにきめ細かく対応するとともに、利用促進を図っていく必要がある。</p>										

事務事業名	児童虐待防止対策事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	288千円						
事業内容	<p>児童福祉法に基づき、児童虐待の早期発見及び予防のため、要保護児童対策地域協議会を設置している。（要保護児童対策地域協議会代表者会議（年2回）の開催、要保護児童対策地域協議会調整会議（年6回）の開催）</p>								
成果・実績	<p>代表者会議（年2回）では、関係機関等の代表者が出席し、児童虐待の現状とケースの報告を行い、関係機関等の連携を深めた。調整会議（年6回）には、関係機関等の実務担当者が出席し、市と児童相談所の児童虐待ケースの情報を共有し、援助方針を話し合い、連携を深めた。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>代表者会議開催日</td> <td style="text-align: right;">8月10日、平成25年2月15日</td> </tr> <tr> <td>調整会議開催日</td> <td style="text-align: right;">奇数月の第4金曜日</td> </tr> <tr> <td>児童虐待ケースの延べ対応件数</td> <td style="text-align: right;">118件</td> </tr> </table>			代表者会議開催日	8月10日、平成25年2月15日	調整会議開催日	奇数月の第4金曜日	児童虐待ケースの延べ対応件数	118件
代表者会議開催日	8月10日、平成25年2月15日								
調整会議開催日	奇数月の第4金曜日								
児童虐待ケースの延べ対応件数	118件								
事業評価	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のため、様々な事案に対応するとともに、要保護児童対策地域協議会を開催し、関係者の連携と情報共有に努めた。平成25年度も児童虐待防止のため、引き続き取り組む必要がある。</p>								

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	児童虐待防止対策緊急強化事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	2,078千円						
事業内容	<p>児童虐待の未然防止と早期発見のために、地域子育て支援基幹センター（児童虐待担当）の体制を強化し、児童相談所との連携強化や相談ケースへの対応力の向上を図るとともに、啓発や研修など様々な取組を実施し、児童虐待防止対策の緊急的な強化を図る。</p>								
成果・実績	<p>地域子育て支援基幹センターに、新たに社会福祉士を配置し、児童相談所との連携を強化するとともに、相談ケースへの対応力の強化を図った。また、要保護児童対策地域協議会の関係機関等を対象に、2回の研修会を開催するとともに、児童虐待初期対応ハンドブックの作成と配布を行った。</p> <p>広報・啓発活動としては、子どもへの虐待・女性に対する暴力の根絶を目指し、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」の啓発を一体化し、「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーン」を男女共同参画課と共催で実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">囑託職員配置</td> <td>社会福祉士（児童相談所勤務経験者）を雇用</td> </tr> <tr> <td>研修会開催日</td> <td>7月17日、11月7日</td> </tr> <tr> <td>キャンペーン実施内容</td> <td>関連図書展示・パネル展示・街頭啓発</td> </tr> </table>			囑託職員配置	社会福祉士（児童相談所勤務経験者）を雇用	研修会開催日	7月17日、11月7日	キャンペーン実施内容	関連図書展示・パネル展示・街頭啓発
囑託職員配置	社会福祉士（児童相談所勤務経験者）を雇用								
研修会開催日	7月17日、11月7日								
キャンペーン実施内容	関連図書展示・パネル展示・街頭啓発								
事業評価	<p>児童虐待の防止対策について緊急的な強化を図るため、専門職員を雇用し、児童相談所との連携を強化するとともに、研修会の開催やハンドブック作成、広報・啓発活動などの取組を行った。平成25年度も、相談件数の増加やケースの深刻化に対応するため、継続して取り組んでいく。</p>								

事務事業名	しあわせ子育て・子育て応援事業費	所管課	こども福祉課		
		決算額	651千円		
事業内容	<p>子どもが生まれた家庭に対して、子どもを生み育てる喜びを感じてもらえるようなお祝いの記念品等を贈るとともに、子育て情報誌等で市の子育て支援事業を広報する。</p>				
成果・実績	<p>お祝いのメッセージカード、子育て情報誌、アルバム式身長計、ファミリー・サポート・センターの無料券などを送付した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">送付件数</td> <td>1,530世帯</td> </tr> </table>			送付件数	1,530世帯
送付件数	1,530世帯				
事業評価	<p>本市の子育て支援の第一歩となる位置付けとしての取組であり、子どもの健やかな成長への支援と、親の子育てへの喜びの増進を図ることができた。今後は、利用者のニーズに対応したお祝い品の選定などを検討する必要がある。</p>				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	児童扶養手当費	所管課	こども福祉課								
		決算額	795,593千円								
事業内容	離婚等の理由により父または母のいない（父または母が重度障害の状態である場合を含む）児童を養育する母または父等に対して手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図る。平成14年8月より京都府から市に業務移管されている。										
成果・実績	<p>児童等の健やかな成長に資するため、児童扶養手当を支給した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受給資格者数</td> <td style="text-align: right;">1,831人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">（うち 受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,654人）</td> </tr> <tr> <td>支給対象児童数</td> <td style="text-align: right;">2,601人</td> </tr> <tr> <td>児童扶養手当扶助費</td> <td style="text-align: right;">795,097千円</td> </tr> </table>			受給資格者数	1,831人	（うち 受給者数	1,654人）	支給対象児童数	2,601人	児童扶養手当扶助費	795,097千円
受給資格者数	1,831人										
（うち 受給者数	1,654人）										
支給対象児童数	2,601人										
児童扶養手当扶助費	795,097千円										
事業評価	手当受給申請に対して適正に審査、支給を行い、ひとり親家庭の生活の安定と自立を促進し、児童の福祉の増進を図ることができた。ひとり親家庭は増加の傾向にあり、平成25年度も的確に継続実施する。										

事務事業名	地域子育てひろば支援事業費	所管課	こども福祉課						
		決算額	442千円						
事業内容	核家族化が進行し、地域コミュニティが希薄化する中で、孤立している子育て家庭を支援するため、地域住民による「子育てひろば」の運営を促進し、地域による子育て支援を目指して子育て家庭と地域住民との関係を作り上げる。								
成果・実績	<p>地域住民による「子育てひろば」の運営に係る補助金を交付した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>実施場所</td> <td>榎島下村集会所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>開集会所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>菟道平町集会所</td> </tr> </table>			実施場所	榎島下村集会所		開集会所		菟道平町集会所
実施場所	榎島下村集会所								
	開集会所								
	菟道平町集会所								
事業評価	地域住民が開設する「子育てひろば」に運営費等の補助を実施し、交流や情報交換などによって子育て家庭の支援が促進できた。利用者数、利用年齢、運営方法などで地域差があり、地域子育て支援拠点との関係を整理した上で、今後の施策展開を検討する必要がある。								

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域子育て支援拠点事業費	所管課	こども福祉課																																		
		決算額	34,048千円																																		
事業内容	<p>地域における子育ての交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和することにより、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。</p> <p>「センター型」では、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域支援活動を展開する。</p> <p>「ひろば型」では、常設のひろばを開設し、子育て家庭の親とその子どもが気軽に集い、相互に交流を図る場を提供する。</p>																																				
成果・効果	<p>センター型</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 10%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">ひろば延べ利用者(人)</th> <th style="width: 30%;">相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域子育て支援基幹センター</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">直営</td> <td style="text-align: center;">5,383</td> <td style="text-align: center;">304</td> </tr> <tr> <td>西部地域子育て支援センター</td> <td style="text-align: center;">5,806</td> <td style="text-align: center;">401</td> </tr> </tbody> </table> <p>ひろば型</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">名称</th> <th style="width: 10%;">運営方法</th> <th style="width: 20%;">ひろば延べ利用者(人)</th> <th style="width: 30%;">相談件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部地域子育て支援センター</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">委託</td> <td style="text-align: center;">562</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td>東部地域子育て支援センター</td> <td style="text-align: center;">7,554</td> <td style="text-align: center;">122</td> </tr> <tr> <td>北部地域子育て支援センター</td> <td style="text-align: center;">10,251</td> <td style="text-align: center;">156</td> </tr> <tr> <td>りぼん</td> <td style="text-align: center;">6,333</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ぶんきょうにこにこルーム</td> <td style="text-align: center;">6,538</td> <td></td> </tr> <tr> <td>まきしまMove</td> <td style="text-align: center;">236</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)	相談件数(件)	地域子育て支援基幹センター	直営	5,383	304	西部地域子育て支援センター	5,806	401	名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)	相談件数(件)	南部地域子育て支援センター	委託	562	36	東部地域子育て支援センター	7,554	122	北部地域子育て支援センター	10,251	156	りぼん	6,333		ぶんきょうにこにこルーム	6,538		まきしまMove	236	
名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)	相談件数(件)																																		
地域子育て支援基幹センター	直営	5,383	304																																		
西部地域子育て支援センター		5,806	401																																		
名称	運営方法	ひろば延べ利用者(人)	相談件数(件)																																		
南部地域子育て支援センター	委託	562	36																																		
東部地域子育て支援センター		7,554	122																																		
北部地域子育て支援センター		10,251	156																																		
りぼん		6,333																																			
ぶんきょうにこにこルーム		6,538																																			
まきしまMove		236																																			
事業評価	<p>子育てに関する相談、交流、情報交換など総合的な子育て支援を進め、子どもの健やかな育ちを促進できた。平成25年度も継続実施するとともに、今後は就学前児童数の推移等、今後の見通しや利用ニーズを分析し、関連事業との整理を図りつつ、拠点整備について検討する必要がある。</p>																																				

事務事業名	来庁者こども一時預かりコーナー運営費	所管課	こども福祉課
		決算額	4,345千円
事業内容	<p>子どもと一緒に来庁者が行政手続き・行政相談等をしやすい環境を整えることを目的に、保育士による子ども一時預かりを実施する。行政サービスのさらなる向上を図るとともに、児童福祉の向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>市役所庁舎内において、子どもと一緒に来庁者が落ち着いて、申請や申告、相談などを行えるように、子どもを一時的に預かるキッズコーナーを設置・運営した。</p> <p style="text-align: center;">利用人数 1,211人</p>		
事業評価	<p>子育て世代の来庁者への行政サービス向上を図ることができた。利用件数は減少傾向にあるが、市民の細かなニーズに対応しており、設置場所の検討や、さらに利用しやすい環境を整えるなど、利用促進に努めながら平成25年度も継続実施する。</p>		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	01 子育て支援の充実	

事務事業名	宇治市奨学資金貸与費	所管課	こども福祉課																
		決算額	7,741千円																
事業内容	勉学意欲がありながら経済的理由により修学が困難な大学、高校及び高等専門学校の在学者に奨学資金を貸与する。																		
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">貸与人数</td> <td style="width: 20%;">高校生</td> <td style="width: 20%;">4人</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高等専門学校生</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大学生</td> <td>22人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>奨学資金貸与額</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">7,729千円</td> </tr> </table>			貸与人数	高校生	4人			高等専門学校生	0人			大学生	22人		奨学資金貸与額	7,729千円		
貸与人数	高校生	4人																	
	高等専門学校生	0人																	
	大学生	22人																	
奨学資金貸与額	7,729千円																		
事業評価	勉学意欲があるが経済的理由により修学が困難な市民への支援を行うことができた。引き続き的確な償還に向けた周知徹底などを行う必要があるとともに、今後は関連する他制度の実施状況等の把握が必要と考える。																		

事務事業名	乳幼児健康支援一時預かり事業費	所管課	こども福祉課								
		決算額	22,618千円								
事業内容	児童の保護者の子育てと就労の両立を支援し、児童の健全な育成や資質の向上に資する。病気の回復期で集団保育が困難であり、保護者の勤務の都合、傷病、事故、出産など社会的にやむを得ない理由により家庭での保育が困難な児童に対して保育、看護を行う。平成8年9月から（福）宇治病院、平成14年11月から（医）浅妻医院の2カ所で行っている。										
成果・実績	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援するため、市内の医療機関で病児保育を実施した。										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">実施施設</td> <td colspan="3">宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院）</td> </tr> <tr> <td>利用日数</td> <td colspan="3" style="text-align: right;">1,551日</td> </tr> </table>			実施施設	宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院）			利用日数	1,551日		
実施施設	宇治市乳幼児健康支援サービスセンター（宇治病院） 浅妻医院パピールーム（浅妻医院）										
利用日数	1,551日										
事業評価	児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。年度により利用者の増減はあるものの、やむを得ない事由による緊急時に対応するものであり、利用者ニーズは高く、平成25年度も継続実施する。										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	03 放課後児童育成の充実	

事務事業名	育成学級運営費	所管課	こども福祉課						
		決算額	280,484千円						
事業内容	宇治市立小学校に就学する1年生から4年生の児童であって、下校しても保護者の就労や疾病等の理由により保護に欠ける児童を対象に放課後組織的に指導し、危険防止と心身の健全な育成を図る。								
成果・実績	<p>放課後留守家庭児童の健全育成のため育成学級を運営した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>開設学校数</td> <td style="text-align: right;">20校</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td style="text-align: right;">34学級</td> </tr> <tr> <td>入級児童数</td> <td style="text-align: right;">1,537人（平成24年5月1日現在）</td> </tr> </table>			開設学校数	20校	学級数	34学級	入級児童数	1,537人（平成24年5月1日現在）
開設学校数	20校								
学級数	34学級								
入級児童数	1,537人（平成24年5月1日現在）								
事業評価	放課後に保護者が不在である児童について、組織的な指導により危険防止と心身の健全な育成を図ることができた。今後も継続して、指導員の資質向上や学級運営内容の更なる充実に努める。								

事務事業名	育成学級施設整備費	所管課	こども福祉課			
		決算額	23,035千円			
事業内容	入級児童数の増加に対応し、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成に資するため、育成学級施設の整備を実施する。					
成果・実績	<p>南部育成学級の入級児童数の増加に対応するため、新たに専用プレハブ施設の増築を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: right;">60名</td> <td style="text-align: right;">90名</td> </tr> </table>			定員	60名	90名
定員	60名	90名				
事業評価	入級児童数の増加に対応し学級施設の増築を図ることで、待機児童の解消と放課後児童の安全と健全育成を図ることができた。今後も利用ニーズを見極めながら、施設整備を計画的に実施していく。					

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		健康福祉部
小分類	03 放課後児童育成の充実		

事務事業名	育成学級緊急安全対策事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	3,623千円
事業内容	安全・安心な育成学級運営のため、学校休業日である土曜日や夏季休業日などに各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。		
成果・実績	安全対策支援員等（1日4時間程度）を学校休業日に配置し、校内への不審者侵入を防ぐため、巡視や来校者の確認などを行った。		
事業評価	安全対策支援員等の配置により、学校休業日における児童の安全確保を図り、事故なく学級運営を行うことができた。平成25年度も継続実施する。		

総合計画の体系		所管部局	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち		
中分類	04 少子化社会への対応		健康福祉部
小分類	04 ひとり親支援の充実		

事務事業名	母子家庭技能訓練等給付事業費	所管課	こども福祉課
		決算額	32,734千円
事業内容	母子家庭の母は、十分な準備がないまま就業することにより、生計を支えるための収入を十分に得ることが困難な状況にあることが多い。母子家庭の生活の負担軽減と、自立の推進を図るため、養成機関等において受講した場合に給付金を支給し、就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進する。		
成果・実績	母子家庭の母が講座や養成機関において受講した場合に給付金を支給した。 高等技能訓練促進給付金支給件数 25件		
事業評価	高等技能訓練促進給付金等の支給による就業の促進を図り、母子家庭の母の自立を支援できた。国においても平成25年度より、補助金としての制度化が実施されており、今後の国の動向を注視していく必要がある。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	公立保育所運営事業	所管課	保育課
		決算額	1,374,856千円
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、公立保育所7園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。		
成果・実績	公立保育所数	7園	
	定員	940人	延べ入所数 11,786人
	保育所運営費		42,535千円
	保育所維持修繕費		4,184千円
	非常勤職員設置費		157,344千円
	保育所児童健康管理費		6,461千円
	保育所給食費		71,756千円
	パート保育士設置費		110,347千円
	障害児特別保育費		52,853千円
	保育士等職員給		929,376千円
	うち京都府南部地域豪雨災害対応分		
	保育所運営費		46千円
	保育所維持修繕費		222千円
事業評価	公立保育所7園の運営に関する経費や施設管理経費、給食や健康管理経費などについて適正に執行し、児童の安全と良好な保育環境が確保できた。今後も保育ニーズに対応しながら安定した運営を実施する。		

事務事業名	保育所緊急安全対策事業費	所管課	保育課
		決算額	31,597千円
事業内容	安全・安心な保育所運営のため、各公立保育所に保育所安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所での保育所安全運営支援員の配置に対し補助を行う。		
成果・実績	公立保育所	8,708千円	
	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置等を行った。		
	民間保育所	22,889千円	
	保育所安全運営支援員（有償ボランティア）の配置に対する補助を行った。		
事業評価	保育所安全運営支援員が、園内への不審者侵入を防ぐために、来訪者の確認や巡視を行うことにより、児童や保護者の安全確保を図ることができた。平成25年度も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	保育所施設整備費	所管課	保育課				
		決算額	8,687千円				
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した宇治市公立保育所再整備計画に基づき、耐震補強工事や施設改修などを計画的に実施する。(事業実施期間 平成19年度～平成25年度)						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">北木幡保育所改修工事設計委託</td> <td style="text-align: right;">3,445千円</td> </tr> <tr> <td>善法保育所公共下水道接続工事</td> <td style="text-align: right;">5,242千円</td> </tr> </table>			北木幡保育所改修工事設計委託	3,445千円	善法保育所公共下水道接続工事	5,242千円
北木幡保育所改修工事設計委託	3,445千円						
善法保育所公共下水道接続工事	5,242千円						
事業評価	計画に基づいて公立保育所の施設整備を行い、児童にとって安全・安心な保育環境の向上を図ることができた。今後も計画的な整備を継続実施する。						

事務事業名	民間保育所運営費	所管課	保育課																												
		決算額	3,033,587千円																												
事業内容	子育て支援を進め、児童の健全な心身の発達を図るため、民間保育所17園における児童の安全と良好な保育環境を確保する。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">民間保育所(園)数</td> <td style="text-align: right;">17園</td> <td style="width: 30%;">延べ入所数</td> <td style="text-align: right;">34,898人</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: right;">2,700人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営費</td> <td style="text-align: right;">2,415,336千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長保育促進事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">26,899千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>障害児特別保育事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">52,441千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民間保育所運営補助金</td> <td style="text-align: right;">526,128千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域活動事業費補助金</td> <td style="text-align: right;">12,783千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			民間保育所(園)数	17園	延べ入所数	34,898人	定員	2,700人			民間保育所運営費	2,415,336千円			延長保育促進事業費補助金	26,899千円			障害児特別保育事業費補助金	52,441千円			民間保育所運営補助金	526,128千円			地域活動事業費補助金	12,783千円		
民間保育所(園)数	17園	延べ入所数	34,898人																												
定員	2,700人																														
民間保育所運営費	2,415,336千円																														
延長保育促進事業費補助金	26,899千円																														
障害児特別保育事業費補助金	52,441千円																														
民間保育所運営補助金	526,128千円																														
地域活動事業費補助金	12,783千円																														
事業評価	民間保育所17園の運営や各種保育事業に対する補助を実施し、児童の安全と良好な保育環境の確保に努めた。今後も各種保育ニーズに対応しながら継続実施する。																														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	02 保育サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	民間保育所施設整備費	所管課	保育課									
		決算額	267,658千円									
事業内容	社会福祉法人の運営する保育所が施設整備を行う場合に、民間保育所施設整備補助金を交付する。											
成果・実績	待機児童対策と、民間保育所における児童の安全・安心を確保するため、民間保育所の施設改修等に対する補助を実施した。											
	<table border="0"> <tr> <td>みんなのき保育園新築工事補助金</td> <td>158,080千円</td> </tr> <tr> <td>登り保育園増改築工事補助金</td> <td>41,050千円</td> </tr> <tr> <td>ひいらぎ保育園増改築工事補助金</td> <td>29,827千円</td> </tr> <tr> <td>いずみ保育園大規模修繕工事補助金</td> <td>15,413千円</td> </tr> <tr> <td>第2登り保育園建物賃借料補助金</td> <td>23,288千円</td> </tr> </table>	みんなのき保育園新築工事補助金	158,080千円	登り保育園増改築工事補助金	41,050千円	ひいらぎ保育園増改築工事補助金	29,827千円	いずみ保育園大規模修繕工事補助金	15,413千円	第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円	
みんなのき保育園新築工事補助金	158,080千円											
登り保育園増改築工事補助金	41,050千円											
ひいらぎ保育園増改築工事補助金	29,827千円											
いずみ保育園大規模修繕工事補助金	15,413千円											
第2登り保育園建物賃借料補助金	23,288千円											
事業評価	民間保育所の新設、増改築など施設整備に係る補助金について適正に執行し、待機児童対策として定数増を図ることができた。今後も児童の安全・安心確保のため、計画的に改修等を行う必要がある。											

事務事業名	病児・病後児保育費	所管課	保育課
		決算額	21,550千円
事業内容	保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童に対し、保護者が迎えに来るまでの間、保育所の専用スペースにおいて看護師等が緊急的な対応を行う。		
成果・実績	実施施設（民間保育所5園） 登り保育園 北小倉こひつじ保育園 ひいらぎ保育園 第2登り保育園 榎島ひいらぎ保育園		
事業評価	国制度に沿って病児・病後児保育事業を実施する民間保育所に補助を実施し、子育て支援と保護者負担の軽減を図ることができた。今後も利用状況を見ながら国制度を活用し事業を実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	04 少子化社会への対応	
小分類	02 保育サービスの充実	

事務事業名	家庭的保育事業費	所管課	保育課																								
		決算額	68,236千円																								
事業内容	喫緊の課題である待機児童対策として、3歳未満の児童を対象に、児童福祉法に位置付けられた家庭的保育事業を実施する。また、開設にあたり、保育環境整備のための改修等に対して補助を行う。																										
成果・実績	<p>開設場所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">木幡花揃</td> <td style="width: 30%;">(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td style="width: 40%;">定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄福角</td> <td>(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>神明石塚</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>五ヶ庄梅林官有地</td> <td>(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)</td> <td>定員10人</td> </tr> <tr> <td>伊勢田町若林</td> <td>(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>広野町西裏</td> <td>(福) 同胞会 (同胞保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>木幡赤塚</td> <td>(福) あげぼの会 (登り保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> <tr> <td>開町</td> <td>(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)</td> <td>定員5人</td> </tr> </table>			木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人	神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人	五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人	伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人	広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人	木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人	開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人
木幡花揃	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																									
五ヶ庄福角	(福) 宇治福祉園 (三室戸保育園)	定員5人																									
神明石塚	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																									
五ヶ庄梅林官有地	(福) 白菊福祉会 (いずみ保育園)	定員10人																									
伊勢田町若林	(福) かおり福祉会 (伊勢田保育園)	定員5人																									
広野町西裏	(福) 同胞会 (同胞保育園)	定員5人																									
木幡赤塚	(福) あげぼの会 (登り保育園)	定員5人																									
開町	(福) 心華会 (ひいらぎ保育園)	定員5人																									
事業評価	平成24年度にも新規開設したことによって待機児童対策を図ることができた。今後も待機児童の状況をみながら、平成25年度も継続実施する。																										

事務事業名	大久保保育所改築事業費	所管課	保育課		
		決算額	13,465千円		
事業内容	公立保育所における児童の安全・安心及び良好な保育環境の確保と施設の維持を図るため、平成19年度に策定した宇治市公立保育所再整備計画に基づき、大久保保育所の建替工事を実施する。				
成果・実績	<p>老朽化した大久保保育所の改築設計業務を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">設計業務等委託</td> <td style="width: 60%; text-align: right;">13,465千円</td> </tr> </table>			設計業務等委託	13,465千円
設計業務等委託	13,465千円				
事業評価	計画に基づいて大久保保育所の施設整備を行い、児童にとって安全・安心及び良好な保育環境の向上に努めた。今後も計画的な整備を継続実施する。				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康づくり推進プラン推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	650千円
事業内容	「宇治市健康づくり推進プラン」の中間見直しの目標を達成するため、プランの推進母体である＜うー茶ん＞連絡会へ＜うー茶ん＞のつどい事業を委託し、実施する。		
成果・実績	<p>市民の主体的な健康づくりを進めるため、＜うー茶ん＞連絡会へ啓発事業を委託し、正しい健康情報の提供、健康づくりの知識・技術力を高める学習機会等の整備、あらゆる機会を通して健康づくりに視点を置いた施策の推進などを行った。</p> <p style="text-align: center;">健康づくり＜うー茶ん＞フェスタ参加者数 約600人</p>		
事業評価	＜うー茶ん＞連絡会への委託事業として実施し、プランの普及・啓発を行うことにより市民の健康保持・増進を図ることができた。今後も連絡会の自主的な活動と本市施策との連携を図り、健康づくりを推進する。		

事務事業名	健康づくり推進協議会運営費	所管課	保健推進課
		決算額	231千円
事業内容	平成14年度に策定した「宇治市健康づくり推進プラン」の推進状況や方向性を協議・検討する。超高齢社会を迎え、健康に対する関心は強くなっており、自立した豊かな生活を送れるよう健康寿命の延伸と、QOL(生活の質)の向上等が求められている。		
成果・実績	<p>宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行った。</p> <p style="text-align: center;">開催回数 2回</p>		
事業評価	宇治市健康づくり推進協議会を開催し、健康づくり事業について協議・検討を行い、市民の健康保持・増進に向けた施策に反映することができた。今後は、宇治市健康づくり推進プランに基づき実施している様々な取組の評価と新しい計画づくりに向け、検討を行う。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食育推進計画推進事業費	所管課	保健推進課
		決算額	225千円
事業内容	「宇治市食育推進計画」に基づき、家庭や地域、学校、幼稚園、保育所、農林漁業関係者、ボランティアなどの様々な立場の関係者と連携、協力を図り、地域に根ざした取組を推進する。		
成果・実績	<p>「宇治市食育推進計画」に基づき、市民に対し、関係団体との連携を図りながら、食育についての啓発を行った。</p> <p style="text-align: center;">開催回数 2回</p>		
事業評価	宇治市食育推進協議会の開催や宇治市食育ネットワークの活動によって、市民の食への意識を啓発し、健康保持・増進を促進することができた。今後も関係団体・機関、庁内や関連イベントなどとの連携を図り、より効果的な取組を検討する。		

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	病院群輪番制病院運営事業費補助金	所管課	保健推進課
		決算額	10,687千円
事業内容	山城北医療圏内において、第二次救急医療体制の整備に要する経費を補助し、休日（昼・夜）における初期医療を受けた救急患者（入院等を要する重傷患者）搬送の円滑化及び医療の確保を目的とする。		
成果・実績	4市3町で構成する山城北医療圏において専用病床を2床確保し、休日における二次救急医療体制を確立している。本市が事務局となり、12病院へ補助を行った。		
事業評価	他自治体とも広域的に連携し、二次救急医療体制の確保と救急患者の適切な治療を図ることができた。平成25年度も京都府や医療機関と協力・連携し、継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	妊婦健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	119,835千円
事業内容	<p>健やかな母体と胎児の保健管理の向上を図るため、受診券を交付し、妊婦の経済的負担の軽減や、妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進する。</p>		
成果・実績	<p>妊娠・出産に支障を及ぼす疾病の早期発見・早期治療を推進するため、健診費用の助成を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">母子健康手帳交付件数 1,584件</p> <p style="margin-left: 40px;">助成金額 118,674千円</p>		
事業評価	<p>健診費用の適正な助成を行うとともに、助成対象を拡充したことにより妊娠早期に母子健康手帳の発行が増加し、より適切な健康管理の促進と妊婦の経済的負担を軽減することができた。平成25年度も継続実施するが、国の動向を注視する必要がある。</p>		

事務事業名	不妊治療助成事業費	所管課	保健推進課
		決算額	8,184千円
事業内容	<p>不妊治療を受けている夫婦に対し、その治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。</p>		
成果・実績	<p>不妊治療の保険診療分及び人工授精について、年間6万円（人工授精の場合は10万円）を限度に、治療に要した医療費の自己負担の2分の1を助成した。平成23年度より人工授精が新たに助成対象となった。</p> <p style="margin-left: 40px;">助成件数 442件</p>		
事業評価	<p>不妊治療経費の一部負担を適正に執行し、対象者の経済的負担の軽減や、少子化対策を図ることができた。平成25年度も継続実施する。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	3か月児健康診査費	所管課	保健推進課								
		決算額	5,303千円								
事業内容	<p>生後3～4カ月頃は、体重の増加や外界に対する器官の発達など心身の著しい発達が進む時期であり、健診により先天性疾患等の早期発見を可能とする。特に心疾患、股関節脱臼、中枢性協調障害の発見、心身発達の遅れの指導、離乳食の指導をポイントとしている。また、育児不安の強い親への基本的な育児指導など精神的支援も行う。</p>										
成果・実績	<p>乳児期の健全な成長発達を図った。健診は月4回、健やかセンターにて実施した。また、同時に結核（BCG）の予防接種を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">受診者数</td> <td style="width: 20%;">1,525人</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>受診率</td> <td>99.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			受診者数	1,525人			受診率	99.2%		
受診者数	1,525人										
受診率	99.2%										
事業評価	<p>子どもの発達段階に合わせて実施することによって、乳児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。</p>										

事務事業名	10か月児健康診査費	所管課	保健推進課												
		決算額	8,236千円												
事業内容	<p>乳児の疾病・異常の発見、運動・精神機能の発達状態を把握し、適切な指導を行う。3か月児健診で発見できなかった中枢性協調障害、痙性両麻痺、聴力障害等の異常の発見とともに、発達障害等の早期発見、早期対応に努める。</p>														
成果・実績	<p>乳児期の健全な成長発達を図った。健診は（社）宇治久世医師会に委託し実施した。また、必要に応じて健やかセンターで経過健診を月1回実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">10カ月児健診</td> <td style="width: 20%;">受診者数</td> <td style="width: 20%;">1,492人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>受診率</td> <td>92.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10カ月児経過健診</td> <td>受診者数</td> <td>162人</td> <td></td> </tr> </table>			10カ月児健診	受診者数	1,492人			受診率	92.7%		10カ月児経過健診	受診者数	162人	
10カ月児健診	受診者数	1,492人													
	受診率	92.7%													
10カ月児経過健診	受診者数	162人													
事業評価	<p>子どもの発達段階に合わせて実施することによって、乳児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。</p>														

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	1歳8か月児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	7,161千円
事業内容	内科健診・歯科健診・身体計測・栄養指導・保健指導等を行い必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。幼児期前期に、運動機能、精神発達等の障害を持った子どもを発見し、障害の顕在化・固定化や二次的障害の発生を予防・軽減するとともに、育児に関する指導を行う。また、フォローアップ事業として地区担当保健師による訪問や発達相談、乳幼児相談で引き続き個別相談を行う。		
成果・実績	幼児期前期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,543人 受診率 95.4%		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

事務事業名	3歳児健康診査費	所管課	保健推進課
		決算額	7,188千円
事業内容	3歳5～6カ月児を対象として、身体発育、精神発達の問題、視聴覚障害の早期発見など、多面的に診査し、総合的な判断と指導によって、就学前幼児の健康の保持、増進を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。内科（小児科）健診、歯科健診、身体計測、検尿、視力検査、発達検査、保健指導などを実施する。		
成果・実績	幼児期の健康の保持・増進を図った。健診は月3～4回、健やかセンターにて実施した。 受診者数 1,673人 受診率 95.4%		
事業評価	子どもの発達段階に合わせて実施することによって、幼児の健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。発達支援が必要な子の増加等により、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	パパママスタート開催費	所管課	保健推進課																				
		決算額	2,553千円																				
事業内容	妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持増進を図ることを目的として「母子健康手帳GET記念日」、「おいしい! たのしい! クッキング」、「パパ出番ですよ～沐浴にチャレンジ」、「ハイリスク妊婦訪問」を行っている。																						
成果・実績	妊婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座・相談を実施した。																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">母子健康手帳GET記念日</td> <td style="width: 20%;">参加者数</td> <td style="width: 20%;">457人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>パパ出番ですよ</td> <td>参加者数</td> <td>205人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クッキング</td> <td>参加者数</td> <td>143人</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊婦訪問</td> <td>訪問件数</td> <td>40件</td> <td></td> </tr> </table>			母子健康手帳GET記念日	参加者数	457人		パパ出番ですよ	参加者数	205人		クッキング	参加者数	143人		参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む				ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	40件	
母子健康手帳GET記念日	参加者数	457人																					
パパ出番ですよ	参加者数	205人																					
クッキング	参加者数	143人																					
参加者数には、妊婦の配偶者・先輩ママ等も含む																							
ハイリスク妊婦訪問	訪問件数	40件																					
事業評価	教室の開催によって、妊娠期の仲間づくりや地域の育児力の強化につながるとともに、父母ともに子育てするという意識の醸成や、家庭での健康づくりを促進することができた。平成25年度も、より効果的な実施手法を検討しながら継続実施する。																						

事務事業名	離乳食教室開催費	所管課	保健推進課								
		決算額	447千円								
事業内容	親が初めての離乳食を調理体験することにより、安心して適切な離乳食作りを家庭で実践するとともに、母子・親子関係の形成を促し、育児不安を緩和する。また、子どもの健康を維持し、成長・発達を促すとともに、生活リズムを身につけ、食べる楽しさを体験させることで「食べる力」を育む。										
成果・実績	親が乳幼児の食生活についての知識を深め、自宅で安全に離乳食を実践できるよう促した。										
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">開催回数</td> <td style="width: 20%;">12回</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>251人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			開催回数	12回			参加者数	251人		
開催回数	12回										
参加者数	251人										
事業評価	教室の開催によって、家庭での適切な離乳食の実践や、子の健康づくりを促進することができた。平成25年度も継続実施するとともに、発達年齢に応じた支援の検討が必要である。										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳幼児相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	1,138千円
事業内容	<p>生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び、虐待予防、地域の育児力向上を図る。また、乳幼児健診後のフォローの場としても位置付け、計測、栄養指導、保健指導、発達についての相談などを開催する。</p>		
成果・実績	<p>専門職が適切に対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。また、地域子育て支援センター等関係機関と連携し、簡便な育児相談の場とした。</p> <p style="margin-left: 20px;">開催回数 65回 相談者数 2,301人</p>		
事業評価	<p>保健師や栄養士等の専門職が育児に不安のある親等からの相談を受け、育児負担の軽減や子育て支援を図ることができた。今後も地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できるよう体制の充実に努める。</p>		

事務事業名	絵本ふれあい事業費	所管課	保健推進課
		決算額	3,591千円
事業内容	<p>3カ月児健康診査受診児と1歳8カ月児健康診査受診児保護者を対象に、親子がふれあうことで子育てが楽しくなるきっかけ作り、子育て支援を図る。絵本とのふれあい体験を行い、ブックスタートパックにメッセージを添えて渡す。</p>		
成果・実績	<p>3カ月児健診及び1歳8カ月児健診時に、1冊ずつ手渡しで配付した。3カ月児健診の会場では、中央図書館の絵本ボランティアの協力により絵本の読み聞かせを行い、各年齢に応じた絵本の紹介や、遊び方の指導を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">3カ月児健診配付数 1,525人 1歳8カ月児健診配付数 1,543人</p>		
事業評価	<p>絵本の配付によって、健やかな親子の関係づくりを促進し、子育て支援を行うことができた。健診未受診の親子への支援などを継続し、平成25年度も継続実施する。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	各種予防接種事業費	所管課	保健推進課																									
		決算額	238,525千円																									
事業内容	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																											
成果・実績	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">接種者数</th> <th style="text-align: center;">実施場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポリオ</td> <td style="text-align: center;">1,291</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">健やかセンター (うじ安心館内)</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td style="text-align: center;">1,498</td> </tr> <tr> <td>不活化ポリオ</td> <td style="text-align: center;">5,064</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">協力医療機関</td> </tr> <tr> <td>四種混合</td> <td style="text-align: center;">890</td> </tr> <tr> <td>三種混合</td> <td style="text-align: center;">5,625</td> </tr> <tr> <td>二種混合</td> <td style="text-align: center;">1,144</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合</td> <td style="text-align: center;">6,405</td> </tr> <tr> <td>麻しん</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>風しん</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎</td> <td style="text-align: center;">7,889</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">還付請求分を除く</p>				接種者数	実施場所	ポリオ	1,291	健やかセンター (うじ安心館内)	BCG	1,498	不活化ポリオ	5,064	協力医療機関	四種混合	890	三種混合	5,625	二種混合	1,144	麻しん風しん混合	6,405	麻しん	9	風しん	4	日本脳炎	7,889
	接種者数	実施場所																										
ポリオ	1,291	健やかセンター (うじ安心館内)																										
BCG	1,498																											
不活化ポリオ	5,064	協力医療機関																										
四種混合	890																											
三種混合	5,625																											
二種混合	1,144																											
麻しん風しん混合	6,405																											
麻しん	9																											
風しん	4																											
日本脳炎	7,889																											
事業評価	法改正に適切に対応し、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成25年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防を継続実施する。																											

事務事業名	ヒブワクチン等接種事業費・子宮頸がん予防接種事業費	所管課	保健推進課・健康生きがい課										
		決算額	160,181千円										
事業内容	<p>国の子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金を活用し、3ワクチンの接種費用の一部助成を行う。</p> <p>ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌は、主に細菌性髄膜炎の予防のため、生後2カ月から5歳未満の乳幼児を対象に、京都府医師会及び宇治久世医師会協力医療機関に委託実施する。</p> <p>子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に予防ワクチンを任意接種で実施し、子宮頸がんの発症予防につなげる。(対象：平成24年度中学1年生から高校1年生の年齢に相当する女性。平成24年度は、ワクチン不足等の状況を踏まえ、高校2年生の年齢相当の女性へも一部実施)</p>												
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">ヒブワクチン等接種事業費</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">124,972千円</td> </tr> <tr> <td> ヒブワクチン延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">6,430件</td> </tr> <tr> <td> 小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">6,662件</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん予防接種事業費</td> <td style="text-align: right;">35,209千円</td> </tr> <tr> <td> 延べ接種件数</td> <td style="text-align: right;">2,210件</td> </tr> </table>			ヒブワクチン等接種事業費	124,972千円	ヒブワクチン延べ接種件数	6,430件	小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数	6,662件	子宮頸がん予防接種事業費	35,209千円	延べ接種件数	2,210件
ヒブワクチン等接種事業費	124,972千円												
ヒブワクチン延べ接種件数	6,430件												
小児用肺炎球菌ワクチン延べ接種件数	6,662件												
子宮頸がん予防接種事業費	35,209千円												
延べ接種件数	2,210件												
事業評価	国の制度を利用して、感染症予防対策を行うことにより、市民の健康保持を図ることができた。平成25年度も国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施を図る。												

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	02 健康づくりの推進	
小分類	02 保健・医療の推進	

事務事業名	心身障害児通園事業費	所管課	保健推進課
		決算額	30,597千円
事業内容	市内に居住する心身障害児等の育成を助長するため、通園施設において児童及び保護者に対し、指導、訓練を行う。(福)宇治福祉園、(福)かおり福祉会及びNPOアジュール舎に、介護給付費のほか市単費補助金を交付する。		
成果・実績	<p>障害児通園(児童デイサービス)事業について補助金を交付した。また、通園事業での療育を希望しながら待機となった児童に対し、待機児親子サポート事業を実施しているが、平成24年度は待機児童がなかった。</p> <p style="text-align: center;"> 児童デイサービス 児童デイころぼっくる(アジュール舎) 宇治福祉園 かおり之園(かおり福祉会) </p>		
事業評価	発達障害支援のため事業者が運営する通園施設への補助金交付について適切に執行した。利用ニーズが高く、平成25年度も継続実施するが、今後も対象者等の的確な状況把握や現状分析、国・京都府との連携などの検討が必要である。		

事務事業名	発達相談事務費	所管課	保健推進課
		決算額	8,359千円
事業内容	健診、乳幼児相談及び家庭訪問等を通して、発育・発達上に問題がある子ども(疑いも含む)や、子どもへの関わりに不安や心配のある保護者に対し、発達相談(個別相談、診断)を実施し、今後の対応の方向性、家庭での具体的な関わりについての指導・援助を行う。		
成果・実績	<p>保護者が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築くとともに、子の健やかな成長を図った。</p> <p style="text-align: center;"> 開設数 694回 相談件数 901件 </p>		
事業評価	相談・指導により、親が子どもの育ちに見通しを持ちやすくなり、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、今後も的確な状況把握や現状分析、国・京都府との連携の検討が必要である。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	新生児訪問指導事業費	所管課	保健推進課
		決算額	51千円
事業内容	<p>出産後間もない産婦と新生児を対象に希望者に対し、先天性異常の早期発見と育児不安の軽減を目的として、保健師が家庭に出向き、個々の状況に応じて、養育上必要な育児指導（栄養、清潔、保温、育児環境、疾病予防等）や相談を行う。また必要に応じて母子保健サービスや医療・福祉サービス等につなげ、児と保護者の健康の保持増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てができるよう援助した。</p> <p style="text-align: center;">訪問件数 586件</p>		
事業評価	<p>新生児期の養育上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。平成25年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	親子あそびの教室運営費	所管課	保健推進課
		決算額	857千円
事業内容	<p>1歳8カ月児健康診査の中で、発達面で経過をみていく必要があるとされた子どものフォローの場として、遊びの場を提供し、保護者への指導を行う。教室は、発達相談員、保健師、保育士が運営する。</p>		
成果・実績	<p>親子で具体的な遊びを体験することにより、子どもの発達を促した。また、子どもとの関わりに不安を持っている保護者に対し、自信を持って子どもと関われる親になってもらうきっかけづくりを行った。</p> <p style="text-align: center;">開催数 1クール全10回を6クラス 処遇児数 90人</p>		
事業評価	<p>教室開催により、適切な親子関係を築き、子の健やかな成長を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、今後更なる確かな状況把握や現状分析など、見通しを立て運営を検討していく必要がある。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	早期療育ネットワーク会議運営費	所管課	保健推進課
		決算額	180千円
事業内容	「宇治市早期療育ネットワーク会議」設置規程により、療育等の専門的な指導が必要な子どもの早期発見と早期に適切な指導が行われるよう、関係機関のネットワーク化、療育システムの確立を図るための検討と研究を行う。		
成果・実績	心身に障害のある子どもや発達上支援が必要と思われる子どもに対して、発達に応じた適正な療育指導を行うため、保健・福祉・教育・医療の関係者が集まって意見交換を行った。 開催回数 2回		
事業評価	療育に関わる関係機関とのネットワーク形成により、情報共有と業務連携を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、今後更なる確かな状況把握や現状分析、国・京都府・関係機関との連携など支援体制の検討が必要である。		

事務事業名	幼児期後期フォロー教室開催費	所管課	保健推進課
		決算額	530千円
事業内容	LD、ADHD、広汎性発達障害などの発達障害、またはその疑いのある幼児に対する早期支援として、各幼児の課題に合わせた発達支援を行い、保護者や就園先の関係者と必要な関わりや手立てを相談する。対象幼児の発達を促進し、障害から生じる困難を予防する。少人数の教室を開催し、保護者懇談や園連携を行う。		
成果・実績	個別指導と集団指導を時間を分けて実施し、個々の課題解決に取り組んだ。指導は、発達相談員、保育士、作業療法士が行い、幼児の発達を促した。また、保護者や幼稚園・保育所（園）等の担当者に幼児の特性を理解してもらい、適切な関わりを促し二次障害を防いだ。 開催数 1クール全7回を2クラス 1クール全8回を1クラス 月1回全11回を1クラス 平成23年度からの継続クラス（全10回中5回）を1クラス 処遇児数 28人		
事業評価	教室を開催し、幼児の発達段階に応じた関わりを持つことで、健やかな成長を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、今後更なる確かな状況把握や現状分析など、見通しを立て運営を検討していく必要がある。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	感染症対策費	所管課	保健推進課
		決算額	153千円
事業内容	食中毒・各種感染症予防のための啓発活動に取り組むとともに、京都府と連携し、集団発生が危惧される新型インフルエンザに備えた体制整備を実施する。連絡会議の開催、広報や出張講演を行い、市民の正しい知識の習得による感染症予防や不安解消につなげる。		
成果・実績	市政だより、パンフレット配布などにより、食中毒や各種感染症予防の啓発活動を行った。また、食中毒(0-157)予防対策連絡会議を開催し、集団発生時に備えた体制を整えると同時に、食中毒注意報発令時には関係機関と連携を図り、食中毒に対する注意喚起を行った。		
事業評価	京都府と連携し、感染症の周知啓発を行うことによって、感染症まん延の防止や市民の不安解消を図ることができた。平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	障害者歯科治療事業費	所管課	保健推進課
		決算額	7,339千円
事業内容	市内に居住する身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた者に、週1回水曜日(年末年始除く)、歯科サービスセンター(うじ安心館内)で、口腔衛生指導、処置、歯科治療並びに歯科相談を行う。		
成果・実績	歯科サービスセンターにおいて、(社)宇治久世医師会及び(社)京都府歯科衛生士会の協力を得て、歯科治療等を行った。 診療日数 51日 受診者数 308人		
事業評価	適切に事業実施し、障害者の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度も市民ニーズに対応して継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	休日急病診療所運営費	所管課	保健推進課									
		決算額	30,356千円									
事業内容	日曜、祝日及び年末・年始において、急病で医療を望む市民に対し応急的な診療を、内科・小児科・歯科について行う。保健・消防センター（うじ安心館内）に開設している。											
成果・実績	（社）宇治久世医師会・宇治久世歯科医師会・宇治久世薬剤師会並びに（社）京都府歯科衛生士会の協力を得て、休日に内科・小児科・歯科の応急診療を行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数(人)</th> <th>診療日数(日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科・小児科</td> <td style="text-align: center;">1,666</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td style="text-align: center;">614</td> <td style="text-align: center;">72</td> </tr> </tbody> </table>				受診者数(人)	診療日数(日)	内科・小児科	1,666	71	歯科	614	72
	受診者数(人)	診療日数(日)										
内科・小児科	1,666	71										
歯科	614	72										
事業評価	休日、年末・年始における急病の診療に適切に対応し、市民の健康保持や適切な治療を図ることができた。感染症の流行等、緊急的な事態にも対応できるよう体制を維持し、平成25年度も継続実施する。											

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業費	所管課	保健推進課		
		決算額	8,672千円		
事業内容	生後4カ月になるまでの乳児がいる家庭を対象に訪問し、子育てに関する悩みや不安を聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境等の把握を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービスの提供につなげる。				
成果・実績	親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつける。 <table style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">訪問件数</td> <td>849件</td> </tr> </table>			訪問件数	849件
訪問件数	849件				
事業評価	子育ての孤立化を防ぐとともに、親の育児不安の軽減や支援が必要な家庭に対して、適切なサービス提供に結びつけることができた。今後も、的確な支援が行えるよう関係機関や社会資源などとの連携を図る必要がある。				

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康教育費	所管課	健康生きがい課
		決算額	605千円
事業内容	生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進を図る。市内各会場において、知識・経験を有する各職種スタッフを講師とし、広く市民に対し各種健康教室等を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を普及する他、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="margin-left: 20px;">実施回数 87回 実施人数 1,514人</p>		
事業評価	教室の開催等によって、市民の健康への意識向上を図ることができた。健康増進の効果を高めながら、若年層や新規参加者の参加促進のため開催日設定の工夫や、より多くの市民への広報などに努め、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	健康教育費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	550千円
事業内容	生活習慣病を中心に、介護予防に関する知識とその重要性についての認識を深め、高齢者自らの自主的な介護予防への取組を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>各種健康教室等を各教室の目的に応じて専門職が実施した。生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識を普及する他、家庭で継続しやすい内容の紹介に努めた。また、地域からの依頼やイベント等の機会を利用して広く市民へ普及することに努めた。</p> <p style="margin-left: 20px;">実施回数 37回 実施人数 1,016人</p>		
事業評価	教室の開催等によって、高齢者の健康への意識向上や介護予防を図ることができた。今後も高齢者人口は増加する見込みであり、介護予防は重要であるため、多くの市民が参加しやすい開催日程や広報の工夫をしながら、平成25年度も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康相談費	所管課	健康生きがい課
		決算額	191千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資することを目的とする。うじ安心館を拠点に、気軽に幅広く相談できるよう実施する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	市民に対し、個別に健康相談を実施した。 実施回数 68回 実施人数 227人		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができた。平成25年度も継続実施するが、今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

事務事業名	健康相談事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	495千円
事業内容	市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行う。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	市民に対し、個別に健康相談を実施した。 実施回数 109回 実施人数 1,194人		
事業評価	健康に関する市民の相談に個別に対応し、健康管理を促進することができた。平成25年度も継続実施するが、今後はより多くの市民の健康増進を図るため、広報の見直しや実施手法の改善を図る必要がある。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	01 健康づくりの推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費	所管課	健康生きがい課
		決算額	201千円
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防の為に食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 222人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 86人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化、会員数の減少などの課題や、新会員の加入などを考慮し、支援内容については検討しながら平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	食生活改善推進員地区組織活動費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	253千円
事業内容	在宅高齢者の健康づくりや生活習慣病予防の為に、食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。（対象者：65歳以上）		
成果・実績	<p>食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。</p> <p>「若葉の会」活動状況 支援活動回数 25回 参加者数 277人</p> <p>「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 3回 参加会員数 86人</p>		
事業評価	ボランティアへの活動を支援し、地域での健康増進活動を活性化することができた。会員の高齢化、会員数の減少などの課題や、新会員の加入などを考慮し、支援内容については検討しながら平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	健康診査費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	3,309千円																		
事業内容	生活保護世帯等の40歳以上の者を対象に、生活習慣病を中心とした疾患及び予備群を早期発見することにより、健康的な生活を送ることができるよう支援し、予防することでその罹患者数を減少させる。健診協力医療機関にて個別健診を実施する。																				
成果・実績	対象者に個別健診を実施した。 <div style="text-align: right;">(人)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>情報提供</th> <th>動機付け支援</th> <th>積極的支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: center;">1,793</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">28</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">1,960</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>			年度	対象者数	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援	23	1,793	45	28	1	6	24	1,960	50	29	3	3
年度	対象者数	受診者数	情報提供	動機付け支援	積極的支援																
23	1,793	45	28	1	6																
24	1,960	50	29	3	3																
事業評価	受診者の7割強が異常を指摘され、早期発見により市民の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度も対象者の意識啓発に努めながら継続実施する。																				

事務事業名	結核予防費	所管課	健康生きがい課									
		決算額	2,170千円									
事業内容	肺結核の早期発見・早期治療を目的として、65歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。											
成果・実績	半日単位33回中、13回は胃がん検診と同日実施を設けた。 <div style="text-align: right;">(人)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診者数</th> <th>うち要精密検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: center;">1,892</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: center;">1,931</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>			年度	受診者数	うち要精密検査	23	1,892	0	24	1,931	0
年度	受診者数	うち要精密検査										
23	1,892	0										
24	1,931	0										
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。市民の利便性を考慮して胃がん検診との同日実施日を設けており、平成25年度も市民への受診啓発・促進に努めながら継続実施する。											

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	胃がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	7,381千円																		
事業内容	胃がんは早期発見・早期治療によって100%近い治癒が得られるとされている。受診率の向上、早期発見・早期治療を目指し、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																				
成果・実績	<p>半日単位35回中、13回は結核・肺がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">52,620</td> <td style="text-align: right;">1,867</td> <td style="text-align: right;">230</td> <td style="text-align: right;">9</td> <td style="text-align: right;">181</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: right;">52,581</td> <td style="text-align: right;">1,981</td> <td style="text-align: right;">212</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	23	52,620	1,867	230	9	181	24	52,581	1,981	212		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
23	52,620	1,867	230	9	181																
24	52,581	1,981	212																		
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。結核・肺がん検診との同日実施については、平成25年度も市民の利便性を考慮し継続実施するが、今後は、市民ニーズを踏まえた効果的な実施方法について検討する必要がある。																				

事務事業名	子宮がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	23,929千円																		
事業内容	子宮頸部に発生するがんを早期に発見し早期治療につなげることを目的として、20歳以上の市民(女性のみ)を対象に、京都府下の検診協力医療機関にて個別検診を実施する。																				
成果・実績	<p>平成24年度は、西暦奇数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td style="text-align: right;">57,942</td> <td style="text-align: right;">3,674</td> <td style="text-align: right;">44</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td style="text-align: right;">13</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td style="text-align: right;">57,923</td> <td style="text-align: right;">3,288</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	23	57,942	3,674	44	2	13	24	57,923	3,288			
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
23	57,942	3,674	44	2	13																
24	57,923	3,288																			
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度は実施方法の検討を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	乳がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	22,546千円																		
事業内容	マンモグラフィ検査の併用実施により、がんを早期に発見し早期治療につなげ、乳がんの罹患率及び死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民（女性のみ）を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。早期発見し治療することでその予後は良好であり、乳房の温存による生活の質の維持・向上が期待される。																				
成果・実績	<p>平成24年度は、西暦奇数年生まれの女性を対象に実施した。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>34,094</td> <td>3,462</td> <td>139</td> <td>12</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>34,075</td> <td>3,096</td> <td>301</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	23	34,094	3,462	139	12	64	24	34,075	3,096	301		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
23	34,094	3,462	139	12	64																
24	34,075	3,096	301																		
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度は実施方法の検討を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																				

事務事業名	肺がん検診費	所管課	健康生きがい課																		
		決算額	2,846千円																		
事業内容	過去10年、本市において肺がんは、がんによる死亡のうち部位別では第1位を占めており、早期発見・早期治療を目的として、40歳以上の市民を対象に集団検診を実施する。																				
成果・実績	<p>半日単位33回中、13回は胃がん検診と同日実施とした。</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>52,620</td> <td>2,937</td> <td>34</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>52,581</td> <td>2,849</td> <td>88</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平成24年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	23	52,620	2,937	34	8	9	24	52,581	2,849	88		
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																
23	52,620	2,937	34	8	9																
24	52,581	2,849	88																		
事業評価	検診の実施により市民の健康保持・増進を図ることができた。市民の利便性を考慮して胃がん検診との同日実施日を設けており、平成25年度も市民への受診啓発・促進に努めながら継続実施する。																				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	成人歯科健診費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	194千円				
事業内容	歯周病を予防、早期発見し、生涯自分の歯で摂食行動できるようにするため、40歳、50歳、60歳、70歳の市民を対象に、健診協力医療機関にて個別健診を実施する。						
成果・実績	<p>節目年齢の市民を対象に個別健診を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受診者数</td> <td style="text-align: right;">53人</td> </tr> <tr> <td>要精検者数</td> <td style="text-align: right;">42人</td> </tr> </table>			受診者数	53人	要精検者数	42人
受診者数	53人						
要精検者数	42人						
事業評価	受診者の8割に異常が早期発見され、市民の健康保持・増進を図ることができた。受診促進や市民の意識啓発に努めながら、平成25年度も継続実施する。						

事務事業名	大腸がん検診費	所管課	健康生きがい課																								
		決算額	23,160千円																								
事業内容	近年増加傾向にある大腸がんを早期に発見し早期治療につなげることにより、大腸がんによる死亡率を減少させることを目的として、40歳以上の市民を対象に個別検診を実施する。																										
成果・実績	<p>40歳以上の市民を対象に個別検診により実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; text-align: center;"> <tr> <td colspan="6">(人)</td> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>対象者数</th> <th>受診者数</th> <th>要精検者数</th> <th>がん(疑い)数</th> <th>その他疾病</th> </tr> <tr> <td>23</td> <td>52,620</td> <td>9,367</td> <td>771</td> <td>27</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>52,581</td> <td>9,400</td> <td>783</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>平成24年度のがん(疑い)数とその他疾病については、今後把握予定。</p>			(人)						年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病	23	52,620	9,367	771	27	310	24	52,581	9,400	783		
(人)																											
年度	対象者数	受診者数	要精検者数	がん(疑い)数	その他疾病																						
23	52,620	9,367	771	27	310																						
24	52,581	9,400	783																								
事業評価	国制度に基づいた無料クーポン券の配付を行い、市民の健康保持・増進を図ることができた。平成25年度は実施方法の検討を図りつつ、市民の意識啓発に努め、継続実施する。																										

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	骨粗しょう症予防対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	460千円
事業内容	骨粗しょう症予防を目的に、骨密度測定を通して現在の骨や体の状態を把握するとともに、骨粗しょう症予防を目指し市民自ら健康づくりを実践する動機づけとなるよう教育を行う。（対象者：65歳未満）		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施回数 5回 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施人数 111人 </div>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今後も、開催日程や広報の工夫に努め、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	骨粗しょう症予防教室事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	563千円
事業内容	骨粗しょう症予備群となる者に対し骨密度測定を通して現在の体の状態を把握し、介護予防を図る。（対象：65歳以上）		
成果・実績	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施回数 3回 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 実施人数 177人 </div>		
事業評価	教室を実施し、市民の運動・食・生活習慣の改善等を図るための動機づけを行うことができた。今後も、開催日程や広報の工夫に努め、平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	02 健康づくりの推進
小分類	02 保健・医療の推進

所管部局
健康福祉部

事務事業名	肝炎ウイルス検診費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	5,329千円						
事業内容	肝炎の早期発見・早期対応のため、市において本検診の受診歴のない当該年度40歳以上の市民を対象に、検診協力医療機関にて個別検診を実施する。								
成果・実績	<p>対象者に個別検診を実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">1,589人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">B型肝炎ウイルス陽性</td> <td style="text-align: right;">4人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">C型肝炎ウイルス感染疑い</td> <td style="text-align: right;">2人</td> </tr> </table>			受診者数	1,589人	B型肝炎ウイルス陽性	4人	C型肝炎ウイルス感染疑い	2人
受診者数	1,589人								
B型肝炎ウイルス陽性	4人								
C型肝炎ウイルス感染疑い	2人								
事業評価	B型・C型肝炎ウイルスの異常が早期発見につながり、市民の健康保持・増進を図ることができた。国制度に基づく検診個別勧奨により、受診者は増加傾向にあり、市民の意識啓発に努めながら平成25年度も継続実施する。								

事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	69,746千円						
事業内容	65歳以上の高齢者及び60歳から65歳未満の厚生労働省令で定める機能障害を有する者に対し、インフルエンザワクチンの接種を協力医療機関にて実施する。平成22年度よりワクチンが3価となった。								
成果・実績	<table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">実施期間</td> <td>10月20日～12月28日</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">接種医療機関</td> <td>(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">接種者数</td> <td>20,674人</td> </tr> </table>			実施期間	10月20日～12月28日	接種医療機関	(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)	接種者数	20,674人
実施期間	10月20日～12月28日								
接種医療機関	(社)宇治久世医師会及び(社)伏見医師会の協力医療機関 (府外等の医療機関は還付で対応)								
接種者数	20,674人								
事業評価	予防効果への期待は大きく、市民の健康保持を図ることができた。平成25年度も継続実施する。								

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	敬老会開催費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	10,574千円				
事業内容	<p>長年社会に貢献されてきた高齢者に敬愛の精神をもって接するよう広く市民の関心と理解を深め、高齢者自らの生活意欲を高めるため、当該年中に70歳以上になる高齢者を敬老の日に文化センターへ招待し式典を開催する。また、9月15日現在、数え年88歳の高齢者に対し、米寿を祝うための記念品を贈呈する。</p>						
成果・実績	<p>敬老の日に宇治市文化センターで午前と午後の2回、市内在住の70歳以上の高齢者を招待して敬老会を開催した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">参加者</td> <td>2,614人</td> </tr> <tr> <td>米寿記念品支給者数</td> <td>567人</td> </tr> </table>			参加者	2,614人	米寿記念品支給者数	567人
参加者	2,614人						
米寿記念品支給者数	567人						
事業評価	<p>敬老の日に式典を開催するとともに、米寿記念品を贈呈し、高齢者に敬愛の念を表し、高齢者福祉についての市民の関心と理解を深めることができた。高齢者の増加等に対応するため、今後開催場所の選定や実施方法などを検討する必要がある。</p>						

事務事業名	老人園芸ひろば管理費	所管課	健康生きがい課																
		決算額	20,265千円																
事業内容	<p>高齢者の生きがい対策と地域コミュニティ活動の一つとして、高齢者の社会交流、心身の健康保持のために、趣味を活かして園芸を楽しみ、自然の恵沢と長寿の喜びを味わってもらうことにより、高齢者福祉の増進を図る。</p>																		
成果・実績	<p>7カ所585区画を管理し、60歳以上の者に1人約10㎡を1区画として貸与した。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 60%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">園芸ひろば名称</th> <th style="text-align: center;">利用者数(区画数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">芝ノ東</td><td style="text-align: center;">95</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">大久保</td><td style="text-align: center;">129</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">伊勢田第2</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">羽戸山</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">槇島</td><td style="text-align: center;">115</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">伊勢田若林</td><td style="text-align: center;">49</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">木幡</td><td style="text-align: center;">87</td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">小倉寺内園芸ひろば整備費 19,059千円</p>			園芸ひろば名称	利用者数(区画数)	芝ノ東	95	大久保	129	伊勢田第2	55	羽戸山	55	槇島	115	伊勢田若林	49	木幡	87
園芸ひろば名称	利用者数(区画数)																		
芝ノ東	95																		
大久保	129																		
伊勢田第2	55																		
羽戸山	55																		
槇島	115																		
伊勢田若林	49																		
木幡	87																		
事業評価	<p>市内8カ所の園芸ひろばを整備・運営し、高齢者の生きがい増進と地域コミュニティの活性化を図ることができた。平成25年度からは公平性の観点から利用者の自己負担を求める。今後も運営方法や利用者選定、整備に係る基準・方針について検討する必要がある。</p>																		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	輝き支援2015高齢期支援システム創造事業費	所管課	健康生きがい課																					
		決算額	7,200千円																					
事業内容	<p>団塊の世代が高齢期を迎える平成27年を前に、健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座、講演会などの事業を（財）宇治市福祉サービス公社に委託し実施する。知識や経験を活用しながら、健康に関心を持ち、地域活動に参加できるよう、新しい高齢期支援システムの構築を目指す。</p>																							
成果・実績	<p>健康づくり・生きがいづくり・地域参加の契機となる各種講座・講演会等の事業を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">講座名</th> <th style="width: 20%;">講座数</th> <th style="width: 50%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健やか生活塾</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">177</td> </tr> <tr> <td>人生設計塾</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">53</td> </tr> <tr> <td>愉快生活塾</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">134</td> </tr> <tr> <td>活動支援事業</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">797</td> </tr> <tr> <td>共催事業</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">89</td> </tr> <tr> <td>笹野高史氏講演会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">380</td> </tr> </tbody> </table>			講座名	講座数	参加延べ人数	健やか生活塾	3	177	人生設計塾	1	53	愉快生活塾	1	134	活動支援事業	3	797	共催事業	1	89	笹野高史氏講演会	1	380
講座名	講座数	参加延べ人数																						
健やか生活塾	3	177																						
人生設計塾	1	53																						
愉快生活塾	1	134																						
活動支援事業	3	797																						
共催事業	1	89																						
笹野高史氏講演会	1	380																						
事業評価	<p>（財）宇治市福祉サービス公社へ委託実施し、様々な講座等の開催により、高齢期を迎える世代の健康・生きがいづくりや地域活動への意識啓発につながった。市民ニーズを踏まえ、事業効果を検証しながら平成25年度も継続実施する。</p>																							

事務事業名	敬老祝金等支給費	所管課	健康生きがい課																
		決算額	78,069千円																
事業内容	<p>9月15日現在、満70歳、満77歳、満88歳、満100歳で、1月1日から8月末日まで引き続き居住する高齢者に長寿のお祝いをするために敬老祝金を支給する。また、95歳以上の高齢者に対して長寿を祝い記念品を贈る。</p>																		
成果・実績	<p>敬老祝金 9月15日現在、対象年齢となる市民に、長寿をお祝いするために、敬老祝金を支給した。</p> <p>支給金額 (円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">70歳</th> <th style="width: 25%;">77歳</th> <th style="width: 25%;">88歳</th> <th style="width: 25%;">100歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> <td style="text-align: center;">30,000</td> <td style="text-align: center;">50,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>支給者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">70歳</th> <th style="width: 25%;">77歳</th> <th style="width: 25%;">88歳</th> <th style="width: 25%;">100歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,794</td> <td style="text-align: center;">1,665</td> <td style="text-align: center;">482</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </tbody> </table> <p>長寿記念品 支給者数 426人</p>			70歳	77歳	88歳	100歳	10,000	20,000	30,000	50,000	70歳	77歳	88歳	100歳	2,794	1,665	482	25
70歳	77歳	88歳	100歳																
10,000	20,000	30,000	50,000																
70歳	77歳	88歳	100歳																
2,794	1,665	482	25																
事業評価	<p>対象年齢の高齢者へ長寿のお祝いを行ったが、高齢化の進展によって高齢者数は増加しており、事業のあり方を見直し、高齢者の生活を総合的な制度で支えるため、本事業は平成24年度で廃止した。</p>																		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,564千円
事業内容	(宗) 平等院からの寄付金1億円を高齢者活動基金として積み立て、運用益を高齢者の生きがい対策のための各種サービスの充実を図る目的の事業のために使用し、寄付者の意思に報う。健康まつりの開催、喜老会への補助など。		
成果・実績	高齢者の活動を促進するため、事業開催や事業費補助を行った。 健康まつり 217千円 機器による各種測定、診断や、協力団体等によるストレッチ指導などを行い、楽しみながら市民の健康への意識を高めた。〈うー茶ん〉のつどい事業と合同で開催した。 参加者 約600人 老人クラブ活動促進特別事業 850千円 老人福祉センター交流事業 197千円 宇治市老人福祉センターサークル活動発表大会事業 300千円		
事業評価	健康まつりの開催や喜老会活動への助成などを行い、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成25年度も継続実施するが、助成のあり方を含め、世代間交流の推進や関係課・団体との連携など、より多くの市民に効果的な実施手法の検討が必要である。		

事務事業名	宇治市シルバー人材センター運営助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	3,650千円
事業内容	定年退職後等において雇用関係のない就業を通じて労働能力を活用し、生きがいの充実等を希望する60歳以上の高年齢者に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供するための高年齢者の自主的な団体である、(公社)宇治市シルバー人材センターの運営に助成を行う。		
成果・実績	(公社)宇治市シルバー人材センターの運営事業に対し助成を行い、育成・指導に努めた。 会員数 650人 (男性 520人 女性 130人)		
事業評価	シルバー人材センター運営補助金について適切に執行し、高年齢者の生きがい増進や就労の促進を図ることができた。平成25年度も継続実施し、活性化を図る。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	01 生きがいづくりの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	地域福祉センター管理運営費	所管課	健康生きがい課												
		決算額	92,223千円												
事業内容	地域住民の福祉ニーズに応じた事業を総合的に行うとともに、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図り、地域の実情に応じた各種事業を実施する。また、高齢者が健康づくりや生きがいづくりなど様々な活動に気軽に利用でき、集会所機能も持たせた多目的活用によって、世代間交流や地域交流を促進する複合施設である地域福祉センターの管理・運営を行う。														
成果・実績	市内6カ所の地域福祉センターを管理・運営した。木幡・開については直営で管理し、その他4カ所は管理者を指定し、管理運営した。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 60%;"> 榎島地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（福）山城福祉会 </td> <td style="width: 40%; text-align: right;">12,422千円</td> </tr> <tr> <td> 木幡地域福祉センター管理運営費 直営 </td> <td style="text-align: right;">13,507千円</td> </tr> <tr> <td> 開地域福祉センター管理運営費 直営 </td> <td style="text-align: right;">13,177千円</td> </tr> <tr> <td> 西小倉地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社 </td> <td style="text-align: right;">24,291千円</td> </tr> <tr> <td> 東宇治地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社 </td> <td style="text-align: right;">15,917千円</td> </tr> <tr> <td> 広野地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社 </td> <td style="text-align: right;">12,909千円</td> </tr> </tbody> </table>			榎島地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（福）山城福祉会	12,422千円	木幡地域福祉センター管理運営費 直営	13,507千円	開地域福祉センター管理運営費 直営	13,177千円	西小倉地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	24,291千円	東宇治地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	15,917千円	広野地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	12,909千円
榎島地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（福）山城福祉会	12,422千円														
木幡地域福祉センター管理運営費 直営	13,507千円														
開地域福祉センター管理運営費 直営	13,177千円														
西小倉地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	24,291千円														
東宇治地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	15,917千円														
広野地域福祉センター管理運営費 指定管理者：（財）宇治市福祉サービス公社	12,909千円														
事業評価	適正な管理運営によって、高齢者の福祉向上を図ることができた。今後も利用者のニーズを踏まえて運営するとともに、利用効果に見合うよう計画的な修繕を検討する。														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	機能訓練事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	660千円
事業内容	40歳以上65歳未満で運動機能の低下を生じている者に対して、身体機能の向上、閉じこもりの予防のため、パワーリハビリ教室を行う。		
成果・実績	パワーリハビリ教室を行い、心身の機能の維持改善を図った。 実人員 13人		
事業評価	教室を開催し、市民の疾病予防や健康保持・増進を図ることができた。教室の効果を検証しながら平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	20,489千円
事業内容	パワーリハビリ教室：二次予防事業対象者に対し、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動やストレッチ体操等を行う。 足しっかり体操教室：生活機能の維持・改善のため、自重運動や体操を中心としたトレーニングを行う。		
成果・実績	二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした運動器の機能向上プログラムを実施した。 実人員 275人		
事業評価	教室を開催し、二次予防事業対象者の健康保持・増進や意識啓発、介護予防を図ることができた。参加者は減少しており、平成25年度も継続実施が必要だと考えるが、プログラム構成の改善や他事業との連携など、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	機能訓練事業費（介護保険事業特別会計分）	所管課	健康生きがい課
		決算額	15,872千円
事業内容	<p>パワーリハビリ事業：医療制限を受けていない自力でトレーニング可能な65歳以上の者を対象に、心身の機能の維持・向上のため、マシンを利用した軽度な負荷での運動等を行う。</p> <p>B型リハビリ教室：疾病等により閉じこもりがちな虚弱高齢者や障害のある者等を対象に、地域との交流を通じて「閉じこもり症候群」を防止し、生活機能の維持・改善を図る。</p>		
成果・実績	<p>介護予防の普及・啓発に資する機能訓練を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">パワーリハビリ事業参加者数（実人員） 342人</p> <p style="margin-left: 40px;">B型リハビリ教室参加者数（実人員） 222人</p>		
事業評価	<p>教室を開催し、一次予防事業対象者の健康保持・増進や意識啓発、介護予防を図ることができた。参加者は増加傾向にあり、平成25年度も継続実施が必要だと考えるが、プログラム構成の改善や他事業との連携など、より効果的な事業実施を検討する必要がある。</p>		

事務事業名	地域包括ケア体制推進事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	184千円
事業内容	<p>地域の高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを行うことを目的として「地域包括ケア会議」及び「小地域包括ケア会議」を開催し、地域ネットワークの構築を図る。講義、事例検討を通して地域包括支援センター及びケアマネジャーの資質向上を図る。</p>		
成果・実績	<p>地域ネットワークの構築を図るとともに、地域包括支援センター及びケアマネジャーへ資質向上のための研修を実施した。</p> <p style="margin-left: 40px;">延べ人員数</p> <p style="margin-left: 80px;">地域包括ケア会議 61人</p> <p style="margin-left: 80px;">小地域包括ケア会議 267人</p> <p style="margin-left: 80px;">資質向上研修 77人</p>		
事業評価	<p>地域包括ケア会議や研修を行うことで、関係団体や多職種の連携を促し、地域包括ケアを推進することができた。平成25年度も継続実施するが、今後も効果的な会議のあり方を検討し、連携体制の強化を図る必要がある。</p>		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅寝たきり者等訪問指導事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	172千円
事業内容	40歳以上65歳未満の在宅寝たきり者や家族等、支援が必要な者に対し、在宅療養条件の整備及びその健康の保持増進のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人員 14人		
事業評価	訪問での保健指導によって、在宅寝たきり者や家族の心身機能の維持改善や日常生活の向上を図ることができた。平成25年度も継続実施が必要だと考えるが、利用者は減少しており、市民ニーズや対象者の把握方法について検討する。		

事務事業名	訪問型介護予防事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	1,963千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、運動機能・口腔機能の向上、栄養改善、閉じこもり・うつ・認知症の予防のため、訪問による保健指導を行う。		
成果・実績	居宅を訪問し、必要な相談・指導等を行った。 実人数 28人		
事業評価	二次予防事業対象者の生活課題に対し、適切に相談・指導を行うことができた。平成25年度も継続実施が必要だと考えるが、専門的な支援の充実等により効果的な事業実施を検討する必要がある。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護予防普及啓発事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	278千円
事業内容	介護予防の重点項目を中心に、高齢者の健康管理等を見直すきっかけづくりとして介護予防に資する基本的な知識を普及・啓発するとともに、一次予防事業を周知する。また、各種健診等を周知し、リスクの高い二次予防事業対象者を把握し、適切な介護予防サービスにつなげる。		
成果・実績	65歳以上の高齢者に、介護予防の普及・啓発に資する介護予防教室を行った。 実人員 97人		
事業評価	市民への周知・啓発によって介護予防への意識向上を図ることができた。適切な介護予防サービスにつなげるため、参加者の増加や実施手法の改善に努め、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	認知症家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	391千円
事業内容	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。		
成果・実績	介護者家族に対し、認知症の理解を促進し、介護者同士の交流を図った。 延べ人員数 家族支援プログラム 69人 OB会支援 95人		
事業評価	認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成25年度も他事業と連携し、市民ニーズを把握しながらより効果的な手法を検討し継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	認知症地域支援事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	5,863千円
事業内容	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるように、予防可能な段階である初期認知症高齢者を早期に発見し、認知症の改善と進行、悪化の防止のための教室を行う。		
成果・実績	認知症予防を目的とした教室や認知症の正しい理解の普及・啓発（認知症あんしんサポーター養成講座）を行った。 認知症予防教室参加者数（実数） 123人 認知症あんしんサポーター養成講座延べ参加者数 845人 キャラバン・メイト養成講座延べ参加者数 52人 （ 2年に一度実施、平成24年度実施）		
事業評価	教室の開催等によって認知症の知識の普及・啓発や介護家族への支援を図ることができた。平成25年度も継続実施する必要があると考えるが、参加方法の改善や会場の確保など、市民ニーズに対応した実施手法の検討が必要である。		

事務事業名	ボランティア研修会開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	300千円
事業内容	市民の積極的な社会参加を促進するとともに、介護予防事業への理解と普及・啓発を促進する。		
成果・実績	介護予防に関するボランティア等の人材育成や介護予防に資する地域活動組織の育成・支援のための事業を行った。 実人数 206人		
事業評価	研修の実施によって介護予防に関わる人材の育成を行い、積極的な地域福祉活動への参加につながった。今後は育成した人材の有効活用や関係機関との連携を図るとともに、研修効果を検証しながら効果的な実施手法を検討する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人保護措置費等	所管課	健康生きがい課
		決算額	123,232千円
事業内容	環境上及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難と認める65歳以上の高齢者について、養護老人ホームへの入所措置を行う。		
成果・実績	対象者について養護老人ホームに入所措置を行った。 措置延べ人数 719人		
事業評価	老人福祉法に基づいて養護老人ホームへの入所措置を適切に行った。高齢化が進展している中で、今後も効果的なサービス利用など在宅生活の可能性を十分に検討した上で措置することを基本とし継続実施する。		

事務事業名	高齢者日常生活支援事業	所管課	健康生きがい課
		決算額	142千円
事業内容	高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らせるよう低所得（市民税非課税世帯）の高齢者による日常生活支援サービスの利用促進を図るため、日常生活支援サービスを実施する団体（非営利団体）が当該サービスに係る利用料を減免した場合に、当該減免部分の一部について、年1万円を上限に助成する。		
成果・実績	低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料の減免分について、助成を行った。 利用件数 37件		
事業評価	低所得の高齢者が利用した日常生活支援サービスの利用料の減免分について、事業者に助成を行うことで、利用者の負担軽減や高齢者の福祉の向上を図ることができた。平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	在宅要援護老人対策費	所管課	健康生きがい課
		決算額	13,556千円
事業内容	高齢化の進行により、寝たきり・一人暮らし高齢者、高齢者世帯の要援護者が増加しており、日常生活で手助けが必要な部分について、類型に応じたサービスを提供し、地域社会での日常生活を送れるよう援助する。シルバーホン設置、訪問活動事業への助成などを行う。		
成果・実績	在宅で援護が必要である高齢者等に対して、各種事業を行った。 一人暮らし高齢者等訪問活動事業 1,923千円 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に自宅への訪問等を月1回以上行い、一人暮らし高齢者の安否確認や不安解消を行った。 対象者数 1,945人 在宅ねたきり高齢者等見舞品支給事業 259千円 要介護認定3・4・5で在宅にて介護を受けている高齢者等に民生児童委員を通して見舞品を支給した。 支給者数 1,437人 シルバーホン（緊急発信設備付電話）設置事業 9,527千円 本市に在住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に緊急時の連絡手段としてシルバーホンを設置した。 設置数 平成24年度新規132台、平成24年度末886台 福祉電話の基本通話料の助成 1,645千円 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで電話のない高齢者に貸与、設置した福祉電話の基本通話料を助成した。 年度末助成対象者数 66人		
事業評価	（福）宇治市社会福祉協議会への適正な補助や、民生児童委員との連携などによって、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持つことができた。シルバーホン設置の実施手法の充実や地域・他団体との連携のあり方の検討など、支援の改善を図りながら平成25年度も継続実施する。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人日常生活用具等給付費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	275千円						
事業内容	在宅で生活をしている65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で、心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付し、現に電話のない者に福祉用具を貸与・設置する。								
成果・実績	<p>一人暮らし等高齢者日常生活用具給付等事業 在宅で65歳以上の一人暮らし高齢者等（市民税非課税）で防火等の配慮が必要な者に電磁調理器・自動消火器を給付した。</p> <p style="text-align: center;">（台）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給付件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電磁調理器</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>自動消火器</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>福祉電話の貸与事業 所得税非課税の65歳以上の一人暮らしで、電話のない高齢者に福祉電話を貸与、設置した。 設置件数 平成24年度新規6件</p>				給付件数	電磁調理器	11	自動消火器	1
	給付件数								
電磁調理器	11								
自動消火器	1								
事業評価	高齢になっても、できるだけ在宅での生活を維持するための支援として役立っており、平成25年度も継続実施する。								

事務事業名	高齢者成年後見制度助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,465千円
事業内容	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にあるものについて、成年後見制度の利用による本人の権利を擁護するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。		
成果・実績	<p>判断能力がないまたは乏しいことにより契約などの行為が行えない認知症高齢者等に対して、成年後見人などを選任するための申立の代行、費用の立替などを行った。</p> <p style="text-align: center;">申立件数 12件</p>		
事業評価	認知症等により判断能力が十分でない高齢者の権利の保護を図ることができた。今後、制度利用の希望者が増加すると考えられ、より円滑な事務遂行が求められる。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	老人クラブ助成金	所管課	健康生きがい課
		決算額	6,424千円
事業内容	高齢者の心身の健康保持、社会参加を促進するため、老人クラブが自主的に行う教養講座、レクリエーション、社会奉仕、スポーツ等を年間を通じて恒常的かつ計画的に行えるため助成・育成を行い、老人クラブ活動の充実と発展を図り、老後の生きがいを高め、その生活を健康で豊かなものとする。		
成果・実績	老人クラブの活動に対して助成するとともに、老人大学開催事業を委託実施し、育成・指導に努めた。 会員数 3,567人 クラブ数 63		
事業評価	宇治市連合喜老会への助成や事業の委託料などを適正に執行し、高齢者の生きがい活動を促進できた。平成25年度も継続実施するが、クラブ数、会員の減少や高齢化が進んでおり、助成のあり方等を含め今後の施策展開について検討する必要がある。		

事務事業名	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	所管課	健康生きがい課
		決算額	4,170千円
事業内容	一人暮らし高齢者等の不安と孤独感の解消と社会参加のため、地区社会福祉協議会と学区福祉委員会が実施している一人暮らし高齢者等給配食サービスに対し、補助することによって、在宅福祉の充実に向け、行政、地域住民等の連携や、ボランティアの育成、地区社会福祉協議会、学区福祉委員会の充実を図る。		
成果・実績	給配食サービスへの助成を行い、一人暮らし高齢者等の福祉の向上を図った。 給配食数 11,913食		
事業評価	(福)宇治市社会福祉協議会へ適正に補助金交付し、社会的支援が必要な高齢者と関わりを持ち、地域福祉の向上を図ることができた。平成25年度も地域・他団体との連携等を強化し、より効果的な手法を検討しながら継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在宅高齢者等介護者激励金支給費	所管課	健康生きがい課
		決算額	20,719千円
事業内容	介護保険法における要介護3・4・5の認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している者を対象に日常の介護を激励するため、在宅高齢者介護者激励金を支給し、高齢者福祉の増進を図る。平成18年度より基準日（10月1日）を年1回とし、支給要件の対象期間を基準日前1年間に見直した。		
成果・実績	<p>日常の介護を激励するため、要介護高齢者の介護者へ1人3万円の激励金を支給し、在宅高齢者福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">支給者数 690人</p>		
事業評価	要件に該当する対象者に適切に激励金を支給し、在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減することができた。平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	介護用具リサイクル事業費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	877千円						
事業内容	市民等からリサイクル用に寄付を受けた福祉用具を、必要とする在宅寝たきり者に貸与し、福祉用具を有効活用する。								
成果・実績	<p>福祉用具について、市民等から寄付を受け、修繕・貸与することで有効活用を図った。</p> <p style="text-align: center;">貸与数</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>特殊寝台</td> <td style="text-align: right;">24台</td> </tr> <tr> <td>車いす</td> <td style="text-align: right;">13台</td> </tr> <tr> <td>エアーマット</td> <td style="text-align: right;">1個</td> </tr> </table>			特殊寝台	24台	車いす	13台	エアーマット	1個
特殊寝台	24台								
車いす	13台								
エアーマット	1個								
事業評価	寄付を受けた福祉用具を有効活用し、在宅での介護を支援することができた。平成25年度も継続実施する。								

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	高齢者住宅改造助成費	所管課	健康生きがい課
		決算額	2,366千円
事業内容	介護保険法における要支援・要介護の認定を受けた者の日常生活を容易にし介護者の負担の軽減を図るためリフト、エレベーター設置工事に要した経費の一部を助成（認定工事の合計額2分の1（1住宅につき30万円限度））する。（介護保険給付対象工事は除く。）		
成果・実績	<p>介助を要する高齢者等の居住する住宅等を改造費を助成し、福祉の増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成件数 10件</p>		
事業評価	介助を要する高齢者等の居住する住宅等を改造費を助成することで、福祉の増進を図り、高齢者の経済的負担を軽減することができた。在宅での日常生活向上のため、平成25年度も継続実施する。		

事務事業名	高齢者あん摩・マッサージ・指圧・はり・きゅう施術費助成事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	23,599千円
事業内容	高齢者の健康の保持及び福祉の増進を図るため、はり・きゅう・マッサージなどの施術費の一部を助成する。		
成果・実績	<p>施術費の一部を助成し、健康の保持及び増進を図った。</p> <p style="text-align: center;">助成券交付件数 4,648件</p>		
事業評価	対象者が受けた施術料について適正に助成し、経済的負担を軽減するとともに、健康保持・増進を図ることができた。高齢化の進展によって高齢者数は増加しており、高齢者の生活を総合的な制度で支えるという考えのもと、平成25年度から事業の対象者を低所得者に見直し実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	所管課	健康生きがい課																																																																								
		決算額	194,198千円																																																																								
事業内容	介護基盤の緊急整備及び円滑な開設など施設整備事業を支援するため、国補助金の対象となる施設整備について、事業者へ補助を行う。																																																																										
成果・実績	<p>「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備等を計画的に進めるため、介護基盤緊急整備等特別対策補助金の対象となる施設整備等に対して、事業者へ補助金を交付した。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">(千円)</th> <th colspan="2"><繰越分> (千円)</th> </tr> <tr> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> <th>施設種別</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備</td> <td>7,499</td> <td>小規模特養</td> <td>116,000</td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点 (総合福祉会館)</td> <td>7,499</td> <td>合計</td> <td>116,000</td> </tr> <tr> <td>自動火災報知設備等整備</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 小規模多機能</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設改修</td> <td>51,999</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点 (小倉デイホーム)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点 (平盛デイホーム)</td> <td>6,499</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(木幡地 域福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(開地域 福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(西小倉 地域福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(東宇治 地域福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(広野地 域福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 介護予防拠点(槇島地 域福祉センター)</td> <td>6,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設開設準備経費助成特別 対策事業</td> <td>17,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 小規模特養</td> <td>17,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>78,198</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			(千円)		<繰越分> (千円)		施設種別	補助金額	施設種別	補助金額	施設整備	7,499	小規模特養	116,000	介護予防拠点 (総合福祉会館)	7,499	合計	116,000	自動火災報知設備等整備	1,300			小規模多機能	1,300			施設改修	51,999			介護予防拠点 (小倉デイホーム)	6,500			介護予防拠点 (平盛デイホーム)	6,499			介護予防拠点(木幡地 域福祉センター)	6,500			介護予防拠点(開地域 福祉センター)	6,500			介護予防拠点(西小倉 地域福祉センター)	6,500			介護予防拠点(東宇治 地域福祉センター)	6,500			介護予防拠点(広野地 域福祉センター)	6,500			介護予防拠点(槇島地 域福祉センター)	6,500			施設開設準備経費助成特別 対策事業	17,400			小規模特養	17,400			合計	78,198		
	(千円)		<繰越分> (千円)																																																																								
施設種別	補助金額	施設種別	補助金額																																																																								
施設整備	7,499	小規模特養	116,000																																																																								
介護予防拠点 (総合福祉会館)	7,499	合計	116,000																																																																								
自動火災報知設備等整備	1,300																																																																										
小規模多機能	1,300																																																																										
施設改修	51,999																																																																										
介護予防拠点 (小倉デイホーム)	6,500																																																																										
介護予防拠点 (平盛デイホーム)	6,499																																																																										
介護予防拠点(木幡地 域福祉センター)	6,500																																																																										
介護予防拠点(開地域 福祉センター)	6,500																																																																										
介護予防拠点(西小倉 地域福祉センター)	6,500																																																																										
介護予防拠点(東宇治 地域福祉センター)	6,500																																																																										
介護予防拠点(広野地 域福祉センター)	6,500																																																																										
介護予防拠点(槇島地 域福祉センター)	6,500																																																																										
施設開設準備経費助成特別 対策事業	17,400																																																																										
小規模特養	17,400																																																																										
合計	78,198																																																																										
事業評価	「宇治市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」に基づいた施設整備について、事業者へ適正に補助金を交付した。今後も国・京都府の動向を踏まえ、計画に基づいた整備を進めるために実施する。																																																																										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	生活支援ホームヘルプサービス事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	898千円
事業内容	日常生活を営むのに支障のある65歳以上の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で、介護保険認定非該当の者にヘルパーを派遣しサービスを提供する。		
成果・実績	<p>体が弱いなどの理由により家事等の援助が必要となった高齢者の居宅をヘルパーが訪問し、掃除、買い物、洗濯、炊事などの支援を行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">実利用者数 10人 延べ利用回数 361回</p>		
事業評価	介護保険認定非該当の高齢者の日常生活向上を図ることができた。利用について、必要性の判断が難しく、今後は対象者の客観的要件の整理が必要であり、効果的な事業のあり方について検討する必要がある。		

事務事業名	地域包括支援センター運営事業費	所管課	健康生きがい課
		決算額	83,345千円
事業内容	介護、福祉、医療、保健などのサービスを包括的・継続的に提供するために、平成18年度に地域包括支援センターを市内6カ所の日常生活圏域（東宇治南、北宇治圏域は支所も設置）に設置した。要支援者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるように指定介護予防支援を実施する。また、地域包括支援センター運営協議会を設置する。		
成果・実績	<p>3職種 of 専門職を配置し、圏域内の高齢者の心身の状況に応じた介護予防ケアプランの作成、指定介護予防支援、高齢者やその家族に対する相談支援、高齢者の権利擁護、包括的・継続的なケア体制の構築などを行った。</p> <p style="margin-left: 40px;">新規相談者数（実人数） 4,243人</p>		
事業評価	国の指針に基づいて、日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。今後も高齢者数は増加する見込みであり、効率的な業務や適切な体制の整備など、包括的支援事業の充実に向けて取り組んでいく必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	家族介護者支援事業費	所管課	健康生きがい課																						
		決算額	5,957千円																						
事業内容	要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。 紙おむつ等購入費助成：要介護4・5の在宅高齢者の紙おむつ等を給付する。（月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5千円上限、市民税非課税世帯） リフレッシュ事業：介護者の交流事業とともに、介護者の誕生日に花束を贈呈する。 家族介護慰労事業：要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者で1年間介護サービスを受けずに介護した家族に慰労金を支給する。 家族介護者教室：介護者自身の健康づくりを目指し、健康管理等の知識を指導する。																								
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">紙おむつ支給事業</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2,547千円</td> </tr> <tr> <td>助成件数</td> <td style="text-align: right;">895件</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ事業</td> <td style="text-align: right;">2,710千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td style="text-align: right;">105人</td> </tr> <tr> <td>介護者花束贈呈者数</td> <td style="text-align: right;">573人</td> </tr> <tr> <td>家族介護慰労事業</td> <td style="text-align: right;">400千円</td> </tr> <tr> <td>支給者数</td> <td style="text-align: right;">3人</td> </tr> <tr> <td>家族介護者教室</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。</td> </tr> <tr> <td>参加者実数</td> <td style="text-align: right;">50人</td> </tr> </table>			紙おむつ支給事業	2,547千円	助成件数	895件	リフレッシュ事業	2,710千円	介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。		参加人数	105人	介護者花束贈呈者数	573人	家族介護慰労事業	400千円	支給者数	3人	家族介護者教室	300千円	介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。		参加者実数	50人
紙おむつ支給事業	2,547千円																								
助成件数	895件																								
リフレッシュ事業	2,710千円																								
介護者家族の会の紹介や、介護者交流会を兼ねた昼食会を行った。																									
参加人数	105人																								
介護者花束贈呈者数	573人																								
家族介護慰労事業	400千円																								
支給者数	3人																								
家族介護者教室	300千円																								
介護者の家族に教室を実施し、体操やクラフト・茶話会などで交流を行った。																									
参加者実数	50人																								
事業評価	教室の実施やサービス提供などによって、高齢者の介護を行う家族の精神的・経済的負担の軽減や介護者同士の交流等を図ることができた。今後も在宅介護が必要な高齢者は増加すると考えられ、超高齢社会を支える家族支援は重要であり、ニーズに対応しながら平成25年度も継続実施する。																								

事務事業名	介護予防安心住まい推進事業費	所管課	健康生きがい課		
		決算額	1,114千円		
事業内容	生活機能について回答する「お元気チェックリスト」による運動器の機能低下がみられ、かつ市民税非課税の世帯が、居住する住宅に介護保険給付対象工事をしたときに要した経費の一部を助成（認定工事の合計額3分の2（1世帯につき16万円限度））する。				
成果・実績	要介護状態等になるおそれの高い状態にあると認められる高齢者の居住する住宅等について改造費の助成を行った。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">助成件数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">9件</td> </tr> </table>			助成件数	9件
助成件数	9件				
事業評価	生活機能の維持向上及び転倒事故防止を図り、日常生活を容易にし行動範囲の拡大等を確保するとともに、介護予防を図ることができた。平成25年度も適正な助成に努め、継続実施する。				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	二次予防事業対象者把握事業費	所管課	健康生きがい課				
		決算額	6,435千円				
事業内容	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、二次予防事業の対象者を決定するため、生活機能について回答する「お元気チェックリスト」の配布・回収を行う。平成24年度から3年かけて全数把握を行う。						
成果・実績	<p>「お元気チェックリスト」の回答により二次予防事業対象者を決定し、二次予防事業への参加を呼び掛けた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">配布対象者数</td> <td style="text-align: right;">13,560人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">二次予防事業対象者数</td> <td style="text-align: right;">3,710人</td> </tr> </table>			配布対象者数	13,560人	二次予防事業対象者数	3,710人
配布対象者数	13,560人						
二次予防事業対象者数	3,710人						
事業評価	介護認定を持たない65歳以上の高齢者に対して、生活機能を評価し、二次予防事業対象者を把握することができた。今後は把握した対象者に対して効果的な支援が行えるよう、予防教室や各種事業との連携に努めながら、平成25年度も継続実施する。						

事務事業名	食生活改善推進員養成費	所管課	健康生きがい課						
		決算額	417千円						
事業内容	市民の健康づくりや生活習慣病予防のために食生活改善を進める食生活改善推進員を養成する。								
成果・実績	<p>食生活改善推進員として活動するために必要な講義や実習をカリキュラムに沿って実施した。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">講座実施状況</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">実施回数</td> <td style="text-align: right;">29回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">426人</td> </tr> </table>			講座実施状況		実施回数	29回	参加者数	426人
講座実施状況									
実施回数	29回								
参加者数	426人								
事業評価	ボランティア活動を行う食生活改善推進員を養成し、地域に根ざした食育活動の推進を図ることができた。養成状況や効果を検証しつつ、平成25年度も継続実施する。								

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	複合型介護予防教室開催費	所管課	健康生きがい課
		決算額	15,777千円
事業内容	二次予防事業対象者に対し、介護予防の三本柱である運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学ぶことで全身的な機能の改善を図る。		
成果・実績	二次予防事業対象者に、通所により介護予防を目的とした複合型介護予防教室を市内6会場で行った。 実人員 202人		
事業評価	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防の各プログラムを複合的に実施することで、二次予防事業対象者の機能改善を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、他事業との連携を図り、より効果的な事業実施を検討する必要がある。		

事務事業名	特別養護老人ホーム等建設費補助金	所管課	健康生きがい課										
		決算額	22,185千円										
事業内容	在宅介護が困難な寝たきり等の要介護高齢者の増加に伴い、「宇治市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画」に基づき整備された特別養護老人ホーム等の建設費に対し、補助金を交付する。												
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">整備法人</td> <td>社会福祉法人マイクロ福祉会</td> </tr> <tr> <td>施設名称</td> <td>特別養護老人ホームまごころ園</td> </tr> <tr> <td>施設規模</td> <td>特別養護老人ホーム 80床</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ショートステイ 20床</td> </tr> <tr> <td>整備場所</td> <td>宇治市菟道藪里11-3 他</td> </tr> </table>			整備法人	社会福祉法人マイクロ福祉会	施設名称	特別養護老人ホームまごころ園	施設規模	特別養護老人ホーム 80床		ショートステイ 20床	整備場所	宇治市菟道藪里11-3 他
整備法人	社会福祉法人マイクロ福祉会												
施設名称	特別養護老人ホームまごころ園												
施設規模	特別養護老人ホーム 80床												
	ショートステイ 20床												
整備場所	宇治市菟道藪里11-3 他												
事業評価	計画に基づいた施設整備について、事業者へ適正に補助金を交付した。今後、計画の進捗状況やニーズを把握し整備を検討する。												

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	保険給付費	所管課	介護保険課
		決算額	10,725,200千円
事業内容	要支援・要介護被保険者が介護予防サービス・介護サービス等を受けた時、その費用の一部を負担する。		
成果・実績	(千円)		
		平成24年度	平成23年度
	介護サービス等諸費	10,237,296	9,580,952
	居宅介護サービス	3,943,964	3,678,393
	地域密着型介護サービス	1,038,930	937,507
	施設介護サービス	4,068,590	3,848,873
	特定入所者介護サービス	361,864	336,698
	その他	823,948	779,481
	介護予防サービス等諸費	474,394	457,878
	介護予防サービス	384,426	367,033
	地域密着型介護予防サービス	0	0
	特定入所者介護予防サービス	342	450
	その他	89,626	90,395
	その他諸費	13,510	12,810
	審査支払手数料	13,510	12,810
事業評価	国制度に基づき、適正に給付を行った。今後も高齢者数の増加に伴い要支援・要介護認定者、サービス利用者が増加する見込みであり、持続可能な事業運営のため、的確に状況把握する必要がある。		

事務事業名	介護相談員派遣事業費	所管課	介護保険課
		決算額	1,711千円
事業内容	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質的な向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事後的な対応を行う。		
成果・実績	介護相談員を通して利用者の疑問や不安を事業者側へ伝え、解消・改善につなげた。また、事業所ごとのサービスの現状を把握した。		
	派遣事業所種別	派遣事業所数 (力所)	派遣人数 (人)
	特別養護老人ホーム	6	13
	介護老人保健施設	2	5
	グループホーム	12	20
		訪問回数 (回)	215
事業評価	利用者の疑問や不安を解消し、サービスの質の向上を図ることができた。相談員は利用者と施設をつなぐ役割を担っており、相談員の資質の向上を図りながら平成25年度も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	03 長寿社会への対応
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	輝き支援 2 0 1 5 福祉人材研修事業費	所管課	介護保険課																																		
		決算額	800千円																																		
事業内容	介護保険制度創設後、要介護認定者やサービス利用者は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。介護サービス事業者及び居宅介護支援事業者を対象にサービスの質の確保及び向上を目的とした研修を行い、利用者が適切なサービスを選択できる環境を整備する。																																				
成果・実績	<p>(財)宇治市福祉サービス公社に委託し、介護サービス事業者・居宅介護支援事業者へ研修を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">研修名</th> <th style="width: 20%;">参加者数(人)</th> <th style="width: 40%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇治市新任ケアマネジャー研修-1</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">新任ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>宇治市新任ケアマネジャー研修-2</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>ケアマネセミナー -1</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">現任ケアマネジャー</td> </tr> <tr> <td>ケアマネセミナー -2</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>ケアマネセミナー</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td rowspan="10" style="text-align: center;">サービス事業者</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -1</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -2</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -1</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修 -2</td> <td style="text-align: center;">19</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">74</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">34</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業所向け研修</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	参加者数(人)	対象者	宇治市新任ケアマネジャー研修-1	19	新任ケアマネジャー	宇治市新任ケアマネジャー研修-2	19	ケアマネセミナー -1	38	現任ケアマネジャー	ケアマネセミナー -2	20	ケアマネセミナー	20	介護サービス事業所向け研修	27	サービス事業者	介護サービス事業所向け研修 -1	21	介護サービス事業所向け研修 -2	20	介護サービス事業所向け研修	50	介護サービス事業所向け研修 -1	19	介護サービス事業所向け研修 -2	19	介護サービス事業所向け研修	74	介護サービス事業所向け研修	34	介護サービス事業所向け研修	26
研修名	参加者数(人)	対象者																																			
宇治市新任ケアマネジャー研修-1	19	新任ケアマネジャー																																			
宇治市新任ケアマネジャー研修-2	19																																				
ケアマネセミナー -1	38	現任ケアマネジャー																																			
ケアマネセミナー -2	20																																				
ケアマネセミナー	20																																				
介護サービス事業所向け研修	27	サービス事業者																																			
介護サービス事業所向け研修 -1	21																																				
介護サービス事業所向け研修 -2	20																																				
介護サービス事業所向け研修	50																																				
介護サービス事業所向け研修 -1	19																																				
介護サービス事業所向け研修 -2	19																																				
介護サービス事業所向け研修	74																																				
介護サービス事業所向け研修	34																																				
介護サービス事業所向け研修	26																																				
事業評価	研修の実施によって、事業者の資質向上やサービスの質の確保を図ることができた。今後も、現状の検証や課題抽出を的確に行い、より効果的な研修となるよう改善に努めるとともに、関係団体や関係課と連携を図りながら平成25年度も継続実施する。																																				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち	健康福祉部
中分類	03 長寿社会への対応	
小分類	02 高齢者福祉サービスの充実	

事務事業名	介護保険料（歳入）	所管課	介護保険課																													
		決算額	2,800,859千円																													
事業内容	平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者の保険料は、第5期介護保険事業計画期間の介護保険サービス見込み量等を基に算出し、13の段階の設定としている。																															
成果・実績	第1号被保険者数	45,429人	（平成25年3月末現在）																													
	保険料収納率	現年度分	98.81%																													
		滞納繰越分	12.51%																													
		合計	97.41%																													
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">保険料段階</th> <th style="width: 50%;">年間保険料額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第1段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第2段階</td><td style="text-align: right;">27,950</td></tr> <tr><td>第3段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">40,370</td></tr> <tr><td>第3段階</td><td style="text-align: right;">46,580</td></tr> <tr><td>第4段階(特例措置)</td><td style="text-align: right;">52,790</td></tr> <tr><td>第4段階</td><td style="text-align: right;">62,100</td></tr> <tr><td>第5段階</td><td style="text-align: right;">68,310</td></tr> <tr><td>第6段階</td><td style="text-align: right;">80,730</td></tr> <tr><td>第7段階</td><td style="text-align: right;">102,470</td></tr> <tr><td>第8段階</td><td style="text-align: right;">121,100</td></tr> <tr><td>第9段階</td><td style="text-align: right;">139,730</td></tr> <tr><td>第10段階</td><td style="text-align: right;">158,360</td></tr> <tr><td>第11段階</td><td style="text-align: right;">183,200</td></tr> </tbody> </table>		保険料段階	年間保険料額(円)	第1段階	27,950	第2段階	27,950	第3段階(特例措置)	40,370	第3段階	46,580	第4段階(特例措置)	52,790	第4段階	62,100	第5段階	68,310	第6段階	80,730	第7段階	102,470	第8段階	121,100	第9段階	139,730	第10段階	158,360	第11段階	183,200
	保険料段階	年間保険料額(円)																														
	第1段階	27,950																														
	第2段階	27,950																														
	第3段階(特例措置)	40,370																														
	第3段階	46,580																														
	第4段階(特例措置)	52,790																														
	第4段階	62,100																														
	第5段階	68,310																														
	第6段階	80,730																														
第7段階	102,470																															
第8段階	121,100																															
第9段階	139,730																															
第10段階	158,360																															
第11段階	183,200																															
		（基準額）																														
<p style="text-align: center;">保険料段階が第3段階(特例措置)又は第3段階の者のうち、特に低所得である者については申請により保険料の減額を行っている。</p>																																
事業評価	現年度分の収納率については、第5期介護保険事業計画策定時において見込んだ収納率を上回ることができた。厳しい経済状況の中ではあるが、今後もケースごとに応じた納付指導等を行い、引き続き収納率の向上に努める必要がある。																															

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	04 少子化社会への対応
小分類	01 子育て支援の充実

所管部局
健康福祉部

事務事業名	子育て支援医療費支給費	所管課	年金医療課																								
		決算額	261,053千円																								
事業内容	乳幼児の健康保持増進と子育て支援を図ることを目的に、平成5年10月1日から乳幼児医療助成事業を実施している。生活の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分から一部負担金を控除した額を助成する。申請に基づいて乳幼児及び小学生の保護者に京都子育て支援医療費受給者証を交付し、現物給付方式か償還給付方式で助成を行う。																										
成果・実績	<p>子育て支援の観点から日常生活の経済的負担を軽減するため、保険診療における自己負担分のうち一部負担金を除いて助成を行った。</p> <p>受給者数 19,095人 扶助費 250,596千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>小学生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td colspan="7">現物給付 (月200円負担)</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td colspan="5">市独自</td> <td colspan="2">償還 (3,000円超)</td> </tr> </tbody> </table>				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生	入院	現物給付 (月200円負担)							外来	市独自					償還 (3,000円超)	
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学生																				
入院	現物給付 (月200円負担)																										
外来	市独自					償還 (3,000円超)																					
事業評価	制度に基づいて適正に執行した。平成24年9月診療より市独自医療費無料制度を3歳から就学前までを対象とするように拡大したことで、乳幼児・児童の健康保持と、子育てにかかる保護者の経済的負担の軽減を一層図ることができた。平成25年度は現行制度を継続実施するとともに、9月診療より市独自医療費無料制度を3歳から小学校低学年までを対象とするように拡大する。一方、少子化対策の一環として子育てに要する経済的負担の軽減は、本来国において対策すべきであり、引き続き国等へ要望を行う。																										

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	老人医療費支給費	所管課	年金医療課
		決算額	330,498千円
事業内容	安心して医療を受けられるよう、65歳から69歳までの医療保険加入者で一定の条件に該当する者に対して、保険診療の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律に規定する一部負担金相当額を除いて助成する。		
成果・実績	<p>対象となる医療費について助成を行った。</p> <p>受給者数 4,655人 扶助費 321,928千円</p>		
事業評価	適切に事業実施し、対象となる高齢者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	レセプト点検事務費	所管課	年金医療課・国民健康保険課				
		決算額	13,699千円				
事業内容	<p>国民健康保険及び生活保護の医療費の適正化に資することを目的とし、国保連合会で審査を終えたレセプトについて、さらに保険者が点検を行うことにより、保険者しか発見できない過誤を指摘し、審査支払機関の再審査（原課で実施の資格点検による過誤依頼も含む）の結果で減点か返戻をして過誤調整される。</p> <p>また、給付発生原因が第三者行為によるものについて、原因調査を行い返還を受ける。</p>						
成果・実績	<p>市民の健康を守り、必要適正な医療給付の確保を行うことを目的として、国民健康保険事業計画等の柱の一つとしてレセプト点検や第三者行為による求償を実施した。国保レセプトの資格・内容の過誤依頼を21,459件行い、その結果過誤調整されたのは11,419件で、調整額は80,012千円であった。</p> <p>また、生活保護のレセプト内容点検も実施し、その結果過誤調整されたのは296件で、調整額は1,666千円であった。</p> <p>なお、国民健康保険の第三者求償については、36件を求償し、28,293千円の収入を確保した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">年金医療課分決算額</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> </tr> <tr> <td>国民健康保険課分決算額</td> <td style="text-align: right;">13,689千円</td> </tr> </table>			年金医療課分決算額	10千円	国民健康保険課分決算額	13,689千円
年金医療課分決算額	10千円						
国民健康保険課分決算額	13,689千円						
事業評価	<p>制度に基づいて適切に実施した。医療費の適正化や医療機関の過誤減少のため平成25年度も継続実施する。平成25年度からは効率的な点検や費用対効果の観点から、京都府国民健康保険団体連合会等へ業務を委託する。</p>						

事務事業名	健康診査費	所管課	年金医療課				
		決算額	46,310千円				
事業内容	<p>後期高齢者医療制度において努力目標として明記されている健診事業を行うために実施する。健診は疾病の早期発見に役立ち医療費の抑制につながるものとする。保険者である京都府後期高齢者医療広域連合と連携して事業を行う。</p>						
成果・実績	<p>6月1日～10月31日に（社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">4,891人</td> </tr> <tr> <td>健診委託料</td> <td style="text-align: right;">46,054千円</td> </tr> </table>			受診者数	4,891人	健診委託料	46,054千円
受診者数	4,891人						
健診委託料	46,054千円						
事業評価	<p>制度に基づいて適正に執行し、被保険者の健康の保持促進を図れた。少子高齢化の進展に伴って、今後も高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、的確な状況把握と、医療費を抑制する効果の検証が必要である。</p>						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	後期高齢者医療保険料（歳入）	所管課	年金医療課																												
		決算額	1,698,845千円																												
事業内容	平成20年度から施行された後期高齢者医療制度の保険料を徴収する。2年ごとに保険料の見直しが行われ、平成24・25年度保険料については、均等割額が46,390円に、所得割率が9.12%に改定された。																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">被保険者数</td> <td colspan="3">19,314人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">保険料収納率</td> <td style="width: 20%;">現年度分</td> <td style="width: 20%;">99.20%</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分</td> <td>26.03%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>97.95%</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額55万円）</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">=</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">46,390円</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">+</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.12%</td> </tr> </table> </td> </tr> </table> <p>保険料軽減 世帯（被保険者全員と世帯主）の所得に応じて、保険料の被保険者均等割額が軽減される。 所得割額の算定に係る基礎控除後の総所得金額等が58万円以下の場合には所得割額が5割軽減される。</p>			被保険者数	19,314人			保険料収納率	現年度分	99.20%		滞納繰越分	26.03%		合計	97.95%		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額55万円）</td> </tr> </table>	保険料	（限度額55万円）	=	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">46,390円</td> </tr> </table>	均等割額	（被保険者一人あたり）	46,390円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.12%</td> </tr> </table>	所得割額	（総所得金額等 -	基礎控除額（33万円）	× 9.12%
被保険者数	19,314人																														
保険料収納率	現年度分	99.20%																													
	滞納繰越分	26.03%																													
	合計	97.95%																													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保険料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（限度額55万円）</td> </tr> </table>	保険料	（限度額55万円）	=	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">均等割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（被保険者一人あたり）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">46,390円</td> </tr> </table>	均等割額	（被保険者一人あたり）	46,390円	+	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">所得割額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">（総所得金額等 -</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基礎控除額（33万円）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">× 9.12%</td> </tr> </table>	所得割額	（総所得金額等 -	基礎控除額（33万円）	× 9.12%																		
保険料																															
（限度額55万円）																															
均等割額																															
（被保険者一人あたり）																															
46,390円																															
所得割額																															
（総所得金額等 -																															
基礎控除額（33万円）																															
× 9.12%																															
事業評価	徴収した保険料を、京都府後期高齢者医療広域連合に保険料負担金として納付することにより、京都府後期高齢者医療広域連合と協力して後期高齢者医療制度の適切な運営ができた。今後も安定した事業運営のため、継続して収納に努める。																														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	年金医療課				
		決算額	5,415千円				
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">受診者数</td> <td style="text-align: right;">186人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診補助金</td> <td style="text-align: right;">5,283千円</td> </tr> </table>			受診者数	186人	人間ドック受診補助金	5,283千円
受診者数	186人						
人間ドック受診補助金	5,283千円						
事業評価	健診料補助について適正に執行し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度は定員を拡充し、継続実施する。						

事務事業名	障害基礎年金裁定請求等診断書料助成金	所管課	年金医療課				
		決算額	232千円				
事業内容	国民年金法に規定する障害基礎年金（障害厚生年金・障害共済年金と併せて請求するものは除く）の裁定請求等の際に要する診断書料の全部または一部を助成することにより、障害者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。						
成果・実績	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">助成件数</td> <td style="text-align: right;">82件</td> </tr> <tr> <td>助成額</td> <td style="text-align: right;">232千円</td> </tr> </table>			助成件数	82件	助成額	232千円
助成件数	82件						
助成額	232千円						
事業評価	裁定請求等に要する診断書料の助成を行い、障害者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度も継続実施する。						

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	福祉医療費支給費	所管課	年金医療課								
		決算額	421,936千円								
事業内容	一定の障害のある重度心身障害者及び母子家庭児並びにその母に対し、健康の保持と福祉の向上を図るため、疾病に係る医療保険各法による医療費のうち本人負担分を支給し、経済的負担の軽減を図る。										
成果・実績	<p>対象者へ助成を行い、経済的負担の軽減を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">重度障害者</td> <td style="text-align: right;">1,688人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">母子家庭児</td> <td style="text-align: right;">2,595人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">母親</td> <td style="text-align: right;">1,711人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">414,877千円</td> </tr> </table>			重度障害者	1,688人	母子家庭児	2,595人	母親	1,711人	扶助費	414,877千円
重度障害者	1,688人										
母子家庭児	2,595人										
母親	1,711人										
扶助費	414,877千円										
事業評価	制度に基づいて適正に執行し、対象者の経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度は継続実施するとともに、8月診療より父子家庭を含むひとり親家庭児並びにその親を助成対象とするように拡大する。また、安心して医療を受けられるように制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。										

事務事業名	重度心身障害老人健康管理費	所管課	年金医療課				
		決算額	161,404千円				
事業内容	後期高齢者医療制度の被保険者である重度心身障害老人に対し、一部負担金に相当する額を健康管理費として給付する。						
成果・実績	<p>対象者に健康管理に要する費用を給付し、健康の保持と障害者福祉の向上を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">受給者数</td> <td style="text-align: right;">1,725人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">扶助費</td> <td style="text-align: right;">160,144千円</td> </tr> </table>			受給者数	1,725人	扶助費	160,144千円
受給者数	1,725人						
扶助費	160,144千円						
事業評価	適切に事業実施し、医療機関への受診の必要性が高い重度の障害のある高齢者の経済的負担を軽減することができた。高齢者人口の増加による医療費の増加が見込まれるため、平成25年度も継続実施するとともに、高齢者が安心して医療を受けられる制度運営について引き続き京都府へ要望を行う。						

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	01 年金・各種医療制度の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	在日外国人重度障害者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,728千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、既に重度の障害者となっている在日外国人は、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金に移行）の適用から除外され、無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>昭和56年12月31日以前に既に重度の障害があり、障害福祉年金（昭和61年改正により障害基礎年金）の対象外とされた制度的無年金である在日外国人を対象に、月額36,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;"> 受給者総数 4人 支給額 1,728千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定措置であるため、国の施策実施がなされるよう引き続き働きかける必要がある。</p>		

事務事業名	在日外国人高齢者特別給付金支給費	所管課	年金医療課
		決算額	1,240千円
事業内容	<p>昭和57年1月1日より、国民年金法の国籍要件が撤廃されたが、大正15年4月1日以前生まれの在日外国人は、老齢年金を受給できず無年金となっているため、国の救済措置がなされるまでの間、宇治市独自の暫定措置として給付金を支給することにより、福祉の増進を図る。</p>		
成果・実績	<p>大正15年4月1日以前生まれの制度的無年金者である在日外国人高齢者を対象に、月額10,000円の給付を行った。</p> <p style="text-align: center;"> 受給者総数 11人 支給額 1,240千円 </p>		
事業評価	<p>適正に事業実施し、対象となる無年金者の福祉の向上を図ることができた。平成25年度も継続実施するが、国制度の不備を補うものであり、国の救済措置がなされるまでの暫定措置であるため、国の施策実施がなされるよう引き続き働きかける必要がある。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	特定健康診査等事業費	所管課	国民健康保険課																				
		決算額	88,329千円																				
事業内容	生活習慣病の予防による医療費削減を目的とし、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施する。メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。																						
成果・実績	<p>特定健康診査は、6月1日～10月31日に（社）宇治久世医師会に委託して実施した。</p> <p style="text-align: center;">特定健康診査委託の支払件数と支払額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>8,198</td> <td>7,857</td> <td>8,614</td> <td>9,373</td> <td>9,293</td> </tr> <tr> <td>支払額(千円)</td> <td>57,735</td> <td>50,786</td> <td>55,159</td> <td>60,395</td> <td>80,067</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成20年度は、（社）京都府医師会への事務手数料含む。</p>					年度	20	21	22	23	24	件数	8,198	7,857	8,614	9,373	9,293	支払額(千円)	57,735	50,786	55,159	60,395	80,067
年度	20	21	22	23	24																		
件数	8,198	7,857	8,614	9,373	9,293																		
支払額(千円)	57,735	50,786	55,159	60,395	80,067																		
事業評価	国制度に基づいて適正に執行した。受診率については向上したが、計画目標値には達しておらず、全国的にも目標達成が困難な状況となっている。今後は健康増進による医療費の抑制のため、全国・京都府内の水準を維持向上できるよう、第2期宇治市特定健診等実施計画に基づき、効率的かつ効果的に事業実施をする必要がある。																						

事務事業名	人間ドック受診補助金	所管課	国民健康保険課																										
		決算額	45,484千円																										
事業内容	35歳以上の国民健康保険加入者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図り健康管理に対する自覚を深め、健全な保険給付を行うことを目的とし、半日人間ドック、脳ドックに係る健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。																												
成果・実績	<p>半日人間ドック・脳ドックに対する受診補助事業を行った。</p> <p style="text-align: center;">ドック受診者数と決算額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック(人)</td> <td>845</td> <td>1,145</td> <td>1,160</td> <td>1,134</td> <td>1,151</td> </tr> <tr> <td>脳ドック(人)</td> <td>474</td> <td>553</td> <td>580</td> <td>564</td> <td>587</td> </tr> <tr> <td>決算額(千円)</td> <td>34,085</td> <td>44,169</td> <td>45,152</td> <td>44,073</td> <td>45,484</td> </tr> </tbody> </table>					年度	20	21	22	23	24	人間ドック(人)	845	1,145	1,160	1,134	1,151	脳ドック(人)	474	553	580	564	587	決算額(千円)	34,085	44,169	45,152	44,073	45,484
年度	20	21	22	23	24																								
人間ドック(人)	845	1,145	1,160	1,134	1,151																								
脳ドック(人)	474	553	580	564	587																								
決算額(千円)	34,085	44,169	45,152	44,073	45,484																								
事業評価	受診料補助について適正に執行し、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。平成25年度も継続実施する。																												

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	03 健康でいきいきと暮らせるまち
中分類	07 年金・保険制度の運営
小分類	02 国民健康保険の運営

所管部局
健康福祉部

事務事業名	国民健康保険料（歳入）	所管課	国民健康保険課																																												
		決算額	4,272,289千円																																												
事業内容	保険料の設定にあたっては、現行制度内での事業運営を慎重に見定め、適切かつ可能な財源対策や将来見通しも精査し、財政収支の均衡を図ることを前提として検討するとともに、宇治市国民健康保険運営協議会への諮問に対する答申を尊重している。																																														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">加入世帯数</td> <td style="width: 15%;">27,750世帯</td> <td style="width: 15%;">（一般26,209世帯、退職1,541世帯）</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>被保険者数</td> <td>47,781人</td> <td>（一般44,560人、退職3,221人）</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">（平成25年3月31日現在）</td> </tr> <tr> <td>保険料収納率</td> <td>現年度分</td> <td>92.60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>滞納繰越分</td> <td>8.23%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>79.84%</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">医療給付費分</th> <th style="text-align: center;">後期高齢者支援金分</th> <th style="text-align: center;">介護納付金分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得割(%)</td> <td style="text-align: center;">8.37</td> <td style="text-align: center;">2.45</td> <td style="text-align: center;">3.84</td> </tr> <tr> <td>均等割(円)</td> <td style="text-align: center;">25,200</td> <td style="text-align: center;">7,300</td> <td style="text-align: center;">10,300</td> </tr> <tr> <td>平等割(円)</td> <td style="text-align: center;">27,400</td> <td style="text-align: center;">7,800</td> <td style="text-align: center;">6,600</td> </tr> <tr> <td>賦課限度額(円)</td> <td style="text-align: center;">510,000</td> <td style="text-align: center;">140,000</td> <td style="text-align: center;">120,000</td> </tr> </tbody> </table>			加入世帯数	27,750世帯	（一般26,209世帯、退職1,541世帯）		被保険者数	47,781人	（一般44,560人、退職3,221人）			（平成25年3月31日現在）			保険料収納率	現年度分	92.60%			滞納繰越分	8.23%			合計	79.84%			医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	所得割(%)	8.37	2.45	3.84	均等割(円)	25,200	7,300	10,300	平等割(円)	27,400	7,800	6,600	賦課限度額(円)	510,000	140,000	120,000
加入世帯数	27,750世帯	（一般26,209世帯、退職1,541世帯）																																													
被保険者数	47,781人	（一般44,560人、退職3,221人）																																													
	（平成25年3月31日現在）																																														
保険料収納率	現年度分	92.60%																																													
	滞納繰越分	8.23%																																													
	合計	79.84%																																													
	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分																																												
所得割(%)	8.37	2.45	3.84																																												
均等割(円)	25,200	7,300	10,300																																												
平等割(円)	27,400	7,800	6,600																																												
賦課限度額(円)	510,000	140,000	120,000																																												
事業評価	国民健康保険事業特別会計は、単年度において収支均衡を図るものであり、当該年度の保険給付費等を見通して保険料収入を確保すべきという原則に基づいて適切な事業運営を行うことができた。また、収納対策については、今後の安定した事業運営のため、これまでと異なる視点や手法を用いた新たな取組を検討し、積極的に実施する必要がある。																																														

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路台帳整備費	所管課	建設総務課
		決算額	16,793千円
事業内容	道路法第28条及び同法施行規則第4条の2に沿って、道路の変化した状況を図面と調書からなる道路台帳に的確に反映させ、効果的な道路行政を推進する。		
成果・実績	<p>道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供した。</p> <p>平成23年度中の道路改良工事や新規認定等によって変化した道路の状況及び占用物件の変更についての経年補正を行った。</p> <p style="text-align: right;">道路台帳経年変化補正事業委託料 16,695千円</p>		
事業評価	道路台帳を調製・保管することにより、道路管理事務の円滑な遂行を図るとともに道路台帳を閲覧に供し、市民の利便性の向上を図ることができた。今後は道路管理情報の拡充に向け課題の検討が必要である。		

平成24年度決算成果説明書


総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		
事務事業名	一般道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	32,902千円
事業内容	市内生活道路等の整備を図り、安全で安心な道路網を確保する。		
成果・実績	<p>地元町内会等からの要望を受け、狭あい部の拡幅や舗装等の道路改良工事を実施した。平成24年度は、宇治228号線ほか15路線について設計や道路整備、用地買収を行った。</p> <p>五ヶ庄253号線 用地買収 94.75㎡</p> <p>宇治228号線(側溝改修工事)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着工前 完成後 </p>		
事業評価	市民の要望等により小規模な道路改良工事を実施し、安全で安心な道路網が確保できた。今後も必要な箇所の道路改良について継続実施する。		


事務事業名	私道改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	30,506千円
事業内容	私道に係る舗装新設・補修工事、排水設備の改良補修工事を実施する自治会等に対して、その査定工事費の80%を補助する。(平成21年度より横断側溝は90%)		
成果・実績	<p>実施数 8件</p> <p>補助金額 30,506千円</p>		
事業評価	自治会へ補助を実施し、私道の安全な通行確保を図ることができた。市民の身近な道路整備に対応している事業であり、地域要望も多く継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備



所管部局
建設部

事務事業名	横島地区道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	12,108千円
事業内容	地域の要望及び横島地区道路整備計画に基づき横島210号線の拡幅工事を行う。		
成果・実績	<p>拡幅に必要な用地買収を行った。</p> <p>取得面積 253.41㎡</p>		
事業評価	早期に残りの用地買収を完了し、横島地区道路整備計画に基づき産業発展の基盤である道路整備に取り組む。		

事務事業名	辺地整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	477千円
事業内容	辺地に係る公共的施設の総合整備計画に基づき、東笠取地域・炭山地域における道路で、幅員狭隘で通行が危険な箇所の道路改良を実施し、山間地における市民の生活環境の改善を図る。		
成果・実績	<p>梅谷大平線の道路拡幅のための用地測量を実施した。</p>	<p>梅谷大平線（現況）</p> 	
事業評価	道路改良工事によって、幅員狭隘で通行が危険な箇所の改善に効果を上げることができるよう、引き続き、辺地に係る公共施設の総合整備計画に基づき事業を進め、山間部の生活環境の改善を図る。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部	
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備		
小分類	02 道路の整備		

事務事業名	遊田線道路整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	83,053千円
事業内容	井川改修事業に伴う遊田橋架け替えにより市道遊田線の道路拡幅を行う。		
成果・実績	遊田線の道路拡幅に必要な遊田橋上部工等の工事を行った。 上部工 1式 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 工事中 工事中 </div>		
事業評価	遊田線の道路拡幅に向けて整備を進めることができた。今後も京都府と連携しながら継続実施する。		

事務事業名	交通安全施設整備事業費	所管課	道路建設課																						
		決算額	28,366千円																						
事業内容	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール・カーブミラー・歩道の設置、段差切下などを実施する。 また、通学路の歩道拡幅等を実施し、児童の安全な通学を確保する。																								
成果・実績	交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。 1路線の安全対策事業と市内全域の安全施設設置を実施した。また、5路線の測量・調査・設計等の委託業務を発注し、1路線の用地を取得した。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">安全施設設置</td> <td style="text-align: right;">21,820千円</td> </tr> <tr> <td> 道路反射鏡設置</td> <td style="text-align: right;">34基</td> </tr> <tr> <td> 防護柵設置</td> <td style="text-align: right;">110m</td> </tr> <tr> <td> 警戒標識設置</td> <td style="text-align: right;">6カ所</td> </tr> <tr> <td> 区画線設置</td> <td style="text-align: right;">10,300m</td> </tr> <tr> <td>安全対策事業</td> <td style="text-align: right;">1,803千円</td> </tr> <tr> <td> 大久保109号線（広野踏切）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>測量・設計等</td> <td style="text-align: right;">4,163千円</td> </tr> <tr> <td> 菟道188号線ほか4路線</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地費</td> <td style="text-align: right;">566千円</td> </tr> <tr> <td> 宇治白川線</td> <td></td> </tr> </table>			安全施設設置	21,820千円	道路反射鏡設置	34基	防護柵設置	110m	警戒標識設置	6カ所	区画線設置	10,300m	安全対策事業	1,803千円	大久保109号線（広野踏切）		測量・設計等	4,163千円	菟道188号線ほか4路線		用地費	566千円	宇治白川線	
安全施設設置	21,820千円																								
道路反射鏡設置	34基																								
防護柵設置	110m																								
警戒標識設置	6カ所																								
区画線設置	10,300m																								
安全対策事業	1,803千円																								
大久保109号線（広野踏切）																									
測量・設計等	4,163千円																								
菟道188号線ほか4路線																									
用地費	566千円																								
宇治白川線																									
事業評価	道路の安全対策に多くの要望がある中、必要な箇所の事業を進め、歩行者等の安全を確保できた。特に、通学路等の安全対策については、重点的に取り組む必要がある。また、高齢者、身体障害者への対応としてバリアフリー化の推進が強く求められており、歩道の段差解消等の整備等を継続実施する。																								

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	十一外線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	136千円
事業内容	<p>十一外線は、歩道が狭く歩行者等の安全な通行確保が必要となっている。また平成23年度の宇治槇島線の全線供用開始に伴う交通量の増大や、徳洲会病院の移転に伴い自動車交通量が多くなることが予想され、通学路の指定を受けていることから歩道の改良を行い、児童の安全な通学を確保する。</p>		
成果・実績	<p>槇島小学校横の用地について、補償再積算を行い関係機関等の事前協議を行い、買収交渉を行った。</p> <p style="text-align: center;">測量・設計費 136 千円</p>		
事業評価	<p>補償積算により、用地購入の準備ができた。今後は、十一外線を含め徳洲会病院の移転先用地等を含めた槇島石橋地区全体の道路整備について、検討する必要がある。</p>		

事務事業名	折坂三番割線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	20,402千円
事業内容	<p>当該踏切は、JRと京阪の兼掌踏切であり、歩道と車道が分離されておらず、通過交通量も多いことから踏切の拡幅改良を行い、歩行者等の安全確保を図る。</p>		
成果・実績	<p>取合部分について工事を実施し、鉄道事業者と工事協定を締結した。また、京阪については支障移転となる電気施設の先行移設を実施した。</p>		
事業評価	<p>鉄道事業者との基本協定が締結でき、工事の準備が完了した。今後も、鉄道事業者とともに歩行者等の安全確保のため早期完成を目指す。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	02 道路の整備



所管部局
建設部



事務事業名	小倉安田線道路整備事業費	所管課	道路建設課								
		決算額	25,724千円								
事業内容	小倉安田線の幅員狭小箇所である未整備区間の道路整備を実施し、通過交通の安全対策を図る。										
成果・実績	<p>用地取得及び設計・工事に着手した。また、工事に必要な設計を発注し、工事の着手を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>取得面積</td> <td>156.28㎡</td> </tr> <tr> <td>買収</td> <td>20,003千円</td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td>458千円</td> </tr> <tr> <td>測量・設計費</td> <td>1,177千円</td> </tr> </table>			取得面積	156.28㎡	買収	20,003千円	補償	458千円	測量・設計費	1,177千円
取得面積	156.28㎡										
買収	20,003千円										
補償	458千円										
測量・設計費	1,177千円										
事業評価	懸案事項になっていた地権者との協議が整い、用地を購入することができた。道路幅員の狭小部分を解消し、通過交通の安全対策のため平成8年度から実施している遊田線までの工区について、工事の完了を目指す。										

事務事業名	宇治五ヶ庄線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	40,796千円
事業内容	東宇治地域の補助幹線道路として多くの利用者がある宇治五ヶ庄線について、歩道の整備等を行う。京都大学前を第1工区として整備し、続いて本市学校施設や黄檗自衛隊前の整備を検討する。		
成果・実績	<p>京都大学宇治キャンパスの東側全面に歩道を新設し、第1工区（約340m）の拡幅工事を完成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	歩道の整備等を行い、歩行者等の安全確保を図ることができた。今後も沿道の関係機関と調整しながら継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	西田熊小路線道路改良事業費	所管課	道路建設課
		決算額	52,562千円
事業内容	西田熊小路線の既存の道路幅員内において、歩道拡幅と合わせてバリアフリー化を行い、歩行者の快適性・安全性確保を図る。		
成果・実績	歩道拡幅改良工事を行い、約800mの工事改良区間を完成した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	通過交通量が多いため、工事の施工方法を工夫し、沿道の用地買収を行わず、歩道拡幅や段差解消を図り、歩行者等の通行の安全確保を図ることができた。		

事務事業名	近鉄大久保駅前交通広場整備事業費	所管課	道路建設課
		決算額	461,802千円
事業内容	駅前広場の整備を図ることにより交通結節機能の向上及び広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりを進める。		
成果・実績	駅前広場の整備工事を行い、11月17日に近鉄大久保駅前交通広場の供用開始を行った。 整備面積 4,200㎡ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>着工前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成後</p> </div> </div>		
事業評価	平成24年11月に供用開始し、交通結節機能の向上及び本市の南の玄関口として商業・業務施設を中心とした広域拠点にふさわしい魅力あるまちづくりに寄与している。今後は、駅前広場周辺の整備を実施し、より一層の交通結節機能を向上させ、魅力あるまちづくりを推進する。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	02 道路の整備	

事務事業名	道路等維持修繕関連事業費	所管課	維持課
		決算額	615,700千円
事業内容	<p>道路を常時快適で安全な状態に維持するため、市民要望等に基づき道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを行い、安全安心なまちづくりを推進するほか、草刈り、街路樹の剪定・補植などを実施する。また、市民要望に即応するため、緊急を要する維持修繕については直営事業により機動修理班が対応する。</p>		
成果・実績	<p>地元要望による側溝改修（2,000m）や舗装補修（13,420㎡）工事を実施するとともに、道路区画線の敷設及び道路側溝等の清掃のほか、街灯の新設、街路樹の剪定・補植等の道路全般に係る維持管理を実施した。</p> <p>緊急を要する維持修繕については、2班体制の機動修理班によって対処した。</p> <p>本年度の機動修理班による対処件数は、道路側溝修繕329件、道路保全267件、防災関係240件、交通安全施設の補修等157件、浚渫108件で、全体では1,700件であった。このうち特に緊急対応が必要な出動回数は114件であり、いずれも応急処置等を行い、事故・災害の未然防止を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>道路維持修繕事業費 525,165千円</p> <p>街灯設置保全事業費 90,535千円</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>機動修理班による道路維持作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木幡37号線（歩道改修工事）</p> </div> </div>		
事業評価	<p>道路の修繕及び清掃、側溝改修、舗装補修、橋梁及び街灯の維持管理などを実施し、着実に道路等の環境整備及び安全な通行の確保を図ることができた。道路整備に対しての市民要望が年々増加しているが、引き続き計画的に快適な道路環境等の整備及び安全な通行の確保を推進する。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	大島・針ノ木排水機場管理費	所管課	雨水対策課				
		決算額	9,066千円				
事業内容	国及び京都府との受託協定に基づき、国土交通省所管である排水機場の運転、操作管理を常駐体制（年間委託により管理人配置）により実施し、堂ノ川及び岡本川流域の内水排除と水害防除を図る。						
成果・実績	排水機場の操作管理を行った。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">大島排水機場操作管理</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">4,560千円</td> </tr> <tr> <td>針ノ木排水機場操作管理</td> <td style="text-align: right;">4,484千円</td> </tr> </table>			大島排水機場操作管理	4,560千円	針ノ木排水機場操作管理	4,484千円
大島排水機場操作管理	4,560千円						
針ノ木排水機場操作管理	4,484千円						
事業評価	年間を通じて、国、京都府の指針に基づき適正に排水機場の運転、操作管理を行い、流域の水害防除に努めた。今後も引き続き適切な操作・管理を実施する。						

事務事業名	井川・黄檗排水機場管理費	所管課	雨水対策課								
		決算額	17,580千円								
事業内容	流域における水害防除のため、井川・黄檗排水機場の適切な運転と施設管理を行う。										
成果・実績	排水機場の操作管理を行った。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">井川排水機場管理費（操作・機械・電気）</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">9,318千円</td> </tr> <tr> <td>黄檗排水機場管理費（操作・機械・電気）</td> <td style="text-align: right;">2,728千円</td> </tr> <tr> <td>除草業務委託（黄檗）</td> <td style="text-align: right;">296千円</td> </tr> <tr> <td>消防設備点検（井川・黄檗）</td> <td style="text-align: right;">71千円</td> </tr> </table>			井川排水機場管理費（操作・機械・電気）	9,318千円	黄檗排水機場管理費（操作・機械・電気）	2,728千円	除草業務委託（黄檗）	296千円	消防設備点検（井川・黄檗）	71千円
井川排水機場管理費（操作・機械・電気）	9,318千円										
黄檗排水機場管理費（操作・機械・電気）	2,728千円										
除草業務委託（黄檗）	296千円										
消防設備点検（井川・黄檗）	71千円										
事業評価	年間を通じて、適正に排水機場の運転と施設管理を行い、流域の水害防除に努めた。今後も引き続き適切な操作・管理を実施する。										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	排水路改廃事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	174,648千円
事業内容	都市化の進行に伴う保水機能の低下や、近年多発している局地的豪雨（ゲリラ豪雨）による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防除と安全快適な都市基盤の整備を図るため、排水路の改良工事を実施する。		
成果・実績	排水路の流下能力の向上を図るため、バイパス水路の設置、ボックスカルバートによるネック区間の解消や、老朽化施設（排水路）の改良工事を行った。		
	小倉1号排水路改良工事		19,095千円
	ボックスカルバート工 0.7m×0.6m L=71.0m	流下能力向上	
	広野町丸山（三軒谷川）排水路改良工事		29,887千円
	ボックスカルバート工 1.6m×1.6m L=92.0m	流下能力向上	
	伊勢田10号系統排水路改良工事		63,000千円
	推進工 1,000mm L=93.0m 8°傾斜水路設置	流下能力向上	
	自由勾配側溝工 L=15.0m		
	他工事 4件		11,211千円
	老朽化水路の改良		
	詳細設計等業務委託 10件		24,337千円
	支障物件移設補償 7件		26,262千円
事業評価	特に西宇治地域を中心に各所で発生している浸水被害の軽減に向け、排水路の流下能力の向上及び老朽箇所の補強改築工事を行うなど、安全快適な都市基盤の整備に努めた。引き続き流域貯留浸透施設設置計画や策定中の宇治市公共下水道（洛南処理区）雨水排除計画との整合を図り、排水路の改良工事を実施する。		

事務事業名	河川維持管理費	所管課	雨水対策課
		決算額	13,322千円
事業内容	排水路施設等の機能の維持・向上に努め、流域の水害防除と沿川の環境整備を図る。		
成果・実績	老朽化の進行により河川護岸等の補強工事や、それに伴う調査、設計業務を行った。		
	榎島0号排水路護岸補強工事		6,246千円
	老朽化護岸の補強工事		
	用地測量 業務委託 11件		7,051千円
事業評価	排水路施設等の適正な維持管理を行い排水機能の向上に努めた。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	03 河川・排水路の整備

所管部局
建設部

事務事業名	名木川改修事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	140,056千円
事業内容	名木川流域の水害対策として流下能力不足区間の解消と、名木川散策道整備の一環として、沿川部の修景整備を行うなど快適な都市環境づくりを目標として、京都府が行う新宇治淀線整備事業と整合を図り、近鉄大久保駅周辺地区まちづくり整備事業において名木川改修事業を実施する。		
成果・実績	府道城陽宇治線から市道新田城陽線までの区間の改修工事に着手した。		
	準用河川名木川改修工事（A-1）工区 延長 L=20.0m	前払い	20,580千円
	準用河川名木川改修工事（A-2）工区 延長 L=56.0m	前払い	73,060千円
	準用河川名木川修景設計業務委託	他3件	1,323千円
	支障物件移設補償	他4件	44,777千円
事業評価	名木川改修事業の早期完成に向け事業進捗に取り組んでいるが、一部地権者との交渉が難航している。また、支障となる占用物件の移設工事の遅れから、完成時期が遅延している。引き続き早期事業の完成に向け、京都府が行う新宇治淀線整備事業との整合を図り事業進捗に取り組む。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備	
小分類	03 河川・排水路の整備	

事務事業名	小・中学校雨水流出抑制対策事業費	所管課	雨水対策課
		決算額	92,714千円
事業内容	流域貯留浸透施設設置計画に基づき、局地的豪雨（ゲリラ豪雨）の発生による浸水対策の一環として、小・中学校敷地に降った雨を一時的にグラウンドに貯留し、徐々に排出することで、周辺地域や下流域における浸水被害の軽減に努める。		
成果・実績	平成23年度に着手した小倉小学校における工事が完了し、本年度から南宇治中学校において工事に着手した。また、宇治中学校において詳細設計業務を実施し、工事に着手した。		
	<p>小倉小学校</p> <p>雨水流出抑制施設設置工事 23,567千円 貯留面積 8,080㎡ 最大貯流量 1,589㎡</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真(オリフィス柵)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成写真(グラウンド)</p> </div> </div> <p>南宇治中学校</p> <p>雨水流出抑制施設設置工事 51,125千円 貯留面積 12,400㎡ 最大貯流量 4,181㎡</p> <p>宇治中学校</p> <p>流域貯留浸透事業詳細設計業務委託 7,377千円</p> <p>雨水流出抑制施設設置工事 前払い 10,520千円 貯留面積 9,400㎡ 最大貯流量 1,087㎡</p>		
事業評価	局地的豪雨等の発生に伴う、小・中学校周辺や下流域における浸水被害の軽減に努めた。引き続き、流域貯留浸透施設設置計画に基づき、小・中学校の雨水流出抑制施設設置の拡大に向け取り組む。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局					
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	建設部					
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備						
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備						
事務事業名	井川排水機場整備事業費	所管課	雨水対策課				
		決算額	93,441千円				
事業内容	日本下水道事業団に工事委託を行い、井川排水機場（昭和43年建設）の老朽化に伴う施設の改築と耐震化に向けた更新工事を行う。						
成果・実績	<p>平成21年度に着手し、本年度、管理棟、ポンプ棟などの改築、耐震化工事や排水ポンプ（2機）の更新、また停電時対応の自家発電機の設置工事等が完了した。また、排水機場からの放流状況が市庁舎内や運転操作管理室において、常時監視できる遠方監視システム装置を導入し、設置が完了した。</p> <p>井川排水機場改築更新費</p> <table border="0"> <tr> <td>繰越分</td> <td>33,200千円</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>60,241千円</td> </tr> </table>			繰越分	33,200千円	現年分	60,241千円
繰越分	33,200千円						
現年分	60,241千円						
事業評価	井川排水機場の改築・更新工事が完了し、新たな遠方監視システムの導入により運転操作監視における放流状況の確認や機械電気設備の故障などトラブルの早期発見及び早期対応が可能となり、当該流域（約31ha）における治水安全度が向上した。引き続き、排水機場の適切な操作・施設管理に努める。						



平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	04 住宅の整備

所管部局
建設部

事務事業名	高齢者優良賃貸住宅供給事業費補助金	所管課	住宅課
		決算額	10,224千円
事業内容	高齢者の居住の安定の確保を図るため、高齢者の身体機能に対応したバリアフリー化や、入居者の緊急時に対応するシステムを備えた高齢者向け優良賃貸住宅を民間事業者等が整備・運営するにあたり、建設費、家賃などの一部補助を行う。		
成果・実績	<p>高齢者向け優良賃貸住宅を運営する事業者に対し、家賃減額補助金の交付を行った。</p> <p>交付件数 1件 補助金額 10,224千円</p>		
事業評価	高齢者向け優良賃貸住宅の入居者の家賃補助について適正に執行した。今後も高齢者の居住の安定の確保に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	01 行政サービスの充実・改善

所管部局
建設部

事務事業名	ウトロ地区住環境改善基本構想策定事業	所管課	ウトロ住環境対策室																										
		決算額	8,732,640																										
事業内容	ウトロ地区の住環境を改善するため、国・京都府・市の三者連携のもと、ウトロ地区の住環境改善基本構想を策定する。																												
成果・実績	<p>基本構想を策定するために必要となる地区の基礎調査を実施した。</p> <p>基礎調査結果</p> <p>建物利用現況調査</p> <p>対象建物 93件 (件)</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="width: 15%;">住宅建物</td> <td style="width: 10%;">93</td> <td style="width: 15%;">居住</td> <td style="width: 10%;">59</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>空家</td> <td>34</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="width: 20%;">不良度判定調査</td> <td style="width: 10%;">93</td> <td style="width: 15%;">良住宅</td> <td style="width: 10%;">44</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>不良住宅</td> <td>49</td> </tr> </table> <p>地区住民意向調査</p> <p>世帯数 60 世帯 (調査対象者数 158人)</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td style="width: 25%;">将来の居住の意向</td> <td style="width: 10%;">60</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="width: 25%;">ウトロに住み続けたい</td> <td style="width: 10%;">57</td> <td style="width: 15%;">公的住宅</td> <td style="width: 10%;">46</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3</td> <td>その他</td> <td>11</td> </tr> </table>			住宅建物	93	居住	59			空家	34	不良度判定調査	93	良住宅	44			不良住宅	49	将来の居住の意向	60	ウトロに住み続けたい	57	公的住宅	46	その他	3	その他	11
住宅建物	93	居住	59																										
		空家	34																										
不良度判定調査	93	良住宅	44																										
		不良住宅	49																										
将来の居住の意向	60																												
ウトロに住み続けたい	57	公的住宅	46																										
その他	3	その他	11																										
事業評価	基本構想策定に向けて、基礎調査を完了し、地区の状況や地域住民の意向の確認ができた。今後は、平成24年度に実施した基礎調査の結果を踏まえ、平成25年度中の基本構想策定を進める。																												

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	名木百選保全費	所管課	公園緑地課
		決算額	353千円
事業内容	<p>「宇治市名木百選」に指定されている樹木の管理・保全を行う。宇治市名木百選は昭和55～57年度に一次分として102件を、平成9年度に二次分として26件を選定し、これまでに病気・気象災害等による枯死等で伐採を余儀なくされた29件を指定解除し、現在99本となっている。</p>		
成果・実績	<p>平成24年度は「宇治市名木百選保全要綱」に基づき調査・診断を実施するとともに、適切な保全策を講じるため1件250千円の補助金を交付し、貴重な名木の保全に努めた。</p>		
事業評価	<p>樹木の管理・保全を行い、緑化の啓発及び緑の保全を図ることができた。指定した名木は、本市の緑のシンボル、由緒ある木や文化的な価値のある木であるため、平成25年度も引き続き支援を行う。</p>		

事務事業名	まちかどふれあい花だん推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	3,677千円
事業内容	<p>市民が日常生活の関わりの中で、自らの意思と手法により身近な地域の環境美化に努め、ゆとりとうるおいのある生活空間を創造するため、道路敷等の空地及び公園の一部を個人や団体などに提供し、花や木を植えて花だん化する。</p>		
成果・実績	<p>ゆとりとうるおいのある花と緑のまちづくりを進めるため、町内会や喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、市内60カ所を超えるまちかどふれあい花だんに対し花苗・肥料等の支給を行った。</p>		
事業評価	<p>ふれあい花だんを町内会や喜老会等のボランティア団体に維持管理してもらうことにより、地域活動の支援と地域緑化を図ることができた。平成25年度もゆとりとうるおいのある花と緑のまちづくりを実現するために、より多くの実施団体が参画できる環境を整える。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	01 みどりの保全・緑化の推進

所管部局
都市整備部

事務事業名	緑化啓発費	所管課	公園緑地課
		決算額	1,834千円
事業内容	市民の「みどり」を守り、育てる意識の高揚を図るため、春の「みどりの月間」の「花と緑のキャンペーン」、秋の都市緑化月間の「緑化フェア」を中心に啓発事業を展開する。		
成果・実績	「みどり豊かな住みたい、住んでよかった都市」の実現を目指し、春は4月15日から5月14日の「みどりの月間」中の4月29日に天ヶ瀬森林公園で「花と緑のキャンペーン」として「緑のウォークラリー」を実施し、約500人の参加があった。また秋は10月の都市緑化月間中の10月14日に「2012宇治市緑化フェア」を開催し、約4,900人の参加があった。いずれのイベントにおいても、多くの参加者に楽しみながら緑の大切さを伝えることができた。		
事業評価	緑化啓発の取組を通して、都市における緑化の必要性を市民に認識してもらうことができた。今後は、より市民の「みどり思想」の高揚を図るため、今まで以上の多くの市民に参加してもらえるイベント等の工夫をするとともに、事業効果の検証が必要である。		

事務事業名	みどりのボランティア推進事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	2,182千円
事業内容	本市の緑の拠点である植物公園で、市民が園芸の知識や技術などを学びながら、魅力あふれる植物公園づくりを協働で行うとともに、そこで得た知識・技術を活かして地域の公共施設・公共空地の緑化・美化を進め、みどりのボランティアリーダーの育成を図る。		
成果・実績	「緑のボランティア養成講座」修了生が学んだ知識や技術を活かして、植物公園をはじめ、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関で花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、イベント協力などの活動を行った。平成25年3月31日時点で59人のボランティアが登録している。		
事業評価	都市の緑化及び美化を進めるための緑化リーダーとなるボランティアの養成や、その活動を支援することにより、緑化・美化の推進を図ることができた。今後もボランティア会員の増員と活動の幅を広げる必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園バリアフリー整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	28,345千円
事業内容	<p>「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び関係法令が平成18年12月に施行され、当該規定に基づき、都市公園におけるバリアフリー化の目標及び新設等に際してバリアフリー化を義務付ける公園施設のバリアフリー化基準等が定められた。国土交通省が実施する都市公園バリアフリー緊急支援事業を活用して複数箇所での公園施設のバリアフリー化等を実施する。</p>		
成果・実績	<p>西中児童公園ほか全17公園の遊具28基を更新した。</p>		
事業評価	<p>法令に基づいた都市公園のバリアフリー化対策を実施し、利用者の利便性を向上させることができた。今後の公園のバリアフリー対策については、画一的な対策ではなく公園個別の利用実態に即した柔軟な対策をする必要がある。平成25年度も引き続き計画的に整備を進めていく。</p>		

事務事業名	公園管理費	所管課	公園緑地課
		決算額	44,665千円
事業内容	<p>公園の運営管理等、公園としての機能を維持し、適正な利用を増進する。</p>		
成果・実績	<p>市内にある497カ所の公園のうち、6カ所は公園公社が管理し、公園管理費の対象となる491カ所の公園のうち、400カ所あまりの公園については地元自治会や町内会に管理に対する報償費として5,410千円を支出した。</p> <p>その他、地元町内会等に管理をお願いできない公園の清掃・パトロールに2,745千円、除草業務委託に5,973千円、高木の剪定や薬剤散布に17,600千円、光熱水費に9,474千円を支出した。</p>		
事業評価	<p>清掃や剪定などについては外部委託実施し、利用者の適正な利用を増進することができた。地元自治会による公園管理については、高齢化等の理由により辞退が増加しており、施設管理費、委託費は増額傾向にある。今後は、公園施設の状況把握に努め、計画的な修繕・更新を進めることにより、管理のコスト縮減を図る必要がある。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用

所管部局
都市整備部

事務事業名	公園施設管理委託費	所管課	公園緑地課
		決算額	315,783千円
事業内容	都市公園施設の管理運営及び施設の小修繕等を（公財）宇治市公園公社を指定管理者として行い、利用者の利便性向上を図る。		
成果・実績	各施設の運営にあたっては、維持管理及び施設貸出業務を適切に行うとともに、利用者へのサービス向上と利用者の一層の拡大、増加、併せて業務の見直し、経費の削減に努めた。		
事業評価	黄檗公園、西宇治公園、植物公園などについて、指定管理者である（公財）宇治市公園公社により適正に管理運営した。今後も利用者の利便性向上のため、指定管理者に適正な管理・運営を指導していく。		

事務事業名	源氏ゆめほたる事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	4,650千円
事業内容	植物公園内において、蛍が永続的に棲息・繁殖可能な環境整備を行うことにより、毎年、植物公園入園者に蛍観賞の場を提供し、あわせて関連イベントを実施する。都市生活の中で身近に蛍に触れ合えることにより、市民生活に憩いと安らぎを与え、植物公園の集客力向上につなげる。		
成果・実績	平成18年度に蛍の棲息地として整備した植物公園の「秋のゾーン」を中心に5月26日から6月17日までの20日間「蛍ナイト開園」を実施した。蛍の発生も昨年度より多く、期間中、晴天に恵まれたことなどにより期間中の夜間入園者数は18,254人であり、昨年度の入園者数と比較すると3,062人の増加となった。		
事業評価	市民等へ身近に蛍と触れ合う憩いの場を提供し、植物公園の集客力向上を図ることができた。蛍の発生数や天候等の自然状況に大きく左右されるなどの課題もあるが、植物公園の魅力をアピールできる絶好の機会である。平成25年度も蛍が増えるような環境を整え、蛍観賞だけでなく付加価値のある充実した事業内容を展開する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	01 みどりとうるおいのある環境整備
小分類	02 公園・緑地の有効活用


所管部局
都市整備部




事務事業名	黄檗公園再整備事業費	所管課	公園緑地課
		決算額	8,884千円
事業内容	<p>黄檗公園再整備実施にあたり、「宇治市地域防災計画」に位置付けられる当該都市公園に防災公園広域避難地及び救援拠点としての機能を付帯させる。災害発生時には宇治川により市域を分断される可能性があり、「宇治市地域防災計画」には地理的条件を考慮して、黄檗公園に東宇治地域の防災拠点の施設としての機能の必要性が規定されている。防災拠点として、災害対策本部及び現地対策本部機能、広域避難地（避難所）としての機能、物資集積場、支援団体集結場としての機能が想定されている。</p>		
成果・実績	<p>（独法）都市再生機構に委託して、再整備に係る体育館耐震改修実施設計（非構造部材・建築設備）などを実施した。</p>		
事業評価	<p>黄檗公園における防災機能の強化や、施設課題の解消を図るため、計画に基づいて事業実施できたものの、当初計画からは遅れており、再整備メニューを精査した上で、事業計画の見直しを図り、今後は、計画的な事業に努める。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	02 都市景観の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	違反広告物除却推進事業費	所管課	都市計画課
		決算額	115千円
事業内容	市民と協働して良好な景観を形成していくために、市民参加による違反広告物の除却を行う。		
成果・実績	<p>除却推進団体員として、3団体32人を登録している。 市民が自ら違反広告物を撤去することで、除去推進団体員以外の市民にも違反広告物に対する意識向上を図る。</p> <p>違反広告物撤去枚数 約400枚</p>		
事業評価	市民と協働して違反広告物の除去を推進し、良好なまちなみ形成と景観への意識向上を図ることができた。今後も、登録団体と連携を行い、また団体数の増加を図りながら、地域の目による抑止力向上及び景観への意識向上に努める。		

事務事業名	都市景観形成対策費	所管課	都市計画課
		決算額	1,436千円
事業内容	良好な景観の形成に著しく寄与する行為や阻害要因の除去に対して景観形成助成を実施する。また、近隣市町村との意見交換や景観アドバイザーの助言を受け、良好な景観の形成を図るとともに、景観計画重点区域の拡大を推進する。		
成果・実績	<p>景観形成助成事業として、景観計画重点区域内の1件の建築物に対して、景観形成助成を行った。</p> <p>本市の景観に寄与するだけでなく、地域の住民の景観に対する意識も高まった。また、良好な景観の形成を促進すべく、景観形成助成制度も一部見直した。</p> <p>平成25年4月より、新たに萬福寺を中心とした黄檗地区を景観計画重点区域に指定するため、地元への周知を行った。</p> <p>景観アドバイザー会議を3回開催し、専門家の助言を受け良好な景観形成に努めた。</p>		
			
	改修前		改修後
事業評価	景観計画重点区域における景観形成助成を行い、良好な景観の形成を図ることができた。今後も重点地区及び景観助成制度の対象エリアを拡大し、地域住民の景観に対する意識を高め、良好な景観が形成されるよう努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	都市計画マスタープラン改定費	所管課	都市計画課									
		決算額	2,599千円									
事業内容	急速な少子高齢化の進展等の社会状況に対応するため、都市計画の基本方針である宇治市都市計画マスタープランについて点検・見直しを行う。											
成果・実績	高齢化等社会状況の変化に早急に対応するため、都市計画審議会の中に7人の学識経験者からなる「都市計画マスタープラン検討部会」を設置し、集中的に審議することにより改定にかかる期間の短縮を図った。											
	改定までの経緯	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成23年6月</td> <td>都市計画審議会に検討部会が設置</td> </tr> <tr> <td>平成24年5月</td> <td>検討部会より都市計画審議会に案の報告</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月</td> <td>都市計画審議会より答申</td> </tr> <tr> <td>平成24年9月</td> <td>都市計画審議会に付議</td> </tr> <tr> <td>平成24年10月</td> <td>策定</td> </tr> </tbody> </table>		平成23年6月	都市計画審議会に検討部会が設置	平成24年5月	検討部会より都市計画審議会に案の報告	平成24年7月	都市計画審議会より答申	平成24年9月	都市計画審議会に付議	平成24年10月
平成23年6月	都市計画審議会に検討部会が設置											
平成24年5月	検討部会より都市計画審議会に案の報告											
平成24年7月	都市計画審議会より答申											
平成24年9月	都市計画審議会に付議											
平成24年10月	策定											
事業評価	宇治市第5次総合計画と整合を図りながら医療に係る基本的方針を明確にし、予定通り改定を完了することができた。引き続き社会状況の変化に合わせて都市計画マスタープランの実効性を検証する必要がある。											





事務事業名	風致地区内建築行為等許可事務費（権限移譲）	所管課	都市計画課
		決算額	13千円
事業内容	風致地区内建築行為等の審査・許可・指導を行うべく、条例及び規則制定に向けて、検討・協議を行う。		
成果・実績	第2次地域主権改革一括法を受けて、平成27年4月より京都府から本市に市内4地区の風致地区に関する権限が移譲される。 風致地区内の建築物等の規制に関する許可事務を本市が行うこととなることから、条例・規制の制定に向けて京都府と協議を行うとともに、京都市の事例研究を行った。		
事業評価	平成27年4月の権限移譲にあたり、法整備等の準備・調整を進めることができた。引き続き権限移譲に向けて、体制整備等に取り組む。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	まちづくり活動支援事業費	所管課	都市計画課
		決算額	415千円
事業内容	宇治市まちづくり・景観条例に基づくまちづくりへの市民参加を推し進めるため、まちづくり活動への支援を行うとともに、条例の趣旨・制度の周知を目的とした「まちづくり地域セミナー」や地域のまちづくり活動のリーダー育成を目的とした「まちづくり塾」を開催し、地区まちづくり協議会の設立及び地区まちづくり計画の作成を促す。		
成果・実績	<p>宇治市まちづくり審議会を1回開催。</p>   <p>タウンウォッチング等、短期間でまちづくりの手法を体験できるイベント「宇治まちみいつけ隊」を全2回開催。</p>		
事業評価	まちづくり活動への支援を通じてまちづくりへの市民参加の担い手を増やすことができた。今後は本市からの働きかけのみならず、先行して活動している協議会やまちづくりマイスターなど市民相互間の協力等を活用し、協議会の設立や地区まちづくり計画の策定など、市民参加のまちづくりの活性化に努める。		

事務事業名	都市計画基礎調査事業費	所管課	都市計画課
		決算額	5,064千円
事業内容	都市計画法第6条に基づき、京都府が都市の現状、将来見通しについて調査を行うものである。市は、府から同条規定に基づく協力依頼により受託し、都市の現状について調査を実施する。		
成果・実績	都市の現状として、人口、産業、土地利用等の調査を実施した。		
事業評価	今後、京都府において行われる基礎調査の分析結果に基づき、市都市計画の見直し検証に活用する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園史跡ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	36,228千円
事業内容	平成21年7月に国史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の良好な保存、未来への継承を行うため、史跡公園の整備を行う。		
成果・実績	<p>史跡整備のために遺構の再現整備部分の発掘調査を実施して、未調査部分や護岸施設の構造を確認し、三次元計測等による詳細な記録を作成した。調査中は発掘現場を公開し、説明会を開催するなどの公開普及事業を行い、約3,300名の来場があった。調査後は公園整備のために遺構を保護した上で転圧しながら埋め戻した。また専門委員による検討委員会によって、史跡整備の検討を行った。</p> <p>史跡整備に向け、順調に事業進捗を図るとともに発掘現場の公開等により、市民等に史跡の歴史的価値・必要性等を普及することができた。</p>		
事業評価	今後も宇治川太閤堤跡の良好な保存・活用、未来に継承していくため、周辺地域と一体となったまちづくりを推進していく。		



事務事業名	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園交流ゾーン整備事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	20千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の実現に向け、平成21年7月に国の史跡指定を受けた宇治川太閤堤跡の保存・活用していくため、歴史公園の交流ゾーンの整備を行う。		
成果・実績	<p>歴史公園交流ゾーンの整備に向けて、平成24年3月に国の認定を受けた、歴史的風致維持向上計画で示された「宇治の歴史・文化を分かりやすく情報発信する」や「歴史のまちづくりにふさわしい観光振興を図る」などの基本方針を実現するため、情報発信・観光交流施設の機能等の見直しや、情報発信・観光交流施設の運営を含めた民間活力の導入の検討を行い、歴史公園の基本計画の見直しを2カ年で行った。</p>		
事業評価	交流ゾーンにおける基本計画を見直し、民間活力の導入等、施設整備・運営についてより効果的・効率的な手法を検討している。引き続き、周辺地域と一体となった観光振興、地域振興を図るため、観光歴史情報発信機能を有す多機能複合施設の規模・機能について検討を行う。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	01 歴史と調和したまちづくり

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化的景観保護推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課				
		決算額	25,476千円				
事業内容	平成21年2月に「宇治の文化的景観」が都市部の景観としては全国初の重要文化的景観に選定されたことから、その保全と活用を図るため、整備計画を策定するとともに、重要構成要素の修理・修景事業を推進し、白川地区・黄檗地区への重要文化的景観区域の拡大を目指す。						
成果・実績	<p>中宇治地域の文化的景観の整備計画を検討するために、住民意識のアンケート調査や住宅利用の実態調査を実施しつつ、重要構成要素の上林春松家茶室、中村藤吉本店土蔵の修理及び中村藤吉本店表屋修理の実施設計を行った。また、全国文化的景観地区連絡協議会の会長市として熊本県天草市で全国大会を開催した。市民の文化的景観への理解度を高めるため、平成25年3月20日に「歴史景観を未来へ伝える」と題して文化的景観フォーラム2013を開催し160名の参加を得た。京都府南部地域豪雨のため被災した重要構成要素に選定されている茶畑7カ所の復旧工事を実施した。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">重要構成要素修理修景業務</td> <td style="text-align: right;">12,622千円</td> </tr> <tr> <td>京都府南部地域豪雨災害対応分</td> <td style="text-align: right;">8,169千円</td> </tr> </table>			重要構成要素修理修景業務	12,622千円	京都府南部地域豪雨災害対応分	8,169千円
	重要構成要素修理修景業務	12,622千円					
京都府南部地域豪雨災害対応分	8,169千円						
事業評価	<p>文化的景観整備の方向性の検討とともに、市民の文化的景観への理解度を高めることができた。今後は整備計画を策定し、個性豊かな景観を継承するとともに、市民への啓発を図りながら、白川地区・黄檗地区の追加選定による重要文化的景観区域の範囲拡大を目指す。</p> <p>京都府南部地域豪雨災害の復旧工事について、迅速な対応ができ重要構成要素として維持していくことができた。</p>						





事務事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	366千円
事業内容	平成21年7月に策定した「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」の事業化に向け、国庫補助の導入により史跡宇治川太閤堤跡の保存・整備及び宇治の文化的景観の保全・継承のまちづくりを行うために、歴史的風致維持向上計画を策定し、様々な取組を総合的に実施する。		
成果・実績	<p>平成24年3月5日に国土交通大臣、文部科学大臣、農林水産大臣の3大臣認定を受けた法定計画の1年目の進行管理として、外部委員により構成され、計画の変更や進捗評価等を担う、歴史的風致維持向上協議会（以下「法定協議会」）の運営や、庁内の横断的な協議を行う組織である、歴史まちづくり推進調整会議の運営を行い、歴史的風致維持向上に資する取組の進行管理を実施した。</p> <p>また、計画の更なる充実を図るため、歴史的風致の維持向上に資する事業を追加する変更申請を行い、平成25年3月29日に変更の大臣認定を受けることができた。</p>		
事業評価	法定協議会である歴史的風致維持向上協議会において事業の変更追加及び進捗管理を行う等、宇治の文化的景観の保全・継承を図ることができた。今後も、庁内で調整を図り円滑な事業実施に努める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	02 歴史と景観が調和したまちづくり
小分類	03 文化財保護と伝統文化の継承

所管部局
都市整備部

事務事業名	文化財指定推進費	所管課	歴史まちづくり推進課
		決算額	5,408千円
事業内容	市内各所に所在する文化財調査を行い、本市にとって歴史上、芸術上価値の高いものを市指定文化財に指定し、伝えられてきた貴重な文化財の保護と活用を図る。併せて国・京都府指定及び未指定文化財の修理等に補助を行い、文化財保護を推進する。		
成果・実績	<p>重要文化財の萬福寺松隠堂庫裏や平等院鳳凰堂などの建物等の保存修理や三室戸寺の防災施設や市指定文化財の大幣神事などに補助を行った。また、京都府南部地域豪雨で被災した平等院庭園・萬福寺境内等4件の災害復旧事業に補助を行った。</p> <p>京都府南部地域豪雨災害対応分 1,800千円</p> 		
事業評価	文化財の修理等へ補助を実施し、保全に努めることができた。今後も文化財保護の推進を図るとともに、国・京都府及び未指定文化財の修理等に補助を行い保存・活用を図る。また、京都府南部地域豪雨災害の復旧工事について迅速な対応ができ文化財の保護に努めることができた。		

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査費（受託・国庫補助）	所管課	歴史まちづくり推進課						
		決算額	5,554千円						
事業内容	文化財保護法に基づいて、埋蔵文化財包蔵地内での開発事業と重要な遺跡保存の調和を図るため、発掘調査を実施する。また、発掘成果を基に史跡指定等の保存処置の検討を行うほか、市民へ成果を公開する。								
成果・実績	<p>平安後期の貴族藤原基房の造営と伝わる重要な邸宅遺跡である木幡の松殿跡の内容確認のための発掘調査を実施し、史跡指定等の保存措置に必要なデータを収集するとともに、発掘成果報告会を開催し市民への周知を行った。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護のため、緊急発掘調査1件を受託事業として実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>受託発掘調査</td> <td>1件</td> <td>554千円</td> </tr> <tr> <td>国庫補助調査</td> <td>1件</td> <td>5,000千円</td> </tr> </table> 			受託発掘調査	1件	554千円	国庫補助調査	1件	5,000千円
受託発掘調査	1件	554千円							
国庫補助調査	1件	5,000千円							
事業評価	市内に存する重要な遺跡について発掘調査を行い調査記録の作成を行うとともに、広く発掘成果を公開し、文化財保護の啓発を図ることができた。今後も開発事業と重要な遺跡保存の調和を図っていく。								

平成24年度決算成果説明書


総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	開発指導事務費	所管課	開発指導課																			
		決算額	239千円																			
事業内容	無秩序な宅地開発を防止し、安全で良好な都市環境の形成と円滑な都市機能の発現を図るため、宅地開発事業及び特定用途建築行為を行う事業者に対し、本市の行財政に重要な影響を及ぼす公共・公益施設等の整備について適正な指導を行う。																					
成果・実績	<p>本市における宅地開発等について、「宇治市良好な居住環境の整備及び景観の形成を図るためのまちづくりに関する条例」等関係諸法令に基づき指導した。</p> <p>開発指導事務費 239千円</p> <p>平成24年度における宅地開発等協力寄付金の納入については下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">宅地開発等協力寄付金 (歳入)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">宅地開発事業</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: right;">38,890</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">特定用途 建築行為</td> <td style="text-align: center;">集合住宅</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: right;">26,895</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">集合住宅以外</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: right;">3,476</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: right;">69,261</td> </tr> </tbody> </table>					件数	金額(千円)	宅地開発事業		12	38,890	特定用途 建築行為	集合住宅	11	26,895	集合住宅以外	8	3,476	合計		31	69,261
		件数	金額(千円)																			
宅地開発事業		12	38,890																			
特定用途 建築行為	集合住宅	11	26,895																			
	集合住宅以外	8	3,476																			
合計		31	69,261																			
事業評価	宅地開発等について条例に基づき指導を行い、良好な居住環境の保全を図ることができた。また、協力寄付金については、31件の事業者の協力を得ることができた。事業者には、引き続き指導を行うとともに、本市のまちづくりに対する理解と協力を求め、良好な居住環境の保全に努める。																					

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	都市整備部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	01 安全・安心なまちづくり	

事務事業名	耐震診断・耐震改修推進事業費	所管課	建築指導課
		決算額	44,932千円
事業内容	建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条7項により、平成20年度に宇治市建築物耐震改修促進計画を策定し、市有建築物を含めた既設建築物の耐震化を促進する。民間の既設建築物（木造住宅・共同住宅）について、耐震化を図るため、耐震診断・耐震改修の助成制度を実施している。		
成果・実績	<p>11月25日に行われた南小倉小学校での防災訓練他、各地域の防災訓練に参加し「耐震診断相談コーナー」の設置や、自治会の防災出前講座でのPR等の啓発活動を行った。</p> <p>木造住宅耐震診断 120棟 木造住宅耐震改修 59棟 （本格改修46棟、簡易改修13棟）</p> 		
事業評価	耐震診断・耐震改修の助成制度を実施し、既設建築物の耐震化の促進を図ることができた。東日本大震災の影響や啓発の効果もあり、耐震診断、耐震改修ともに増加傾向にあるが、平成27年度末目標の耐震化率90%に達するのが困難な状況である。しかし、平成25年度も目標数値達成に向け、効果的な啓発活動及び補助を実施し、耐震化を促進する。今後は、さらなる啓発活動に努めるとともに、補助制度の見直しも含め検討が必要である。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	01 良好な市街地の形成

所管部局
都市整備部

事務事業名	建築指導事務費	所管課	建築指導課																				
		決算額	2,237千円																				
事業内容	<p>建築主は、建築工事に着手する前に建築基準法による確認申請書を提出し、建築主事や民間指定確認検査機関にて確認を受けなければならない。本市は建築基準法を所管する特定行政庁として、安全・安心な建築物の供給、法的的確な履行に取り組んでいる。</p>																						
成果・実績	<p>平成24年度建築確認等申請件数（計画通知を含む/計画変更含まず）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築物</th> <th>昇降機等</th> <th>工作物</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本市</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>民間確認検査機関</td> <td>645</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>677</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>676</td> <td>17</td> <td>20</td> <td>713</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、安全で安心な、環境にやさしい建築物が供給されるよう、以下の各事業に取り組んだ。</p> <p>違反建築物対策（行政指導件数 24件） 違反建築物防止のため、建築関係者への啓発や現場パトロールなどを実施した。また、違反建築物に対する是正指導等を行った。</p> <p>長期優良住宅の認定（認定件数 135件） 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき認定を行った。</p> <p>建設リサイクル法に基づく業務（届出・通知件数 385件） 建築物の分別解体及び再資源化等の適正かつ円滑な実施を確保するため、届出の受理を行い、併せて制度定着のための広報や現場パトロールを実施した。</p> <p>省エネルギー法に基づく業務（届出件数 58件） 地球温暖化の防止及び省エネルギーの実効性を向上させるため、一定規模以上の建築物について省エネルギー措置の届出と定期報告が義務付けられている。</p> <p>京都府地球温暖化対策条例に基づく業務（届出件数 5件） 地球環境問題への関心が高まる中、建築分野においても地球温暖化防止等への配慮が求められているため、一定規模以上の建築物に対して計画書等の届出が義務付けられている。</p>				建築物	昇降機等	工作物	計	本市	31	3	2	36	民間確認検査機関	645	14	18	677	合計	676	17	20	713
		建築物	昇降機等	工作物	計																		
本市	31	3	2	36																			
民間確認検査機関	645	14	18	677																			
合計	676	17	20	713																			
事業評価	<p>建築基準法・各種関係法令に基づく届出・申請受理や、パトロール等の啓発活動により、建築確認・検査制度の法的的確な履行を図り、適正な建築物の供給を担保することができた。今後も引き続き、安全・安心な建築物の供給、法の適正な履行に取り組む。</p>																						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち	都市整備部
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり	
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進	

事務事業名	交通安全対策事務費	所管課	交通政策課
		決算額	797千円
事業内容	交通安全対策の推進を図り、市民生活の利便性、快適性の向上を図る。		
成果・実績	<p>実施希望のあった町内会等を対象に、警察の協力による参加体験型の交通安全研修会を実施した。また、幼児・児童に対して交通安全思想の普及を図るため、交通安全教室を春・秋に保育所、幼稚園、小・中学校で67回開催し、延べ約6,300人が受講して交通安全ルール・マナーについて学習した。</p> <p>一方、市民の交通の円滑化と事故防止のため、地域からの要望を踏まえ、安全対策や交通規制の実施のために警察や関係機関との緊密な連携を図り、市民の交通安全の向上に努めた。</p>		
事業評価	市民へ交通安全思想を普及することができた。交通安全対策は、抜本的な解決策を見出すことが難しいが、ハード・ソフトで多方面の取組手法について今後も関係機関と連携し交通安全対策を行う。		

事務事業名	自転車等駐車場管理費	所管課	交通政策課																												
		決算額	149,393千円																												
事業内容	自転車等駐車場の適切な管理運営により、交通結節点における市民の利便性の向上や自転車等の放置防止、歩行者や通行車両等の安全確保を図るため、市内の14駅中11駅周辺に17の有料自転車等駐車場を設置し、通勤・通学や買い物などで利用される自転車等を収容する。																														
成果・実績	<p style="text-align: center;">自転車等駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">年度</th> <th style="text-align: center;">21</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">自転車</td> <td style="text-align: center;">一時利用</td> <td style="text-align: right;">102,457</td> <td style="text-align: right;">103,319</td> <td style="text-align: right;">99,855</td> <td style="text-align: right;">99,535</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">定期利用</td> <td style="text-align: right;">14,907</td> <td style="text-align: right;">14,634</td> <td style="text-align: right;">14,274</td> <td style="text-align: right;">13,434</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">原動機付き自転車等</td> <td style="text-align: center;">一時利用</td> <td style="text-align: right;">42,131</td> <td style="text-align: right;">41,872</td> <td style="text-align: right;">39,813</td> <td style="text-align: right;">38,285</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">定期利用</td> <td style="text-align: right;">4,142</td> <td style="text-align: right;">4,141</td> <td style="text-align: right;">4,016</td> <td style="text-align: right;">3,708</td> </tr> </tbody> </table> <p>京都府南部地域豪雨災害対応分 90千円 (三室戸自転車等駐輪場のエアコン備品購入)</p>			年度		21	22	23	24	自転車	一時利用	102,457	103,319	99,855	99,535	定期利用	14,907	14,634	14,274	13,434	原動機付き自転車等	一時利用	42,131	41,872	39,813	38,285	定期利用	4,142	4,141	4,016	3,708
年度		21	22	23	24																										
自転車	一時利用	102,457	103,319	99,855	99,535																										
	定期利用	14,907	14,634	14,274	13,434																										
原動機付き自転車等	一時利用	42,131	41,872	39,813	38,285																										
	定期利用	4,142	4,141	4,016	3,708																										
事業評価	市民の利便性の向上や、景観の維持とともに、自転車の放置防止により歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。条例により指定管理者を指定し、適正に管理・運営しているが、今後も、市民の利便性の向上や安全確保を図りながら、より効率的な管理・運営を目指す。																														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	03 快適な都市交通とバリアフリーのまちづくり
小分類	01 交通安全とバリアフリーの推進

所管部局
都市整備部


事務事業名	自転車放置防止対策費	所管課	交通政策課																				
		決算額	10,426千円																				
事業内容	<p>駅周辺において良好な環境を保つため、駅周辺の自転車放置禁止区域内に放置されている自転車を定期的に撤去し、景観の維持を図るとともに、歩行者や通行車両などの安全確保を図る。</p>																						
成果・実績	<p>撤去自転車のうち501台は所有者に引き取られ、その他は福祉施設に無償譲渡及び、有価物として売却を行った。</p> <p style="text-align: center;">放置自転車撤去台数等 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去台数</td> <td style="text-align: center;">1,747</td> <td style="text-align: center;">1,437</td> <td style="text-align: center;">1,217</td> <td style="text-align: center;">1,081</td> </tr> <tr> <td>返還台数</td> <td style="text-align: center;">903</td> <td style="text-align: center;">532</td> <td style="text-align: center;">480</td> <td style="text-align: center;">501</td> </tr> <tr> <td>売却処理台数</td> <td style="text-align: center;">885</td> <td style="text-align: center;">540</td> <td style="text-align: center;">470</td> <td style="text-align: center;">373</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">京都府南部地域豪雨災害対応分 11千円 (五ヶ庄保管場所倉庫のガラス戸修繕)</p>			年度	21	22	23	24	撤去台数	1,747	1,437	1,217	1,081	返還台数	903	532	480	501	売却処理台数	885	540	470	373
年度	21	22	23	24																			
撤去台数	1,747	1,437	1,217	1,081																			
返還台数	903	532	480	501																			
売却処理台数	885	540	470	373																			
事業評価	<p>自転車放置対策に係る啓発や、放置自転車の撤去などを行い、歩行者や通行車両などの安全確保を図ることができた。これまでの取組により、自転車放置禁止区域での放置自転車の数は確実に減少しており、平成25年度も引き続き放置防止対策を実施する。</p>																						



事務事業名	市営駐車場管理費	所管課	交通政策課															
		決算額	1,726千円															
事業内容	<p>JR宇治駅前及び近鉄大久保駅前における迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持するため、自動車駐車場を設置し、管理・運営を行う。</p>																	
成果・実績	<p>駐車場は乗降客の多い駅前に立地し、終日営業するなど利便性が高いことから、多くの市民等が利用した。</p> <p>近鉄大久保駅前は駅前広場の整備に伴い閉鎖していたが、平成25年4月に再び供用を開始した。</p> <p style="text-align: center;">自動車駐車場利用台数 (台)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 15%;">21</th> <th style="width: 15%;">22</th> <th style="width: 15%;">23</th> <th style="width: 15%;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JR宇治駅前</td> <td style="text-align: center;">23,293</td> <td style="text-align: center;">23,615</td> <td style="text-align: center;">22,734</td> <td style="text-align: center;">21,967</td> </tr> <tr> <td>近鉄大久保駅前</td> <td style="text-align: center;">43,013</td> <td style="text-align: center;">42,276</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>			年度	21	22	23	24	JR宇治駅前	23,293	23,615	22,734	21,967	近鉄大久保駅前	43,013	42,276	-	-
年度	21	22	23	24														
JR宇治駅前	23,293	23,615	22,734	21,967														
近鉄大久保駅前	43,013	42,276	-	-														
事業評価	<p>JR宇治駅前自動車駐車場は、条例により指定管理者を指定し、適正に管理・運営し、安全で快適な駅前交通環境を維持することができた。今後も、迷惑駐車をなくし、安全で快適な駅前交通環境を維持しながら、より効率的な管理・運営を実施する。</p>																	

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部



事務事業名	管渠建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	2,003,150千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、事業認可区域内において、管渠等の整備を行う。		
成果・実績	汚水管渠は18件の工事に着手し、2件を完了した。また、16件については、一部を平成25年度に繰り越した。なお、平成23年度からの繰越分はすべて完了した。		
	 <p style="text-align: center;">下水道工事(推進工法)</p>		
事業評価	管渠の整備を行い、公衆衛生の向上及び水質の保全を図ることができた。今後も、国庫補助の状況、市財政の見通し及び宇治市公共下水道整備計画と整合を図りながら、引き続き整備を進める。		

事務事業名	処理場建設事業費	所管課	下水道計画課
		決算額	678,108千円
事業内容	東宇治処理区の管渠整備の進展・接続率の向上に合わせた下水処理施設の増設を行うとともに、さらなる処理水質の向上のため、高度処理化を図る。		
成果・実績	放流水質の向上につなげるため、施設の高度処理化を順次進めた。また、増加する流入下水水量に対応するため、昨年度に引き続き9・10池の増設工事、第2ポンプ棟の増設工事等を実施した。		
	<p style="text-align: center;">東宇治浄化センター</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工事中</p> </div> </div>		
事業評価	流入下水水量の増加及び京都府大阪湾・淀川流域別下水道整備総合計画に沿った放流水の水質向上への対応ができた。今後も、流入下水水量の増加や高度処理化への対応のため、必要な施設整備を進める。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部

事務事業名	管渠維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	73,827千円
事業内容	管渠等の下水道施設の維持管理として、調査・清掃・補修工事等を行うとともに、下水道施設の正確な把握のため下水道台帳の調製を行う。		
成果・実績	下水道施設補修工事の実施、下水道台帳調製、管渠内清掃等を実施した。		
	管渠内清掃		
			
	着工前	着工後	
事業評価	下水道施設の維持管理を適正に実施し、水質の保全につなげることができた。今後も、将来を見通した維持管理のため、管渠の老朽化への対応及び長寿命化の取組を進める。		



事務事業名	処理場維持管理費	所管課	下水道計画課				
		決算額	225,171千円				
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、単独公共下水道で実施している東宇治処理区内の汚水を、東宇治浄化センターにおいて処理し、良好な水質で河川に放流する。なお、平成22年度から一部（8池）において高度処理による浄化を行っている。						
成果・実績	平成24年度の流入下水量は6,362千 m^3 、放流量は6,304千 m^3 であり、水質は以下の通りである。						
	(mg/l、大腸菌群数は個/ml)						
		BOD	SS	大腸菌群数	COD	全窒素	全りん
	流入下水	159	119	1.5×10^5	77.6	29.2	2.03
	放流水	6.5	4	0	9.7	12.9	2.09
	京都府南部地域豪雨災害対応分		10,674千円				
事業評価	東宇治処理区内の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	05 歴史香るみどりゆたかで快適なまち
中分類	04 良好な市街地・都市基盤施設の整備
小分類	06 下水道（汚水・雨水）の整備

所管部局
上下水道部


事務事業名	下水道普及費	所管課	下水道計画課			
		決算額	27,616千円			
事業内容	公共下水道の整備にあわせて各家庭、事業所などに、下水道に関する啓発活動、融資あっせん制度の実施、未接続世帯の各戸訪問や文書送付を行う。特に、供用開始後3年を超える未接続世帯は水洗化普及促進員が訪問を行い、水洗化の普及促進を行う。					
成果・実績	下水道整備率 （各年度3月末の計画に対する下水道整備の進展度合）					
	年度	21	22	23	24	前年比 1.2ポイント増加
	整備率(%)	77.5	79.3	81.3	82.5	
	$\text{処理区域内人口（下水道が使用可能な人口）} \div \text{下水道計画区域内人口}$					
戸数接続（水洗化）率 （各年度3月末の整備した下水道に対して接続した戸数の割合）						
年度	21	22	23	24	前年比 0.2ポイント減少	
接続率(%)	84.0	84.8	84.7	84.5		
$\text{水洗化戸数（下水道に接続した戸数）} \div \text{処理区域内戸数}$						
水洗化普及促進員訪問戸数 2,819 戸 （接続戸数 36 戸）						
事業評価	接続率は維持しているが、供用区域の拡大に伴い未接続世帯が増加しており、下水道接続の勧奨を強化する必要がある。今後も接続率の向上に向け、戸別訪問等を積極的に行う。					

事務事業名	特定環境保全公共下水道維持管理費	所管課	下水道計画課
		決算額	8,355千円
事業内容	公衆衛生の向上、水質の保全のため、志津川地域内の汚水を志津川浄化センターで処理し、良好な水質にして河川に放流する。		
成果・実績	平成24年度の放流量は、25千m ³ である。 志津川地域下水道は、平成23年3月末で廃止し、4月から特定環境保全公共下水道志津川処理区として運営している。		
	志津川浄化センター		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
京都府南部地域豪雨災害対応分 1,302千円			
事業評価	志津川処理区の汚水を適正に処理し、公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全を図ることができた。今後も、放流水質を維持するため適正な維持管理を行う。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防団活動費	所管課	消防総務課																		
		決算額	36,676千円																		
事業内容	消防団の任務は、火災等あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守ることであり、消防精神を養うため日頃から教養訓練、研修等を逐次実施し、知識技能の向上を図って火災予防を推進し、災害のないまちづくりに努める。																				
成果・効果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">消防団員の報酬</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">374人</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">12,639千円</td> </tr> <tr> <td>消防団員退職報償金</td> <td style="text-align: center;">10人</td> <td style="text-align: right;">2,866千円</td> </tr> <tr> <td>出場費用弁償</td> <td style="text-align: center;">延べ5,483人</td> <td style="text-align: right;">8,843千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><small>(京都府南部地域豪雨災害対応分 444人 888千円を含む)</small></td> </tr> <tr> <td>消防団資機材(消防団操法用ホース等)購入</td> <td style="text-align: center;">171千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>京都府消防協会宇城久支部負担金等</td> <td style="text-align: center;">617千円</td> <td></td> </tr> </table>		消防団員の報酬	374人	12,639千円	消防団員退職報償金	10人	2,866千円	出場費用弁償	延べ5,483人	8,843千円	<small>(京都府南部地域豪雨災害対応分 444人 888千円を含む)</small>			消防団資機材(消防団操法用ホース等)購入	171千円		京都府消防協会宇城久支部負担金等	617千円		 <p style="text-align: center;">消防操法訓練</p>
消防団員の報酬	374人	12,639千円																			
消防団員退職報償金	10人	2,866千円																			
出場費用弁償	延べ5,483人	8,843千円																			
<small>(京都府南部地域豪雨災害対応分 444人 888千円を含む)</small>																					
消防団資機材(消防団操法用ホース等)購入	171千円																				
京都府消防協会宇城久支部負担金等	617千円																				
事業評価	消防団による年末特別警戒や街頭での防火意識啓発など、きめ細やかな予防活動・啓発活動を実施し、地域一体での安全・安心なまちづくりの推進を図ることができた。広域災害時の消防団が果たす役割は大きいいため、今後も消防団活動の活性化を図る。																				

事務事業名	職員教養研修費	所管課	消防総務課																																
		決算額	8,385千円																																
事業内容	全国消防長会のほか、総務省消防大学校、京都府立消防学校が実施する各種の教養資格講習等を受講し、消防職員の知識、技能を向上させる。																																		
成果・実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: left;">研修実績(主なもの)</th> </tr> <tr> <th style="width: 40%;">研修名</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 20%;">期間</th> <th style="width: 20%;">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初任教育</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>8カ月</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>専科教育(危険物・救急・警防各科)</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>51日</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>専科教育(予防査察・特殊災害・火災調査各科)</td> <td>京都市立消防学校</td> <td>20日</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>幹部教育 初級幹部科</td> <td>京都府立消防学校</td> <td>10日</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>消防大学校 危機管理・防災教育科</td> <td>消防大学校</td> <td>5日</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>近畿救急医学会</td> <td>大阪府・兵庫県・滋賀県</td> <td>4日</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>			研修実績(主なもの)				研修名	場所	期間	人数	初任教育	京都府立消防学校	8カ月	12人	専科教育(危険物・救急・警防各科)	京都府立消防学校	51日	13人	専科教育(予防査察・特殊災害・火災調査各科)	京都市立消防学校	20日	3人	幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10日	1人	消防大学校 危機管理・防災教育科	消防大学校	5日	1人	近畿救急医学会	大阪府・兵庫県・滋賀県	4日	4人
研修実績(主なもの)																																			
研修名	場所	期間	人数																																
初任教育	京都府立消防学校	8カ月	12人																																
専科教育(危険物・救急・警防各科)	京都府立消防学校	51日	13人																																
専科教育(予防査察・特殊災害・火災調査各科)	京都市立消防学校	20日	3人																																
幹部教育 初級幹部科	京都府立消防学校	10日	1人																																
消防大学校 危機管理・防災教育科	消防大学校	5日	1人																																
近畿救急医学会	大阪府・兵庫県・滋賀県	4日	4人																																
事業評価	国・京都府等が実施する各種教育課程の受講や各種免許・資格習得により、職員の知識・技能の向上を図ることができた。今後も、複雑多様化、専門化している災害対応等について、さらに知識・技能の向上を図る必要がある。																																		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち	消防本部
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応	
小分類	02 消防・救急の充実	

事務事業名	防火意識啓発費	所管課	予防課
		決算額	646千円
事業内容	<p>市内における火災の発生防止を図るとともに、市民に火災時の対応等について啓発・指導を図り、防火等への関心を高めることによって、安全・安心で快適かつ住みよい、災害に強いまちづくりを推進する。また、防火啓発チラシ等を配布することにより、市や消防を身近なものとし、より相談しやすく親しみやすい環境づくりを目指す。</p>		
成果・実績	<p>事業所への防火啓発ポスター、市民への防火啓発リーフレットの作成配布等により、火災予防意識の高揚を図り、火災の発生防止に努めた。</p> <p>また、消火薬剤の補填は、初期消火のために使用された消火器を再活用するため、原状回復として行う補填と、市民に訓練の重要性や、消火器の初期消火の有効性を認識してもらうために、町内会等が消火訓練に使用した消火器に対して行う予防効果に重点を置いた補填の両面から実施し、災害対応の充実を図った。</p>		
事業評価	<p>防火啓発ポスターやリーフレットの作成配布等を行い、火災予防への意識高揚や、火災発生防止の効果が繋がった。また、消火薬剤の補填については、初期消火及び訓練の重要性を意識付けるために重要な方策の一つとなっており、火災予防を進める上で実施効果が高いため、今後も啓発活動に努める。</p>		

事務事業名	消防水利維持管理・拡充事業費	所管課	警防課
		決算額	8,409千円
事業内容	<p>消火活動において、消防水利が有効に活用できるよう維持管理するとともに必要に応じ修繕を行う。また、市街地における水利不便地に消防水利の基準（昭和39年消防庁告示7号）に沿って、消火栓等を新設し、基準の充足を図る。</p>		
成果・実績	<p>火災時に活用する消防水利の維持管理、新設を行った。</p> <p>消火栓維持管理 消火栓維持管理として、小倉・神明・大久保町・伊勢田・広野・菟道・木幡・槇島・炭山・宇治の各地区において、消火栓23基の維持管理に係る工事を行った。</p> <p>消防水利新設 消火栓新設工事実施計画分として、伊勢田町ウトロ・木幡畑山田の地区において2基設置した。</p> <p>また、実施計画以外の新設工事として、消火栓を槇島町・木幡・五ヶ庄・宇治・伊勢田町・広野町の各地区において13基及び、防火水槽を六地藏・大久保町・宇治・伊勢田町・広野町・菟道の各地域において8基設置した。</p>		
事業評価	<p>消火栓の補修・改修や新設によって、消防水利の確保、整備等を行い、火災へ備えることができた。消防水利の空白地や、設置後に相当年数の経過した公設防火水槽などがあるため、今後も計画的な改修・設置に努める。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	02 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	消防機械器具整備費	所管課	警防課
		決算額	15,249千円
事業内容	老朽化している消防車両等を更新整備するとともに、災害活動時の安全管理対策につながる各種装備・機械器具について、軽量化・高機能化等を行う。		
成果・実績	<p>指揮隊車 災害現場において指揮活動を行うために必要な指揮隊車及び資機材の充実整備を行い、消防本部に配置した。</p> <p>指揮隊車 7,836千円 指揮隊車用資機材 1,929千円</p> <p>消防用ホース、消防水囊更新整備 消火活動に活用する消防用ホースを80本、また、林野火災等で活用する消防水囊10基を更新整備した。</p> <p>空気呼吸器本体、空気呼吸器用軽量ポンペ更新整備 消防活動において活用する空気呼吸器本体5基及び空気呼吸器用軽量ポンペ12本を更新整備した。</p>		
事業評価	災害現場において指揮活動を行うための指揮隊車及び資機材、安全管理対策のため空気呼吸器や消防ホースなどの更新を行った。今後も、各種装備の軽量化や高機能化などについてさらなる研究を行い、消防機能の充実を図る。		



事務事業名	専門職員養成費	所管課	救急課																
		決算額	3,532千円																
事業内容	救急救命士制度の創設及び救急隊員の行う応急処置範囲の拡大に伴い、専門教育を受講し、隊員の資質・技能を向上することで救命率の向上を図る。																		
成果・実績	<p>救急救命士の新規養成1人と、処置拡大救急救命士として気管挿管認定者及び薬剤投与認定者各1人の養成を行い、救急高度化の充実・強化を図った。</p> <p>救急救命士新規養成及び処置拡大救急救命士研修実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>場 所</th> <th>期 間</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士養成教育</td> <td>京都市救急教育訓練センター</td> <td>7カ月</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>気管挿管病院実習</td> <td>市内医療機関</td> <td>30症例</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与追加講習</td> <td>救急救命九州研修所</td> <td>1カ月</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			研修名	場 所	期 間	人数	救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1	気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1	薬剤投与追加講習	救急救命九州研修所	1カ月	1
研修名	場 所	期 間	人数																
救急救命士養成教育	京都市救急教育訓練センター	7カ月	1																
気管挿管病院実習	市内医療機関	30症例	1																
薬剤投与追加講習	救急救命九州研修所	1カ月	1																
事業評価	より質の高い救急業務を目的に救急高度化に取り組み、救命率向上を図ることができた。今後も計画的に救急救命士を養成していく。																		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	01 環境に配慮した安全・安心のまち
中分類	02 安全・安心なまちづくりへの対応
小分類	03 消防・救急の充実

所管部局
消防本部

事務事業名	AED整備費	所管課	救急課
		決算額	3,798千円
事業内容	市内各公共施設にAEDを設置し、心肺停止傷病者に対して即対応できる体制整備を行い、市民の救命率の向上を図る。平成20年度から市内公共施設76カ所にAEDを整備している。		
成果・実績	<p>現在設置中のAEDが緊急時に適切に使用できるよう、保守管理を行った。5年間の賃貸借契約（長期継続契約）の5年目であった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>AED(自動体外式除細動器)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>AEDマーク</p> </div> </div>		
事業評価	心肺停止傷病者に対し迅速に除細動が行える体制を整備したことにより、救命率の向上を図り、安全・安心のまちづくりに貢献できた。今後も、設置場所や台数など、効果的、効率的な維持管理の検討を行い、救命率の向上を図る。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	事務事業点検評価事業費	所管課	教育総務課
		決算額	120千円
事業内容	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、その権限に関する事務・事業の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、結果を市民へ公表し議会に報告する。		
成果・実績	<p>教育委員会の基本方針に沿って効果的な教育行政が実施できたか、学識者とともに点検・評価し、市民への説明責任を果たした。</p> <p style="text-align: center;">学識経験者等謝礼 120千円</p>		
事業評価	点検・評価を行うことにより、効果的な教育行政を進めることができた。今後も、市民にとって、よりわかりやすい点検・評価となるよう、学識者の意見を踏まえて目標達成度や評価項目の設定など検討を行う必要がある。		

事務事業名	学校施設地域開放費	所管課	教育総務課										
		決算額	1,836千円										
事業内容	西宇治中学校の地域開放型教室の特質を活かし、特別教室の積極的な開放を行うことで、子どもが仲間と楽しく学び、様々な活動を行う場を提供する。また、各種教育情報を提供し、地域住民に学習機会の場を設け、地域の活性化を図る。												
成果・実績	<p>地域開放運営委員会委託料 1,836千円</p> <p>利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>視聴覚室</th> <th>音楽室</th> <th>美術室</th> <th>調理室</th> <th>図書室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>70件</td> <td>180件</td> <td>81件</td> <td>2件</td> <td>223人</td> </tr> </tbody> </table> <p>西宇治オープンフェスタ 地域開放型教室の利用団体が、ダンス、コーラス、楽器演奏など、日頃の活動の成果を発表した。</p>			視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室	70件	180件	81件	2件	223人
視聴覚室	音楽室	美術室	調理室	図書室									
70件	180件	81件	2件	223人									
事業評価	地域住民のニーズに応じた特別教室の開放により、地域の活性化を図ることができた。近年、登録団体数や利用者数が減少傾向であり、地域の運営委員会や事業のあり方について検討する必要がある。												

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	教育振興基本計画策定費	所管課	教育総務課
		決算額	338千円
事業内容	「宇治市教育ルネッサンスプラン」「宇治市青少年プラン」「宇治市生涯学習推進プラン」の計画期間が平成25年度に満了するため、3プランを盛り込み、平成26年度以降の本市の教育の礎となる「宇治市教育振興基本計画」を平成24年度から平成25年度にかけて策定する。		
成果・実績	策定委員会を2回開催し、学校、保護者、関係団体や市民等を対象にアンケート調査を行った。		
事業評価	本市の教育の礎となる計画を策定するため、教育部の各課と連携して計画案を検討するとともに、外部有識者等で構成する委員会の運営を円滑に進めることができた。また、調査により現況を把握する基礎資料を得ることができた。平成25年度も、前プランの下での教育行政の成果及び課題を踏まえ、計画策定を進める。		

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	学校図書館費	所管課	学校教育課
		決算額	35,646千円
事業内容	児童・生徒の基礎学力の定着・向上のため、小・中学校の学校図書館図書を充実させるとともに、学校図書館司書の配置と学校図書館ボランティアの活用により図書館教育の充実を図る。また、学校図書館ボランティアの養成のため、希望する保護者・市民が必要な知識・技術を修得する講座を開催する。		
成果・実績	図書館教育充実事業費 18,565千円 拠点校7校に学校図書館司書を配置し、各学校を巡回して児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図った。 図書館ボランティア養成事業費 82千円 ボランティア養成講座開催数 2回 ボランティア登録者数 508人 学校図書館図書充実費 小学校 9,600千円 中学校 7,399千円		
事業評価	図書の購入・配架、司書による支援や、ボランティアの活動により、児童・生徒の学習活動や読書活動の充実を図ることができた。今後も、特に中学校での生徒の読書活動を促進するため、事業成果を検証しながら読書環境の充実を図る。		

事務事業名	幼稚園、小・中学校保健管理費	所管課	学校教育課
		決算額	130,179千円
事業内容	学校保健及び学校安全に関し、法令に定める健康診断の実施や環境衛生の確保に努め、学校管理下における事故災害に対する必要な給付を行い、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図る。		
成果・実績	園児、児童・生徒の健康診断や各種検診・検査を実施した。 小学校保健管理費 81,400千円 中学校保健管理費 35,427千円 幼稚園保健管理費 5,173千円 小学校心臓検診充実費 5,478千円 中学校心臓検診充実費 2,619千円 結核予防対策費 82千円		
事業評価	適切な健康管理と環境衛生の確保によって、園児、児童・生徒の心身の健全な育成を図ることができた。今後も継続実施する。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	へき地校通学対策費	所管課	学校教育課						
		決算額	15,385千円						
事業内容	へき地における特殊な教育条件を考慮し、教育水準の維持・向上を図り、児童・生徒の通学の疲労を軽減するために、笠取地区内及び笠取地区と市街地を結ぶ通学用輸送車を運行する。								
成果・実績	笠取地区スクールバス3台及び給食配送車の運行・維持管理を行った。 （笠取小学校特認校児童の送迎を含む） <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">特認入学パンフレット印刷費</td> <td style="text-align: right;">74千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等維持管理費</td> <td style="text-align: right;">527千円</td> </tr> <tr> <td>笠取地区通学バス等運行委託料</td> <td style="text-align: right;">14,784千円</td> </tr> </table>			特認入学パンフレット印刷費	74千円	笠取地区通学バス等維持管理費	527千円	笠取地区通学バス等運行委託料	14,784千円
特認入学パンフレット印刷費	74千円								
笠取地区通学バス等維持管理費	527千円								
笠取地区通学バス等運行委託料	14,784千円								
事業評価	へき地における教育水準の維持・向上を図ることができた。山間部の通学と特認校制度維持に必要であり、継続実施する。								

事務事業名	小・中学校教材充実費	所管課	学校教育課				
		決算額	52,237千円				
事業内容	各教科の授業等で必要な教材について、教材備品の整備に関する規定を設けるなど学校間の格差が生じないように配慮しながら、教材の充実を図る。						
成果・実績	小・中学校の一般教材備品、理科教育振興備品などの充実を図り、教育環境の整備に努めた。 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">小学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">35,768千円</td> </tr> <tr> <td>中学校教材充実費</td> <td style="text-align: right;">16,469千円</td> </tr> </table>			小学校教材充実費	35,768千円	中学校教材充実費	16,469千円
小学校教材充実費	35,768千円						
中学校教材充実費	16,469千円						
事業評価	教材等の購入費用について適正に執行し、児童・生徒の教育環境を整備できた。今後も国の方針等に基づき継続して教材の充実に努める。						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校就学援助費	所管課	学校教育課																				
		決算額	159,611千円																				
事業内容	義務教育を受ける機会を均等に保障するため、経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学校で必要な学用品費、給食費、校外活動費、医療費などの援助を行う。																						
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">小学校就学援助費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">108,631千円</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">50,980千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">うち京都府南部地域豪雨災害対応分</td> </tr> <tr> <td>小学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">145千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中学校就学援助費</td> <td style="text-align: right;">60千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			小学校就学援助費	108,631千円			中学校就学援助費	50,980千円			うち京都府南部地域豪雨災害対応分				小学校就学援助費	145千円			中学校就学援助費	60千円		
小学校就学援助費	108,631千円																						
中学校就学援助費	50,980千円																						
うち京都府南部地域豪雨災害対応分																							
小学校就学援助費	145千円																						
中学校就学援助費	60千円																						
事業評価	就学援助費の支給を適正に執行し、児童・生徒の教育機会を確保することができた。様々な生活環境の子どもが均等に義務教育を受けられるよう、平成25年度も継続実施する。																						

事務事業名	私立幼稚園就園助成費補助金	所管課	学校教育課												
		決算額	215,663千円												
事業内容	宇治市内に居住し、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、国庫補助基準額による所得基準に応じて助成を行うことにより、保護者の経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図る。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">助成者数 (人)</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">満3歳児</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">64</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td style="text-align: center;">592</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td style="text-align: center;">911</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td style="text-align: center;">943</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">2,510</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">満3歳児は3歳の誕生日を迎えた園児</p>			助成者数 (人)		満3歳児	64	3歳児	592	4歳児	911	5歳児	943	合計	2,510
助成者数 (人)															
満3歳児	64														
3歳児	592														
4歳児	911														
5歳児	943														
合計	2,510														
事業評価	国庫補助基準に沿って適正に助成し、保護者の経済的負担を軽減することができた。平成25年度も継続実施する。														

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	緊急安全対策事業費	所管課	教育総務課・学校教育課
		決算額	38,600千円
事業内容	幼稚園、小・中学校に、地域・保護者の協力を得て学校運営支援員（スクールサポーター）を配置し、園児、児童・生徒の安全確保を図る。		
成果・実績	<p>地域緊急安全対策事業費（教育総務課） 38,078千円 35校・園のモニターカメラ監視、校内巡視、門扉状況監視</p> <p>幼稚園緊急安全対策事業費（学校教育課） 522千円 私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行った。</p>		
事業評価	私立幼稚園の安全対策補助金を適正に執行するとともに、幼稚園、小・中学校で各種安全対策を講じ、園児、児童・生徒の安全を確保することができた。今後は、活動実態の把握とともに、スクールサポーターの高齢化への対応や他の地域安全活動との連携を検討しながら、引き続き安全確保に努める。		

事務事業名	学校版環境ISO実施事業費	所管課	学校教育課
		決算額	887千円
事業内容	幼稚園、小・中学校が環境問題に目を向け、身近な学校生活の中で環境に配慮した生活態度を実践するため、園児、児童・生徒、教職員が環境活動について計画、行動、点検、見直しを行う。		
成果・実績	各幼稚園、小・中学校において、園・校内の緑化運動や、ごみの分別、ペットボトルのエコキャップ回収運動、節電・節水など、環境に配慮した学習や活動を実施した。		
事業評価	学校生活の中での環境活動を促し、環境教育を進めることができた。今後はより自主的な活動を促進し、環境意識を啓発できるよう事業の改善を検討する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小・中学校「総合的な学習の時間」推進費	所管課	学校教育課
		決算額	11,771千円
事業内容	画一的な授業ではなく、地域や子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開する。国際理解、環境、情報、福祉、健康など従来の教科等の枠を超えた横断的、総合的な学習をより円滑に実施する。		
成果・実績	小学校「総合的な学習の時間」推進費	6,372千円	
	主な学習内容		
	・地域と食生活に関する学習		
	・環境保護活動		
	中学校「総合的な学習の時間」推進費	5,399千円	
	主な学習内容		
	・国際（異文化）理解学習		
	・職場体験学習		
事業評価	社会人講師等によって従来の授業とは異なる学習を行うことにより、幅広い教育振興を図ることができた。今後も児童・生徒への様々な分野の学習機会の提供に努める。		

事務事業名	小・中学校特別支援教育費	所管課	学校教育課
		決算額	8,457千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童・生徒の就学を保障するため、特別支援学級等の運営を行う。また、特別支援学級在級児童・生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、義務教育を保障するため、就学奨励費の支給事業を行う。		
成果・実績	小学校特別支援教育費	2,172千円	
	中学校特別支援教育費	4,814千円	
	小学校20校36学級、中学校10校18学級の特別支援学級を設置し、児童・生徒の発達促進と学力充実に努めるとともに、就学奨励費を支給した。		
	小学校特別支援学級開設費	639千円	
	中学校特別支援学級開設費	832千円	
事業評価	就学奨励費の支給や物品の購入などによって、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育機会を確保することができた。今後も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実	

事務事業名	小学校歯科治療助成事業費	所管課	学校教育課
		決算額	11,071千円
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に歯の治療を行い、口腔衛生を保つことは重要である。特に低学年で未処置歯のある者の割合が高いため、小学1年生を対象に治療費の助成を行い、児童の歯の治療を促進する。</p>		
成果・実績	<p>宇治市在住の小学校1年生を対象に歯科治療費保険診療分の自己負担金に対する一部助成を行った。</p>		
事業評価	<p>適切な治療費の助成によって、保護者の経済的負担を軽減するとともに、歯の治療を促進して児童の健全な発育を図ることができた。効果的に健全な発育を促すため平成25年度も継続実施する。</p>		

事務事業名	フッ化物洗口事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	1,620千円						
事業内容	<p>児童の健全な発育のために、乳歯から永久歯へ生え変わる時期に小学校でフッ化物洗口を実施し、虫歯を予防する。</p>								
成果・実績	<p>児童の健全な発育のために、全校・全学年児童の希望者を対象に、虫歯予防効果の高いフッ化物洗口を実施した。</p> <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>事業実施児童数</td> <td style="text-align: right;">9,802人</td> </tr> <tr> <td>事業実施率</td> <td style="text-align: right;">約90%</td> </tr> <tr> <td>平均実施回数</td> <td style="text-align: right;">30回</td> </tr> </table>			事業実施児童数	9,802人	事業実施率	約90%	平均実施回数	30回
事業実施児童数	9,802人								
事業実施率	約90%								
平均実施回数	30回								
事業評価	<p>フッ化物洗口によって児童の健全な発育を促進することができた。今後も継続実施し、虫歯予防の効果を検証する必要がある。</p>								

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	給食・調理環境充実費（管理運営分）	所管課	学校教育課												
		決算額	200,563千円												
事業内容	小学校給食運営の中で、本市調理職員が行っていた調理業務のみを学校単位で段階的に民間の給食専門会社に委託し、これまでの給食内容を変えることなく、運営経費の効率化を図り、それによって確保された財源で多様な子どもたちのニーズを踏まえた学校給食等の条件整備を行う。														
成果・実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">調理業務委託料</td> <td style="width: 20%;">14校委託</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: right;">169,529千円</td> </tr> <tr> <td>嘱託栄養士配置</td> <td>10校</td> <td></td> <td style="text-align: right;">26,741千円</td> </tr> <tr> <td>磁器食器購入費</td> <td>委託校の食器の補充</td> <td></td> <td style="text-align: right;">4,293千円</td> </tr> </table>			調理業務委託料	14校委託		169,529千円	嘱託栄養士配置	10校		26,741千円	磁器食器購入費	委託校の食器の補充		4,293千円
調理業務委託料	14校委託		169,529千円												
嘱託栄養士配置	10校		26,741千円												
磁器食器購入費	委託校の食器の補充		4,293千円												
事業評価	調理委託によって給食運営の効率化を図るとともに、確保した財源によって学校給食環境の整備を行い、成長期にある児童の健全な育成を推進することができた。今後も継続実施し、効率的な給食運営と給食環境の改善に努める。														

事務事業名	中学校昼食提供事業費	所管課	学校教育課												
		決算額	2,198千円												
事業内容	中学校での昼食は生徒が弁当を持参することを原則としているが、家庭の事情等で持参できない場合に補完するため昼食の提供を行う。														
成果・実績	南宇治中学校・西小倉中学校の2校において昼食弁当提供の試行実施を行った。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">昼食平均利用率</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">南宇治中学校</td> <td style="width: 20%;">10.5%</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>西小倉中学校</td> <td>1.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			昼食平均利用率				南宇治中学校	10.5%			西小倉中学校	1.7%		
昼食平均利用率															
南宇治中学校	10.5%														
西小倉中学校	1.7%														
事業評価	弁当が持参できない生徒に栄養面を考慮した昼食を提供することにより、生徒の健全な発育を促進できた。平成25年度には全校での実施を予定しており、円滑な事業運営に努める。														

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	02 学校教育環境の充実	

事務事業名	学校施設耐震改修事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	673,684千円								
事業内容	平成18年度実施の第2次耐震診断の結果を踏まえ、補強が必要な建物について耐震性能を確保するため、耐震工事を実施する。										
成果・実績	<p>耐震診断によって、耐震力が不足すると判断された学校施設のうち、6校の耐震工事をを行った。</p> <p>また、次年度以降の工事に向けて設計委託を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校耐震改修事業費</td> <td style="text-align: right;">371,295千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">西大久保・平盛・三室戸・南小倉小学校耐震補強工事ほか</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校耐震改修事業費</td> <td style="text-align: right;">302,389千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">南宇治・木幡中学校耐震補強工事ほか</td> <td></td> </tr> </table>			小学校耐震改修事業費	371,295千円	西大久保・平盛・三室戸・南小倉小学校耐震補強工事ほか		中学校耐震改修事業費	302,389千円	南宇治・木幡中学校耐震補強工事ほか	
小学校耐震改修事業費	371,295千円										
西大久保・平盛・三室戸・南小倉小学校耐震補強工事ほか											
中学校耐震改修事業費	302,389千円										
南宇治・木幡中学校耐震補強工事ほか											
事業評価	平成25年度までの耐震化完了に向け、計画に沿って耐震補強工事等を行った。今後も学校運営上の影響を最小限に抑えるように努めながら、引き続き耐震化に取り組む。										

事務事業名	幼稚園、小・中学校維持整備事業	所管課	学校教育課																																				
		決算額	852,743千円																																				
事業内容	学校教育環境の充実と安全性の確保のため、幼稚園、小・中学校の施設・設備について、老朽化対応修繕、緊急修繕、及び法令等に適合させる修繕を行う。また、老朽化と損耗が著しい施設・設備について、計画的に改修を実施する。さらに、第2次学校施設整備計画に基づいて、トイレ改修や空調機の設置など大規模改造事業を実施する。																																						
成果・実績	<p>良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るために対応を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各幼稚園施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">1,097千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">大久保幼稚園足洗い場修繕ほか</td> <td style="text-align: right;">6,132千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園大規模改造事業費</td> <td style="padding-left: 20px;">空調機設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">28,770千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各小学校施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">43,333千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">平盛小学校プール改修ほか</td> <td style="text-align: right;">58,751千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">小学校大規模改造事業費</td> <td style="padding-left: 20px;">空調機設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">372,090千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校維持修繕費</td> <td style="padding-left: 20px;">各中学校施設の小修理ほか</td> <td style="text-align: right;">22,377千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校施設整備費</td> <td style="padding-left: 20px;">榎島中学校スロープ設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">18,858千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中学校大規模改造事業費</td> <td style="padding-left: 20px;">空調機設置工事ほか</td> <td style="text-align: right;">301,335千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">うち京都府南部地域豪雨災害対応分</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">小学校施設整備費</td> <td style="text-align: right;">6,089千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 60px;">中学校施設整備費</td> <td style="text-align: right;">545千円</td> <td></td> </tr> </table>			幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理ほか	1,097千円	幼稚園施設整備費	大久保幼稚園足洗い場修繕ほか	6,132千円	幼稚園大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	28,770千円	小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理ほか	43,333千円	小学校施設整備費	平盛小学校プール改修ほか	58,751千円	小学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	372,090千円	中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理ほか	22,377千円	中学校施設整備費	榎島中学校スロープ設置工事ほか	18,858千円	中学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	301,335千円	うち京都府南部地域豪雨災害対応分			小学校施設整備費	6,089千円		中学校施設整備費	545千円	
幼稚園維持修繕費	各幼稚園施設の小修理ほか	1,097千円																																					
幼稚園施設整備費	大久保幼稚園足洗い場修繕ほか	6,132千円																																					
幼稚園大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	28,770千円																																					
小学校維持修繕費	各小学校施設の小修理ほか	43,333千円																																					
小学校施設整備費	平盛小学校プール改修ほか	58,751千円																																					
小学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	372,090千円																																					
中学校維持修繕費	各中学校施設の小修理ほか	22,377千円																																					
中学校施設整備費	榎島中学校スロープ設置工事ほか	18,858千円																																					
中学校大規模改造事業費	空調機設置工事ほか	301,335千円																																					
うち京都府南部地域豪雨災害対応分																																							
小学校施設整備費	6,089千円																																						
中学校施設整備費	545千円																																						
事業評価	施設の維持・保全によって、園児、児童・生徒の安全確保と良好な教育環境整備を図ることができた。今後も計画的な施設の維持・整備とともに、各施設の状態に応じて適切な対応を行う。																																						

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実

所管部局
教育部

事務事業名	給食・調理環境充実費（施設整備分）	所管課	学校教育課
		決算額	1,418千円
事業内容	給食調理室の衛生管理と調理業務従事者の労働安全衛生を確保するために、調理室内の整備を行う。		
成果・実績	菟道小学校給食調理室改修設計業務委託 1,418千円		
事業評価	給食調理室の整備のための設計を実施することができた。今後も計画的に整備を行い、学校給食調理環境の充実を図る。		

事務事業名	神明小学校増築事業費	所管課	学校教育課						
		決算額	38,508千円						
事業内容	児童数推計において児童数が増加するため教室不足が見込まれる神明小学校の増築等を実施する。								
成果・実績	<p>教室不足が見込まれる神明小学校へ特別教室棟の新築工事を行った。また、菟道第二小学校に通級指導教室の整備を行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">神明小学校特別教室棟新築工事</td> <td style="text-align: right;">23,835千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">菟道第二小学校ことばきこえの教室改修工事</td> <td style="text-align: right;">11,975千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">工事に伴う配線移設ほか</td> <td style="text-align: right;">2,698千円</td> </tr> </table>			神明小学校特別教室棟新築工事	23,835千円	菟道第二小学校ことばきこえの教室改修工事	11,975千円	工事に伴う配線移設ほか	2,698千円
神明小学校特別教室棟新築工事	23,835千円								
菟道第二小学校ことばきこえの教室改修工事	11,975千円								
工事に伴う配線移設ほか	2,698千円								
事業評価	教室不足への対応を計画的に進めており、順調に事業実施できた。今後も平成25年度の完成を目指し整備を進める。								

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実

所管部局
教育部

事務事業名	宇治中学校改築事業費	所管課	学校教育課								
		決算額	162,941千円								
事業内容	良好な教育環境の確保と施設の維持・保全を図るため、老朽化した宇治中学校の改築を実施する。										
成果・実績	<p>老朽化した宇治中学校の校舎・ライフライン改修、及び東校舎の解体工事を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">校舎・ライフライン改修工事</td> <td style="text-align: right;">112,356千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">東校舎解体工事</td> <td style="text-align: right;">41,886千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">工事に伴う配線移設・備品移動ほか</td> <td style="text-align: right;">4,814千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">校舎・屋体他改築設計業務委託</td> <td style="text-align: right;">3,885千円</td> </tr> </table>			校舎・ライフライン改修工事	112,356千円	東校舎解体工事	41,886千円	工事に伴う配線移設・備品移動ほか	4,814千円	校舎・屋体他改築設計業務委託	3,885千円
校舎・ライフライン改修工事	112,356千円										
東校舎解体工事	41,886千円										
工事に伴う配線移設・備品移動ほか	4,814千円										
校舎・屋体他改築設計業務委託	3,885千円										
事業評価	老朽化に対応し、計画的に改修設計を行った。今後も生徒の学校教育環境を維持・向上するため整備を進める。										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	障害者教室開催費	所管課	生涯学習課																															
		決算額	151千円																															
事業内容	「宇治市障害者福祉基本計画」の趣旨を踏まえ、障害者の自立と社会参加を促進するため、学習機会の提供と仲間づくりを目的として、障害者関係団体及びボランティアと連携しながら、障害の種別に応じた障害者教室を開催する。																																	
成果・実績	<p>障害の種別に応じた講座を開催し、延べ518人の参加があった。</p> <p>各障害者教室開催状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やまぶき学級（2回）</td> <td>心身障害者</td> <td>106</td> <td>社会見学</td> <td>視覚障害者</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">やまぶきコーヒーハウス（10回）</td> <td rowspan="2">心身障害者</td> <td rowspan="2">239</td> <td>社会見学</td> <td>聴覚障害者</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>社会見学</td> <td>肢体障害者</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">文化講座</td> <td>肢体障害者</td> <td rowspan="2">14</td> <td>生活講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>視覚障害者</td> <td>健康講座</td> <td>聴覚障害者</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>			内容	対象者	人数	内容	対象者	人数	やまぶき学級（2回）	心身障害者	106	社会見学	視覚障害者	26	やまぶきコーヒーハウス（10回）	心身障害者	239	社会見学	聴覚障害者	59	社会見学	肢体障害者	16	文化講座	肢体障害者	14	生活講座	聴覚障害者	29	視覚障害者	健康講座	聴覚障害者	29
内容	対象者	人数	内容	対象者	人数																													
やまぶき学級（2回）	心身障害者	106	社会見学	視覚障害者	26																													
やまぶきコーヒーハウス（10回）	心身障害者	239	社会見学	聴覚障害者	59																													
			社会見学	肢体障害者	16																													
文化講座	肢体障害者	14	生活講座	聴覚障害者	29																													
	視覚障害者		健康講座	聴覚障害者	29																													
事業評価	障害者団体やボランティアと連携した教室の開催により、障害者の学習機会の提供と仲間づくりを促進できた。しかし、参加人数が減少傾向にあることから、事業のあり方や運営方法を検討し、事業のさらなる充実に向け、改善を図る必要がある。																																	

事務事業名	人材バンク事業費	所管課	生涯学習課																																								
		決算額	62千円																																								
事業内容	市内を中心に活動する個人講師やグループの人材情報等を集めた「宇治市生涯学習人材バンク」を構築し、市ホームページ上と冊子版（市内公共施設で配付）で情報を提供することにより、総合的な市民の学習活動を促進する。また、登録講師の指導技術向上と人材バンクの広報のため、講座・イベント等を開催する。																																										
成果・実績	<p>ホームページと冊子版による情報提供のほか、登録講師の技術向上と人材バンクの広報を目的とした市民講師学習講座（3回・延べ77人参加）と講師活動展（登録講師5件が出展）を開催した。また、前年度より登録者数が増加した。</p> <p>登録者数の推移 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数</td> <td>149</td> <td>172</td> <td>137</td> <td>127</td> <td>121</td> <td>125</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td> 個人</td> <td>107</td> <td>127</td> <td>98</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>94</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td> 団体</td> <td>42</td> <td>45</td> <td>39</td> <td>32</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>うち新規</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>運用開始時（平成19年1月11日）の登録者数：125件</p>			年度	18	19	20	21	22	23	24	登録者数	149	172	137	127	121	125	144	個人	107	127	98	95	91	94	110	団体	42	45	39	32	30	31	34	うち新規	-	23	16	10	12	19	15
年度	18	19	20	21	22	23	24																																				
登録者数	149	172	137	127	121	125	144																																				
個人	107	127	98	95	91	94	110																																				
団体	42	45	39	32	30	31	34																																				
うち新規	-	23	16	10	12	19	15																																				
事業評価	学びたい意欲を持つ人と自身の持つ力を発信したい人の双方のニーズに応えるシステムの運用によって市民の総合的な学習活動を促進することができた。今後は、より広報に努めるとともに、利用実態を把握し、学校教育での活用や地域活動での人材育成など事業のあり方を検討する必要がある。																																										

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	子どもの居場所づくり支援事業費	所管課	生涯学習課
		決算額	241千円
事業内容	土曜日午前公民館の一室を開放し、公民館サークルや地域ボランティアによる遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導を行う。子どもに生活体験・社会体験・自然体験の機会を提供し、健やかな成長を促す。		
成果・実績	遊びや自然・文化体験またはスポーツなどの学習指導により、子どもたちが学校や家庭では経験できない種々の体験をし、優しさやたくましさを育む活動や場所を提供・支援した。5公民館で開催回数は73回、延べ1,744人が参加した。		
事業評価	公民館サークルや地域住民の協力による様々な体験活動により、地域の人との触れ合いを通して子どもの健やかな成長を促すことができた。今後も地域ぐるみでの子育て支援となるよう創意工夫して事業実施に努める。		

事務事業名	放課後子ども教室支援事業費	所管課	生涯学習課											
		決算額	172千円											
事業内容	平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供し、自主的な学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの支援を行う。また、地域の人材を活用することによって地域と学校との連携を図り、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める。													
成果・実績	遊びや学びの場を提供する地域活動に対して、学習アドバイザー及び安全管理員の派遣を行い、子どもの放課後の居場所を確保した。市内1校で実施した。													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">教室名</th> <th style="width: 25%;">開催場所</th> <th style="width: 25%;">開催期間</th> <th style="width: 10%;">開催回数</th> <th style="width: 15%;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北槇つながりプロジェクト</td> <td>北槇島小学校</td> <td>5月12日～ 25年3月13日</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">延べ1,003人</td> </tr> </tbody> </table>				教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数	北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	5月12日～ 25年3月13日	26	延べ1,003人
教室名	開催場所	開催期間	開催回数	参加人数										
北槇つながりプロジェクト	北槇島小学校	5月12日～ 25年3月13日	26	延べ1,003人										
事業評価	子どもの遊びと学びの場づくりを推進することができた。当初2校の予定であったが、1校のみの実施となり、活動場所の広がりが今後の課題である。													

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館活動費	所管課	生涯学習課																																																		
		決算額	2,682千円																																																		
事業内容	<p>公民館を拠点として活動する市民が、より住みよい地域づくりの担い手として活動するため、市民がいつでも気軽に利用できる公民館を目指し、地域住民の学習意欲や社会の変化に対応する各種講座や教室の開設、文化活動事業など、学習機会を提供する。</p>																																																				
成果・実績	<p>高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを目的に鳳凰大学や各公民館高齢者教室を開催し、子ども対象事業として茶道教室等を行った。また、市民が公民館で学習を通してつながりを作り、地域で活躍するスキルを身に付けてもらうよう、各館の特色を活かして事業に取り組んだ。</p>																																																				
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">中央公民館活動費</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">1,232千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>木幡公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">357千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>宇治公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">305千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小倉公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">485千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広野公民館活動費</td> <td style="text-align: right;">303千円</td> <td></td> </tr> </table>			中央公民館活動費	1,232千円		木幡公民館活動費	357千円		宇治公民館活動費	305千円		小倉公民館活動費	485千円		広野公民館活動費	303千円																																				
	中央公民館活動費	1,232千円																																																			
	木幡公民館活動費	357千円																																																			
	宇治公民館活動費	305千円																																																			
	小倉公民館活動費	485千円																																																			
	広野公民館活動費	303千円																																																			
	<p style="text-align: center;">高齢者を対象とした学級・講座等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 45%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">講座数</th> <th style="width: 25%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学（4コース）</td> <td style="text-align: center;">各10</td> <td style="text-align: center;">3,073</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰大学 大学祭</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">379</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">宇治鳳凰学級</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,238</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">許乃国教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,035</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">小倉蓮の実教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">775</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">広野久里古教室</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,113</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	3,073	宇治鳳凰大学 大学祭	1	379	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,238	木幡	許乃国教室	8	1,035	小倉	小倉蓮の実教室	8	775	広野	広野久里古教室	8	1,113																							
	公民館名	事業名	講座数	参加延べ人数																																																	
	中央	宇治鳳凰大学（4コース）	各10	3,073																																																	
		宇治鳳凰大学 大学祭	1	379																																																	
	宇治	宇治鳳凰学級	8	1,238																																																	
	木幡	許乃国教室	8	1,035																																																	
	小倉	小倉蓮の実教室	8	775																																																	
	広野	広野久里古教室	8	1,113																																																	
<p style="text-align: center;">公民館まつり等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">公民館名</th> <th style="width: 45%;">事業名</th> <th style="width: 15%;">回数</th> <th style="width: 25%;">参加延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">中央</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人形劇フェスティバル</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">385</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">手づくりの劇を学ぶ</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">75</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">宇治</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4,700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">宇治の形・学びの広場</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">木幡</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,700</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">220</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">小倉</td> <td style="text-align: center;">公民館まつり</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1,073</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">茶香服大会</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">31</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">盆おどり大会・講習会</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">317</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ふれあい読み語り講座</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">52</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">広野</td> <td style="text-align: center;">ジャズコンサート</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">156</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">地域生涯学習支援事業</td> <td style="text-align: center;">今昔しゃべり場</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ひろの人形劇</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">95</td> </tr> </tbody> </table>			公民館名	事業名	回数	参加延べ人数	中央	公民館まつり	1	2,000	人形劇フェスティバル	1	385	手づくりの劇を学ぶ	5	75	宇治	公民館まつり	1	4,700	宇治の形・学びの広場	3	54	木幡	公民館まつり	1	1,700	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	5	220	小倉	公民館まつり	1	1,073	茶香服大会	1	31	盆おどり大会・講習会	3	317	ふれあい読み語り講座	3	52	広野	ジャズコンサート	1	156	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	10	ひろの人形劇	2	95
公民館名	事業名	回数	参加延べ人数																																																		
中央	公民館まつり	1	2,000																																																		
	人形劇フェスティバル	1	385																																																		
	手づくりの劇を学ぶ	5	75																																																		
宇治	公民館まつり	1	4,700																																																		
	宇治の形・学びの広場	3	54																																																		
木幡	公民館まつり	1	1,700																																																		
	親と子のちょっとおしゃれな木幡倶楽部	5	220																																																		
小倉	公民館まつり	1	1,073																																																		
	茶香服大会	1	31																																																		
	盆おどり大会・講習会	3	317																																																		
	ふれあい読み語り講座	3	52																																																		
広野	ジャズコンサート	1	156																																																		
	地域生涯学習支援事業	今昔しゃべり場	10																																																		
		ひろの人形劇	2	95																																																	
事業評価	<p>公民館を拠点とした多くの市民の事業への参加・活動により、地域での交流や、生きがいがづくり、地域づくりを進めることができた。今後も年齢を問わず様々な市民が活動できるよう支援するとともに、地域貢献に取り組む人材を育成できるよう事業内容を工夫する必要がある。</p>																																																				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	公民館修繕事業費（臨時分）	所管課	生涯学習課
		決算額	4,116千円
事業内容	公民館において、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることを目的として、バリアフリー化等の改修工事を行う。		
成果・実績	<p>広野公民館において、防水改修（1階屋上部分、玄関の屋根部分等）及び天井改修（玄関の一部）工事を行った。</p> <p style="text-align: center;">広野公民館 工事費 4,116千円</p>		
事業評価	適切な工事の実施により、利用者の安心・安全の確保や利便性を高めることができた。		

事務事業名	総合野外活動センター管理運営費	所管課	生涯学習課																														
		決算額	133,159千円																														
事業内容	「自然とふれあい、自然のなかでの交流」をテーマに、（公財）宇治市野外活動センターを指定管理者として、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理・運営を行う。センターの各施設を活用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などを行う。																																
成果・実績	<p>野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。平成24年度までの延べ利用者数は約113万人となった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">利用者数</th> <th colspan="5" style="text-align: right;">（人）</th> </tr> <tr> <th style="text-align: left;">年度</th> <th style="text-align: center;">20</th> <th style="text-align: center;">21</th> <th style="text-align: center;">22</th> <th style="text-align: center;">23</th> <th style="text-align: center;">24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊</td> <td style="text-align: right;">41,368</td> <td style="text-align: right;">40,666</td> <td style="text-align: right;">41,417</td> <td style="text-align: right;">40,491</td> <td style="text-align: right;">40,370</td> </tr> <tr> <td>日帰り</td> <td style="text-align: right;">51,116</td> <td style="text-align: right;">57,191</td> <td style="text-align: right;">60,736</td> <td style="text-align: right;">65,131</td> <td style="text-align: right;">57,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">92,484</td> <td style="text-align: right;">97,857</td> <td style="text-align: right;">102,153</td> <td style="text-align: right;">105,622</td> <td style="text-align: right;">97,870</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">うち京都府南部地域豪雨災害対応分 施設修繕費 499千円</p>			利用者数	（人）					年度	20	21	22	23	24	宿泊	41,368	40,666	41,417	40,491	40,370	日帰り	51,116	57,191	60,736	65,131	57,500	合計	92,484	97,857	102,153	105,622	97,870
利用者数	（人）																																
年度	20	21	22	23	24																												
宿泊	41,368	40,666	41,417	40,491	40,370																												
日帰り	51,116	57,191	60,736	65,131	57,500																												
合計	92,484	97,857	102,153	105,622	97,870																												
事業評価	指定管理者により適正に管理・運営を行い、京都府南部地域豪雨災害の影響等もあり利用者が減少したものの、グラウンド・ゴルフ場の芝生再生等、施設環境を整えることができた。今後も様々な野外活動を通して、生涯学習の充実に努める。																																

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及	

事務事業名	全日本中学ボウリング選手権大会事業補助金	所管課	生涯学習課
		決算額	4,372千円
事業内容	<p>(一財)地域活性化センターの「スポーツ拠点づくり推進事業」として、平成19年度から平成28年度までの10年間の予定で、本市、宇治市教育委員会、(財)宇治市体育協会、(公財)全日本ボウリング協会などの主催により中学生の全国ボウリング選手権大会を開催する。スポーツ推進とともに、多世代交流、地域交流などを図る。</p>		
成果・実績	<p>40の都道府県から選手193人の参加のもと、7月23日～25日の3日間で大会を実施した。さらに、大会参加者の宿泊所であるアクトパル宇治でお茶会・交流会を開催した。また、同大会の一環として、小学生を対象としたふれあいボウリング教室や、小学4年生～中学2年生を対象としたジュニアボウリングスクールを開催した。</p>		
事業評価	<p>大会の実施によって、スポーツ推進及び地域交流を図ることができた。平成25年度も、参加者の満足度を高めるとともに、全国的に本市の取組を広める機会として、知名度の向上を目指し、さらなる実施内容の充実を図る必要がある。</p>		

事務事業名	スポーツ振興基金活用事業費	所管課	生涯学習課																																								
		決算額	5,428千円																																								
事業内容	<p>市民の健康・体力の増進、競技力の向上、地域コミュニティの形成、競技人口の拡大を図るため、スポーツ振興基金を活用した諸事業を実施する。</p>																																										
成果・実績	<p>基金を活用し、市民レベルのスポーツ交流の促進、競技力の向上、競技人口の拡大を図った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">府民総体選手派遣費</td> <td style="text-align: right;">786千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">参加団体数</td> <td>22団体</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">世界大会等参加者激励金</td> <td style="text-align: right;">2,192千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">交付件数</td> <td>160件</td> <td style="padding-left: 20px;">交付人数</td> <td>230人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">生涯スポーツ育成事業</td> <td style="text-align: right;">300千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(財)宇治市体育協会に委託</td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加団体数</td> <td>13団体</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">ジュニア技術講習会</td> <td style="text-align: right;">150千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宇治市中学校体育連盟に委託</td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加者数</td> <td>255人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">第20回記念宇部市・宇治市スポーツ交流大会</td> <td style="text-align: right;">2,000千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">(財)宇治市体育協会に委託</td> <td></td> <td style="padding-left: 20px;">参加者数</td> <td>616人</td> </tr> </table>			府民総体選手派遣費	786千円			参加団体数	22団体			世界大会等参加者激励金	2,192千円			交付件数	160件	交付人数	230人	生涯スポーツ育成事業	300千円			(財)宇治市体育協会に委託		参加団体数	13団体	ジュニア技術講習会	150千円			宇治市中学校体育連盟に委託		参加者数	255人	第20回記念宇部市・宇治市スポーツ交流大会	2,000千円			(財)宇治市体育協会に委託		参加者数	616人
府民総体選手派遣費	786千円																																										
参加団体数	22団体																																										
世界大会等参加者激励金	2,192千円																																										
交付件数	160件	交付人数	230人																																								
生涯スポーツ育成事業	300千円																																										
(財)宇治市体育協会に委託		参加団体数	13団体																																								
ジュニア技術講習会	150千円																																										
宇治市中学校体育連盟に委託		参加者数	255人																																								
第20回記念宇部市・宇治市スポーツ交流大会	2,000千円																																										
(財)宇治市体育協会に委託		参加者数	616人																																								
事業評価	<p>各取組によって市民スポーツの水準向上とスポーツ人口の拡大を図ることができた。基金の活用については計画的な財源運用を行うとともに、激励金については適正な交付基準を検討した上で平成25年度も継続実施する。</p>																																										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	02 スポーツ・レクリエーションの普及


所管部局
教育部


事務事業名	各種大会事業補助金	所管課	生涯学習課																
		決算額	4,090千円																
事業内容	地域に根ざした市民スポーツの推進と競技力の向上を目的に、各種大会等の体育団体の事業を助成し、自主活動の促進と団体育成を図る。																		
成果・実績	<p>大会等に助成を行い、自主活動の促進や団体育成に努めた。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">市長杯等各種競技大会補助金</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">1,000千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">12,681人</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ大会補助金</td> <td style="text-align: right;">340千円</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td style="text-align: right;">630人</td> </tr> <tr> <td>地域体育振興事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,500千円</td> </tr> <tr> <td>加盟数</td> <td style="text-align: right;">39,073世帯</td> </tr> <tr> <td>スポーツ少年団育成事業補助金</td> <td style="text-align: right;">1,100千円</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td style="text-align: right;">65団体</td> </tr> </table>			市長杯等各種競技大会補助金	1,000千円	参加者数	12,681人	障害者スポーツ大会補助金	340千円	参加者数	630人	地域体育振興事業補助金	1,500千円	加盟数	39,073世帯	スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円	団体数	65団体
市長杯等各種競技大会補助金	1,000千円																		
参加者数	12,681人																		
障害者スポーツ大会補助金	340千円																		
参加者数	630人																		
地域体育振興事業補助金	1,500千円																		
加盟数	39,073世帯																		
スポーツ少年団育成事業補助金	1,100千円																		
団体数	65団体																		
事業評価	各種団体が主催する大会を支援し、本市の競技レベルの向上や市民スポーツの推進を図ることができた。平成25年度も継続して支援を行う。																		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	教育だより発行費	所管課	教育指導課
		決算額	479千円
事業内容	市内幼稚園、小・中学校、高等学校、保育所の保護者及び市民に対して、本市の教育施策や特色ある教育活動等時宜を得た教育行政情報の提供を行うため、「宇治市の教育だより」を発行する。		
成果・実績	<p>第61・62・63号を発行し、本市小中一貫教育全面実施の取組を中心に、幼稚園児や小・中学生の活躍の様子、各幼稚園、小・中学校の特色ある取組、子育て応援コラムなど、本市の教育行政及び幼稚園・学校教育等に係る情報を記載した。</p> <p>教育だより発行回数 3回 教育だより発行部数 19,500部（1回につき）</p> 		
事業評価	教育だよりの発行によって、保護者・市民へ本市教育行政の周知と理解を図ることができた。今後も内容の充実を図り積極的に教育情報の発信を行う。		

事務事業名	英語指導助手設置費	所管課	教育指導課
		決算額	43,923千円
事業内容	<p>児童・生徒の国際理解教育とコミュニケーション能力の向上を図るため、英語指導助手（AET）を、幼稚園、小・中学校に派遣する。</p> <p>また、教職員研修の実施を行うとともに、生涯学習の一環として市民への学習機会の提供を図る。</p>		
成果・実績	<p>本市の友好都市であるカナダのカムループス市から招致した2人と、JETプログラムで招致した8人を、英語指導助手として市立小・中学校へ派遣した。また、市立幼稚園にも定期的に派遣した。</p> <p>英語指導助手 10人 小学校派遣日数 770日 中学校派遣日数 851日 幼稚園派遣日数 85日</p> 		
事業評価	英語指導助手の活用によって、園児、児童・生徒の国際理解を深め、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。今後の継続実施にあたって、英語指導助手の増員効果を検証し、効果的な活用や手法の検討を進める必要がある。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	講座等開催費	所管課	教育指導課
		決算額	305千円
事業内容	学校教育に係る体系的な教職員研修と校内研修への助成を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実・発展を図る。		
成果・実績	<p>一般研修 開催数 26回 受講者数 1,031人 道徳教育公開授業講座、中堅教職員養成講座、人権教育研修講座など</p> <p>専門研修 開催数 2回 受講者数 51人 小学校外国語活動研修講座、小学校外国語活動公開授業</p> <p>情報教育研修 開催数 8回 受講者数 117人 ICT活用講座、情報モラル教育研修講座など</p>		
事業評価	多くの教職員が参加し、指導力の向上を図ることができた。近年は退職者・新規採用者が多く、多様な教育課題に対応できる学校全体の教育力の維持・向上と人材育成を進めるため、平成25年度も継続実施する。		



事務事業名	青少年電話相談活動費	所管課	教育指導課																				
		決算額	1,025千円																				
事業内容	青少年の人的成長を育むため、市民ボランティア相談員が電話で青少年問題に係る相談を受ける。																						
成果・実績	<p>午前9時～午後5時まで3交替制で245日、相談を実施した。相談内容は「家族」、「性」、「教育」、「健康」に関わる相談が全体の6割を占めており、さらに青少年に関わる相談は全体の4割程度となっている。</p> <p style="text-align: center;">相談件数推移 (件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>16</th> <th>17</th> <th>18</th> <th>19</th> <th>20</th> <th>21</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,087</td> <td>1,181</td> <td>1,116</td> <td>1,261</td> <td>955</td> <td>886</td> <td>630</td> <td>697</td> <td>477</td> </tr> </tbody> </table>			年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	件数	1,087	1,181	1,116	1,261	955	886	630	697	477
年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24														
件数	1,087	1,181	1,116	1,261	955	886	630	697	477														
事業評価	相談体制の整備によって相談者にとっての心の支えとなることができた。相談件数は減少傾向であり、市民ニーズや事業効果を考慮した上で、京都府等ほかの様々な相談窓口との役割分担や制度の周知など、運営手法を検討する必要がある。																						

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	教育研究費	所管課	教育指導課																		
		決算額	483千円																		
事業内容	<p>様々な教育課題を解決するため、指導主事と教育研究員が協働して学校教育に係る指導・助言や教育相談を行う。また、教育研究員が日常の教育実践に基づいた教育研究を行い、学校教育の充実を図る。</p>																				
成果・実績	<p>5部会で教育研究を行い、その成果を公開授業や本市教育委員会ホームページ、本市教職員研修講座などにより報告した。</p> <p style="text-align: center;">教育研究員部会と研究内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">設置部会</th> <th style="width: 15%;">部員数</th> <th style="width: 60%;">主な研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校安全研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>学校防災計画改編のためのモデルに関する研究</td> </tr> <tr> <td>学力充実研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小・中学校の学力充実・向上に関する研究</td> </tr> <tr> <td>外国語活動研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>小中一貫教育に資する外国語活動の在り方</td> </tr> <tr> <td>道徳教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究</td> </tr> <tr> <td>情報教育研究部</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>教科指導における効果的なICT活用に係る研究</td> </tr> </tbody> </table>			設置部会	部員数	主な研究内容	学校安全研究部	6	学校防災計画改編のためのモデルに関する研究	学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究	外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方	道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究	情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究
設置部会	部員数	主な研究内容																			
学校安全研究部	6	学校防災計画改編のためのモデルに関する研究																			
学力充実研究部	6	小・中学校の学力充実・向上に関する研究																			
外国語活動研究部	6	小中一貫教育に資する外国語活動の在り方																			
道徳教育研究部	6	道徳的価値の内面的自覚を促す指導方法研究																			
情報教育研究部	6	教科指導における効果的なICT活用に係る研究																			
事業評価	<p>教育研究員の日常の教育実践に基づいた研究によって、本市学校教育の課題解決を図ることができた。時宜に応じて教育課題に適切に対応する教育力向上の一助とし、児童・生徒の健やかな成長を図るため平成25年度も継続実施する。</p>																				

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	01 幼稚園、小・中学校教育の充実

所管部局
教育部

事務事業名	小中一貫教育推進費	所管課	小中一貫教育課
		決算額	47,243千円
事業内容	<p>義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的、継続的な指導を行い、子どもたちの学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせることをねらいとした小中一貫教育を推進する。全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進め、小中一貫教育を実施する。</p>		
成果・実績	<p>平成24年度の小中一貫教育全面実施に伴い、全ての中学校ブロックにチーフコーディネーターと教科連携教員を配置し、きめ細かな指導を進めた。</p> <p>また、本市ならではの小中一貫教育を推進するため、宇治市小中一貫教育推進協議会による取組状況の進行管理や、各中学校ブロックの取組への支援及びリーフレットの発行による広報や啓発を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">宇治市小中一貫教育推進協議会 173千円 学識経験者、保護者、地域団体、教職員により構成し、小中一貫教育の進行管理を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">小中一貫教育取組推進教員の配置 46,179千円 全中学校ブロックへ小中一貫教育非常勤講師（チーフコーディネーターの後補充教員及び教科連携教員）を配置した。</p> <p style="margin-left: 20px;">広報及び啓発 856千円 小中一貫教育の推進及び周知のため、リーフレットを作成し、市内幼稚園、保育所及び小・中学校の各家庭、公民館等の市関係機関に配付した。 また、各中学校ブロックにおいても小中一貫教育の取組を紹介するリーフレット等を作成し、周知・啓発を行った。</p>		
事業評価	<p>平成24年4月から小中一貫教育を全面実施し、体制を整えながら円滑に実施することができた。今後も本市の小中一貫教育の取組について市民や保護者へ周知を図るとともに、教育の効果について検証を行った上で改善を図っていく必要がある。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	02 学校教育環境の充実


所管部局
教育部


事務事業名	宇治黄檗学園整備事業費	所管課	小中一貫教育課																								
		決算額	965,787千円																								
事業内容	小中一貫教育を推進するため、パイロット校として宇治小学校敷地に施設一体型小中一貫校（宇治黄檗学園）を整備する。																										
成果・実績	<p>平成24年度4月に開校した宇治黄檗学園の整備のため、第一体育館・メイングラウンドの整備等を行った。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">建築工事</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">620,873千円</td> <td style="width: 30%;">（以下平成23年度からの繰越）</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>機械工事</td> <td style="text-align: right;">78,171千円</td> <td>宇治小学校旧校舎解体工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気工事</td> <td style="text-align: right;">59,538千円</td> <td>建築工事</td> <td style="text-align: right;">36,533千円</td> </tr> <tr> <td>グラウンド整備工事</td> <td style="text-align: right;">130,255千円</td> <td>機械工事</td> <td style="text-align: right;">1,923千円</td> </tr> <tr> <td>工事監理委託</td> <td style="text-align: right;">11,121千円</td> <td>電気工事</td> <td style="text-align: right;">1,344千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入</td> <td style="text-align: right;">10,245千円</td> <td>工事監理委託</td> <td style="text-align: right;">582千円</td> </tr> </table>			建築工事	620,873千円	（以下平成23年度からの繰越）		機械工事	78,171千円	宇治小学校旧校舎解体工事		電気工事	59,538千円	建築工事	36,533千円	グラウンド整備工事	130,255千円	機械工事	1,923千円	工事監理委託	11,121千円	電気工事	1,344千円	備品購入	10,245千円	工事監理委託	582千円
建築工事	620,873千円	（以下平成23年度からの繰越）																									
機械工事	78,171千円	宇治小学校旧校舎解体工事																									
電気工事	59,538千円	建築工事	36,533千円																								
グラウンド整備工事	130,255千円	機械工事	1,923千円																								
工事監理委託	11,121千円	電気工事	1,344千円																								
備品購入	10,245千円	工事監理委託	582千円																								
事業評価	平成24年度からの開校にあたって、計画通りに施設整備等が完了し、児童・生徒の学習環境を充実させることができた。																										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成


所管部局
教育部

事務事業名	少年補導活動費	所管課	青少年課
		決算額	5,426千円
事業内容	少年補導委員を中心に、街頭補導活動、社会環境浄化活動、市民啓発活動等を実施し、地域での青少年非行の未然防止に努め、青少年の健全育成を図る。		
成果・実績	<p>各小学校区ごとに補導委員として112人を委嘱し、毎月の校区補導、特別ブロック補導、県祭り、宇治川花火大会での全体補導、パネル展、街頭啓発活動、地域懇談会、社会環境調査、浄化活動などを実施した。また、委員所有の車両8台を青色パトロールカーに登録した。</p> <p>啓発パネル展 2回開催 （7月3日～13日、11月6日～16日） 地域懇談会（校区の小・中学校及び育友会と共催） 10中学校区で開催</p> 		
事業評価	地域住民による警察と連携した活動により、青少年の非行の未然防止を図ることができた。今後も市民啓発と委員研修の充実を行うとともに、委員の人材確保に努める必要がある。		

事務事業名	中学生の主張大会開催費	所管課	青少年課
		決算額	667千円
事業内容	中学生、保護者、市民などが参加し、各中学校の代表生徒が主張を発表して互いに考え学び合う機会とするとともに、市民全般に中学生への理解と認識を深め、青少年の健全育成を推進する。		
成果・実績	<p>中学生が考え、悩み、求めていることを発表し、市民の青少年に対する理解と認識を深めるため、第31回宇治市「中学生の主張」大会を開催した。</p> <p>開催日 10月30日 開催場所 宇治市文化センター 小ホール 発表者数 中学生11人 参加者 408人</p> 		
事業評価	中学生が学校や家庭・地域での生活の中で、考え、悩み、求めていることを発表することにより、同世代の青少年が学び合うとともに、中学生への理解と認識を深めることができた。一般参加の増加を図るため広報の充実を図り、平成25年度も継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	01 学校教育の充実	
小分類	03 青少年の健全育成	

事務事業名	青少年健全育成推進費	所管課	青少年課						
		決算額	2,409千円						
事業内容	<p>青少年の健全育成及び社会環境づくりの推進を図るため、社会参加等の青少年育成事業を実施するとともに、青少年育成団体の活動を助成し、青少年育成に係る啓発活動を行う。</p>								
成果・実績	<p>市内団体で組織されている地区青少年健全育成協議会の活動に対し援助を行った。また、次世代の地域活動を担う人材育成のため、ジュニアリーダーの養成学習会をマリリンピアで行った。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 40%;">青少年健全育成協議会補助金</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">1,500千円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>ジュニアリーダー養成学習会</td> <td style="text-align: right;">909千円</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>			青少年健全育成協議会補助金	1,500千円		ジュニアリーダー養成学習会	909千円	
青少年健全育成協議会補助金	1,500千円								
ジュニアリーダー養成学習会	909千円								
事業評価	<p>各種関係団体が連携しながら、青少年の自発的な社会参加を求め、青少年の健全育成を図ることができた。活動スタッフの確保や、中・高校生のジュニアリーダー人員の減少などの課題があり、活動の維持のため広報に努めながら平成25年度も継続実施する。</p>								

事務事業名	生徒指導研究推進費	所管課	青少年課												
		決算額	3,898千円												
事業内容	<p>児童・生徒の問題行動は低年齢化等の課題があり、適切な指導体制、相談体制を確保するため、生徒指導の推進と研究、指導体制の整備、保護者に対する啓発などを行う。</p>														
成果・実績	<p>生徒指導の研究や保護者への啓発を行うとともに、児童・生徒の問題行動に対し適切な指導を行うため、教職員に対して研修助成、事例研究セミナーなどを開催した。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;">問題行動</td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">延べ指導人数</td> <td style="width: 10%;">小学校</td> <td style="width: 15%;">695人（前年比 155人増）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1,627人（前年比 135人増）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不登校</td> <td rowspan="2">人数</td> <td>小学校</td> <td>52人（前年比 9人増）</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>165人（前年比 5人減）</td> </tr> </table>			問題行動	延べ指導人数	小学校	695人（前年比 155人増）	中学校	1,627人（前年比 135人増）	不登校	人数	小学校	52人（前年比 9人増）	中学校	165人（前年比 5人減）
問題行動	延べ指導人数	小学校	695人（前年比 155人増）												
		中学校	1,627人（前年比 135人増）												
不登校	人数	小学校	52人（前年比 9人増）												
		中学校	165人（前年比 5人減）												
事業評価	<p>研修や啓発などにより、適切な生徒指導を行うことができた。今後は、低年齢化や、新たなタイプの問題行動・不登校にも対応するために、専門家による相談体制の充実や学校・教員への支援などの検討を行いながら、さらなる指導力の向上を図る必要がある。</p>														

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	01 学校教育の充実
小分類	03 青少年の健全育成

所管部局
教育部

事務事業名	適応指導教室運営費	所管課	青少年課																	
		決算額	8,662千円																	
事業内容	不登校の児童・生徒が学校生活や社会生活に適応できるよう、教室を開設し、指導員とカウンセラーが個別及び集団による援助・指導を行う。																			
成果・実績	<p>小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童・生徒に対して、個々の状態に応じて適応指導教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、学校復帰へ向けて支援を行った。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">在籍児童生徒数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">9人</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">改善状況</td> <td>学校復帰</td> <td>2人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>部分登校</td> <td>3人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>好転</td> <td>4人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>変化なし</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> </table>			在籍児童生徒数		9人		改善状況	学校復帰	2人		部分登校	3人		好転	4人		変化なし	0人	
在籍児童生徒数		9人																		
改善状況	学校復帰	2人																		
	部分登校	3人																		
	好転	4人																		
	変化なし	0人																		
事業評価	教室を通して支援・指導を行うことで、児童・生徒の学校・社会生活への適応を促進することができた。複合した要因を持つ不登校児童・生徒が増加傾向にあり、多様な対応が求められるため、今後も学校や関係機関との連携を強化し、学校復帰できるよう効果的な教室運営に努める。																			

事務事業名	心と学びのパートナー派遣事業費	所管課	青少年課								
		決算額	2,581千円								
事業内容	問題行動や不登校の未然防止を図るため、生徒がいつでも気軽に相談できるよう、身近に感じられる兄弟的な若い世代の相談員を配置し、別室登校や不登校傾向生徒の援助を行う。										
成果・実績	<p>別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を市内10中学校に派遣した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">相談件数</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">530件</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>対応延べ人数</td> <td></td> <td>2,014人</td> <td></td> </tr> </table>			相談件数		530件		対応延べ人数		2,014人	
相談件数		530件									
対応延べ人数		2,014人									
事業評価	相談員の配置によって気軽に相談できる環境を整備し、家庭・学校・関係機関等と連携しながら問題行動や不登校の未然防止を図ることができた。相談件数は増加しており、今後も相談員となる人材の確保に努める必要がある。										

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	所管課	青少年課
中分類	01 学校教育の充実	決算額	805千円
小分類	03 青少年の健全育成		

事務事業名	メンタルフレンド推進事業費	所管課	青少年課										
事業内容	家庭に閉じこもった状態の不登校児童・生徒宅へ学生ボランティアを派遣し、心の触れ合いを通して学校復帰へのきっかけをつくる。												
成果・実績	学生ボランティアが家庭訪問を行い、不登校、引きこもり状態の児童・生徒（小学校3年生～中学校3年生）に寄り添いながら相談活動を通して学校生活への復帰を支援した。 <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td>派遣家庭児童・生徒数</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>改善状況</td> <td>学校復帰 2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>部分登校 2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>好転 0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>変化なし 0人</td> </tr> </table>			派遣家庭児童・生徒数	4人	改善状況	学校復帰 2人		部分登校 2人		好転 0人		変化なし 0人
派遣家庭児童・生徒数	4人												
改善状況	学校復帰 2人												
	部分登校 2人												
	好転 0人												
	変化なし 0人												
事業評価	児童・生徒の生活に寄り添った相談を実施し、学校復帰へのきっかけを提供できた。今後も学校と連携し、訪問対象家庭への働きかけを強化するとともに、メンタルフレンドの研修の充実を図り、学校復帰できるよう効果的な支援を行う。												

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	企画展示費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,976千円
事業内容	企画展を目的とした来館者・リピーターを誘致するとともに、ミュージアムの広報・宣伝のため、美術工芸品等の館藏品だけではなく、他館や関係者から作品・資料を借用し、毎回テーマを決めて魅力ある展示を行う。		
成果・実績	<p>源氏物語と平安時代の文化を中心に、様々な趣向をこらした展示を行った。</p> <p>宇治川歴史散歩 後期 3月20日～4月15日 宇治十帖の舞台・宇治川周辺の歴史や文化について、絵図や屏風などを展示した。</p> <p>都名所図会の世界 源氏物語と平家物語 前期 4月18日～5月27日 後期 5月29日～7月8日 江戸時代のベストセラー「都名所図会」（歴史資料館所蔵）などに描かれた「源氏物語」・「平家物語」ゆかりの地を紹介した。</p> <p>のぞいてみよう！平安時代 貴族のくらしと文化 7月11日～9月30日 館藏品「源氏絵鑑帖」を中心に平安貴族の住まい、調度品、装束、遊びなどを読み解き紹介した。夏休み期間中に開催し、小・中学生を対象とした。</p> <p>物語のなかの宇治 源氏物語から平家物語へ 前期 10月3日～10月21日 中期 10月23日～11月11日 後期 11月13日～12月2日 悲恋の物語の舞台から合戦の場へ。宇治川先陣争いをはじめ主要な戦場となった宇治を紹介した。</p> <p>パノラマ・源氏名所めぐり 12月5日～平成25年2月17日 大正から昭和の初めに流行したパノラマ地図とともに、源氏物語ゆかりの名所を訪ねる時空の旅を演出した。</p> <p>たおやかなる源氏物語の世界 前期 平成25年2月20日～3月17日 後期 平成25年3月19日～4月21日 染色作家・東矢千嘉子新作の「源氏物語」をテーマとした京友禅の訪問着10点を初公開した。</p>		
事業評価	毎回テーマを工夫し魅力ある企画展を開催することにより、多くの入館者の誘致を図ることができた。今後も、時宜に応じたテーマ設定や展示内容・見せ方等について工夫するとともに、積極的に広報を行い、新たな入館者の増加を目指す。		



平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	源氏物語ミュージアム広報活動費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	1,097千円
事業内容	源氏物語をテーマとしたまちづくりの中核的役割を担う施設として、新規来館者の獲得をはじめ、リピーター等の来館者の増加を目指して広報宣伝活動を行う。		
成果・実績	旅行情報誌等、計6誌に当館の広告を掲載した。広告には観覧料の割引を付け、来館者増加に向けて積極的に周知・PRを行った。		
事業評価	雑誌広告を中心とした広報活動により、当館の認知度を高め、入館者の誘致を図ることができた。今後も、新たな入館者の増加を図るために、より効果的な広報手法を検討・試行する必要がある。		

事務事業名	講座等開催費	所管課	源氏物語ミュージアム
		決算額	605千円
事業内容	源氏物語や平安時代の文化について、来館者の理解をより深めるために、講演会、講座などを実施する。ミュージアムの展示を観覧することによって興味、関心を抱いた利用者のニーズに応え、さらに学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人にミュージアムそのものの存在を知ってもらうきっかけをつくる。		
成果・実績	<p>連続講座、源氏物語セミナーは、平安時代の文学・歴史を専門とする研究者を講師に迎え、最新の研究を織り交ぜつつ講義をしていただき、より深く学べる場を提供した。かるた教室は、子どもたちが積極的に参加し、恒例の行事として定着してきた。</p> <p>連続講座「光源氏誕生に迫る - 平安時代の天皇とその周辺 - 」(全10回) 5月～平成25年3月 参加者数 延べ1,146人</p> <p>入門講座「光源氏たちの人生 - 通過儀礼を中心に - 」(全10回) 5月～平成25年3月 参加者数 延べ1,283人</p> <p>十二単着付け体験(1回) 8月23日 参加者数 50人</p> <p>源氏物語セミナー「平家と『源氏物語』」(1回) 10月18日 参加者数 124人</p> <p>かるた教室(1回) 平成25年2月23日 参加者数 90人</p> <p>ひとりものがたり「源氏物語 手習」(1回) 平成25年3月15日 参加者数 45人</p>		
事業評価	講座や講演会の開催によって、参加者の源氏物語や平安時代の文化への理解を深めることができた。今後も、魅力ある講師選定やテーマ設定、ニーズ把握に努め、幅広い年齢層や新たな参加者の増加を目指す。		



平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,101千円

事業内容 宇治市生涯学習推進プランに基づき、生涯学習センターや公民館などで、市民のライフステージに対応した講座や事業を実施し、学習の機会を提供する。

各種講座を実施し、学習機会の確保と学習情報提供の充実など生涯学習を推進した。

社会・時代の変化に対応する講座

事業名	回数	参加人数
環境講座「省エネで快適な暮らしを考える」	4	123
安心Myコミュニティのための防災減災 ～地震に備える～	3	58
暮らしに役立つ金融経済講座	3	204

青少年を対象とする講座・事業

事業名	回数	参加人数
スポーツチャンバラ広場	10	290
夏休み子どもフェア(2日間)	1	2,800
青少年のたまり場	10	16

成果・実績



夏休み子どもフェア



国際交流講座

教養講座

事業名	回数	参加人数
国際交流講座「こんにちは！AETです」	1	22
舞台芸術体験事業 「みんなで歌おう！みんなで踊ろう！ふれあい音楽会」	3 (練習)	65
	1 (当日)	207
古事記の魅力を探る	3	192
宇宙の不思議～大人のための自然科学入門～	3	112

映画鑑賞事業

事業名	回数	参加人数
文化庁優秀映画鑑賞推進事業(2日間)	1	668
第15回バリアフリー映画上映会	1	300

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部



事務事業名	生涯学習センター講座等開催費	所管課	生涯学習センター
		決算額	2,101千円

成果・実績	生涯学習団体等の育成・人材養成と活用																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター協力者・グループ交流会</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>ロビー展 ミニ講習会</td> <td>10</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>うじ市民活動サポート事業(11事業)</td> <td>31</td> <td>1,893</td> </tr> <tr> <td>食育ボランティア養成講座</td> <td>5</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>地域で過ごすセカンドライフ講座</td> <td>3</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>セカンドライフ相談・交流会</td> <td>4</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>Uji 手作り市</td> <td>10</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	センター協力者・グループ交流会	1	7	ロビー展 ミニ講習会	10	110	うじ市民活動サポート事業(11事業)	31	1,893	食育ボランティア養成講座	5	166	地域で過ごすセカンドライフ講座	3	32	セカンドライフ相談・交流会	4	71	Uji 手作り市	10	145
	事業名	回数	参加人数																								
	センター協力者・グループ交流会	1	7																								
	ロビー展 ミニ講習会	10	110																								
	うじ市民活動サポート事業(11事業)	31	1,893																								
	食育ボランティア養成講座	5	166																								
	地域で過ごすセカンドライフ講座	3	32																								
	セカンドライフ相談・交流会	4	71																								
	Uji 手作り市	10	145																								
家庭の教育力向上のための講座																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おやこっころんど</td> <td>12</td> <td>911</td> </tr> <tr> <td>中学生の福祉体験事業</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>小学生の親のための講座(前期)(後期)</td> <td>4</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>思春期講座(前期)(後期)</td> <td>4</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>親子で楽しくクッキング</td> <td>2</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	おやこっころんど	12	911	中学生の福祉体験事業	1	18	小学生の親のための講座(前期)(後期)	4	83	思春期講座(前期)(後期)	4	99	親子で楽しくクッキング	2	49							
事業名	回数	参加人数																									
おやこっころんど	12	911																									
中学生の福祉体験事業	1	18																									
小学生の親のための講座(前期)(後期)	4	83																									
思春期講座(前期)(後期)	4	99																									
親子で楽しくクッキング	2	49																									
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>食育ボランティア養成講座</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>親子で楽しくクッキング</p> </div> </div>																											
その他の事業																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NHK公開セミナー「特別展覧会 エル・グレコ」</td> <td>1</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>NHK公開セミナー「特別展覧会 ポストン美術館 日本美術の至宝」</td> <td>1</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>夏休み親子クッキング</td> <td>1</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	参加人数	NHK公開セミナー「特別展覧会 エル・グレコ」	1	153	NHK公開セミナー「特別展覧会 ポストン美術館 日本美術の至宝」	1	155	夏休み親子クッキング	1	26													
事業名	回数	参加人数																									
NHK公開セミナー「特別展覧会 エル・グレコ」	1	153																									
NHK公開セミナー「特別展覧会 ポストン美術館 日本美術の至宝」	1	155																									
夏休み親子クッキング	1	26																									

事業評価	講座等の開催により、市民の生涯学習の充実、地域での市民交流、地域で活動する人材の育成を図ることができた。今後も市民が主体的に生涯学習に取り組む機会を提供するとともに、成果を活かしながら地域の活性化を目指す。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)	所管課	生涯学習センター
		決算額	320千円
事業内容	市民への幅広い学習機会の提供と、学習の場の充実を図る。そのため、生涯学習のきっかけづくりと学習成果の発表の場である「市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)」を開催する。		
成果・実績	<p>「つながれ ひろがれ まなびのわ」をテーマに、市民公募による実行委員会形式によって、「宇治まなびんぐ2013」を平成25年2月9日・10日に開催した。生涯学習活動に取り組む人の成果発表及び市民間の交流、また、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として、37団体・個人が出展等を行い、延べ約1,800人が参加した。今回はまなびんぐ20周年にあたる年であったため、実行委員会企画としてパネル展示「まなびんぐの歩み」を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>手づくり体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>よさこい踊り体験</p> </div> </div>		
事業評価	市民主体で生涯学習の発表の場を設け、学習意欲の向上と市民相互の交流を進めることができた。今後も出展者同士、また来場者との交流を進めるとともに、参加者の増加を促し、市全体での生涯学習の発展を目指す。		

事務事業名	生涯学習推進費(学習情報の収集と提供)	所管課	生涯学習センター
		決算額	81千円
事業内容	市民へ適切かつ迅速に情報提供できるよう、学習情報を収集・整理し、生涯学習センター内に情報コ-ナ-を設置する。また、視聴覚ビデオライブラリーの活用を図る。		
成果・実績	<p>視聴覚ライブラリーで、多様なジャンルの視聴覚教材を1,500本以上所蔵し、市民の生涯学習や小中学校での学習に活用されるよう広報に取り組むとともに、映像ソフト(DVD)5組を購入し教材を充実した。</p> <p style="text-align: center;">視聴覚ライブラリー教材購入費 81千円</p>		
事業評価	学習情報の提供により、市民の生涯学習や地域活動を促進することができた。今後も周知方法の工夫等により、多くの市民が幅広く活用できるよう継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	高齢者活動事業費	所管課	生涯学習センター
		決算額	494千円
事業内容	宇治市高齢者活動基金を活用し、高齢者（おおむね65才以上）を対象に、「シルバーコーラスの集い」を実施する。		
成果・実績	「第14回シルバーコーラスの集い」を実行委員会形式によって、10月に文化センター大ホールで開催した。京都府南部地域からの参加も含め、14団体、出演者・来場者合わせて約800人が集い、日頃の活動成果の発表と参加者同士の交流を行った。		
事業評価	高齢者の生きがいつくりと参加者同士の交流を図ることができた。「シルバーコーラスの集い」は平成25年度で終了予定であり、今後は、新たな高齢者の学びと交流を支援する事業のあり方や運営方法について検討を行う必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供事業	所管課	各図書館	
		決算額	19,938千円	
事業内容	<p>市民の生涯学習推進のため、教養書、参考書、実用書、児童書などの資料を幅広く収集し、知識・情報を豊富に提供する。また、インターネットでの図書検索・予約や、図書館以外の施設での予約本の受け取り、土日・祝日の開館などのサービスを実施するとともに、イベント、図書館見学や職場体験学習など、市民が読書や図書館に親しむ機会をつくる。</p>			
成果・実績	中央図書館資料提供費	11,350千円		
	東宇治図書館資料提供費	4,294千円		
	西宇治図書館資料提供費	4,294千円		
	資料数			
	館名	購入冊数	年度末蔵書数 (冊)	購入雑誌 (誌)
	中央図書館	4,542	178,878	81
	東宇治図書館	2,428	60,990	48
	西宇治図書館	2,655	69,793	48
	合計	9,625	309,661	177
	資料の利用			
館名等	貸出冊数	延べ貸出者数	登録者数	
中央図書館	407,222	94,126	84,899	
東宇治図書館	203,048	49,114		
西宇治図書館	236,277	57,359		
団体貸出	6,969	-		
合計	853,516	200,599		
市民登録率 (%)				
43.5				
団体貸出				
11団体（地域文庫・家庭文庫）に、5,245冊の貸出を行った。				
18団体（幼稚園、小・中学校）に、1,724冊の貸出を行った。				
予約配本サービス				
図書館から遠い地域の利用者へのサービス向上のため、予約図書を週1回指定された5カ所の公共施設等に搬送し、12,843冊の貸出を行った。				
資料の活用（リサイクル事業）				
平成11年度から「青空リサイクル市」を年1回開催して、除籍した図書や保存期限の過ぎた雑誌などを市民に還元した。				
また、児童書を中心に、市内の保育所、幼稚園、小・中学校に提供した。				
リサイクルした冊数 7,367冊（学校等 868冊、市民 6,499冊）				

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	01 生涯学習の推進

所管部局
教育部

事務事業名	図書館資料提供事業	所管課	各図書館
		決算額	19,938千円

成果・実績	<p>読書の普及に向けて下記の活動を行った。</p> <p>図書展示</p> <p>一般書 中央図書館：「春うらら。～桜の出てくる本～」ほか8回 東宇治図書館：「春いっぱい 花いっぱい」ほか14回 西宇治図書館：「環境問題を考える本」ほか7回</p> <p>児童書 中央図書館：「へびの本～ぼくはへびだぞ～」ほか10回 東宇治図書館：「そとにでようよ！てくてくトコトコ」ほか11回 西宇治図書館：「元気にスタート！」ほか11回</p>														
	<p>図書展示「おかしなおはなし おかしの本」</p> <p>読書推進事業「会津若松 山本八重から 新島八重へ～会津鶴ヶ城籠城から～」</p>														
	<p>読書推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>9</td> <td>465</td> <td rowspan="3">季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>6</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>6</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	9	465	季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)	東宇治図書館	6	130	西宇治図書館	6	219
	館名	回数	参加者数	内容											
中央図書館	9	465	季節、読書週間に合わせた事業 (夏休み行事、クリスマス会、 工作教室、講演など)												
東宇治図書館	6	130													
西宇治図書館	6	219													
<p>おはなしかい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>館名</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央図書館</td> <td>11</td> <td>132</td> <td rowspan="3">絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど</td> </tr> <tr> <td>東宇治図書館</td> <td>12</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>西宇治図書館</td> <td>10</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	館名	回数	参加者数	内容	中央図書館	11	132	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど	東宇治図書館	12	88	西宇治図書館	10	65	
館名	回数	参加者数	内容												
中央図書館	11	132	絵本の読み聞かせ、紙芝居、 ペープサートなど												
東宇治図書館	12	88													
西宇治図書館	10	65													

学校等連携


館名	図書館見学会 (小学校・幼稚園等)		中学生の 職場体験学習	
	学校数 (校・園)	参加者数	学校数 (校)	人数
中央図書館	10	914	4	8
東宇治図書館	4	379	1	3
西宇治図書館	4	273	1	2


事業評価	<p>幅広い資料の収集やインターネットでの予約サービスなどの取組により、豊富な知識・情報の提供を行い、市民の生涯学習を促進することができた。今後も、運営・整備手法を検討しながら、市民の利便性の向上と多様なニーズへの対応に努める。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	資料調査整理費	所管課	歴史資料館
		決算額	309千円
事業内容	<p>歴史資料を調査・収集し、研究成果を展覧会、講演会、図書の刊行などにより公開するとともに、保存して後世に伝えていく。宇治関係資料について調査を行い、データの充実を図る。また、収蔵資料調査報告書で成果を広く公開する。</p>		
成果・実績	<p>旧家や社寺等が所蔵している古文書や民具等の資料を調査し、必要な資料の写真撮影を行った。また、当館所蔵の資料の調査成果をまとめた「収蔵資料調査報告書」を刊行し、成果を広く公開した。</p> <p style="text-align: center;">収蔵資料調査報告書発行数 400部</p>		 <p style="text-align: center;">片岡道二家文書をまとめた 「収蔵資料調査報告書」15</p>
事業評価	<p>歴史資料の調査や適切な保存などにより、本市の歴史・文化を後世に伝え、市民の生涯学習を促進することができた。今後も継続的な調査によって資料の充実に努めるとともに、収集した資料を広く市民に公開する。</p>		

事務事業名	資料収集保存費	所管課	歴史資料館
		決算額	465千円
事業内容	<p>資料を購入して充実を図り、より良い状態で後世に伝えるため、資料の燻蒸・修繕を行う。</p>		
成果・実績	<p>宇治関係資料として浮世絵、近代資料等を購入した。</p> <p>主な購入資料 国芳浮世絵「宇治川先陣」 第一期水力電気事業沿革志（附属図譜とも） 大日本神社仏閣名所産物玉づくし 山城国宇治絵図独案内</p>		 <p style="text-align: center;">購入資料の中から「宇治川先陣」（部分）</p>
事業評価	<p>資料の購入及び保存を適切に行い、市民に広く公開できるよう管理した。今後も必要資料に関する情報収集に努め、適切な保存に努める。</p>		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち
中分類	02 生涯学習の充実
小分類	03 歴史資料の充実・普及

所管部局
教育部

事務事業名	特別展示費	所管課	歴史資料館
		決算額	1,926千円
事業内容	本市の歴史に関する多様なテーマについて、調査成果を市民に還元し、後世に伝えるため、展示、図録刊行、講演会開催を実施する。テーマは、その年に相応しい時宜を得たものを心がけ、原物資料や、写真パネル・映像資料を組み合わせ、市民が親しみやすい展示に努めている。		
成果・実績	<p>宇治黄檗学園が本市初の小中一貫校として開校した。本展では学校を中心に、子供たちをとりまいてきた歴史をとりあげた。古写真や歴史資料、子どもたちが実際に使った教科書・文具・おもちゃを通して、明治・大正・昭和の子どもたちの歩みをふりかえった。また、これにあわせて図録を刊行し、講演会を開催した。</p> <p>展覧会名 「子どもたちの近代誌」 会期：9月29日～11月18日 入場者数：1,390人</p> <p>講演会 10月5日 参加人数 50人 「写真でみる京都むかしの小学校」 竹村佳子（京都市東山図書館 副館長）</p>		
事業評価	趣向をこらした展示や講演会などにより、市民が文化資料に親しむ機会を提供できた。より幅広い層の市民が観覧に訪れるよう、今後も展示の工夫に努める。		



事務事業名	企画展示費	所管課	歴史資料館												
		決算額	169千円												
事業内容	開館以来収集してきた資料を活用した企画展を開催する。多種多様な収蔵資料をテーマごとに精選して、市民が宇治の歴史や文化を身近に感じられる内容とし、何度も来館する機会となるよう定期的に展示内容を変える。また、写真展等市民参加型の展覧会も開催する。														
成果・実績	<p>宇治の歴史や文化財に関する様々な視点からテーマを設定し、わかりやすく展示した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>展覧会名</th> <th>会期</th> <th>目録配布枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おぐら池</td> <td>6月30日～9月9日</td> <td>427</td> </tr> <tr> <td>昭和の街と暮らし</td> <td>12月8日～25年3月3日</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>発掘ものがたり宇治2013</td> <td>25年3月23日～6月9日</td> <td>376</td> </tr> </tbody> </table> <p>入場者推計：10,000人</p>			展覧会名	会期	目録配布枚数	おぐら池	6月30日～9月9日	427	昭和の街と暮らし	12月8日～25年3月3日	409	発掘ものがたり宇治2013	25年3月23日～6月9日	376
展覧会名	会期	目録配布枚数													
おぐら池	6月30日～9月9日	427													
昭和の街と暮らし	12月8日～25年3月3日	409													
発掘ものがたり宇治2013	25年3月23日～6月9日	376													
事業評価	常設展とは異なるテーマで展示を行うことにより、市民にわかりやすく歴史や文化の魅力を伝えられた。内容の充実に努めながら平成25年度も継続実施する。														

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	03 歴史資料の充実・普及	

事務事業名	教育普及活動費	所管課	歴史資料館																								
		決算額	110千円																								
事業内容	歴史講座、歴史散策、古文書講習会の開催により、調査・研究成果を広く公開するとともに、他の研究機関から講師を迎え、市民の歴史研究や博物館活動への理解を深める。																										
成果・実績	歴史講座 3 回と古文書講習会を開催し、合わせて延べ260人の参加があった。																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">種別</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 30%;">テーマ</th> <th style="width: 20%;">講師</th> <th style="width: 10%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歴史講座</td> <td>10月24日</td> <td>子どもたちの近代誌</td> <td>館員</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>25年 1月30日</td> <td>幕末尾張の茶道事情</td> <td>水野荘平 (大学非常勤)</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>25年 3月27日</td> <td>水と緑と大空と 文化財カメラマンが撮る風景写真</td> <td>寿福滋 (写真家)</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>古文書講習会</td> <td>25年1月 22日～25日</td> <td>御茶頭取上林又兵衛家文書</td> <td>館員</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table>				種別	開催日	テーマ	講師	参加者数	歴史講座	10月24日	子どもたちの近代誌	館員	40	25年 1月30日	幕末尾張の茶道事情	水野荘平 (大学非常勤)	76	25年 3月27日	水と緑と大空と 文化財カメラマンが撮る風景写真	寿福滋 (写真家)	60	古文書講習会	25年1月 22日～25日	御茶頭取上林又兵衛家文書	館員	84
種別	開催日	テーマ	講師	参加者数																							
歴史講座	10月24日	子どもたちの近代誌	館員	40																							
	25年 1月30日	幕末尾張の茶道事情	水野荘平 (大学非常勤)	76																							
	25年 3月27日	水と緑と大空と 文化財カメラマンが撮る風景写真	寿福滋 (写真家)	60																							
古文書講習会	25年1月 22日～25日	御茶頭取上林又兵衛家文書	館員	84																							
事業評価	各講座の開催により、多くの市民に宇治の歴史と文化を知ってもらうことができた。講師の選定を工夫するなど魅力的な講座の開催とともに、積極的な広報に努めながら平成25年度も継続実施する。																										

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	善法青少年センター活動費	所管課	善法青少年センター
		決算額	2,118千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>学習・文化活動 書道教室・えいごくらぶ・手作り教室・料理教室・体験合宿・学習会等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 255回 参加者数 1,860人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 春、秋のレクリエーション・スポーツクラブ・お楽しみ会・体験シリーズ・おもしろパーティー等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 21回 参加者数 427人</p>		
事業評価	各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。		

事務事業名	河原青少年センター活動費	所管課	河原青少年センター
		決算額	1,558千円
事業内容	<p>人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を行う。</p>		
成果・実績	<p>学習・文化活動 えいごであそぼ、工作教室、社会見学、百人一首大会等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 56回 参加者数 794人</p> <p>体育・スポーツ・レクリエーション活動 アウトドア教室、カメレオン・パニック、チャレンジ七夕、体験教室、ダンス教室等を実施した。</p> <p style="text-align: center;">実施回数 24回 参加者数 698人</p>		
事業評価	各活動によって青少年の学習を促進し、健全育成を図ることができた。今後も参加者の増加を目指し、事業内容を工夫しながら継続実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	04 生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち	教育部
中分類	02 生涯学習の充実	
小分類	01 生涯学習の推進	

事務事業名	大久保青少年センター運営費	所管課	大久保青少年センター																																				
		決算額	1,998千円																																				
事業内容	<p>青少年の「生きる力」を育み、豊かな人間性や協調性を養うことを目的に、文化・芸術・スポーツ等の活動事業を実施する。</p> <p>また、各種教室・催し物の開催や、こどもクラブでの活動の育成指導を行う。</p>																																						
成果・実績	<p>市内各校から児童・生徒が様々な事業に参加した。また、こどもクラブの中途退部者が少なく、皆勤賞の交付数が例年を上回った。</p> <table border="0"> <tr> <td>教室</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>25回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>555人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>催し物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>20回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,042人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こどもクラブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>201回</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>4,565人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>  <p style="text-align: center;">夏休み事業（陶芸にチャレンジ）</p>			教室				実施回数	25回			参加者数	555人			催し物				実施回数	20回			参加者数	2,042人			こどもクラブ				実施回数	201回			参加者数	4,565人		
教室																																							
実施回数	25回																																						
参加者数	555人																																						
催し物																																							
実施回数	20回																																						
参加者数	2,042人																																						
こどもクラブ																																							
実施回数	201回																																						
参加者数	4,565人																																						
事業評価	<p>各活動によって、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動の促進を図ることができた。市内全域から参加希望があり、事業内容を工夫しながら継続実施する。</p>																																						

平成 24 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参画システムの確立	

事務事業名	議会改革推進事業費	所管課	議会事務局
		決算額	1,997千円
事業内容	議会を円滑に運営するための改革として、各委員会活動充実のための研修会を実施するとともに、市民に開かれた議会を目指してインターネット上で議会本会議（一般質問）の録画配信を行う。		
成果・実績	委員会研修 常任委員会の活動充実のため研修会を行った。		
	委員会	研修内容	参加人数
	市民環境	平等院鳳凰堂改修工事期間中の観光について	16
	文教福祉	教育費の財源問題について	23
	建設水道	塔の島改修工事について	25
	議会録画映像インターネット配信経費	251千円	
	アクセス数	6,283件	
事業評価	本市議会録画配信については議会だより等で市民へ広報し、議会を傍聴できない市民への利便性の向上を図ることができた。しかしアクセス数が減少しており、市民の議会への関心を高めるため、さらなる周知に努める必要がある。		

事務事業名	議会広報活動費	所管課	議会事務局
		決算額	4,281千円
事業内容	議会活動を市民に周知し、議会への関心と理解を深め、住民自治の高揚を図るため、「議会だより」を発行する。また、「市政概要」を発行し、市政全般にわたる制度、市政執行の状況などを掲載して、市政の手引きとして活用する。		
成果・実績	議会だより発行経費	3,920千円	
	発行回数	4回	
	発行部数	81,500部/回	
	市政概要発行経費	348千円	
	発行回数	1回	
	発行部数	250部	
事業評価	議会だよりを発行し、市民へ議会情報を発信することができた。今後も紙面の充実を図るとともに、市民の議会への関心を高めるため広報手法について検討する必要がある。		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参画システムの確立

所管部局
その他

事務事業名	選挙啓発推進費	所管課	選挙管理委員会事務局
		決算額	64千円
事業内容	選挙が公明かつ適正に行われるように、様々な機会を通じて選挙人の政治意識の向上に努める。		
成果・実績	<p>明るい選挙の推進のため、「府政を見る会」の開催をはじめ、啓発ポスター・標語の募集、成人式における啓発資料の配布、新有権者へのバースデーカードの送付などの各種啓発事業を行った。</p> <p>店頭での啓発活動では大学生等に参加してもらい、特に若年層に対して投票に行くよう働きかけた。</p>		
事業評価	各種啓発活動等を行い、投票率の向上を図っているが、今後も特に若年層の投票を促進できるように啓発手法を工夫する必要がある。		

事務事業名	市長選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	35,316千円																
事業内容	任期満了に伴う市長選挙を執行する。																		
成果・実績	<p>12月16日に宇治市長選挙を執行した。衆議院解散に伴い、市長選挙、市議会議員補欠選挙、衆議院総選挙を同日に執行した。</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">73,117</td> <td style="text-align: right;">44,143</td> <td style="text-align: right;">60.37</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">79,151</td> <td style="text-align: right;">46,031</td> <td style="text-align: right;">58.16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">152,268</td> <td style="text-align: right;">90,174</td> <td style="text-align: right;">59.22</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	73,117	44,143	60.37	女	79,151	46,031	58.16	合計	152,268	90,174	59.22
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	73,117	44,143	60.37																
女	79,151	46,031	58.16																
合計	152,268	90,174	59.22																
事業評価	執行経費の削減に努め、適正に選挙事務を執行した。今後も引き続き迅速・正確な執行とともに投票所の環境整備に努める。																		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系		所管部局
大分類	06 信頼される都市経営のまち	その他
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実	
小分類	01 市民参画システムの確立	

事務事業名	市議会議員補欠選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	6,269千円																
事業内容	欠員に伴う市議会議員補欠選挙を執行する。																		
成果・実績	12月16日に市議会議員補欠選挙を執行した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">73,117</td> <td style="text-align: right;">44,125</td> <td style="text-align: right;">60.35</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">79,151</td> <td style="text-align: right;">46,022</td> <td style="text-align: right;">58.14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">152,268</td> <td style="text-align: right;">90,147</td> <td style="text-align: right;">59.20</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	73,117	44,125	60.35	女	79,151	46,022	58.14	合計	152,268	90,147	59.20
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	73,117	44,125	60.35																
女	79,151	46,022	58.14																
合計	152,268	90,147	59.20																
事業評価	適正に選挙事務を執行した。今後も引き続き迅速・正確な執行とともに投票所の環境整備に努める。																		

事務事業名	衆議院議員総選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局																
		決算額	49,330千円																
事業内容	解散に伴う衆議院議員総選挙を執行する。																		
成果・実績	衆議院解散に伴い、12月16日に衆議院議員総選挙を執行した。 執行状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当日の有権者数</th> <th>投票者数</th> <th>投票率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: right;">73,991</td> <td style="text-align: right;">45,077</td> <td style="text-align: right;">60.92</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: right;">79,960</td> <td style="text-align: right;">46,765</td> <td style="text-align: right;">58.49</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">153,951</td> <td style="text-align: right;">91,842</td> <td style="text-align: right;">59.66</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)	男	73,991	45,077	60.92	女	79,960	46,765	58.49	合計	153,951	91,842	59.66
	当日の有権者数	投票者数	投票率 (%)																
男	73,991	45,077	60.92																
女	79,960	46,765	58.49																
合計	153,951	91,842	59.66																
事業評価	適正に選挙事務を執行した。今後も引き続き迅速・正確な執行とともに投票所の環境整備に努める。																		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	01 市民参加の機会と情報提供の充実
小分類	01 市民参画システムの確立

所管部局
その他

事務事業名	巨椋池土地改良区総代選挙執行費	所管課	選挙管理委員会事務局								
		決算額	167千円								
事業内容	任期満了に伴う巨椋池土地改良区総代選挙を執行する。										
成果・実績	<p>8月5日に巨椋池土地改良区総代選挙を執行した。(無投票)</p> <p>執行状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">当日の有権者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td style="text-align: center;">533</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td style="text-align: center;">126</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">659</td> </tr> </tbody> </table>				当日の有権者数	男	533	女	126	合計	659
	当日の有権者数										
男	533										
女	126										
合計	659										
事業評価	適正に選挙事務を執行した。										

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	監査委員活動費	所管課	監査委員事務局
		決算額	396千円
事業内容	本市の行政及び財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が地方自治法の主旨に沿ってなされているかを主眼に厳正、公平の態度保持と指導監査を第一義として、違法、不当行為の防止と事務事業の改善に資す。例月現金出納検査、定期監査、随時監査、決算審査等を行う。		
成果・実績	<p>定期監査は、20課1室3署2校を抽出し実施した。</p> <p>例月現金出納検査は、一般会計、特別会計、公営企業会計について毎月実施した。</p> <p>決算審査は、一般会計・7特別会計・公営企業会計及び基金運用状況について実施した。</p> <p>健全化判断比率等審査は、健全化判断比率・資金不足比率について実施した。</p> <p>このほか、全国都市監査委員会、近畿地区都市監査委員会及び京都府都市監査委員会の構成員として総会、研修会等に出席し、監査等の手法、内容の改善を図り、監査機能の充実、強化に努めた。</p>		
事業評価	全国都市監査委員会総会や研修会への参加などによって監査機能の向上を図り、事務事業の指導監査を適切に行うことができた。今後も適正に実施する。		

事務事業名	公平委員会運営費	所管課	公平委員会事務局
		決算額	292千円
事業内容	地方公務員法の規定に基づき、職員の不利益処分の不服申立てや勤務条件に関する措置の要求に対して審査、判定等を行う。		
成果・実績	<p>宇治市公平委員会議事規則により定例会を4回、臨時会を1回開催し、職員団体登録事項変更に伴う審査等を行った。</p> <p>このほか、全国公平委員会連合会、同近畿支部及び京都府公平委員会連合会の構成員として、総会、事務研究会等に出席し、公平委員会業務の円滑な推進に努めた。</p>		
事業評価	全国公平委員会連合会総会や研修会への参加などによって審査機能の向上を図り、適切に審査を行うことができた。今後も適正に実施する。		

平成24年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	06 信頼される都市経営のまち
中分類	03 行政改革・適正な行政運営の推進
小分類	03 行政サービスの充実

所管部局
その他

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営費	所管課	固定資産評価審査委員会事務局
		決算額	276千円
事業内容	<p>地方税法の規定に基づき、固定資産税、都市計画税の課税の基礎となる固定資産課税台帳に登録された事項に関する納税義務者からの審査申出について審査、決定する。</p>		
成果・実績	<p>平成24年度は3年ごとに評価替えが実施される基準年度であり、土地8件（取下げ2件）、家屋2件の審査申出を受理し、実地調査等を含め審査決定を行うため委員会を22回開催した。</p> <p>このほか、審査委員会業務の円滑な推進のため、(財)資産評価システム研究センターが主催する研修会に参加するとともに、先進地である岡山県倉敷市及び岡山市への行政視察を実施した。</p>		
事業評価	<p>評価替えについて適正に審査を行った。また、研修会への参加や視察などによって固定資産税制度の現状と課題や審査委員会の運営について見識を深めることができた。今後も適正に実施する。</p>		

平成 2 4 年度決算成果説明書

総合計画の体系	
大分類	02 ゆたかな市民生活ができるまち
中分類	03 農林漁業・茶業の振興
小分類	01 農業の振興

所管部局
その他

事務事業名	農業委員会運営費	所管課	農業委員会事務局
		決算額	1,562千円
事業内容	農業委員会等に関する法律第6条に規定する所掌事務、農業者年金業務、農業経営基盤強化措置特別会計事務及び農業委員会の運営を行う。		
成果・実績	<p>「農業委員会等に関する法律」に基づき、農業委員会総会を12回開催し、「農地法」に基づく農地の権利移動及び転用などについて審議を行うとともに、「租税特別措置法」に基づく相続税納税猶予特例適用に係る証明願の承認及び農地の利用状況確認などについて審議を行った。</p> <p>また、各部会等の活動や研修会を開催し、農地行政の適正な執行に努めた。</p> <p>一方、農政活動においては、関係機関と連携しながら、農地の適正管理を呼びかけるとともに、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地の利用権設定の推進、農業者年金の各種届出等への対応や、加入促進事業に取り組んだ。</p> <p>さらに、農家への啓発活動として「農委だより・うじ」の発行等を行った。</p>		
事業評価	法に基づき、適切に農地行政経費の執行を行い、農地利用の審議や農家への啓発などを図ることができた。今後も円滑な委員会運営に努める。		

用品調達基金運用状況表

(単位：円)

借 方		科 目	貸 方	
残 高	累 計		累 計	残 高
949,190	2,620,944	在 庫 用 品	1,671,754	
5,050,810	7,296,026	預 金	2,245,216	
	2,356,744	未 収 金	2,356,744	
	1,559,200	未 払 金	1,559,200	
		基 金	6,000,000	6,000,000
6,000,000	13,832,914	小 計	13,832,914	6,000,000
		払 出 差 益	684,990	684,990
		受 取 利 息	1,026	1,026
		雑 利 益		
0	0	雑 損 失		
686,016	686,016	一般会計繰出金		
686,016	686,016	小 計	686,016	686,016
6,686,016	14,518,930	合 計	14,518,930	6,686,016